

佐賀近代史年表

大 正 編

大正4年1月～大正4年12月

佐賀近代史研究会編

佐賀大学地域学歴史文化研究センター

佐賀近代史年表
大正編 — 大正 4 年
目 次

はじめに	1
佐賀近代史年表	
凡例	3
年表 大正 4 年 1 月～12月	7
あとがき	129
佐賀近代史研究会 会員	135

は じ め に

「佐賀近代史年表 大正編」の第3回として、大正4（1915）年1月から12月までのものを本紀要に掲載する。日本史や世界史に目を転じると、同年は、第1次世界大戦の最中であり、第2次大隈重信内閣時でもあった。

この年表作成及び公表は、佐賀近代史研究会と佐賀大学地域学歴史文化研究センターとの間の連携事業であるとともに、歴史や文化を後世に残す地域貢献でもある。このような歴史資料を公表していくことは、地域に根ざした知の拠点である佐賀大学の使命といえる。

さて、佐賀近代史研究会であるが、設立は昭和52（1977）年5月で、これまでの活動成果の一端として、『佐賀近代史年表 明治編 上巻』（1988年、復刻版2012年、『佐賀新聞』が創刊された明治17年から明治30年まで）及び『佐賀近代史年表 明治編 下巻』（2011年、明治31年から明治45年まで）がある。メンバーは、郷土史家、研究者及び研究生、教員、一般市民など多彩であるが、シニア世代が特に主力である。

これまで及び今回用いている資料は、主に『佐賀新聞』であり、各月ごとに、佐賀県にかかわる「政治」、「経済」、「社会」、「教育・文化」、「その他」、そして県外について触れる「国内・国際」の計6分野に分けて、それぞれ年表を作成している。

ところで、大変地道な作業となるため、これまでは10数年の準備期間を経て、10数年間分がまとまってから本の形で公表してきたが、大正編の15年間分も、そのような形で刊行するとなると、やはり今から10年余り後ということになってしまう。他方、メンバー及び読者の方々は、たとえ1年分ないし数年分の分冊となっても、できるだけ早く成果を発表し、そして見てみたいという思いを抱いている。

そのような考えを抱く中、佐賀大学地域学歴史文化研究センターとの連携や協力関係を得られたことにより、紀要への掲載が可能となった。このことにより、作業上のモチベーションや効率が高まるとともに、多くの方々からの指摘等も受けることができ、さらに精度を高めていくことができよう。

平成28(2016)年3月

佐賀近代史研究会会長
佐賀大学経済学部教授

山 本 長 次

凡 例

1 本年表の構成と内容

(1) 出 典

① 主に佐賀新聞（大正4年1月～12月）による。特に典拠を示していないものは佐賀新聞記事による。

② 補足した資料は次の通りであるが、項目の掲載月日欄に出典を示した。

佐賀県「県公報」、大蔵省印刷局「官報」、岩波書店「近代日本総合年表」など

(2) 時 代

大正4年1月～同4年12月

(3) 分 類

県内に関する事項を、「政治」、「経済」、「社会」、「教育・文化」、「その他」の5欄に、県外に関する事項を「国内・国際」の1欄とし、合わせて6欄に分けた。各欄に収める項目内容は次の通りである。

欄		項 目 内 容
県内	政 治	県政、政党、政治家、政治運動、政争、法令、行政組織、財政、県市町村制度、選挙、司法、警察、軍事など
	経 済	企業、商工団体、農業・水産業・林業・工業・鉱業などの産業、金融、商業、交通、運輸、電気・通信、開拓、産業災害、家畜伝染病など
	社 会	火災・事故・犯罪などの社会的事件、労働運動、社会運動、青年会・青年団、在郷軍人会、軍人後援会、風水害・労働災害などの災害、福祉、医療、衛生、娯楽、流行、風俗、祭礼など
	教育・文化	学校教育、同窓会・校友会、美術、音楽、演劇、工芸、文化財、宗教、文芸、出版、スポーツなど
	そ の 他	上記の4欄に分類できないもの、県出身者の県外での消息、米価、統計、連載小説など
県外	国内・国際	国内外の主要な動き、法律、日本に関係のある国際会議・戦争・条約・事件など

注) 以上は、あくまで分類の基準である。

2 記載形式

(1) 年・月・日などの一般的な記載形式

- ① 1か月単位に「政治」、「経済」、「社会」、「教育・文化」、「その他」、「国内・国際」の各欄を順次収めている。
- ② 各欄の各項目は、事件発生月日、内容、新聞掲載月日とページ面を記載している。
新聞以外の資料は〈 〉書きで表示した。

以下、例を示す。

例1

8	1	肥前電気軌道(株)と嬉野温泉(株)との間に合併契約が成立。契約書を掲載	8・9<2>
---	---	-------------------------------------	--------

↑
事件発生月日

↑ ↑ ↑
掲載月 日 面数

例2

1	○	佐賀郡設農事講習会を同郡大宅間村で25日から開く予定	1・23<2>
---	---	----------------------------	---------

↑
予定記事の場合

例3

9	○	小城郡牛津町に株式会社組織による牛津劇場の建築を計画	9・11<2>
---	---	----------------------------	---------

↑
事件発生日が不明なもの

例4

10	26	コレラの流行が各地に拡大	10・27～30<2,3>
----	----	--------------	---------------

↑ ↑ ↑
掲載日が連日の場合 2面と3面であることを示す

例5

8	○	小説「鉄骨美人」 渡邊黙禪 171回	8・19～5・2・16<1>
---	---	--------------------	----------------

↑
大正5年2月16日の1面

例6

8	○	この月、各学校で農産物品評会を開く	12・21～28<2>
---	---	-------------------	-------------

↑
その月に類似の出来事が多発した場合、当該欄の末尾に「この月」として、まとめている

- (2) 社説、投稿、寄書、法令、叙任・辞令、広告、公告は一般記事と区分するため、文末に（ ）で付記した。また、一般記事と広告、または公告の両方に記載のある内容については（記事と広告）、（記事と公告）と記した。

例7

9	○	佐賀市唐人町の佐賀醤油会社はソースも売り出す(広告)	9・2<3>
---	---	----------------------------	--------

例8

3	18	佐賀高等女学校学則を改正(県令)	3・18〈県公報〉, 24〈2〉
---	----	------------------	---------------------

例9

6	16	谷口鉄工場主谷口清八が死去、享年50歳。20日佐賀市長瀬町の泰教寺で葬儀(記事と広告)	6・17,18,21〈1,2〉
---	----	---	-----------------

- (3) 他社からの転載や概要記事の場合、紙名と掲載日を()内に記した。なお、掲載日のないものもある。

例10

11	○	アメリカはメキシコのフェルタ大統領に辞職要求を通牒(ルーター電報)	11・8〈2〉
----	---	-----------------------------------	---------

- (4) 客観性が疑われるもの、新聞社や記者の私見が含まれるものには、文末に▽を付記した。

例11

5	○	桂太郎は病身で、頼みの山縣系官僚は山本内閣に傾き、伊藤博文や西郷従道のように政党放棄の道をたどらざるをえないか▽	5・1〈1〉
---	---	--	--------

- (5) 法令など官報や県公報を典拠としているものは、発行日付、法令の出典名を掲載月日欄に記した。法令の日付は原則として公布の日付とし、施行期日は略。法令の形式を()書きした。なお、新聞に同文が掲載してあれば、掲載月日欄の日付は、新聞の掲載日付とした。

記載例8を参照

- (6) 一つの記事の内容量が多い場合は、記事タイトルを「 」内にそのまま記し、必要に応じて内容を要約するか、箇条書きした。

例12

6	○	「女子教育談」 住友佐賀高等女学校長が同校の女子教育の方針を語る	2・21〈3〉
---	---	----------------------------------	---------

例13

8	○	「唐津通信」 唐津～壱岐航路開設、海水浴の状況、近松座の近況	8・10〈2〉
---	---	--------------------------------	---------

3 用字・用語

- (1) 仮名づかいは、現代仮名づかいに改めた。
- (2) 漢字は人名、地名を含め原則として当用漢字に改めたが、人名、団体などの固有名詞は原文通りとしたものもある。

- (3) 敬語・敬称は省略した。
- (4) 外国名、外国地名は原則としてカタカナ書きに直したが、漢字使用が慣例となっているものは漢字を用いた。
- 例 ロシア、イギリス、日英同盟
- (5) 国内の地名は当時の地名をそのまま使用した。ただし、原文に「伊万里で…」とだけある場合、県外の読者にも理解しやすいように「西松浦郡伊万里で…」と郡名を付記した。
- (6) 県内の団体、組織、学校などの名称で「佐賀県〇〇〇」とある場合、佐賀は省いて「県〇〇〇」とした。
- (7) 度量衡の単位は原文のまま使用したので、大部分が尺貫法である。ただし、一部に割・分を％に改めたものもある。
- (8) 政党、党派名は極力原文通りとした。

4 記号・略号

(1) 記号

- () 社説、投稿、寄書、法令、叙任・辞令、広告、公告、記事と広告など
ただし、難解と思われる漢字のふりがな、原文に疑問が残るものや意味不明なものに記す(ママ)、「その他」欄の統計やそれに準じる記述で年月日現在、期間などの記述にも用いることがある。

例 ○稻椿象 (フウムシ) ○曖昧屋^(ママ)
○佐賀図書館の利用状況 (10月)
○各都市の戸数と人口 (6月現在)
○長崎税関管轄各港の輸出入高 (1月～8月)

- [] 引用文・引用語句を表す。また、歴史用語、差別用語で言い換えのできないものに付記した。

例 「御真影」

- 『 』 新聞を除く書名、雑誌名、作品名などを表す。

- ▽ 客観性が疑われるもの、新聞社や記者の私見が含まれる記事。

記載例11を参照

(2) 略号

(株) 株式会社 (名) 合名会社 (資) 合資会社

ただし、鉄道会社やその他の著名、または使用頻度の高い会社・法人は略号を省いたものもある。

大正4年〈1915〉1月

休刊日 2日、3日、6日 日曜日 3日、10日、17日、24日、31日

政 治

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
1	1	佐賀郡選出県議員吉武豪が死去、南川副村在住。6日、死去に伴う佐賀郡の補欠選挙の投票日は2月15日と告示(県告示)	1・7〈2〉,〈県公報〉
1	○	県は4年の徴兵検査適齢者に、31日までに市町村長に届け出ることを指示、違反者は3円以上30円以下の罰金	1・4〈2〉
1	8	知事に東京府内務部長石橋和を任命、前任の若林資蔵は香川県に転出。 県理事官に北海道庁理事官岡正雄を任命、前任の松村義一は鳥取県に転出(叙任・辞令)	1・9,10,12,13,15,27 〈2,3〉,〈官報〉
1	8	佐賀市会は臨時会を開き、上水道第2水源の位置を赤松町旧城内の元清酒研究所跡地から佐賀中学校裏手の倉永源一郎所有の水田に変更することを可決	1・8,9〈2〉
1	8	土木費県費補助規則を定める(県令) 全17条	1・13,15〈2〉, 〈県公報〉
1	○	3年水害復旧工事の県に対する国庫補助金は15万1000円に決定	1・13〈2〉
1	○	次期総選挙で西松浦郡から出馬の風説があった大日本製糖(株)社長藤山雷太は、出馬を否定	1・13〈2〉
1	○	久留米連隊区司令官は、三養基、神埼両郡内町村役場の召集・徴発事務を23日～27日に検閲予定	1・14〈2〉
1	17	第18師団長陸軍中将斎藤力三郎が来佐。18日に佐賀連隊区司令部、歩兵第55連隊を巡視	1・16,18,19〈2〉
1	○	佐賀市は区長会議を18日に開き、改正戸籍法の周知を行う予定	1・17〈2〉
1	18	佐賀市唐人町派出所の第9管区受持巡査佐藤彦市に、市水道水源地請願巡査派出所勤務を命じる	1・19〈2,3〉
1	○	3年に生じた所在不明の徴兵終決処分未済者は13人。満40歳超過転籍や死亡など対象外のため調査不要の者26人	1・18〈3〉
1	○	県理事官岡正雄を県内務部学務兵事課長兼知事官房主事に任命	1・19〈2〉
1	20	県議員補欠選挙を藤津郡選挙区で実施。西嬉野村の井手鹿吉が当選(県告示)	1・20,23,27〈2〉, 〈県公報〉
1	20	佐賀市新馬場町組合は新役員を選出。総組長に石井日出雄、衛生組長に西村小太郎	1・22〈2〉
1	20	杵島郡東部14カ村戸籍事務研究会を同郡福治村の杵島屋で開く。新戸籍法や寄留法について詳細に研究	1・22〈2〉
1	21	元知事不破彦磨が来県。伊万里水道通水式に出席の後、武雄温泉の新築温泉場、佐賀市水道水源地を視察	1・22〈2〉
1	21	県理事官岡正雄を県参事会員に任命	1・24〈2〉,〈官報〉
1	22	県参事会は、東松浦郡議員山口長治の資格認定に関する訴願を、受理期間超過と書類提出先相違の理由で却下と決定(県告示)	1・23〈2〉,〈県公報〉
1	○	佐賀市の3年第1期所得税の滞納者は19人。市役所は近く係員総出で滞納者に対する処分を実施する予定	1・22〈2〉
1	○	郡議員吉武豪死去のため、佐賀郡は南川副村選挙区で補欠選挙を3月30日に実施予定	1・22,3・30〈2〉
1	23	政友会の前衆議院議員川原茂輔は、第35通常議会の報告会を西松浦郡伊万里町の格岩寺で開く。26日東松浦郡唐津町、2月2日藤津郡塩田町、2月3日杵島郡武雄町の政友倶楽部、4日小城郡小城町の天山閣。大隈重信の過去の事績や内閣の政策を批判。演説内容を3回にわたって掲載	1・20,25,26, 2・5～7,9〈2〉

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
1	24	東松浦郡湊村村会は助役に同役場書記山崎正司を選任	1・29〈2〉
1	25	佐藤佐賀郡長らは佐賀郡西与賀、東与賀、本庄村を事務視察	1・26〈2〉
1	26	佐賀郡神野村会は村長選挙を実施、秋山喜三6票、田中宗賢3票	1・28〈2〉
1	27	政友会県支部は総会を開き、各郡毎に2人の選挙委員を選出。同委員長に小城郡の土山文九郎を互選	1・28〈2〉
1	30	西松浦郡長に岐阜県養老郡長岡部啓を任命、前任の東島卯八は養老郡長に転任(叙任・辞令)	1・31, 2・4〈2〉, 〈官報〉

経 済

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
1	○	九州電燈鉄道(株)は合併以来の余剰人員を整理。佐賀県支社主事に永倉義晴を任命	1・1〈2,9〉
1	○	3年移出米の値動きは、1月の正米1石17円60銭が12月には10円70銭に下落。4年1月の予想移出数量は5万俵で前年同月比で3分の1、景況は閑散の状態。農家金融はひっ迫	1・1, 13〈2,9〉
1	2	佐賀米穀取引所は初立合会を開催、出来高は約2万石で同所創立以来の活況	1・4〈2〉
1	5	小城郡牛津町の田中丸善蔵は、国産奨励会や南洋方面定期航路など商用のため上京	1・7〈2〉
1	○	佐賀市内の某酒造家は、県内の酒造業界は米価の下落による農村購買力の減退で4年になっても不景気、ビールだけは販売が好調と語る	1・5〈2〉
1	7	九州電燈鉄道(株)は監査役に深川喜次郎、吉田久太郎4人を再選(公告)	1・8〈3〉
1	8	佐賀市内の呉服商組合は総会を開き規約を定める。不都合により退職した店員を他の組合員は雇用しないことなど全9条	1・10〈2〉
1	8	東松浦郡唐津で5月に開催予定の関西九州連合水産集談会の準備会を唐津町で開く。予算や委員数、水産誌県勢一覧の編纂などを協議	1・10〈2〉
1	8	県は造林奨励金を三養基郡田代村、神埼郡三瀬村など11村に、16日は小城郡南山村など4村に交付	1・12, 19〈2〉
1	○	東松浦郡は度量衡検査を20日～2月24日まで各村で実施予定	1・8〈2〉
1	○	佐賀米穀取引所は営業細則を改正し、追証拠金を本証拠金の半額とする。9日から実施予定	1・8〈3〉
1	○	3年の朝鮮海出漁の実績は、漁船216隻、漁獲高8万3000円以上	1・11〈2,3〉
1	13	佐賀郡は同郡松梅村で農事講習会を16日まで開く。講師は戸上郡農業技手、修了生33人。26日は同郡巨勢・兵庫村合同で実施、受講生68人	1・8, 19, 21, 27〈2〉
1	○	小城郡南山村は林業講習会を13日に開く予定	1・13〈2〉
1	○	3年の県農工銀行の営業実績は、直接貸付93万9560円、日本勧業銀行代理貸付408万8740円、利益7万682円、配当年8分	1・13〈2〉
1	14	西松浦郡東山代村の肥前海苔(株)は、同村地先での青ノリの区画養殖漁業権を付与される	1・17〈2,3〉
1	○	佐賀郡巨勢村で競犁会を15日に開く予定	1・14〈2〉
1	○	「本県の稲作改良成績」 2回 某農業技手談 県農会は六石田懸賞会を設置したが、技術指導は各郡村の農業技手に一任している、各郡は自治の精神を発揮して取組むべきと語る	1・14, 15〈3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
1	15	佐賀商工会は評議員会を開く。幹事制を正副会長制に改め、幹事を10人に増員することを決める	1・17〈2〉
1	15	(株)塩塩商店を西松浦郡二里村に設立(公告) 目的は呉服・太物・洋反物・雑貨品などの販売、代表取締役は同村の吉永徳一郎	2・3〈3〉
1	16	県農会は各郡市蚕業技術員会を開き、桑樹栽培講話会の開催について協議	1・17〈2〉
1	17	県は、3年8月の高潮と暴風雨により被害を受けた養殖漁業者に種貝2879樽の配給を完了。対象となった被害面積は28万7900坪	1・20〈2〉
1	18	県公有林野造林奨励金下付規程を改正(県令) 部落有林に対する補助を廃止し、町村有造林のみに補助するなど	1・22〈2〉,〈県公報〉
1	18	松浦共済(株)を設立(公告) 本店は西松浦郡伊万里町、金融業を営業、資本金1万円、取締役は同郡東山代村の山口萬八ら5人	1・31〈3〉
1	19	種牡馬検査を東松浦郡唐津町で実施、20日は小城郡、三養基郡で実施。全部で15頭出願、うち7頭に合格証明書を交付	1・29〈2〉
1	○	佐賀市の谷口鉄工場は、一般鉄工業界の不況にもかかわらず盛況。3年完成の鉄骨仕上工場に電動起重機を据え付け、艦船用金物、水道管、排水管、エンドレス機械など製造	1・19〈2〉
1	20	農商務省は佐賀地方森林会議員に三養基郡鳥栖町の八坂寅吉ら6人を再任	1・26〈2,3〉
1	21	佐賀郡内農区技手例会を同郡役所で開く	1・22〈2〉
1	21	杵島郡北方村の北方米券倉庫は、設立後の第1回入庫を行う。入庫米は志久地方の米504俵。29日は芦原米券倉庫でも行う	1・23,31,2・6〈2〉
1	21	日本勧業銀行員は時局救済資金供給調査のため、西松浦郡と小城郡の産業組合の事務状況を調査、28日終了	1・29〈2〉
1	21	藤津郡八本木村に浜貯蓄(株)を設立(公告) 会員の積立による金融業を営業、資本金3万円、取締役は同村の倉崎喜作ら7人	2・5〈3〉
1	○	佐賀市白山町の塩元売捌所野村商会支店は、伊万里製塩(株)との塩指定取引を認可され、販売を開始する予定	1・21〈2,3〉
1	○	県からの移出米価格は、政府と民間の米価調節策のために次第に上昇。1俵に付き佐賀郡米は3円90銭、杵島米4円、多良米4円40銭となり、30銭～40銭の高値となる。佐賀市内の白米価格は、23日から1升に付き5厘ずつ値上げの予定。1等14銭5厘、2等14銭、3等13銭5厘	1・22,23〈2〉
1	○	東松浦郡唐津町の山内喜兵衛による長崎県西彼杵郡での石炭試掘願、三養基郡北茂安村の末次与作による長崎県東彼杵郡での石炭試掘願など、3件が認可となる	1・23〈2〉
1	○	「郡町村農会成績」5回 各農会活動の収支報告や事業内容を記載。優良農会として佐賀郡久保田村を紹介	1・23,24,28,31,2・2〈2〉
1	24	佐賀商業会議所は第1回珠算競技会を開催。競技者は伊丹商店や栄銀行など市内銀行や会社の社員ら17人	1・12,24,25〈2〉
1	24	肥前米麦輸出同業組合は組合会議を開く。1俵または1呎の玄・白米検査料を2厘減額して玄米は1銭、白米は8厘とするなど、定款の一部を改正	1・17,27〈2〉
1	24	深川製磁(株)の株主総会は取締役深川忠次、吉田久太郎、大島小太郎ら5人を再選(公告)	2・9〈3〉
1	○	(株)佐賀貯蓄銀行は2月1日から定期貯蓄預金も取扱う予定。期限中は毎月一定額を預け入れることなど規定14項目を掲載	1・24〈2〉
1	○	4年の酒類製造見込高は7万6437石、前年比2085石の減	1・24,2・8〈2〉
1	25	(株)小城共済銀行の株主総会は取締役西正豊ら4人を再選(公告)	2・9〈3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
1	○	藤津郡能古見村の山浦養蚕組合は27日に産業講話会を開く予定	1・26〈2〉
1	27	肥前米麦輸出同業組合は標準米査定を協議。紅屋種と神力種の1升、1俵、1呎で基準重量を決定	1・28,29〈2〉
1	27	カナダバンクーバー市のローヤル漁業会社日本支配人宮城新昌は、県水産試験場とカキ養殖場を視察。県産カキは品質優良だが、養殖方法は粗雑だと述べる	1・29〈3〉
1	28	佐賀米穀取引所の仲買人は部長の選挙を実施、秀島徳一郎、鶴彌平ら6人を選出	1・30〈2〉
1	○	西松浦郡有田町の深川栄左衛門は石炭窯を新築。築造費2000円と廉価で、焼成は良好の成績を挙げる	1・29〈2〉
1	○	県は農商務省訓令に基づき、保安林と原野開墾制限地に標柱を設置	1・29〈2〉
1	○	米券倉庫の設置が進む。新たに三養基郡上峰村の2棟など5ヵ所・6棟	1・29〈2〉
1	○	この月、各地で苗代、水稻、立毛、拔穂、桑園などの品評会褒賞授与式を行う。小城郡牛津町勝ヶ里区、佐賀郡春日村、高木瀬村、杵島郡武雄町、藤津郡鹿島町	1・10,16,18,20,21,24,2・1,4〈2,3〉
1	○	この月、産業組合の設立や認可が相次ぐ。東松浦郡北波多村無限責任稗田信用組合、小城郡三里村池上地区無限責任山崎信用購買販売組合、佐賀郡北川副村無限責任山津信用購買販売組合	1・17,22,2・2〈2,3〉

社 会

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
1	1	三養基郡三川村青年会は、戦死者の追悼会説教演説を続命院浄心教会本部で行う。講師は軍隊布教師片江瑞穂、3日まで	1・7〈2〉
1	1	杵島郡北方村志久の杵島炭坑第二坑の坑夫2人が賭博がもとで喧嘩、傷害事件を起こす	1・28〈3〉
1	4	三養基郡旭村の一眞院は釈尊成道会の説教会を開く	1・11〈2,3〉
1	○	「在郷軍人諸氏に告ぐ」 9回 佐賀連隊区司令官竹下宣行 帝国在郷軍人会佐賀支部長の立場で訓話。佐賀監獄在獄者435人中55人が在郷軍人であるとして奮起を促す	1・4～7,12～14,16～18〈2〉
1	5	東松浦郡呼子村の殿ノ浦貸座敷組合は、1年間無病の娼妓4人に対し賞与を授与。金額は1人3～2円	1・8〈3〉
1	8	佐賀郡東与賀村下飯盛地区は同村の龍田寺で戸主・青年会員らの親睦会を開き、優良青年9人を表彰	1・10〈2〉
1	8	神埼郡西郷村の尾崎東分青年会は青年集会所兼夜学教師住宅を新築し、落成式を行う	1・11〈2〉
1	9	小城郡岩松村の松尾山光勝寺は、出征者の願掛け成就の法要を開く。同山で祈念した約200人の出征者に戦死者なしとの評判	1・12〈2〉
1	10	佐賀郡本庄村の中島青年会は総会を同会倶楽部で開く	1・12〈2,3〉
1	10	去風流生花会は、佐賀市材木町の第18代家元芦刈梅吉宅で新年生花会を開く	1・12〈3〉
1	○	青島攻撃で戦死した藤津郡古枝村の陸軍1等看護長の遺族に、750円を下賜	1・10〈2〉
1	○	佐賀郡春日村の北村青年会支部は、夜学会を週に6日開く予定	1・10〈2〉
1	11	佐賀市水ヶ江町の出雲大社佐賀分院と同市材木町の日天社は帳祝の祭典を開く	1・10,12〈2,3〉
1	12	佐賀郡の官公吏は佐賀市の清漣亭で懇親会を開く。各村長、県会議員から村農会長、農区技術員まで約120人が集まる	1・13〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
1	14	佐賀市内に30センチの積雪。佐賀中学校、佐賀商業学校の生徒全員は歩兵第55連隊練兵場まで雪中行軍	1・15〈2〉
1	○	膠州湾閉鎖作戦で戦死した佐賀郡西与賀村の海軍上等兵の遺族に、860円を下賜	1・14〈2〉
1	16	藤津郡久間村の下久間青年団は消防隊を組織し、富士青年義勇団と称して消防練習を実施	1・18〈3〉
1	17	佐賀市在郷軍人会は陸海軍合同の総会と勅語奉読式を市公会堂で開く。出席者約600人。これまで入会は陸軍軍人に限定されていたが、3年10月の規約改正で海軍軍人の入会が可能となった	1・13,14,18〈2〉
1	17	佐賀工業学校の職員工手など関係者は、第1回家族会を佐賀市の千代田館で開く	1・19〈2〉
1	○	日本日曜学校協会は9月に東京市で開く世界日曜学校大会の準備のため、各地で生徒講演会を開く。佐賀市では市公会堂で18日に開く予定。	1・17〈2〉
1	○	長崎線から唐津線への列車接続は待合時間が長く不便、という乗客の声を掲載	1・17〈3〉
1	18	佐賀地明会は新年第1回会合を佐賀図書館で開く。講演は松尾山住職神代智明の『宗教と道德』	1・20〈2〉
1	18	小城郡の清水観世音は初縁日の開帳を実施。佐賀市の圓蔵院も本尊の観世音の初縁日の祈祷を予定	1・17,19,22〈2,3〉
1	19	仏教各宗派の有志は各宗協会の設立を決める。各宗が協同で時代の要求に応じることを目的とする。委員は板部自孝、清居玄鱗ら11人、会則は全7項目	1・21〈2〉
1	20	西松浦郡伊万里町は伊万里水道の通水式をおこなう。人口規模は1万人、使用水量1人当たり1日3m ³ を予想、水源は伊万里川	1・9,21〈2〉
1	20	小城郡牛津町の小間物商店小松屋とクラブ化粧品総本店中山太陽堂は、佐賀市の楊柳亭に同化粧品の販売店主ら150余人を招いて新年宴会	1・22〈2,3〉
1	○	佐賀市出身の予備役陸軍軍医中溝健一は同市第11区在郷軍人会へ20円を寄付。近く市内に病院を設立する予定	1・20〈2〉
1	○	東松浦郡有浦村新田の有浦炭坑で、坑夫1人が落盤のため圧死	1・20〈2,3〉
1	21	西松浦郡の徴兵検査忌避事件で、公印盗用、公文書偽造行使の罪に問われた被告2人に懲役3年6月などの判決	1・8,15,22〈3〉
1	21	佐賀郡西与賀村は、消防点検と龍吐水による競技を行う	1・23〈2〉
1	21	東松浦郡北波多村の芳谷炭坑の坑夫3人が酒と賭博の席で、日本刀や松杭を使って刃傷沙汰	1・24〈3〉
1	23	日宗純信教会・浄徳婦人会は第45回講演会を佐賀市の観照院で開く。講師は松尾山住職神代智明。参加者約60人	1・22,24〈2〉
1	23	佐賀市在郷軍人第11区会は同市の花月亭で春季総会を開く	1・25〈2〉
1	24	高伝寺住職高閑者道樹ら11人の発起による曹洞宗佐賀婦人会が発会式、会則全10条を掲載	1・21,24～26〈2,3〉
1	○	杵島郡大町村は、多年にわたり区長として村政に尽力したとして畑ヶ田区長岩淵貞吉と不動寺区長山崎駒吉に木杯を授与	1・24〈2〉
1	○	日赤県支部は救護看護婦生徒6人を募集。4月1日から東京本社で養成(記事と広告)	1・26〈2,3〉
1	○	「県下の弊風事項」 県教育会が調査したものを掲載。第1位は共同的觀念の欠如、第2位は時間不励行、第3位は礼儀不守	1・27〈3〉
1	○	神埼郡城田村出身の永濱順一は佐賀市椎小路に眼科を開業	1・28〈2〉

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
1	○	貝島(名)が譲渡した小城郡北多久村の柚の原炭坑の鉱業権を巡り、譲受けた共同名義人の一人が詐取しようとして紛議となる	1・28〈3〉
1	○	佐賀警察署は荷車、自転車の無灯火などで多数を検挙し、科料に付す。無鑑札の自転車が目立つ	1・28,30,31〈3〉
1	29	青島攻撃で負傷し、久留米衛戍病院で治療中の歩兵第55連隊付中尉中岡克己が死去。金鷄勲章と年金500円を授与される。2月2日、佐賀市公会堂で盛大に葬儀	1・31,2・1～3〈2,3〉
1	30	青島派遣日赤佐賀支部所属第88救護班の24人は、任務を終え佐賀駅に帰着。黒衣の制服で降り立ち、盛大な出迎えを受ける	1・29,31〈2〉
1	30	東松浦郡相知村の押川炭坑で、女坑夫が採炭中に落盤で圧死	2・2〈3〉
1	30	県内約70の日蓮宗寺院は小城郡小城町の天山閣で大会を開き、教育事業推進のため財団組織を設けることなどを審議	2・3〈2,3〉
1	○	佐賀市の新栄座は、M・バナー社制作の活動写真「欧州大戦の実況」、「青島占領の実況」などを30日から上映予定	1・30〈3〉
1	31	佐賀郡高木瀬村青年会は高木瀬尋常高等小学校で発会式。会長は同村長永淵乙松、副会長は同小学校長香月清次	1・26,2・1〈2〉
1	31	藤津郡八本木村青年会は総会を同村浜尋常高等小学校で開く。軍事講話を行う	2・6〈2〉
1	○	この月、各地で青島攻撃の帰還祝賀会や戦勝祝賀会、戦死者の招魂祭が盛大に開催される。三養基郡三川村、杵島郡山口村、武雄町、北有明村、若木村、西川登村、福治村、小田村、武内村、龍王村、佐賀郡鍋島村、同村増田区、久保泉村、春日村、西与賀村、同村今津、東川副村、北川副村、同村江上区、同村武藤区、嘉瀬村、本庄村、同村上飯盛区、兵庫村、同村藤木区、大詫間村、新北村、久保田村、松梅村、神野村、高木瀬村、川上村、佐賀郡役所、南川副村、小関村、佐賀市赤松町、今宿町、与賀町・道祖元町、岸川町、唐人町、水ヶ江町新道、小城郡牛津町、東多久村、三里村、藤津郡久間村冬野区、美野区、鹿島町、嬉野村、神埼郡境野村、西郷村、神埼町、三田川村、三瀬村、曹洞宗第3宗務所第2組杵島郡江北13寺院	1・4,5,7～19,21～23,25～31〈2,3〉
1	○	この月も青島攻撃で戦死した兵士の葬儀が行われる。杵島郡北有明村、三養基郡基山村、佐賀市	1・7,21,27,31〈2〉

教育・文化

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
1	○	佐賀新聞は懸賞文芸の入選者を発表。詩、和歌、短歌、俳句の4部門に計12人	1・1〈2〉
1	○	佐賀婦人会付属幼稚園は明治39年の開園以来、県の代用幼稚園、県師範学校の保育実習所として発展	1・4〈2〉
1	5	東多久村尋常高等小学校校友会は大会を開く。在郷軍人分会長らの講演、筑前琵琶の演奏、相撲、撃剣、徒歩競争などの余興で賑わう	1・5,7〈2,3〉
1	6	佐賀郡川上尋常高等小学校は第26回同窓婦人会を開く	1・9〈2,3〉
1	7	佐賀市川原小路の中島裁縫教授所は始業式を行う。8日は同市与賀町の私立実科女学校も	1・9,10〈2〉
1	○	杵島郡小学校長会は9日に会議を開く予定。議題は実業補習学校設置、杵島郡東部水害史編纂など5件	1・7〈2〉
1	8	佐賀郡兵庫村兵庫尋常高等小学校は校舎増築落成式を開く	1・7,10〈2〉
1	8	県神職会神埼・三養基両郡支会は合同で総会を開く。神社調査会を設置して神社の保存廃合など6件を調査し、郡長へ建議することを決める	1・11〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
1	○	佐賀郡川久保の途上社は10日、短歌雑誌『途上』第2巻第1号を発刊予定	1・8〈3〉
1	○	杵島郡町村組合会は、高等女学校令に基づく武雄高等女学校を、実科高等女学校の規程に基づく学校に4月から変更することを決議	1・9〈2〉
1	○	俸給50円以上の県内小学校教員は佐賀高等小学校長坂本清次郎、唐津小学校長福島健助ら11人	1・9〈2,3〉
1	10	佐賀郡北川副尋常小学校は第8回女子同窓会を同校で開く。国歌合唱、教育勅語・戊申詔書奉読の後、講演や余興を行う	1・14〈2〉
1	11	県は小学校本科教員講習会を開く。42人が受講、科目は物理、化学、歴史など6科目、30日に修了式	1・10,16,31〈2〉
1	11	県神職会は佐賀市八幡小路の同会事務所で学神祭を開く	1・11,12〈2〉
1	12	県内の講道館有段者と京都有段者(ママ)は柔道研究会を組織し、発会式を佐賀市公会堂で開く。幹事は内田清一	1・12,14〈2〉
1	○	元武雄高等女学校長太田久武は退隠料280円を支給される	1・12〈2,3〉
1	○	佐賀商船学校は特待生に機関科坪上壽一、航海科木下富太ら6人を選考	1・12〈3〉
1	15	有田工業学校助教諭心得松隈半一は、文部大臣から工業学校兵式体操教員として認可される	1・19〈2〉
1	○	佐賀中学校助教諭心得井手健吉は同校教諭に任命される	1・15〈2〉
1	16	佐賀市立成章高等小学校第3回卒業生が組織する28同窓会は、同市の千代田館で学校創立20周年の記念大会を開く	1・18〈2〉
1	○	小城郡北山村の合瀬幸一は同村尋常高等小学校増築費として16円77銭を寄付し、賞状と木杯を授与される	1・16〈2〉
1	18	杵島郡武雄町外6ヵ村立武雄高等女学校教諭に佐賀中学校教諭武井孝之助が任命される。月俸55円	1・20〈2〉
1	18	佐賀師範学校は31日まで寒稽古。鹿島中学校は20日から、小城中学校は21日から10日間実施	1・19,2・1〈2,3〉
1	○	県は通俗教育調査の結果を文部省に報告。通俗講演会の実施状況、通俗巡回文庫規程と事業、青年会・婦人会の指導内容と事業を各郡ごとに掲載。通俗講演会は2年度18回、3年度98回実施、毎回の聴講者は500人～2000人に及び延人数は11万6000人を超える	1・19,22〈2〉
1	○	佐賀図書館の憲法、議会、政党に関する蔵書は、美濃部達吉『政法講話再版』、副島義一『日本帝国憲法論』など多数	1・20〈2〉
1	22	県教育会は藤津郡多良村小学校で通俗講話会を開く、聴衆約1500余人。27日は五町田尋常高等小学校で開き、聴衆は1000人を超える	1・22,25,30〈2〉
1	24	佐賀郡与賀部教育会を西与賀尋常小学校で開く。訓導による福岡県の学校視察報告や歩兵第55連隊中尉の講話などを実施。会員約50人が出席	1・26〈2〉
1	○	小城郡は郡内町村学事主任・書記会を29日に同郡役所で開く予定。協議事項は就学出席督励に関する件	1・26〈2〉
1	28	早稲田大学評議員・早稲田中学教頭中野禮四郎が来佐、岸本内務部長を訪問し教育について意見交換	1・29〈2〉
1	29	佐賀市教育会は4年度第1回常集会を市公会堂で開く。野口政雄「国民教育と武技」など7人が講話、小学校教員80余人が出席	1・22,30〈2〉
1	30	佐賀市内の琵琶愛好家は、京都臯正会佐賀支部の発会披露琵琶演奏会を同市の称念寺で開く。多数の観客が詰めかける	1・30,2・1〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
1	30	小城中学校の生徒全員は元気養成を目的に、佐賀郡川上村今山地区でウサギ狩を行う	2・2〈2〉
1	31	長谷川良之らは、佐賀中学校嘱託教師吉岡俊平の追悼会を佐賀市公会堂で開く	2・1〈2〉
1	31	佐賀郡兵庫部教育会は視察会を兵庫尋常小学校で開く。授業研究会や支部の会計報告などを行なう	2・3〈2〉

その他

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
1	○	「現実暴露の日本」 伯爵大木遠吉、佐賀師範学校長森山辰之助ら3人が第1次世界大戦下の年頭所感を述べる	1・1〈3〉
1	○	「昨年の本県社会」3年の県内略年表を掲載。1月鹿児島県桜島爆発で県内にも降灰、2月佐賀図書館開館、佐賀市勸興小学校落成式、3月松田正久死去、5月昭憲皇太后死去のため各官庁と学校で遥拝式、6月衛生展覧会、7月歩兵第55連隊練兵場で飛行大会、8月歩兵第55連隊に動員令下る、高潮被害で有明海沿岸は惨状を極める、12月青島攻撃戦で戦死した歩兵第55連隊73人の招魂祭を実施など	1・1〈4〉
1	○	短編小説 「新旧思想」 山崎荷葉	1・1〈5〉
1	○	九州鉄道管理局鳥栖運輸事務所の営業実績(3年) 旅客、石炭の輸送は増えたが、一般貨物は減少。乗車人員、発送貨物数量などを各駅ごとに掲載	1・1〈9〉
1	4	皇居で政治始式をおこなう。宮内大臣波多野敬直が祭祀文を朗読	1・5〈2〉
1	4	佐賀市出身の医学博士青木大勇の歓迎会を同市の楊柳亭で開く	1・7〈2〉
1	○	佐賀図書館の年間利用状況(3年) 閲覧者6万8014人、うち図書閲覧3万6967人、新聞閲覧3万1047人、開館日数262日	1・5〈2〉
1	○	旅順工科学堂を県出身の楠田喜久、宮崎猪三郎ら5人が卒業	1・7〈2〉
1	○	肥前米・肥前麦の移出統計(3年12月) 検査総数は玄米3万1783俵、白米5万963俵、小麦2万5139俵	1・8〈3〉
1	○	県内屠殺家畜数(3年12月) 牛333頭、馬76頭、豚24頭	1・8〈3〉
1	○	県物産陳列場の事業内容(3年7月10日～12月31日) 来館者総数3万4911人、1日当たり195人。委託販売総売上865円、第1位は陶磁器370円、2位は菓子89円、3位は織物80円	1・9〈2〉
1	○	県内1000石以上の酒造業者(2年) 藤津郡の瀬頭平八・3634石、佐賀郡の古賀文一郎・2571石など10人	1・10〈2〉
1	11	県出身の薬学博士田原良純に正4位を叙任(叙任・辞令)	1・15〈2〉,〈官報〉
1	○	林業講習会の町村別実施状況(3年) 12町村で実施、受講生398人	1・12〈2〉
1	○	佐賀市役所は、市内街路の便所、佐賀商業学校、市立小学校など26カ所分の下肥を売却するため18日に入札予定(広告)	1・12,13〈3〉
1	○	県内産業組合の現状(1月現在) 総数171。うち活動中の組合は152、組合員数1万2325人、出資総額22万3240円、貸付金45万3510円、貯金20万6160円、主要販売品は陶磁器と米	1・13〈2〉
1	14	米価 諸富出来値 佐賀郡新米3.4斗入り 3円85銭 米本屋	1・15〈3〉
1	14	海軍大学校教官に海軍艦政本部海軍中佐橋本虎六、造兵監督官に同本部海軍少佐東島猪之吉を任命(叙任・辞令)	1・16〈2〉,〈官報〉
1	○	県内公私立学校の経常費と生徒定員(3年度) 佐賀商業学校1万4622円・350人、伊万里商業学校3908円・50人、伊万里幼稚園600円・80人など18校	1・14〈2〉

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
1	16	東松浦郡名古屋村出身の大分県農業技師名古屋常治は奈良県農業技師に転任。佐賀農学校第1期卒業生で元県農業技手	1・22〈2〉
1	○	県肥料検査所分析件数(3年度) 総数299件、無機質調合肥料128件、有機質調合肥料43件、過磷酸15%39件など	1・16〈2〉
1	○	漁業免許出願件数(15日現在) 東松浦郡13、佐賀郡61、杵島郡5、小城郡6、藤津郡13、神埼郡2、西松浦郡2。有明海沿岸はカキなどの養殖、東・西松浦は網類による漁業が主	1・16〈2〉
1	○	県出身の青木大勇は東京帝国大学医科大学で、古賀玄三郎は京都帝国大学医科大学で、医学博士の学位を取得	1・17,28,30〈2〉
1	18	県出身の田中通信省通信局長が来佐、佐賀中学同窓生有志は佐賀市の楊柳亭で歓迎会	1・19〈2〉
1	18	元県議員加藤十四郎が三養基郡三川村に帰郷し、有志は歓迎会を開く。雄弁家として有名、米国シアトルの旭新聞社主筆	1・22〈2〉
1	20	雑誌『能楽』の元記者で大分県竹田中学校長鈴木暢幸は、小城中学校を学事視察	1・23〈2〉
1	○	東松浦郡唐津町出身の前朝鮮忠清北道視学関根義幹は、病気のため退職し帰郷	1・22〈2〉
1	○	福岡県久留米市の第18師団は招魂祭を2月1日に予定。同師団の戦没者は291人、うち県関係の戦没者は38人	1・22〈2〉
1	○	3年7月～12月までの県出身の獣医免許取得者は4人、蹄鉄工1人	1・24〈2〉
1	○	愛国婦人会員数(3年12月) 県内総数1万252人、11月比で105人増加	1・24〈2〉
1	25	陸軍歩兵第17連隊大隊長陸軍歩兵少佐永田小太郎は歩兵第63連隊付に転任など、3人が転任(叙任・辞令)	1・29〈2〉,〈官報〉
1	○	赤十字社員数(3年12月) 特別社員229人、正社員1万7327人	1・25〈2〉
1	○	東洋拓殖会社募集の第5回朝鮮移民は申込総戸数1940、承認数851戸。県内の申込92戸、うち承認61戸	1・25〈2〉
1	○	小城郡牛津町出身の前横浜地方裁判所検事佐藤適は、長崎県佐世保市助役に推薦される。有力候補者の一人	1・26〈2〉
1	○	県出身で横浜正金銀行ボンベイ支店在勤の野口能敬は、同銀行ロンドン支店に転勤	1・26〈2〉
1	○	「本県下の富豪」 米400石以上収穫した者と田畑100町歩以上所有する者の氏名を掲載。収穫では弥富モト2424石、八坂甚八1725石、伊丹弥太郎1583石、水田所有では弥富モト232町、八坂甚八142町など	1・27〈2〉
1	28	県内から生業の目的をもって北海道に移住する者に、汽車や汽船の割引券を下付(県訓令)	2・1〈2,3〉
1	○	輸出審査米の成績(3年12月) 優等は鳥栖、西今宿、多良など9カ所、良好は有田、廻里津など6カ所、やや佳は中原、嬉野など5カ所、劣等または不合格は佐賀市唐人町、唐津など4カ所	1・30〈2〉
1	○	この月、会社、銀行の営業報告を多数掲載(広告) 九州電燈鉄道(株)第37回、(株)唐津銀行第58期、鹿島銀行第39期、(株)古賀銀行第33期、(名)兄弟銀行第14期、(株)肥前貯蓄銀行第11期、(株)栄銀行第65期、(株)伊万里銀行第66期、大串銀行第28期、(株)小城共済銀行第13期、(株)武雄銀行第43期、(株)西海商業銀行第34期、(資)小城銀行第33期、(株)佐賀百六銀行第34期、(株)佐賀貯蓄銀行第37期、(株)有明銀行第32期、(株)杵島銀行第7期、(株)神埼実業銀行第7期、(株)塩田銀行第10期、(株)県農工銀行第34期、川上軌道(株)第5回、地所(株)第43期、佐賀信託(株)第2期	1・1〈7〉,16~28,30,31〈3,4〉

国内・国際

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
1	○	この頃、中国の青島では日本人が3000人に増え、戦争前の景氣に戻る	1・1〈2〉
1	6	「明治天皇紀」の編纂事務が始まる	1・9〈3〉
1	7	首相大隈重信の内務大臣兼務を解き、内務大臣に農商務大臣大浦兼武、農商務大臣に河野広中を任命	1・8〈2〉
1	9	元帥の称号を長谷川好道、貞愛親王、川村景明の陸軍大将3人に与え、元帥府に列す(叙任・辞令)	1・11〈2〉,〈官報〉
1	○	前陸軍大臣楠瀬幸彦は、大隈首相の帝国軍人後援会を利用した選挙運動を批判	1・9〈1〉
1	○	立憲同志会は大石正巳引退後の高知県選挙区候補者に、大蔵次官浜口雄幸を決める	1・11～14〈1,2,3〉
1	○	中国政府は、交戦区域の撤廃と日本兵の撤退を要求	1・12,14,16〈1,2〉
1	13	畜産組合法を公布(法律)	1・15〈2〉,〈官報〉
1	13	大雪のため北陸線、奥羽線、信越線で列車が立ち往生、乗客3人が凍死	1・18〈3〉
1	○	農商務省は農産加工品の輸出を増やすため、農家副業を奨励することを各府県に示達	1・13〈1〉
1	○	大隈内閣与党の同志会、中正会、大隈後援会などは各派連合選挙事務所を設置	1・13〈2〉
1	○	農商務省は、米価下落で農民の事業経営が困難となっているとして、産業組合の活用、果実・蔬菜・畜産物の販路開拓など10項目を各知事に示達	1・14〈1〉
1	○	政友会は次期総選挙方針を各支部に通知、候補者は前職優先の方針	1・15〈1〉
1	○	武富時敏、尾崎行雄らは総選挙後に大隈党の設立を画策▽	1・15〈1〉
1	○	日本政府派遣の日本赤十字社英国救護班の看護婦一行は、ニューヨークに到着、大歓迎を受ける。13日に交戦地へ向かう予定(ニューヨーク電報)	1・15〈2〉
1	○	第35議会の予算審議の際に政友会を脱党した長谷川敬一郎ら4人の代議士は、立場を失い復党の交渉をしている者もいる▽	1・15〈2〉
1	○	帝国農会は2年度全国農事調査の結果を報告。農家戸数は自作174万4801戸、小作152万922戸、自小作217万7995戸で自小作農家が著しく増加、田畑の牛馬耕が増加など	1・17〈1〉
1	18	日本は中国に対して21カ条の要求を提出(以下「21カ条要求」)。佐賀新聞は「日置公使は18日袁総統を公式に訪問し、両国間の重要問題につき人を避けて密議を凝せり、此会合の結果は一般に非常の注意を惹きつつあり(北京電報)」と報道	〈近代日本総合年表〉 1・20,21,23～26,28 〈1,2〉
1	19	立憲同志会の島田三郎は安達謙蔵らの党運営に反発して脱党	1・22〈2〉
1	○	大隈重信後援会は、「大隈伯の政策に感謝せる候補者は其政派の所属無所属たるとを問わず之を援けて其當選を期すること」を決議▽	1・19〈2〉
1	○	別格官幣社靖国神社に合祀された「英霊」は、第1回の戊辰戦争から第38回の台湾原住民制圧戦まで合計11万8568柱。3年の春季例祭で「日独戦争」戦死者900余人を加える予定	1・21〈1〉
1	○	大隈重信後援会員の中には、同会の政治団体化に抗議して内紛が生じ、脱会する者が出ている▽	1・21～23,29,31〈1〉
1	22	地方官会議を開催。大隈重信は、議員の多数が国防の充実と財政の改善を求める政府案に反対したが、国民多数の意思を代表していないと判断したため衆議院を解散したと述べる	1・17,23～25,31 〈1,2〉
1	○	「東京より」一記者「総選挙ではどの政党が勝っても良いが、外交下手な官僚駆逐、元老を撲滅し天下を立憲国とすべし」と主張	1・22〈1〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
1	24	米価調節令を公布(勅令) 大蔵大臣は米価調節のため、必要と認める時は米の買入れ、交換、または売渡すことができると定める	1・24~26,28〈1,2〉, 〈官報〉
1	25	広島県の芸備鉄道のトンネル工事現場で崩落事故、作業員6人が埋没し死亡	1・27〈3〉
1	○	青島在住の日本人は4160人、うち営業を許可された者974人	1・25〈1〉
1	26	公立学校職員分限令を定める(勅令)	1・22〈1〉,〈官報〉
1	26	青森県三戸郡の劇場で火災、大阪の俳優8人が焼死	1・28〈3〉
1	○	「政友会報告書」 3回 第35回帝国議会の審議内容を報告、内閣の産業奨励、教育振興策は殆ど見るべきものが無いと批判	1・26~28〈1〉
1	27	青島から大阪俘虜収容所に、新たにドイツ人捕虜159人が到着	1・28〈2〉
1	28	アメリカのウィルソン大統領は、移民に試験を受けさせ合格者のみ入国を認めるという新移民法案を否認し、その旨を議会に回答	2・2〈2〉
1	○	大隈内閣は今回の総選挙で、犬養毅が率いる国民党に対しても政友会に対してと同様に圧迫を加えている▽	1・28〈1〉
1	29	国内に収容のドイツ人捕虜は、将校219、准士官・下士卒4401、合計4620人。うち久留米536、福岡849人	2・1〈2〉
1	○	渋沢栄一、田健次郎らは南洋協会の設立を計画、30日に創立総会を開く予定	1・29〈1〉
1	30	日本の駐中国公使日置益は21カ条要求について、総統袁世凱に回答を督促した由	2・2〈2〉
1	○	文部省は工業学校と徒弟学校での女子教育の必要性を認め、法令改正に向けて調査中	1・30〈1〉
1	31	次期総選挙に向け、同志会の武富時敏、大浦兼武、河野広中、中正会の尾崎行雄らは内務大臣官邸で秘密会議を開き連携を強化	2・2〈2〉
1	○	文部省は直轄学校の授業料を年額20円から25円に値上げ	1・31〈1〉

政 治

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
2	5	歩兵第55連隊佐賀衛戍病院長に陸軍3等軍医正榎本尚治を任命(叙任・辞令)	2・9〈2〉,〈官報〉
2	6	全国を騎馬旅行中の陸軍大将福島安正が来佐、佐賀中学校、成美高等女学校などで訓話。7日、歩兵第55連隊で訓示、江藤新平の墓を参拝。神埼郡や三養基郡でも郡内の児童・学生・住民らに訓話	2・3,5, 6～8〈2,3〉
2	8	前青島攻撃軍参謀長山梨半造が来佐、歩兵第55連隊や市内官公庁を訪問	2・9〈2〉
2	○	杵島郡東部の北方村以东30カ村は戸籍法研究会を組織し、会則全13条を定める。改正戸籍法・寄留法の公布に伴い、事務の統一と法令の趣旨を徹底するため	2・8〈2,3〉
2	13	警察署長会議を開き、総選挙取締対策を協議、15日まで。同日は管内検事会議も開く	2・14,15〈2〉
2	13	県技手兼水産技手吉津常蔵は県技師兼水産技師に昇任、年俸600円(叙任・辞令)	2・17〈2〉,〈官報〉
2	○	佐賀市役所書記久保久七を佐賀郡神野村助役に認可	2・13〈2〉
2	15	県会議員佐賀郡選挙区の吉武豪の死去に伴う補欠選挙を実施、立憲同志会県支部推薦の野口勘三郎が1982票で当選(県告示)、次点大坪忠節ら4人6票。有権者総数6526人、うち棄権者4524人	2・14,16,17〈1,2〉,〈県公報〉
2	15	休職中の杵島郡長中島五十男は依願免官(叙任・辞令)	2・16〈2〉,〈官報〉
2	15	警部桃崎伸一を警察部保安課勤務に命じるなど警察官8人が異動	2・16〈2〉
2	15	小城郡牛津町は町会を開く。4年度予算額は1万3374円	2・23〈2〉
2	16	杵島郡武雄町長に中島五十男を認可	2・18〈2〉
2	○	「神聖なる選挙」 仁木県警察部長談 総選挙取締方針を掲載。日当と選挙事務所内の酒を禁止、弁当は1人20銭以内など	2・17〈2〉
2	○	第18師団の2、3月の事業予定表を掲載。同師団の青島出兵戦死者のうち歩兵第46連隊78人、歩兵第48連隊161人、歩兵第55連隊74人などを靖国神社に合祀の予定	2・17,24〈2〉
2	19	佐賀市参事会を開く、佐賀監獄署位置移転請願書、元日新小学校敷地払い下げなどを審議。請願書を掲載	2・20〈2〉
2	19	前衆議院議員長谷川敬一郎は政友会県支部幹事会に出席	2・20〈2〉
2	○	福岡連隊区徴兵署管内の東・西松浦郡内の徴兵検査の対象者は6268人、検査日程は4月16日～6月25日、抽選日は東松浦郡6月4日、西松浦郡12日の予定	2・19〈2〉
2	20	佐賀市会が27日まで開会。水道敷設工事の工期を5年3月まで1年延長したことに伴う国庫補助申請などを審議。工事予算総額10万5722円	2・19,21,27,28, 3・1〈2〉
2	20	県参事会を開催し、4年度予算追加議案と伊万里警察署撃剣道場1棟を処分する議案などを決議	2・21〈2〉
2	○	衆議院議員選挙有権者数(2月現在) 佐賀郡4773、神埼郡2405、三養基郡2165、小城郡3074、東松浦郡5408、西松浦郡2760、杵島郡4276、藤津郡2407、佐賀市749、合計2万8017人	2・22〈2〉
2	24	逋信大臣武富時敏が帰県、歓迎会を25日に佐賀市の楊柳亭で開く	2・23～27〈2〉
2	25	立憲同志会(県支部▽)の発会式を佐賀市の喜楽座で開く。主な出席者は狩野雄一、栗山資四郎、二位景暢、永野静雄。豊増龍次郎は大隈内閣の外交方針、武富時敏は同内閣の増師の必要を演説	2・26〈2〉
2	26	立憲同志会県支部は、佐賀市選挙区に豊増龍次郎、郡部選挙区に武富時敏、西英太郎、井原喜代太郎の推薦を決める	2・27〈2〉

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
2	26	早稲田大学教授・法学博士副島義一は、政見発表演説会を3月23日にかけて6回にわたり佐賀市の劇場や寺院で開く(記事と広告) 副島や各応援弁士は大隈党であることを力説。佐賀新聞は演説会の内容を大々的に報道	2・26～3・3,20～24 〈1,2,3〉
2	○	佐賀市内の有志者、早稲田大学校友有志者らは同市選挙区の候補者として副島義一を推薦(記事と広告) 大木遠吉、三宅雪嶺、頭山満、犬養毅らも賛同	2・26～3・3〈1,2〉
2	27	佐賀市は営業税調査委員選挙を実施、深川米一郎ら20人が当選	3・1〈2〉
2	○	久留米連隊区管内徴兵署は、三養基郡は5月5日～10日に鳥栖町の神覚寺、神埼郡は13日～17日に神埼町の妙光寺で開設予定	2・27〈3〉
2	28	東松浦郡相知村長峯焔は老年の理由で辞職。50余年勤務、退職慰労金2500円を支給される	3・12,21〈2〉

経 済

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
2	1	佐賀郡は農事講習会を高木瀬村で開く。受講者92人、4日まで。久保田村・嘉瀬村合同の講習会は8日～11日に開く予定	2・6,10〈2〉
2	2	佐賀市は水道管の入札会を実施、3回目に佐賀市の谷口鉄工場が12万8506円で落札。参加業者は同社の他に釜石鉄工場、大阪鉄工場、大阪久保田鉄工場、神戸川崎造船所	2・2,13〈2〉
2	○	佐賀市内の4年度特設電話の架設費用寄付は、1台につき65円	2・2〈2〉
2	5	佐賀印刷(株)取締役森長次郎が退任、後任は佐賀市与賀町の内田清一(公告)	2・21〈3〉
2	○	佐賀郡内各村の稲株切断終了検査日程は、10日～16日の予定	2・5〈2〉
2	○	この頃、各地の米券倉庫に米の入庫が相次ぐ。小城郡東多久納所、同郡三日月支庫、杵島郡北方など	2・5,9〈2〉
2	6	小城郡農会は第6回水稻品評会兼第1回桑園品評会を小城町の天山閣で開く。1等賞は水稻では芦刈村の南里辰次郎ら3人、桑園では三日月村の米満鹿太郎ら9人	2・2,8〈2〉
2	○	県内の米価は米価調節策発表の結果、4年初めに比べ1俵につき50銭程度上昇。三養基、杵島、藤津各郡米は東京市場からも注文がある	2・6〈2〉
2	○	佐賀市松原町の富永与一郎ら2人が出願していた宮崎県南那珂郡での石炭試掘願など4件が認可される	2・7〈2,3〉
2	9	岸本県内務部長は真崎鉄工場と古賀銀行の実況を視察	2・10〈2〉
2	○	「県立農事試験場1月分月報」 気象、作業、害虫、作況を紹介	2・9〈2〉
2	10	佐賀商業会議所は議員の半数改選と補欠選挙を実施。佐賀セメント(株)など3社、野中萬太郎、福田慶四郎ら10人を選出	1・31,2・11〈2〉
2	10	佐賀米穀取引所は臨時株主総会を開き、監査役に川原善太郎、大島貞七、甲斐熊彦を再選	2・11〈2〉
2	10	玉木県技師と福富神埼郡農業技手は、同郡農会主催桑園品評会第2期審査と郡内養蚕組合事業調査の実地調査を行う	2・13〈2〉
2	○	3年中に県内で肥料取締法違反で検挙された者は11人、うち県内営業者は8人で、無免許・無認可または手続違反が多い。県外の者は全て肥料に虚偽の保証票を添付し悪質	2・10〈3〉
2	11	肥前貯蓄銀行は従来の杵島郡山口村の本店を山口支店とし、本店機能を佐賀市白山町の佐賀支店に移転(公告・広告) 頭取は古賀善兵衛、古賀銀行が株式の8割以上を所有	2・8～11,16〈1,2,3〉

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
2	11	県農会は改元記念第3回五石懸賞会の褒賞授与式を市公会堂で行なう。受賞者は佐賀郡東与賀村の高園岩吉6石6升3勺など、佐賀郡が5人を占める	2・10,11,13〈2〉
2	○	県内の1月1日現在の砂糖製造場は7カ所、3年に比べ2カ所増加	2・11〈2〉
2	13	農商務省山林局長岡本英太郎と熊本大林区所長橋口正美は、事務視察のため来佐	2・14〈2〉
2	13	杵島、藤津、西松浦3郡連合酒造組合は、清酒用麴品評会の褒賞授与式を行う。優等は藤津郡八本木村の中島政平ら3人	2・16〈2〉
2	13	九州製薬(資)を三養基郡鳥栖町に設立し登記(公告) 目的は売薬の製造と販売、代表社員古賀哲郎、設立は3年12月6日	2・17〈3〉
2	15	佐賀郡金立村西千布養蚕組合は蚕業講習会を開く、期間は5日間	2・13,21〈2〉
2	○	「徳禽に就いて」 山田真 農家の副業に養鶏を勧める	2・15〈2〉
2	16	南洋の陶磁器業の調査を囑託された藤津郡の堤清一と緒方久吉は長崎港から出発、神戸で西松浦郡の青木甚一郎、蒲地徳一と合流する予定	1・17,2・17〈2,3〉
2	16	筑後川の豆津橋架橋開通式を両県民懇親会の名目で、福岡県久留米市で開く。橋は3年12月末に竣工したが、式の実施時期で折り合わず、三養基郡北茂安村が同月30日に単独で開催、久留米市が反発していた ※新聞は、架橋工事竣成日を30日と31日の双方で掲載	2・18〈2〉
2	○	「優良産業組合成績」 3年の事業成績が優良な産業組合を掲載。藤津郡古枝村信用組合、東嬉野村下野信用購買組合、多良村多良町信用購買組合、多良村信用購買販売組合、神埼郡東脊振信用購買販売生産組合、境野村下西信用購買販売組合、杵島郡橘村片白信用購買販売組合、西川登村神六信用購買販売組合、同村弓野信用購買販売組合、北方村北方信用購買販売組合、須古村馬田信用購買販売組合、武雄町信用販売購買組合、西松浦郡有田村外尾信用購買販売組合、有田町有田陶磁器信用購買組合、東松浦郡鬼塚村山田信用購買販売組合、三養基郡鳥栖町轟木信用購買販売組合、小城郡東多久村二位所信用購買販売組合、佐賀郡松梅村名尾信用購買販売組合	2・16,18,22,24, 3・1,2,15,16,18〈2〉
2	17	長崎県農会技師ら5人は県農会や佐賀市高木瀬村の永淵清次郎の稲作などを視察。埼玉県からも農事視察で来佐	2・18〈2〉
2	17	西松浦郡伊万里町に旭織物(資)を設立(公告) 織物の製造販売、代表社員は同町の前田官治	2・20〈3〉
2	○	「藤津郡農会一斑」 同農会の4年度事業計画を掲載。水稻各種品評会の実施、農事調査の実施など11項目	2・17〈2〉
2	18	佐賀商工会の吉村吉郎、木下猪之助、東島定一は、荷車積載量増加を二木県警察部長に再度陳情。3年8月に佐賀商業会議所と連名で陳情書を提出していたが、改正されなかったため	2・19〈2〉
2	18	南洋貿易会社は株主総会を開き、取締役社長に田中丸善蔵を選出、資本金を50万円に増資。役員名簿を掲載、本社は東京市京橋区	2・22,26〈2〉
2	○	佐賀市内の3年の白・玄米価格の動きは、1月の1石当り17円96銭が次第に下落し、12月には11円70銭となる	2・19〈2〉
2	○	西松浦郡農会は4年度予算総額4830円を決定。各村農会への分賦額は耕地1反に付き1銭2厘59	2・19〈2〉
2	20	佐賀郡役所が希望者に有料で配布している桑苗は20万本に達する。1本4厘7毛	2・21〈2〉
2	20	佐賀米穀取引所の元仲買人北島徳一は、取引所法の改正により運営が安全となり基礎が強固になったとして、仲買免許を再取得。22日には同鴨打亀一郎も再取得	2・21,25〈2,3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
2	20	朝鮮海出漁組合代議員会は、職務精励の出漁者として佐賀郡西川副村の江口幸三郎、藤津郡八本木村の中川太七ら6人を表彰	2・25〈2〉
2	20	佐賀郡東与賀村實久で農事研究会が始まる。同村の高園岩吉が六石田懸賞に当選したことが契機。村内の各戸主、青年会員約40人で組織	3・10〈2〉
2	22	県農会は土壤肥料講習会を農事試験場で開く。28日まで、対象は農業技術者と農学校卒業者	2・10,21,28〈2,3〉
2	22	東松浦郡農会は桑樹栽培講話会を23日まで同郡鏡村の常楽寺で開く。26日～3月1日は鬼塚村	2・17,26〈2,3〉
2	22	肥前米麦輸出組合事務所は、県令で1俵の容量を4年産米から4斗に改訂するよう知事あてに再度請願書を提出	2・23〈2〉
2	○	佐賀郡内各村の農事講習会の開催日程は、21日～3月30日まで。期間は4日間	2・22〈2〉
2	○	長崎線牛津駅の拡張工事に伴う用地買収が完了、工事は3月末までに終了の予定	2・23〈2〉
2	24	神埼郡農会は第6回藁細工物・第3回苗代水稻・第1回拔穂・第6回桑園品評会を、同郡神埼町の曙座で開催。出品は藁細工物442、苗代125、水稻123、拔穂169、桑園2711点	2・23,25,26〈2〉
2	25	12組合で構成する藤津郡産業組合協議会は、県購買販売組合連合会への加入を決議。花筵製造、麦稈製造、養鶏事業の調査員を派遣するよう郡に要請	2・28〈3〉
2	26	県農会は4年度第1期肥料共同購入事業の指名入札を行う。同事業は明治40年から始まる	2・20,27〈2〉
2	○	肥前米麦輸出組合による各地区の1月審査成績は、優等は鳥栖、西松浦郡有田、杵島郡廻里津など11カ所、良好は三養基郡基山など3カ所、佳は三養基郡中原、藤津郡浜、佐賀郡久保田など18カ所	2・26〈2〉
2	○	坑主古賀製次郎らの多久鑛業(株)東多久炭坑は、坑夫350、事務員27、準属員16、坑外日役200人。第1坑は堅坑、第2坑は斜坑。1日の出炭量15万斤、馬車で唐津線東多久駅に輸送し、西唐津の三菱唐津支店に送出	2・26〈2〉
2	27	肥後九州通信局長は知事らとともに、佐賀市の谷口鉄工場と真崎鉄工場を視察	2・28〈2〉
2	27	農業技術員設置奨励金交付規程を定める(県告示) 郡費負担で農区に農業技術員を常置の場合、郡に人件費を補助、1農区1人150円、63農区	〈県公報〉
2	28	西松浦郡南波多村に原屋敷(資)を設立(公告) 目的は貸金営業、代表社員は同村の古賀九右エ門と岩永松蔵	2・26〈3〉
2	28	佐賀郡中川副・南川副・西川副3村は合同で、農事講習会修了証書授与式を西川副村の浄満寺で行う。修了生166人	3・4〈2〉
2	○	朝鮮海出漁組合の朝鮮迎日湾支部長梅本庄太郎は、3年の大敷網による漁獲物の数量と金額を県に報告。太刀魚6万5000匹・1950円、カツオ700匹・56円など。金額合計2082円	2・28〈3〉

社 会

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
2	1	佐賀郡神野村の伝染病隔離病舎が完成し、落成式を行う。建設費3215円	1・31,2・3〈2,3〉
2	1	佐賀鍋島家は、青島攻撃で戦死した佐賀郡新北村の陸軍歩兵上等兵の遺族に祭祀料10円を贈る	2・3〈2〉
2	○	佐賀衛戍病院に入院中の患者は、戦地還送患者3、その他11人。戦地還送患者は累計で113人、うち戦傷67人、疾病46人	2・1〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
2	2	去風流活花会は、青島帰還会員のための祝賀花会を佐賀市の杉谷熊吉方で開く	2・5〈2〉
2	○	1月の海外渡航者は男20、女6、計26人。渡航先は米国12、ウラジオストック5など	2・2〈3〉
2	3	2年～4年までの佐賀市の室園遊廓関係死去者11人の供養を、同市今宿町の専光寺で行う。	2・6〈3〉
2	4	県は、佐賀郡川上村が集めた3年高潮被害義捐金51円を杵島郡、藤津郡など4郡に分配	2・6〈2〉
2	○	佐賀市蓮池町の大間清吾は、佐賀商業学校に校旗を寄付したとして、知事から賞状と木杯を授与される	2・5〈2〉
2	○	この頃、佐賀市の新栄座(株)で株主の重役派と反重役派の間で内紛が発生、新ヶ江助次郎が仲裁中	2・6〈2〉
2	8	佐賀郡役所は、青島攻撃での戦死者7人の遺族に金鵄勲章と白色桐葉章を伝達	2・9〈2〉
2	8	正進会は例会を佐賀市公会堂で開く。演説は松本常太郎の「精神修養」、馬場清吉の「佐賀かたきと発展」など	2・10〈2〉
2	○	佐賀市の新栄座は、島津鷺城一行活動写真会が好人気。9日は陸軍大将福島安正の講話と歓迎の様子、取引所、県庁前、各新聞社、銅像園などの実写真を上映の予定	2・9,10〈3〉
2	○	この頃、佐賀市伊勢屋本町の大神宮、八幡小路の楠公神社、佐賀郡金立村の金立神社は例祭を開く。4年から楠公神社例祭の主催者は、市内の有志者から神職会に変更	2・9,10,11,13〈2〉
2	10	鹿島中学校は青島攻撃で戦死した同中学出身の岡千太郎の追悼会を開く。生徒数人が感激して岡の実家の小城町まで徹夜で歩き、墓参	2・13〈3〉
2	○	1月現在の県内の遊郭は6カ所、娼妓の総数は391人。うち有病者74人	2・10〈3〉
2	11	内務省は、救済事業の成績が良好の理由で佐賀孤児院に助成金を下付	2・28〈2,3〉
2	13	神埼郡神埼町は青島攻撃で戦死した4人の追悼式を同町の櫛田神社で行う	2・10,15〈2〉
2	15	学士会は例会を佐賀市蓮池町の同会倶楽部で開く。晩餐の後、囲碁、玉突を楽しむ	2・3,17〈2〉
2	15	県内の本願寺派寺院は集会を開き、本山の不祥事に対する改善策が計られつつあるとして、本山現内局を後援する趣意書を発表	2・17〈2〉
2	15	3年5月の台湾原住民制圧の際に病死した杵島郡福治村の池上祐作に、慰問金450円が下賜される	3・5〈2〉
2	○	中原～三河内間の駅員約70人は15日、佐賀駅集会所で精神講話会を開く予定、講師は佐賀市精町の善定寺住職木山定生。16日は福岡県久留米の蓮行寺の蓮尾蓮乗の予定	2・15〈2〉
2	○	佐賀で発刊中の『佐賀公論』は3月1日から『佐賀実業新聞』と改題	2・15〈2,3〉
2	○	西松浦郡有田町の幸座は、大阪浄瑠璃の竹本春子太夫一座の興行を24日に行う予定	2・15,20〈3〉
2	17	海軍工廠工学博士吉村長策ら3人は佐賀市役所で水道設計図を閲覧、旧城内と柳町の水源地を視察	2・18〈2〉
2	17	曹洞宗婦人会は幹事会を佐賀市赤松町の龍泰寺で開く。常任講師の推薦、会員拡大などを協議。講話会を20日に開く。会員約90人	2・18,22〈2,3〉
2	17	杵島郡神職会は大正天皇即位祝賀巡回講演会を郡内各神社で始める。巡回講師は毛利龍一	3・4〈2〉
2	○	川上軌道(株)娯楽場で18日から3日間、素人浄瑠璃大会を開く予定	2・17〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
2	○	産業組合県支会は3年8月の暴風雨高潮被害の産業組合12組合に、義捐金259円を配布	2・17〈2〉
2	○	この頃、各地で消防点検を実施。神埼郡城田村、杵島郡福治村、六角村、三養基郡中原村、神埼郡蓮池村、三瀬村	2・17,23,27〈2,3〉
2	○	佐賀郡川上村の実相院が主催する福岡県篠栗への新四国参詣団は、佐賀駅を22日出発、27日帰着予定。団員は約500人	1・28,2・18〈2〉
2	19	佐賀市の新栄座で新派劇の村田正雄一座が開演、佐藤紅緑作「俠艶録」など27日まで日替わりの演目で大好評。一座は16日に前上演地の朝鮮の大邱を出発、17日来佐	2・13,17,18～27〈3〉
2	20	愛国婦人会佐賀支部などは、戦禍のベルギーに対する募金を募集。日本婦人ベルギー同情会長鍋島直夫人の依頼にもとづくもの	2・21〈2〉
2	20	収賄容疑の元牛津警察分署長に、懲役8月の判決が下る	2・21〈3〉
2	21	有田源一郎の追悼会を杵島郡武雄町の西福寺で開く。旧武雄呂郷士、武雄銀行頭取、衆議院議員などを歴任	2・22〈2〉
2	21	九州帝国医科大学で開かれた耳鼻咽喉科九州大会に、県から西村八郎と吉岡猛が出席	2・23〈2,3〉
2	○	佐賀市郡と神埼郡の酒造組合は、元県議員吉武豪の追悼会を佐賀郡西川副村の善通寺で23日に開催の予定	2・21〈2〉
2	22	佐賀市の大園治右衛門が死去、佐賀運輸店主(広告)	2・23,24〈3〉
2	○	小城郡三日月村の勝妙寺住職神代智明の発起による天晴会は、例会を佐賀市の楊柳亭で23日に開く予定	2・22〈2〉
2	○	故川崎伊吉の追悼会を杵島郡錦江村の潮音寺で28日に開く予定(広告) 発起人は川原茂輔、南里琢一、一ノ瀬傳三郎ら16人	2・24,25〈3〉
2	25	神埼郡神埼町の県社櫛田神社は祈念祭を実施。諒闇中のため県庁から奉幣使の派遣無し	3・1〈2〉
2	26	三養基郡産婆会は郡役所で組織会を開き、会則などを決定。会長に木村郡長、副会長に高尾郡医師会長を選出	3・3〈2,3〉
2	○	日赤佐賀支部は各郡市の商議員を囑託、佐賀市は古賀善兵衛、藤津郡は倉崎喜作ら9人	2・26〈2〉
2	28	佐賀郡川上村青年会大久保支部会は発会式と同支部会場の落成式を開く	2・26,3・4,6〈2〉
2	28	杵島郡福治村在郷軍人分会は春季総会を同村尋常高等小学校で開く。村長、学校長、分会員ら約150人参加	3・4〈2〉
2	○	小城郡小城町の須賀神社は花柴祇園祭を28日に行う予定	2・28〈3〉
2	○	この月も出征軍人の帰還祝賀会を各地で開く。杵島郡武雄町、小城郡北山村大串区、東多久村古賀区	2・4,14,16〈2〉
2	○	この月、各地で青年会の定例会、総集会、総会が開かれる。佐賀郡本庄村中島区青年会、東与賀村今町青年会、嘉瀬村有重支部青年会、佐賀郡川上村青年会於保支部、東松浦郡値賀村青年自彊会、小城郡晴田村青年会、岩松村大正青年会、砥川村青年矯風会、神埼郡三瀬村紅第12区青年正義会	2・4,19,22～25,27,28,3・6〈2〉
2	○	この月、青島攻撃の戦死者の遺族に賜金の下付が伝達される。大尉1800～1500円、兵曹長750円、上等兵520円～500円、輜重輸卒120円など	2・7,8,11,15,20,24,28〈2,3〉

教育・文化

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
2	1	県教育会は通俗教育講習会を西松浦郡内各村で6日まで開く。東松浦郡は15日～26日の予定	2・10〈2〉
2	1	佐賀郡嘉瀬村尋常高等小学校内に通俗図書館が開館、同郡長はじめ村内有志からの寄付が相次ぐ	2・22〈2〉
2	○	佐賀市松原町の郷社八幡神社社掌に、佐賀郡神野村の瓦田良實を任命	2・1〈2〉
2	5	小城郡教育会は同学年教授研究会を同郡多久村の多久小学校で開く。同会は年3回実施	2・6〈2〉
2	○	佐賀農学校は第7農業補習学校を17日から開く予定。期間は3週間、入学資格は尋常小学校卒業で満15歳以上の男子	2・5〈2〉
2	○	佐賀市八幡小路の池坊生花教授田中忠七は同市中小路に移転。明治15年に京都家元から皆伝行司を許され、これまで門弟千有余人を育てる	2・5〈2,3〉
2	6	県師範学校は約15kmの長距離走を実施、生徒170人が完走。優勝タイムは58分7秒	2・7〈2〉
2	○	川瀬派琴古流尺八の二葉会主幹望月中峯と渋谷雨滴は、合奏会を佐賀市の称念寺で7日に開く予定	2・6〈2〉
2	7	県中等学校学生保護会が佐賀市の武徳会館で開催される。学生の気風も向上してきたとして解散の意見も出るが、継続を決める	2・7〈2〉
2	○	国幣中社田島神社は社殿修復費補助として200円を下賜される	2・7〈2〉
2	8	県神職会杵島郡支会は天皇即位を祝う巡回講演会の実施日程を決める。17日に武雄町の武雄神社から開始、10月に完了予定	2・11,21,3・4〈2,3〉
2	8	衣類整理会講師池田朔造は、成美高等女学校の要請で11日まで同校で講習。科目は西洋洗濯方法、染色の大意、衣類一般整理法など5科目	2・11〈2,3〉
2	○	小城郡晴田村の松原義治は、小城町の桜岡尋常高等小学校建築費として1000円を寄付。杵島郡山口村の下小田青年会代表田中武俊は小田村学校教員住宅建築費として584円を寄付	2・9〈2〉
2	○	佐賀商船学校教諭川崎常吉は依願退職	2・9〈2〉
2	10	佐賀市内の中等学校、小学校長ら14人は、夏期の体育に重要との理由で、連名で水泳場設置を市役所に建議。内容は旧城内の堀を浚渫して多布施川の水を引き込む計画	2・11〈2〉
2	11	有田工業学校は第9回成績品評会を開く。出品点数501点、即売品目当てに観客が押しかける	2・6,13〈2〉
2	11	佐賀師範学校甲種講習科生徒34人は、紀元節を祝して雪の中を学校から徒歩で脊振山に登頂	2・13〈2〉
2	11	小城中学校は地元有志や佐賀市内各中等学校から選手を招いて、柔道と撃剣の武道大会を開く。13日は佐賀師範学校、20日は龍谷中学校でも	2・13,15,22〈2,3〉
2	11	杵島郡武内村は、紀元節を祝して即位記念事業の巡回文庫を再開。3年秋から同村小学校に付設し、9地区の夜学場で巡回していたが、明治皇太后死去のため中断していたもの。同村の出征軍人は教練用に同小学校に木銃50丁を贈る	2・15〈2〉
2	○	龍谷中学校は、定員400人を450人とする増加申請を行なう	2・11〈2〉
2	○	郡視学、市学事主任・書記会議は24日から3日間、開会の予定。諮問事項は教授方法の徹底と小学校教育の改善、協議事項は義務教育終了後の補習教育の普及など	2・11〈2〉
2	○	臯正会佐賀支部は、薩摩・筑前琵琶合同演奏会を佐賀市精町の善定寺で14日に開く予定。21日は小城郡小城町の桜座で再演	2・11,14,24〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
2	12	第2回柔道研究会が佐賀市公会堂で開かれる。前代議士狩野雄一や法学博士副島義一らが講演	2・9,14〈2〉
2	13	野口義高、千住武次郎ら13人は、弘道館、勤興小学校記念碑・記念堂建設を協議	2・16〈2〉
2	14	佐賀郡小学校視察会を同郡鍋島尋常高等小学校で実施	2・16〈2〉
2	○	4月の新学期から使用する小学校の改正教科書について、県内の某教育者は、系統的な自治に関する教材が少ないと述べる	2・14〈2〉
2	15	県は第3回市町村立小学校実業科教員講習会を開く。講師は佐賀農学校長原澄次、県技師玉木浪三郎、風間源吾、県技手鍾ヶ江東作ら9人、受講者の資格は校長または主席訓導。27日に修了証書授与式、修了者48人	1・28,2・14,28〈2,3〉
2	15	岸本県内務部長は佐賀商業学校を視察。石橋知事は17日に佐賀高等女学校、18日に県師範学校と佐賀工業学校、19日に佐賀中学校を視察	2・16,19,20〈2〉
2	17	公立学校職員俸給その他諸給与に関する規則を改正(県令)	2・18〈2〉
2	17	県師範学校は入学試験を実施、応募者は第1部151人、第2部17人、甲種講習生16人	2・21〈2〉
2	○	図画教育会県支部主催の県内中等学校連合図画展覧会の入賞者は、優等賞佐賀中学校豊増龍一、梁井淳二ら111人。氏名を掲載	2・20〈2〉
2	21	県教育会は第150回通俗講話会を東松浦郡値賀村尋常高等小学校で開く。来会者1000余人で近年稀にみる盛会	2・13,24〈2〉
2	21	佐賀高等女学校の2年生全員は神埼郡の蓮池公園まで郊外散策	2・22〈2,3〉
2	21	杵島郡錦江村の村立錦江実業補習学校は第1回席書会を開く。来賓は県師範学校訓導高尾善六や区長ら約40人	2・27〈3〉
2	○	県師範学校附属小学校は生徒男女70人を募集	2・21〈2〉
2	○	「女子教育談」 住友佐賀高等女学校長が同校の女子教育の方針を語る	2・21〈3〉
2	22	県は県内中等学校長会議を開く。知事は実業教育と地方実業との連絡、女子教育の充実について訓示。諮問事項2件、協議事項4件、注意事項5件	2・25〈2〉
2	22	佐賀郡久保田村思齊尋常高等小学校は、学校と家庭の連絡を図るため地区ごとの夜間父兄会を始める。3月1日まで	2・26〈2〉
2	○	佐賀郡内の修身科主任教員が組織する同科教授研究会は、3月5日に研究会を開く予定	2・22〈2〉
2	25	杵島郡福治村の福治尋常高等小学校は、3月8日まで区ごとに父母会と学芸会を開く。各区の寺院を会場として夜8時～12時まで実施	3・13〈2〉
2	27	小学校教員無試験検定で、久保山善映ら4人は小学校本科の、小松七右エ門は尋常小学校本科の免許状を取得	3・5〈2〉

その他

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
2	○	佐賀米穀取引所の取引高(1月) 総数は93万300石、3年12月に比べ11万8700石の減少。1位は中島源太郎10万8300石。3000石以上の取引人28人の氏名を掲載	2・1〈2〉
2	○	県産米の実収高(3年度) 約106万2000石、高潮被害と干害のため2年度に比べ22万4600石の減収	2・2〈2〉
2	3	大隈重信は葉山の御用邸で天機奉伺を行う	2・4〈2〉
2	○	県内産繭高(2年度) 春・夏・秋蚕計1万1618石、桑園面積1099町5反、養蚕戸数2516戸。長野県に比べると戸数4分の1、桑園45分の1、産繭60分の1	2・4〈2〉

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
2	○	県内小学校教員の病気退職・休職者数(3年) 総数87人。肺結核6人、その他81人	2・4〈2〉
2	○	佐賀図書館の閲覧者数(1月) 総数2207人、うち学生1102人、教育家48人、官吏114人、実業451人、軍人7人など。新聞閲覧者2324人	2・4〈2〉
2	○	九州各県の有租地(1月1日現在) 佐賀県は15万3883町、地価3005万円、地租124万6000円、うち田4万9239町、畑1万9595町	2・4,5〈2〉
2	○	県内の実業補習学校数(2月現在) 東松浦郡10校、杵島郡8校、佐賀郡、小城郡、西松浦郡、藤津郡、佐賀市は各2、県立1、計29校	2・4,9〈2,3〉
2	○	県物産陳列館の現状(1月) 縦覧人員2545人、即売品売上高176円。新たな陳列品の有田工業学校製の花瓶各種は新意匠で精巧	2・6〈2〉
2	○	県内の屠殺頭数(1月) 神野、鳥栖、唐津、武雄、糸岐の屠場別に牛、馬、豚の頭数を掲載。牛378、馬125、豚9頭	2・7〈2〉
2	○	県出身の歩兵中尉碇善夫、少尉弥富覚二ら3人は、陸軍戸山学校体操科を卒業	2・7〈2〉
2	○	県出身の冬野廉、富岡敏哉、江原多賀雄、陶山移十、平山浩一は医籍に登録される	2・7,15〈2〉
2	○	「佐賀の救護班」 20回 山口花仙 日赤県支部の青島派遣救護団の活動記録	2・7,9~11,13,16~21,23~28,3・2,5,6〈2,3〉
2	9	佐賀郡本庄村出身の杉谷安一は工学博士の称号を授与される。工部大学造船科卒、三菱(資)神戸造船所長	2・9,11,28〈2,3〉
2	○	佐賀郡鍋島村出身の木村善太郎は京都帝国大学法科大学を卒業、大阪市で弁護士を開業予定	2・9〈2〉
2	○	県出身の陸軍憲兵中尉吉田孝三郎は朝鮮総督府警部に任命される	2・9〈2〉
2	10	愛国婦人会設置の教養所に、西松浦郡大川村の大串米雄が合格。同所の応募資格は下士卒の戦死者と准戦死者の遺族で、将校希望の10~12歳の者	2・11〈2〉
2	10	海軍武官に叙勲、県出身者は末次幸二郎に従5位、市丸利之助に正8位など18人(叙任・辞令)	2・15〈2〉,〈官報〉
2	○	九州各県の石油販売戸数(1月1日現在) 製造場は福岡県内に1カ所のみ、販売所は佐賀県内に2290戸。電気、ガス灯の普及で各県とも減少傾向	2・10〈2〉
2	○	九州各県の織物製造販売戸数(1月1日現在) 佐賀県内の製造戸数2082戸、販売戸数861戸	2・10〈2〉
2	○	肥前米の移出状況(1月) 検査総数玄米5万1231俵、白米4万6598俵、船舶積1万4203俵、汽車積7万7154俵、車馬積6172俵	2・10〈2〉
2	○	肥前麦の検査数(1月) 総数1万8003俵、主な移出先は北九州大里1万俵、兵庫5690俵など	2・10〈2〉
2	○	九州各県の自家用醤油製造人員(1月1日現在) 総計51万7967人、佐賀県6万7357人	2・10〈2〉
2	○	佐賀新聞は、11日が紀元節祭日のため、12日を臨時休刊とする(社告)	2・11〈2〉
2	14	米価 諸富出来値 佐賀郡新米3.4斗入り 4円20銭 米本屋	2・15〈3〉
2	○	「ヒマラヤ山を眺みて」 県出身の野口能敬の書簡 横浜正金銀行インドボンベイ支店勤務	2・14〈2〉
2	15	県出身の青森連隊区司令官歩兵中佐安満欽一は歩兵第33連隊長に転任、安満はのち陸軍中將。歩兵第29連隊長歩兵大佐村岡長太郎は教育総監部第2課長に転任	2・16,17〈1,2〉,〈官報〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
2	15	九州帝国大学医科大学で開催の第4回講演会に、県から田中丸豊太郎、保利磯次郎ら9人が出席	2・27〈3〉
2	○	大隈重信は、3月の総選挙で敗れた場合は潔く職を去り、勝利を得ても勇退して後進に途を開くことを決めたと言近親者に語る	2・16〈2〉
2	20	岩村通俊が死去。佐賀の乱時の佐賀県権令、土佐出身、享年76歳	2・22〈2〉
2	○	県内からの海軍志願兵数(4年) 佐賀郡39、杵島郡35、藤津郡22人など合計158人	2・20、25〈2〉
2	○	九州各貿易港の石炭海外輸出高(1月) 唐津2万5070トン、住之江7324トン、三池7万3096トン、長崎1万4919トン	2・25〈2〉
2	○	佐賀地方裁判所検事局管内の司法警察官執務成績(3年) 受理1453件、有罪560件、無罪免訴10件、不起訴785件、移送管轄違88件、未決21件など	2・25〈3〉
2	○	神埼郡三瀬村の庄島八郎は機関車の速度計を発明、鉄道院の機能試験で良好と認定される	2・25〈3〉
2	28	東京麹町の鍋島邸柔剣道場内の講武館が発会式、道場開きを行う	3・4〈2〉
2	○	福岡鉱務署管内重要炭山の石炭採掘高(1月) 県関係は、芳谷炭坑7934万斤、相知炭坑4866万斤、杵島二坑4664万斤、以下、岩屋、杵島、久原の各炭坑。いずれも筑豊炭山2割削減の影響を受けて減少	2・28〈3〉
2	○	この月、各企業は決算報告を行なう(広告) 佐賀軌道(株)第23期、深川製磁(株)第4期、(株)共栄貯金銀行第1期、祐徳軌道(株)第22回	2・1, 2, 11, 17〈3〉

国内・国際

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
2	1	産業組合中央会会長平田東助は組合員に対して、総選挙では産業組合の勢力や名義を利用して政争に関わることが無いよう警告書を発する	2・5〈2〉
2	1	政府はフィリピンへの新航路開設のため、豪州航路の寄港地にミンダナオ島のサンボアングを追加	2・28〈1〉
2	○	政友会の元田肇は、地方官を使った大隈内閣の選挙干渉を批判。「前佐賀県知事若林資蔵は、与党の要求を入れなかったため3度更迭された」と語る	2・1〈1〉
2	2	政友会は次期総選挙の不法行為監視のため、選挙不法行為調査委員会を設置。委員長は奥田義人	2・3, 11〈2, 3〉
2	2	在北京公使日置益は中国の外交総長陸徵祥に会見し、21カ条要求の交渉を行う。25日までに4回の会談を行う	2・3～7, 10, 11, 14～16, 27〈2〉
2	○	ビルマの豪商ジャーマーは早稲田の大隈重信邸を訪問、大隈は茶話会を催す。両国間の貿易について懇談	2・2〈2〉
2	○	全国の3年度産米は5700万7504石で、2年度に比べて475万1787石の増収	2・3〈2〉
2	○	早稲田大学の学長高田早苗は、同大学は学問の独立と模範国民の養成を目的としている、校友会と大隈重信後援会を混同するのは迷惑至極と述べる	2・5, 15〈1〉
2	○	陸軍は各師団に対する新式小銃38年式の交付を完了	2・6〈1〉
2	○	第1次世界大戦の勃発以降、日本が占領したドイツ領南洋諸島に日本人の移民が殺到。泡沫会社の甘言により渡航したものの資本もなく失敗し、領事館に駆け込む者が多い▽	2・7〈1〉
2	8	北京のガゼット紙は、総統袁世凱が外国人政治顧問団を招き、21カ条要求について意見を求めると報道(北京外電)	2・11〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
2	8	山東省及び南洋群島に在勤する海軍軍人、軍属に加俸支給することを公布(勅令)	2・10〈1〉
2	10	中国の北京記者倶楽部は、日本の21カ条要求に対して反対を決議(北京電報)	2・13〈2〉
2	○	全国の中等学校教員の需給状況は、卒業者388人に対して採用予定477人で供給不足。初任給は高等師範男45円、女子高等師範・東京美術学校32～40円	2・10〈2〉
2	11	中国、台湾からの留学生約2000人は、東京神田の青年会館で民国留学生大会を開く(東京電報)	2・13〈2〉
2	13	ロンドンタイムズの社説は、日本の21カ条要求について、膠州湾で日本がドイツに代わり新事態を発生させたもので、要求は過酷で不当なものではない、新事態発生の結果、日本にやや有利な変更を加え要求したものと報道(外務省着電)。16日ガゼット紙はこれに反論(北京電報)	2・18〈1,2〉
2	14	政党政治期成会大阪支部の発会式を開く。官僚を擁護する現内閣と与党を崩壊させ、憲法政治を実現させるため全力を尽くすことを決議	2・16〈2〉
2	○	イタリアで大地震、死者は2万4200人(ルーター電報)	2・14〈2〉
2	○	内務大臣大浦兼武は、府県警察部長会議に出席していた各県の警察部長を個別に別室に呼び出し、内務部長昇進などの好餌や威嚇をもって選挙干渉を強要▽	2・15〈1〉
2	○	旅順戦蹟保存会は旅順の戦跡を5区に分け記念碑を建設中。記念碑銘は「東鶏冠山」、「松樹山堡壘」、「高崎山」など17個の名称に決定	2・16〈1〉
2	17	21カ条要求の外交交渉で、中国は主権に関する事項で日本の要求を拒絶(ニューヨーク電報)。18日、中国北京のガゼット紙は、中国政府が日本政府の21カ条要求を拒否したと報道(北京電報)	2・19,20〈2〉
2	18	佐賀新聞は「談判破裂愈出兵?」の題字で、日本の21カ条要求を中国が拒否したことを伝え、伏字で陸軍の出動を示唆	2・20〈2〉
2	○	佐賀新聞は、21カ条要求に関し、中国政府は新聞を使って日本を攻撃し、外国人の同情を求めて要求を緩和する方策に出たと報道	2・18〈2〉
2	○	文部省の調査によれば、就学学齢に達した児童は734万4339人、不就学児童12万9754人。就学率男98.8%、女97.6%、平均98.2%	2・18〈2〉
2	○	エジプトのスエズ運河で、イギリスとトルコが戦闘、運河の航行が危険となる	2・18〈3〉
2	○	日本と中国の交渉がタイムス社の報道で明らかになったことに対し、佐賀新聞は外務省の秘密主義を批判し、重大な外交談判はいつも国外から洩れてくると述べる	2・19〈2〉
2	20	米国サンフランシスコ博覧会開幕、24日は日本館が開館	2・23,26,27〈2〉
2	○	中国は日本の要求を、中国の主権を侵害し、諸外国との協約にも違反すると主張して拒否。日本は、詳細は後日協議するとして異議を唱える。日本は条件を変更した全9条の要求を英・露・仏・米に通知(北京電報)	2・20〈2〉
2	○	日本軍が占領した南洋諸島のカロリン、マーシャル群島は、英国に引渡された由。日本政府は、引渡しについて英国政府や豪州政府と密約をしていたのではないかと▽	2・21〈1〉
2	○	俘虜情報局は、収容中のドイツ人俘虜の技能を日本人に伝授させる政策を計画。俘虜の職業調書を添えて地方官庁や有力農工商実業家に通知。収容数4461人のうち技術職工は数十人	2・21,24〈1〉
2	○	国内米価が暴落したために、4年はアメリカへの輸出米が増加。例年は3斗入84～86万俵のところ、2～3万俵の増で、テキサス産米を蚕食するの勢い	2・22〈2〉
2	○	英領シンガポールのインド兵の暴動鎮圧に、日本海軍の陸戦隊が出動	2・27〈1〉

政 治

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
3	○	佐賀中学校同窓会、佐賀市議員、早稲田大学校友会などの有志者は、同市選出衆議院議員候補者に法学博士副島義一を推薦(広告)	3・1～25〈1,3〉
3	○	立憲政友会佐賀県支部は川原茂輔と南里琢一を県郡部選出衆議院議員候補者に推薦(広告) 。川原の政見発表演説日割りを発表。立候補を予定していた佐賀市長野口能毅は、市参事会員や有志から市政に専念するよう慰留され出馬を断念	3・1～25〈1,2,3〉
3	2	神埼郡境野村消防組は、同村の若宮神社で消防演習を実施	3・5〈2,3〉
3	○	県税規則施行細則を改正(県令) 新設電柱に貼付する標識の記載内容、自動車に貼付する鑑札の記載内容を追加。賦金徴収規則を改正(県令) 貸座敷と娼妓に等級別賦金を課す。娼妓の1等は佐賀郡北川副村や東松浦郡満島村など4カ所・月3円、2等は佐賀郡東川副村と東松浦郡呼子村で月2円	3・6〈2〉
3	○	知新会は貸費生徒約10人を募集。同会は明治23年、県内の海軍出身者が中学校在學生に学資、海軍受験地までの旅費などを支給する目的で設立(記事と広告)	3・7〈2,3〉
3	8	佐賀郡3年度海軍志願兵検査を郡役所で実施、9日まで。受験者46人、合格者32人	3・2,6,10〈2〉
3	9	内務省は、佐賀市の3年度～10年度の市水道事業費に対して国庫補助金12万5000円を指令	3・13〈2〉
3	10	佐賀市会が開会。市公会堂使用条例、市衛生基金蓄積条例を可決。4年度特別会計公会堂費歳入出予算は561円	3・7,11,15〈2〉
3	12	小城郡三里村長に桑原宗太郎を、13日佐賀郡久保泉村長に増田綱吉を認可	3・16〈2〉
3	13	立憲同志会は東松浦郡湊村で政談演説会を開く。同村は政友会が多数派のため聴衆が少なく、気の毒の感あり。有権者100余人は前代議士川原茂輔を推薦▽	3・17〈2〉
3	○	内務省は3年度災害復旧費国庫補助割当金の第1回分2万6000円を県に交付	3・13〈2〉
3	○	佐賀郡川上村役場と学校の新築落成式が15日、行われる予定	3・13〈2〉
3	14	政友会郡部公認候補者の南里琢一は21日にかけて、政談演説会を小城、神埼、三養基の各郡で開く(記事と広告)	3・16～20〈2〉
3	15	県出身の貴族院議員、元内務省警保局長古賀廉造が来佐、佐賀市白山町の栄徳屋に投宿。27日まで滞在し、副島義一や南里琢一の応援演説を行う。21日の演説では、政府の対中国外交は中国人の反抗心を招き、これまでの親日派をも排日に変えているとして、中国政府の態度に理解を示し、大隈は総理の地位にありながら内政・外交とも自分の考えを通すことができないでいると述べる	3・16,17,23,28 〈1,2,3〉
3	15	県警察部の警視や警部は、選挙状況視察のため県内各郡に出張	3・16,17〈2〉
3	15	佐賀市の衆議院議員選挙の投票日は3月25日、投票場所は県会議事堂とする(県告示) 開票立会人に道祖元町の伊丹誠一、松原町の福田慶四郎ら5人を選任	3・17〈2〉
3	17	内務省大阪衛生試験場技師平山松治らは、佐賀市柳町の第1水源の水質検査を行い、飲料水として最適との結果を市長に報告	3・18〈2〉
3	○	佐賀連隊区は在郷将校の春季演習を26日、佐賀連隊射撃場で行う予定	3・18〈2〉
3	○	「大隈内閣と同志会」 大隈重信の立憲的理想と与党の立憲同志会の主義、政策は相容れない。佐賀県人は大隈を後援するが、同志会を後援する義務はない、大隈の理想実現のため副島義一を選出すべき	3・19〈1〉
3	21	歩兵第55連隊は4年度第1期教育検閲を実施。場所は佐賀市の高木瀬練兵場、佐賀郡金立村の大迫原射的場、24日まで	3・22〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
3	○	「博士副島君を推す」 前衆議院議員江副靖臣が推薦文を寄せる。大隈重信は対中国外交で副島義一を信任していると述べる	3・24〈1〉
3	25	衆議院議員総選挙を実施。郡部の当選者は同志会の西英太郎、武富時敏、井原喜代太郎、政友会の川原茂輔、南里琢一、佐賀市部は豊増龍次郎	3・21, 24, 26～28, 4・3〈2〉
3	○	第18師団は、陸軍将校志願者試験を佐賀市の歩兵第55連隊で4月9日～18日に実施予定。受験心得を掲載	3・28, 29〈2〉
3	29	佐賀郡中川副村収入役に江頭伊吉を認可	3・30〈2〉
3	29	県参事会を開き、3年度執行の土木工事を4年度に繰延執行するため、充当する公債借入を4年度に変更する議案を審議	3・30〈2〉
3	○	佐賀市の秀島徳一郎、今泉良子、杵島郡の一ノ瀬傳三郎ら104人は、衆議院議員選挙の運動中、選挙違反の疑いで拘引される。31日までに全員釈放	3・31, 4・1〈3〉

経 済

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
3	1	佐賀市郡・神埼郡酒造組合は臨時総会を開く。組合長に古賀文一郎を選出。20日に利酒会を開くことを決める	3・3〈2〉
3	1	県朝鮮海出漁組合は、4年度同組頭に佐賀郡西川副村の北村安一、藤津郡八本木村の吉村市五郎、小城郡芦刈村の森永林太郎ら19人を任命	3・4〈2〉
3	○	佐賀米穀取引所1月の取引高は1165万1754円で、3年1月に比べ769万円の増加、取引所法改正と米価高騰の気配が原因。2月に3000石以上売買した仲買人は中島源太郎ら31人	3・1〈2〉
3	2	県朝鮮海出漁組合は、3年の出漁中に遭難病死などの該当者14人に救済金を交付	3・4〈2〉
3	2	佐賀郡川上村は蚕業幻燈会を同村尋常高等小学校で開く。参加者約500人	3・4〈2〉
3	3	佐賀郡は農区技手会を郡役所で開く。地区農談会の内容や桑苗申込などについて協議	3・4〈2〉
3	3	佐賀米穀取引所は仲買人臨時集会を開き、手数料の取扱いについて協議。改正取引所規則では、1日3万石以上売買の際は100石につき20銭を払戻すとあるのに返金がなく、立会が混乱したため	3・4～6〈2〉
3	3	佐賀商業会議所は臨時総会を開く。議員の半数を改選、会頭中野致明、副会頭野中萬太郎ら10人を再選。店員職工奨励会選考委員に大島貞七、大間清三ら5人を選出	3・5〈2〉
3	3	杵島郡橋下村の芦原米券倉庫は第2回入庫を行う。411俵のうち1等12俵、2等36俵、3等251俵、4等104俵、不合格8俵。22日、第4回入庫を実施する予定	3・6, 19〈2〉
3	○	佐賀水産(株)は松浦海沿岸で真珠貝を養殖し、有明海ではアゲマキ、カキ、藻貝、ハイ貝などを水揚げ	3・3〈2〉
3	○	県水産試験場は東松浦郡小川島と加唐島で岩ノリの生産に着手。3500枚を試験的に販売、香味は佳良で品質は浅草ノリに劣らない	3・3〈2〉
3	4	元県水産技師兼水産試験場技師木原万吉ら2人が依願免官のため、漁業監督吏員は不在となる。県水産技師吉津常蔵と県属江口秀一郎が漁業監督吏員を命じられる	3・5〈2〉
3	4	小城郡三里村の無限責任山崎信用購買販売組合は設立を登記(公告)	3・6〈3〉
3	○	朝鮮海に4年度出漁予定の漁船は、佐賀郡94隻、小城郡99隻、藤津郡49隻	3・5〈2〉

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
3	6	県は高等蚕業講習会を県庁で開く。講師は京都高等蚕業学校教授荒木武雄ら、10日まで。受講者は各郡農区技手、農事講習所卒業生、蚕種製造者、養蚕家など97人	2・4,18,3・5,7,12〈2〉
3	6	小城郡東多久村納所米券倉庫は第3回入庫を行う。644俵中3等米が374俵。杵島郡橋村納手、同村片白米券倉庫でも3等俵が半数以上	3・6,10〈2〉
3	○	三養基郡は農事実行組合長会を3月5日～17日まで開く予定	3・6〈2〉
3	7	小城郡北多久村農会は小作米・拔穂・苗代・水稻品評会の褒賞授与式を開く	3・11〈2〉
3	8	小城郡芦刈村の有限責任広瀬瀬信用購買販売組合は、設立を認可される(公告) 理事は同村の広瀬石男ら3人、4月2日登記	4・6〈3〉
3	9	西松浦郡波多津村の無限責任馬蛤湯信用組合は解散を登記(公告)	3・12〈3〉
3	10	小城郡三里村の進農会は春季総会を三里尋常高等小学校で開く。農事改良に関する講話や会務報告、福引などを実施。参加者は約150人	3・11,14〈2〉
3	10	八谷(名)が佐賀市赤松町に設立される(公告) 諸官衙への被服類納品、物品販売業を営む	3・14〈3〉
3	○	佐賀精米同業組合は、評議員会を13日に肥前米麦輸出組合事務所で開く予定	3・10〈2〉
3	11	西松浦郡農会は農事集談会を同郡会議事堂で開く、12日まで。各村の篤農家約120人が集まる。経験談の披露、米麦の病虫害防除などの講演	3・7,16〈2〉
3	11	佐賀郡川上尋常高等小学校の婦人同窓会は、蚕業講習会を同校で開く。17日、修業証書授与式	3・19〈2〉
3	○	小城郡南多久村農会は、小作米品評会を12日に開く予定。同郡三日月村農会は、普通事務講習会を15日～21日まで同村の常圓寺で開く予定	3・11〈2〉
3	12	佐賀米穀取引所の相談役牟田萬次郎、理事長大申勝次、監査役大島貞七は、手数料払い戻しの件で仲買人側と対立し辞表を提出。紛争は双方の話し合いで解決	3・13,14〈2〉
3	12	官内醤油(資)が西松浦郡伊万里町に設立される(公告)	3・17〈2〉
3	○	小城郡多久村で桑樹栽培講話会が、13日～14日に開かれる予定	3・12〈2〉
3	○	畜牛結核病検査日割を発表(県告示) 4月23日に呼子警察分署管内から始まり、5年2月5日の佐賀署管内佐賀郡まで	3・12〈2,3〉
3	15	佐賀商業会議所は佐賀停車場敷地や唐人町道路の拡張を協議。16日に野中萬太郎、伊丹彦次郎ら5人が現地調査を行い、駅長と打合わせ	3・18〈2〉
3	○	西松浦郡の製紙の主産地は南波多、黒川、波多津、牧島の各村。同郡は製紙伝習所を設置、2年の製造戸数は計586戸	3・15〈2〉
3	○	三養基郡中原村郵便局は16日から電信、通話、電報配達事務を開始する予定。中原電話取扱所の電報配達事務は廃止となる	3・15〈2〉
3	○	佐賀市白山町の香月八郎は明治初期に品質改良と製法に工夫を行い、良品質の丸ボーロを製造中。同市高木町の尾崎徳次郎は東京の森永浪花堂から一手販売の権利を譲り受け、長崎式菓子粉焼機械を使用してクラッカーを製造、海軍御用品として歓迎されている	3・15〈2,3〉
3	○	「優良産業組合成績」 3回 西松浦郡有田町有田陶磁器信用購買組合、三養基郡鳥栖町轟木信用購買販売組合、杵島郡中通村犬走踊瀬信用購買販売組合の財務内容や事業の状況を紹介	3・15,16,30〈2〉
3	16	佐賀郡農会は、第3回稲苗代、第7回水稻・採種田、第3回拔穂品評会の褒賞授与式を同郡役所で開く。来賓は石橋知事ら約70人	3・17〈2〉
3	○	藤津郡八本木村、多良村、大浦村の漁民約150人は、3月～8月にかけて朝鮮海に出漁予定	3・16〈2〉

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
3	○	佐賀郡久保泉村の大谷久六、同郡農区技手千住實次と本村茂治は、勸業視察のため岡山県と広島県に出張を命じられる	3・19〈2〉
3	20	農商務省は、貿易品の巡回陳列展を佐賀市の県物産陳列館で開く。旧満州、中国、南洋諸島などの物産を陳列。21日は同省嘱託松倉順一が、日本の製品に対する海外の需要状況を講話	3・11,12,17,21,22〈2〉
3	27	杵島郡酒造組合は、第22回清酒品評会を同郡武雄町の蓬萊館で開く。優等賞は福治村の田中竹一の「甘治」。28日は藤津郡酒造組合が鹿島町の丸屋で利酒会を開く。一等賞は八本木村の光武伊吉の「金波」	3・31〈2〉
3	28	新築中の佐賀駅が竣工し、移転式を行う。 餅投げに群衆約5000人が集まる	3・22,25,28,29〈2,3〉
3	29	県産業組合連合大会・第8回産業組合中央会佐賀支会が県会議事堂で開催される、30日まで。佐賀支会は、功績に見るべきものがあるとして有限責任東脊振信用購買販売生産組合と無限責任徳富本村信用購買販売組合を表彰	3・15,16,31〈2〉
3	29	佐賀郡久保泉村の川久保養蚕組合は、蚕業講習会を同村役場で開く。4月2日、修得生29人に修得証書を授与、講師は玉木県技師	4・6〈2〉
3	30	佐賀商業会議所副会頭野中萬太郎、同重役福田慶四郎、同書記長木下猪之吉、佐賀商工会長古賀製次郎らは、九州鉄道管理局を訪問し、佐賀停車場前の敷地拡張や駅構内に県内特産品の陳列棚を設置することなどを陳情。4月1日、佐賀商工会議所会頭中野致明は停車場前敷地拡張方建議書を佐賀市長に提出	3・28,4・2〈2〉
3	30	佐賀・福岡両県の有志は、肥筑軌道(株)設立の発起人会を福岡県久留米市で開く。資本金32万円、総株式数64万株の募集を協定。路線は同市豆津橋～佐賀郡神野村の約12マイルで、佐賀駅に接続予定	4・5〈2〉
3	○	佐賀市白山町の肥前貯蓄銀行は、4月1日に福岡県久留米市に支店を新設予定	3・30〈2〉
3	○	佐賀市東魚町の野副滋養軒は、佐賀郡神野村高木瀬兵衛通りに製造工場を設け、4月1日から玄米乳を販売予定	3・30〈2〉
3	○	逓信省は北山郵便局長に藤田実を任命	3・30〈2〉
3	○	この月、各地で農談会や肥料講話会を開く。藤津郡西嬉野村、東嬉野村、能古見村、吉田村、佐賀郡西南里農会、神埼郡の各村	3・9,25,30,31〈2,3〉
3	○	この月、各地で競犁会を開く。小城郡牛津町、三日月村、芦刈村、三里村、佐賀郡西川副村、東川副村。長犁の部、持立犁の部、改良犁の部などで実施、主催は農会や青年会	3・7,11,12,19〈2〉

社 会

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
3	1	神宮奉斎会佐賀支部長川浪實充が死去、86歳。県社川上神社、郷社本庄、新庄、与賀の各神社社司で神職界の中心人物。4月19日に50日祭を実施(記事と広告)	3・4～7,4・20〈1,2,3〉
3	1	小城郡砥川尋常高等小学校は青年女子教育の充実のため、修身、作法、家事、裁縫などの教育を14日まで実施。教員や地元有志が指導にあたる	3・18〈2〉
3	○	帝国在郷軍人会佐賀支部長竹下宣行は3日～29日まで巡視を行う予定。万障を排して集合するよう督励	3・1〈2〉
3	○	青島攻撃戦で戦死した神埼郡神埼町出身の陸軍歩兵伍長と同上等兵の遺族に520円を下賜	3・1〈2〉
3	○	島村抱月の文芸講演会が佐賀市の改良座で1日、開かれる予定。傍聴無料	3・1〈3〉
3	2	東京芸術座の松井須磨子一行が佐賀市の改良座で3日まで公演。 演目は「剃刀」全1幕、「復活」全5幕、大人気で席の予約が殺到。松井はカチューシャ役を演じる。東松浦郡出身の笹本甲午も同行	2・16,24,26～28,3・1～3〈3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
3	2	小城郡神職会は総会を郡役所で開き、予算案や神職講演会開催に関する件など6件を協議	3・4〈2〉
3	2	東松浦郡北波多村の芳谷炭坑で、坑夫1人が炭車に触れ轢死	3・5〈3〉
3	○	田中丸善蔵経営の南洋貿易会社は、佐賀農学校農業助手の渡辺松雄を採用し、南洋諸島に渡航させる予定	3・2〈2〉
3	3	小城郡の清水観世音の縁日のため、佐賀駅は小城駅までの乗客で雑踏を極める	3・1,4〈2,3〉
3	3	佐賀郡東川副村青年会は講話会を同村小学校で開く。会幹部が学問の必要性を演説	3・10〈2〉
3	4	伝染病予防のため4月1日～30日まで清潔法を施行(県令)	3・5〈2〉
3	4	西松浦郡大川内村の吉田共有林は、火入れ中に飛火して7町歩の松樹2万8000本を焼失	3・7〈3〉
3	5	小城郡医師会を小城公園の天山閣で開く。会長に副島武熊、副会長に三根兎一を選出、学術演説会を実施	3・3,8〈2〉
3	5	好生館副院長で佐賀市市会議員の津田一蔵が急死、7日称念寺で葬儀(記事と広告)	3・6～8〈2,3〉
3	5	故松田正久の1周年祭を西松浦郡伊万里町の養壽院で開く。川原茂輔が祭文を読む	3・7〈3〉
3	5	杵島郡佐留志村婦人会は発会式を同村の泰松寺で開く。同寺住職御木琢成が主唱、会員は村内の主婦約350人。同村青年修心会は3年10月から夜学を開き、4月末に進級認定試験を実施予定	3・14〈2〉
3	○	産婆講習会を西松浦郡は8日から、東松浦郡は12日から3日間開く予定	3・5〈2〉
3	○	佐賀郡西川副村に米券倉庫と青年倶楽部が新築し、落成式を7日に行う予定	3・5〈2〉
3	○	3年の青島攻撃の際の戦死者遺族の県関係25人に、賜金が贈られる	3・5,8,12,18,20,22,29〈2〉
3	7	唐津町は唐津尋常高等小学校で出征兵士の帰還祝賀会を開く	3・9〈2〉
3	8	正進会は例会を佐賀市公会堂で開く。来賓は富永日新小学校長、野口成美高等女学校長など。各会員が演説	3・11〈3〉
3	8	神埼郡西郷村の自得寺は、大本山の巡回布教と、同寺開基の櫛田神社社務職本告梅若丸と藤原道景の750年回忌などを行う。郡内各村から多数が来聴	3・5,17〈2〉
3	○	県出身の長崎医学専門学校卒業生織田良一が医籍に登録される	3・8〈2〉
3	9	県会副議長石井忠純が死去、享年54歳。11日三養基郡鳥栖町の妙覚寺で葬儀、同郡政友会総代木下十四三らが弔辞を読む(記事と広告)	3・10～12〈1,2〉
3	○	佐賀郡久保田村の鶴丸安一は、佐賀市水ヶ江に婦人科を開院	3・9〈2〉
3	10	佐賀在郷軍人会佐賀市分会は役員・有志の懇親会を開き、水道鉄管埋設時の人夫提供、新兵入営前の予習実施などについて協議	3・12〈2〉
3	10	三養基郡三川村青年会は、陸軍記念日を祝して春季総集会和夜学会修了証書授与式を三川尋常高等小学校で開く。演説、体操、徒競走、福引などを実施	3・13〈2〉
3	10	藤津郡塩田村大草野在郷軍人団義明会和青年団は、陸軍記念日を祝して大草野尋常高等小学校で春季連合大会を開く。出征軍人が青島攻撃の実戦談などを話す	3・14〈2〉
3	○	佐賀市は地区ごとの浚渫検査日割を発表。3月21日～4月7日まで	3・10〈2〉
3	○	川干のための多布施川水源石井樋の堰き止めは3月19日～4月9日まで	3・10〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
3	○	佐賀孤児院は経常費不足のため、財団法人組織計画案を定めて基本金3万円を募集。鍋島家、大隈重信の他、多数の寄付相次ぐ(記事と広告)	3・10〈2,3〉
3	11	日本赤十字社佐賀支部は、救護看護婦生徒採用試験の合格者6人に採用を通知	3・12〈2〉
3	12	県獣医組合会は杵島郡内の馬匹去勢を佐留志村から始める。23日まで	3・18〈2〉
3	○	佐賀市は春季種痘の接種期日を発表。4月7日～24日まで、会場は各地区の寺院	3・13〈2〉
3	○	佐賀郡は各村の清潔施行日割りを発表。4月1日～28日まで	3・13〈2〉
3	14	佐賀市の日宗純信教会・浄徳婦人会は、佐賀市の観照院で講演会を開く。講師は勝妙寺住職神代智明ら	3・13,15〈2〉
3	14	浪花節の英天風一行が佐賀市の改良座で興行。満場立錫の余地なしの景況で大人気、英天風は東松浦郡唐津出身	3・14～17〈3〉
3	14	佐賀郡鍋島村在郷軍人分会は、勅語奉読式と日清、日露、日独戦の戦病死者の招魂祭を実施	3・16〈2,3〉
3	○	小城郡小城町の黒住教小城教会所が新築、落成式を14日に行う予定	3・14〈2〉
3	○	佐賀市与賀町のキリスト教会は、日曜講談を14日に行う予定。演題は教師ピークの「キリスト教的自由」	3・14〈2〉
3	○	中原駅～三河内駅間と伊万里線各駅の職員を対象とした精神講話会を、佐賀駅倶楽部で21日と22日に開く予定。講師は佐賀市の善定寺住職木山定生	3・15,22〈2〉
3	16	県立病院好生館は看護婦採用試験を実施。14人受験、採用13人	3・19〈2〉
3	16	佐賀区裁判所は佐賀盲啞学校長宮崎正木に、誣告罪で懲役6月を命じる。4月13日の控訴審判決でも宮崎は敗訴	4・14〈3〉
3	19	佐賀市の専修寺門徒総代らは同寺の仏具修繕が完了したため、1週間にわたる大法要を実施	3・20〈2〉
3	20	県神職会は、幹事会を佐賀市八幡小路の神職会事務局で開く。東京で開催の全国神職会と宮崎で開催の九州神職会の出席者を決める	3・22〈2〉
3	20	三養基郡三川村婦人会は、春季総集会和、1月から村内9カ所の支部で週3日実施してきた裁縫・作法講習会の修了式を三川尋常高等小学校で開く	3・24〈2〉
3	20	西松浦郡は優良児童90人、優良青年団3団体、優良教員3人を表彰。31日は同郡内の優良吏員と篤志者の計3人を表彰	3・24,29,30,4・19〈2〉
3	○	佐賀郡鍋島村の早瀬豊義が寄贈した杉苗200本を、佐賀市の官祭招魂社境内に植樹	3・20〈2〉
3	21	東松浦郡値賀村青年自彊会は総集会を同村尋常高等小学校で開く	3・24〈2〉
3	○	東松浦水産組合は、3年8月の有明海沿岸高潮被害の際に、被災漁民救助費として31円を寄付して木杯を下賜される。西松浦郡松浦村の山口林一郎ら64人は、同村の里道改修費を寄付して木杯を下賜される	3・21〈2〉
3	25	佐賀郡蠣久天満宮は春季例祭を開く。金銀鷺替えで賑わう	3・27〈3〉
3	26	佐賀市の新栄座で、東京上野商会活動写真特派巡業隊が興行。題目は「実写青島攻撃大村旅団の活動」「新派悲劇湖畔の家」など多数、入場料1等20銭、2等10銭、小学生5銭。28日まで	3・26～28〈3〉
3	○	県は、大正天皇即位記念には植林事業が最適として、実施する場合の注意事項を、学校、社寺、青年団などに配布。植樹は永久安全に生育できる場所とし、種類は楠、イチイカシ、カシ、イチヨウ、松などを推奨	3・26〈2〉
3	○	杵島郡武雄町の柄崎神社は、4月3日に祭典を行う予定。神幸式、手踊り、道囃子などを行う	3・27〈3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
3	28	佐賀市の新栄座は総会を佐賀商業会議所で開く。社長に木下泰三郎、取締役は芦原次平ら5人を選出	3・20,28,4・1〈2〉
3	29	三養基郡青年会は発会式を同郡鳥栖尋常高等小学校で行き、会則を決議。会長は同郡長、会員約2200人	3・28,30,4・1〈2〉
3	○	佐賀市精町の上宮教会は、京都・奈良・大阪の神社仏閣参拝団員を募集。参加料は普通13円、特別18円50銭。4月12日佐賀駅出発、19日帰着予定	3・29,4・9〈3〉
3	31	神埼郡は第3回町村吏員表彰式を、三養基郡は第5回優良事績表彰式を各郡役所で開く	3・28,4・1〈2〉
3	31	杵屋六伊音らは佐賀市の新栄座で長唄温習会を開く。約100人が参加し盛会	4・2〈3〉
3	○	この月、県内の曹洞宗の寺院は永平寺貫首森田悟由の追悼法要を行う。佐賀市高木町の光福寺、赤松町の龍泰寺、高木町の光福寺、佐賀郡本庄村の高伝寺、東与賀村の地藏院	3・9,16,22,28〈2〉

教育・文化

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
3	1	歩兵第55連隊長長堀均は、佐賀市内各学校の男子生徒を対象に市公会堂で青島攻撃戦について講話。2日は女子生徒に講話予定	2・25,3・2〈2〉
3	1	小城郡砥川尋常高等小学校は、青年女子の学力補習のために第1回教育召集を行う。修身、作法、家事、裁縫などを校長や訓導、地元名士が講演、期間は2週間、午前9時から午後4時まで	3・18〈2〉
3	2	佐賀郡春日部小学校実地授業研究会を同郡関屋尋常小学校で開く	3・5〈2〉
3	○	佐賀郡は小学校校長会を郡役所で6日に開く予定。教育内容の充実改善や補習教育の振興など訓示事項3件、教員の制服励行など指示事項15件、蔬菜品評会を一層教育的に実施する方法など研究課題2件	3・2〈2〉
3	○	県は郡視学・市学事主任会を県庁内で開く。教授の徹底を期するための注意など諮問事項3件、義務教育終了後の補習教育を普及発達させる方法など協議事項3件、教員の学力補充など指示事項16件	3・2〈2〉
3	○	全国各地の高等師範学校を卒業し、県内で任用予定の人員は7人	3・3〈2〉
3	5	県参事会例会は、佐賀工業学校費446円と有田工業学校費981円の追加予算を可決。追加理由は特別備品費に充てるため	3・7〈2〉
3	○	神埼郡教育会は『神埼郡郷土史』前編・後編を完成。7月までに製本予定	3・5〈2〉
3	6	三養基郡小学校長会を開く。教員の学力補充など指示事項7件、高等科への入学奨励など注意事項3件、他に諮問事項、協議事項	3・10〈2〉
3	7	小城郡の牛津女子実業補習学校卒業生は、第1回同窓会を牛津尋常高等小学校で開く。会員約80人、成蹊病院院長腹巻勝見らが講演	3・9〈2〉
3	7	杵島郡の福治尋常高等小学校は女子同窓会を開く。同校校長が女子精神や品性修養について訓戒	3・13〈2,3〉
3	○	佐賀師範学校は4年度入学者氏名を発表。本科男29、女40、本科第二部男34、女27。本科男子の部に佐賀郡の志津田藤四郎ら	3・8〈2〉
3	9	西松浦郡二里町の二里尋常小学校は、同校が廃校になるため明治天皇・皇后の「御真影」を県に奉還	3・10〈2〉
3	○	「教育界の側面観」北仙 4回 教育者の給料は低いので優待すべき、学校の教師の知識は浅薄である、生気に乏しく趣味が低級、出世するには交際術に長けよと、教育界の現状を批判	3・9,11,13,14〈2〉

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
3	10	佐賀郡川上村尋常高等小学校婦人同窓会は同校で蚕業講習会を開く。10日間の予定	3・12〈2〉
3	10	杵島郡龍王村の龍王尋常高等小学校は、陸軍記念日を祝して児童の学芸会と父兄青年春季連合大会を開く。演説や電気化学実験、福引などを行う。参加者約1200人	3・13〈2〉
3	○	文部省は、杵島郡の武雄町外6カ村学校組合立武雄高等女学校が、4月1日から武雄実科高等女学校に組織変更することを認可。同校は明治41年創立、3月現在の職員11人、生徒数約200人	3・10,11〈2〉
3	13	佐賀中学校は、4月から学費月額1円70銭を2円に値上げ(県令)	3・17〈2〉
3	○	阜正会佐賀支部は薩摩琵琶大会を13日、佐賀市呉服町の光明寺で開く予定	3・13〈2〉
3	○	佐賀実科女学校は4年度から拡張を計画し、国語、作文、習字の教師を増員。同校教師鶴川ユウ子を視察のため京阪地方へ3カ月間派遣	3・14〈2〉
3	○	県師範学校附属小学校は15日、高等科1年男子の国語科読み方の実地授業と研究会を行う予定	3・14〈2〉
3	15	杵島郡錦江尋常高等小学校で通俗講話会を開く	3・20〈2〉
3	○	佐賀工業学校3年度卒業生34人の主な進路は、八幡製鉄所7人、谷口鉄工所2人、満鉄会社2人、佐世保造船部2人、秋田鉱山学校2人、早稲田大学1人など	3・15〈2〉
3	○	佐賀商船学校は、実習生36人を2月下旬に各船舶工場に派遣	3・17〈2〉
3	18	教育費の奨励手当不足や小学校教員住宅補助不足のため、県参事会は中等学校費や小学校加俸金3448円から流用することを決議	3・20〈2〉
3	21	県教育会は、第151回通俗講話会を東松浦郡値賀村の値賀尋常高等小学校で開く。演題は、学校と家庭の連絡について、値賀村を発展させる方法など	3・25〈3〉
3	21	佐賀郡春日尋常高等小学校は第10回学芸会を開く。村長、議員、保護者ら約600人が来場	3・26〈2〉
3	25	知事は、私立学校令第10条により私立佐賀盲啞学校に閉校を命じる	3・27〈3〉
3	25	藤津郡多良尋常高等小学校の職員、生徒、卒業生は、同村高島峠の5町歩を開墾し、大正天皇の即位記念として杉苗1万本を21日から植樹	3・28〈2〉
3	○	県師範学校附属小学校主事横尾繁六、同訓導久原忠太、岡房吉は、『初学年教育法の理論と実際』を編集し、佐賀市の牧川書店から4月15日に出版の予定	3・25〈3〉
3	○	短歌結社「途上社」は、短歌会を28日に佐賀市公会堂で開く予定。会費10銭	3・26〈3〉
3	○	古社寺保存会は、杵島郡武雄町の広福寺所有の木造四天王立像4体と、藤津郡吉田村の永寿寺所有の木造不動明王、二童子像の3体を国宝に指定	3・28〈2〉
3	31	県は中等教育の刷新改善のための人事異動を発表。永年勤続の教諭を退職させ、帝国大学や高等師範学校から若く有能な人材を採用	4・1〈2〉
3	○	この月、県内の各幼稚園、学校で卒業式を行う。佐賀私立幼稚園、佐賀婦人会附属幼稚園、佐賀工業学校、佐賀中学校、唐津中学校、小城実科高等女学校、武雄高等女学校、佐賀市循誘小学校商業補習生、佐賀商業学校、佐賀農学校、鹿島中学校62、龍谷中学校44、鹿島高等女学校63、佐賀市勤興小学校、佐賀市赤松小学校、佐賀高等小学校201、佐賀市日新尋常小学校、成美高等女学校101、小城中学校、佐賀高等女学校96、唐津高等女学校63、武雄高等女学校、佐賀実科女学校49、有田工業学校22、県師範学校145 ※数字は卒業生数	3・20～29,4・1〈2,3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
3	○	この月、県内各学校は生徒を募集(記事と広告) 唐津中学校120、唐津高等女学校120、鹿島中学校130、佐賀工業学校、龍谷中学校120、伊万里商業学校約50、鹿島高等女学校約100、小城中学校110、成美高等女学校約190、佐賀高等女学校約100、佐賀農学校約50、武雄高等女学校約90、佐賀商業学校約100、有田工業学校45、栄城学校約130、佐賀商船学校約50、佐賀実科女学校、小城実科高等女学校、神陽学館約120 ※数字は募集定員	3・1～6,8～26, 28～30〈2,3〉

その他

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
3	1	県出身の多久島萬市は沖縄県文官普通試験に合格	3・19〈2〉
3	○	佐賀連隊区司令部管内の陸軍志願者数(4年度) 士官学校146人、主計候補13人、幼年学校91人	3・1〈2〉
3	2	県出身の事業家内田義明が東京で死去、享年61歳。朝鮮の開墾に従事。13日に納骨式を佐賀郡木原村の宗専寺で行い、副島義一、石丸勝一、伊丹彦次郎らが参列	3・4,13,14〈2〉
3	2	県出身の歩兵中尉袋辰治と同少尉坂田末吉は、陸軍戸山学校体操科に入校	3・8〈2〉
3	○	小城郡出身の元司法大臣故松田正久の銅像は、司法省敷地内桜田門角に3月下旬着工の予定。1丈2尺の立像	3・2〈2〉
3	○	海外渡航許可数(2月) ウラジオストック9人、オランダ領スギー島5人、アメリカ合衆国3人、マレー半島1、イギリス領インド1、中国1	3・2〈2〉
3	○	熊本税務監督局管内の売薬営業税前期徴収成績(3年) 佐賀県は調定済4467円、収入済4388円	3・4〈2〉
3	○	第10回長崎・佐賀両県連合清酒品評会は4月7日から長崎市で開催予定。県からの常務委員は田代元一と岩永新七。出品人心得9項目を掲載	3・4〈2〉
3	○	鉄道院九州管理局は、福岡県太宰府天満宮への観梅団体員850人を募集。11日に新式ボギー客車で牛津駅を出発予定。料金は佐賀駅から1人65銭	3・5～8,11〈2,3〉
3	○	佐賀物産陳列館の利用状況(2月) 縦覧人数3062人で1月比517人増、即売品売上高101円で75円の減	3・6〈2〉
3	○	佐賀図書館の利用状況(2月) 館内閲覧2230人、館外貸出263人、新聞閲覧2762人	3・6〈2〉
3	○	遊郭の有病者数(2月) 淋病43人、軟性下疳6人、梅毒3人、その他1人、計53人	3・6〈2,3〉
3	○	佐賀市の出生・死亡者数(3年) 出生数は男601、女564、死亡者男404人、女397人。うち5歳未満の死亡者男129、女118人	3・9〈2〉
3	○	肥前米移出検査数(2月) 玄米3万7063俵、白米3万2383俵。新穀以来の累計は玄米15万5783俵、白米18万6219俵、船舶積1万1024俵、汽車積5万4232俵、馬車積4190俵	3・9〈2〉
3	○	肥前麦移出検査数(2月) 小麦1万6757俵、移出先は大阪、兵庫、北九州大里、久留米など、新麦以来の累計は20万4750俵	3・9〈2,3〉
3	○	日本赤十字社佐賀支部社員数(2月末) 特別社員227人、正社員1万7323人	3・10〈2〉
3	14	米価 諸富出来値 佐賀郡新米3.4斗入り 4円 米本屋	3・15〈3〉
3	○	県出身の故陸軍歩兵少佐横尾平の遺族に、鍋島家から50円の祭染料、陸軍大学校高等官一同から100円の香典が届く	3・14〈2〉
3	○	3年の県内の塩元売り業者は17人、元売り高は1969万4380斤	3・15〈2〉
3	17	県出身の平原桃三郎は富山県立商船学校長に任命される(官報)	3・19〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
3	○	小説「柳沢騒動 浅妻船」坂本富岳 149回	3・18～8・18〈1〉
3	○	朝鮮の釜山を経由して移民地に向かった東洋拓殖会社取扱の移民数(1月20日～3月10日) 合計159戸、601人。県出身者は7戸、41人	3・20〈1〉
3	○	杵島郡須古村出身の愛知県熱田神宮権宮司副島知一は、父親の1周忌のため一時帰郷	3・21〈2〉
3	○	長崎税関管内各港の貿易高(2月中) 県関係では唐津港輸出高29万3905円、住之江港輸出高7万5663円	3・24〈2〉
3	○	現存する県内の大木は、地上5尺以上、幹回り1丈以上は1055本。楠351本、松396本、棕58本など	3・26〈2〉
3	○	「愛郷痛語」2回 蘇泉野人 佐賀の街は駄菓子屋と曖昧屋が多く、商人は不愛想で、商店の陳列はただ並べているだけと皮肉る。唐津の発展を評価、佐賀には企業家が必要と主張	3・26,27〈2〉
3	○	県出身の田崎克蔵と大導寺又三は医籍に登録される	3・29〈2〉
3	○	神埼郡三瀬村出身の光安夢堂は、東京美術協会の評議員に選出される	3・30〈2〉

国内・国際

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
3	2	大隈重信は早稲田の私邸に日本蓄音器会社の技師を招き、遊説用の演説を蓄音器に吹き込む。8日完成し早稲田の私邸で試聴、内容は『最高の理想』。レコード5枚5円で頒布。この頃、選挙演説用に蓄音器吹き込みが流行	3・5,10〈2,3〉
3	4	前橋地方裁判所は、同市の大隈信常選挙事務所を選挙違反の疑いで家宅捜査	3・7〈1〉
3	○	明治神宮造営当局は、同神宮境内樹木進献取扱方を各府県へ通達。神苑約19万坪に神林を造成するため全国から献木を募る	3・4〈1〉
3	6	博多湾築港計画に許可が下りる。資本金280万円で株式会社を設立。面積40万坪、水深20尺で5000トン級の商船の接岸を可能とし、九州鉄道などと接続	3・11〈1〉
3	○	3月現在の日本人の在満州移民は26万5907戸、人口は94万3390人	3・6〈1〉
3	○	文部省は第3回南洋学術探検隊として、ヤルート、マーシャル、カロリン諸島に東京帝国大学、医科大学、農科大学、文科大学などの研究者や学生の派遣を決定	3・6〈1〉
3	○	ロシアやフランスからの兵器注文のため、各地の軍需工場に工員を増員。東京砲兵工廠5000人、大阪砲兵工廠4000人、その他の軍需関連工場5000人以上	3・6〈1〉
3	8	西本願寺前法主大谷光瑞が管長に復帰	3・11〈2〉
3	○	大隈重信は日中交渉の遅延のため、11日頃に予定していた京阪地方への遊説を中止	3・8〈1〉
3	○	長崎居住の柏文蔚、季雨霖、白逾桓ら亡命中国人は、日中の交渉は中国の主権を侵害するものではないとして冷静な態度をとる(長崎通信)	3・8〈2〉
3	○	曹洞宗永平寺は貫首選挙を25日に予定。永平寺派、総持寺派、改革派が対立し、熱狂的に運動を続ける	3・10,13,14,17,21 〈1,2,3〉
3	12	日本と中国の交渉は、袁世凱が反対の態度を示したため、決裂の兆し	3・15〈1〉
3	○	3年の日本の内地人口は約5335万6300人、明治5年は約3311万800人。42年間で約2024万5500人増加	3・13〈1〉

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
3	○	「国民よ慎め」 凡骨生 2回 日中の交渉が進まず、軍事行動の聲が高まっているが、外交の要は平和を以て第一義とすべき、大隈重信が扇動して義勇兵を送ろうとしたが馬鹿げた話である	3・13,14〈1〉
3	15	姫路師団下の混成第8旅団が中国青島の守備のため神戸港を出発。27日までに派遣部隊全員が出発完了、総勢約2341人	3・16,21,28〈2〉
3	16	内務省は大札に伴う衛生心得を発表。飲料水の検査、街路の清掃と散水、共同便所の修理や消毒など、詳細にわたり指示	3・20〈3〉
3	○	第一次世界大戦の勃発以来、シンガポールや南洋各地では欧州産セメントの輸入が途絶し、日本産に対する需要が増加。佐賀、小野田、浅野など6社の製品輸出が激増	3・16〈2〉
3	○	文部省は、明治44年から全国各地で実施している通俗教育の講演会・幻燈会・活動写真会、名所旧跡の保存、巡回文庫の設置などの実態調査を行い、更に推進する方針	3・17〈1〉
3	19	群馬県の富岡銀行頭取が、前橋駅で梨本宮を奉迎送中、手続き無しで名刺を差し出したとして不敬罪で引致される	3・21〈2〉
3	○	日中の交渉が行き詰まる中、上海で日本の商品をボイコットするなど排日運動が激化	3・19〈1〉
3	20	帝国蚕糸(株)発起人総会を横浜で開く。社長に原富太郎、相談役に渋谷栄一ら。23日、政府は補助金500万円の支出を閣議決定	3・19,21,24,26〈1〉
3	20	神経学会九州地方会は発会式を福岡医科大学で開く。県からは吉岡猛、副島武熊ら4人が出席	3・22〈2〉
3	24	朝鮮総督府は専門学校規則を發布。普通・実業・専門の各私立学校を一般公立学校の規定に準拠させることを目的として、私立学校規則を改正	4・1〈1〉
3	27	九州トロール組合は創立総会を長崎市の内外倶楽部で開く。組合企業は佐賀県唐津の肥前トロール(株)、長崎県の漁船漁業(株)など12社。組合長に漁船漁業(株)の倉場富三郎を選出	3・30〈1〉
3	27	郵便貯金利子を従来の4分2厘から4分8厘に引き上げ(勅令) 4月1日から施行	4・1〈1〉
3	27	日本の商人6、7人が中国山東省で中国人に襲撃され、1人死亡。公使日置益は中国政府に嚴重抗議	4・5〈1〉
3	○	飛行家坂本壽一は福岡県筑紫郡に東洋民間飛行学校を開校し、生徒15人を採用。うち県出身者は1人	3・29〈3〉
3	○	衆議院議員選挙で落選した著名人15人を紹介。福岡県の鉾山王安川敬一郎、前文部大臣大岡育造、前衆議院議長奥繁三郎、法学博士副島義一ら	3・29〈3〉
3	30	宮城県仙沼町で大火、警察署、町役場をはじめ約1000戸を焼失	4・1〈2〉

政 治

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
4	2	杵島郡北有明村長川崎辰一郎が辞職	4・7〈2〉
4	○	4年度知新会生徒応募者と一般海軍志願者の予備身体検査を、佐賀市椎小路の牟田病院で6日に実施の予定	4・2〈2〉
4	6	佐賀郡久保泉村助役に古川新を認可	4・8〈2〉
4	9	県は各郡市税務主任会を県庁で開く。電柱税徴収など注意事項8件、県税滞納整理など協議事項4件	4・11〈2〉
4	○	佐賀郡金立村収入役唐島峯吉は再任となる	4・9〈3〉
4	○	佐賀市は3年から市内各区に納税組合の結成を奨励。東魚町は区長彌永峯吉、西岡辰一郎らの斡旋で全戸が加入し、地租戸数割を完納	4・14〈2,3〉
4	15	藤津郡長上村千秋や同郡内の村長らは久留米野砲隊と工兵隊を慰問。16日歩兵第55連隊、17日佐世保重砲隊、18日海兵団、19日長崎重砲隊で同郡出身者と面会	4・16,23〈2〉
4	15	佐賀郡中川副村助役内田庄吉を認可	4・16〈2〉
4	○	歩兵第55連隊陸軍歩兵中佐奥平俊蔵は、東京市の連隊区司令官に転任	4・15〈2〉
4	○	東松浦郡選出県会議員山口長治は失格となり、5月18日に同郡選挙区補欠選挙を実施予定	4・15〈2〉
4	16	元大審院検事河西博文が免囚保護事業に関して佐賀郡役所で講演。各村長や寺院の住職が参加	4・17〈2〉
4	○	県の3年度第4期所得税徴収額は査定額5万7660円、徴収額5万7573円、徴収率99.9%	4・17〈2〉
4	○	西松浦郡は町村吏員や篤志者を表彰。受章者は大坪村村長前田虎之助、有田村村長池田大九郎、伊万里町収入役吉武圓七ら3人	4・19〈2〉
4	20	佐賀市は水道の起工式・地鎮祭を市内3か所の水源地で行なう。第1水源地は東田代町、第2水源地は旧城内、第3水源地は長瀬町。4年中に鉄管を埋設し、全市に給水予定	4・21〈2〉
4	20	県参事会は、東松浦郡佐志に健康診断の検査場を新設したため、衛生及病院費の中の健康診断費77円を追加予算として決議	4・21〈2〉
4	○	佐賀郡は4年徴兵検査と抽選の日時・場所を決定。6月13日～25日まで	4・22〈2〉
4	24	久留米第18師団長斎藤力三郎は歩兵第55連隊随時検閲のために来佐	4・19,25〈2〉
4	○	郡長らが異動 藤津郡長に前神埼郡長原田守造、三養基郡長に県警視今井亀三郎、神埼郡長に県理事官馬渡徳太郎、杵島郡長に県警視熊野御堂宗次郎。県理事官に内務省属菊池慎三、佐賀警察署長に警視徳永治吉。前杵島郡長甲斐田毅、前藤津郡長上村千秋、前三養基郡長木村誠二郎は依願免職	4・25,26,29,30,5・2〈2〉
4	26	小城郡小城町と三日月村の消防組は、服装や諸器具の点検と水圧検査を合同で実施	5・6〈3〉
4	28	佐賀地方裁判所所属の弁護士12人は定期総会を開く	4・30〈2〉

経 済

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
4	1	小城郡は第22回清酒品評会の褒賞授与式を小城公園内の天山閣で開く。優等は木下平兵衛の「太平」、七田秀一の「天山」	3・26,4・3〈2〉
4	○	佐賀米穀取引所の3月の売買高は70万9400石で、2月比で11万1000石の減少。3000石以上を売買した仲買人は8万2200石の中島源太郎ら33人	4・1〈3〉
4	2	熊本県の農事視察団約30人が県農会や県農事試験場を訪問、五石懸賞会などを調査	4・3〈2〉
4	2	三養基郡と神埼郡の営業税調査員に、三養基郡田代村の松田寛吾ら5人と補欠員3人が選出される。5日は佐賀郡市の選挙が行われ、郡部は久本泰三郎、石川又八ら4人、市部は森永作平、福田慶四郎ら4人が決まる	4・3,6〈2〉
4	○	県農業技手に千綿萬三を任命、月俸35円	4・2〈2〉
4	3	佐賀郡東与賀村實久区の六石懸賞田合格記念農事研究会は、4月定例研究会を開く	4・5〈2,3〉
4	○	県は病虫害駆除予防励行組合に奨励金を下付。佐賀郡15、神埼郡7、三養基郡11、小城郡11の合計44組合	4・3〈2〉
4	○	県農会は4年度第1期共同購入肥料の注文受付を始める。申込期限は4月18日。主な肥料は普通過リン酸、精過リン酸、窒素リン酸、硫酸アンモニア、硫酸カリなど	4・3〈2〉
4	4	第1回小城郡進農大会を同郡小城町の桜岡尋常小学校で開く。精農家として三日月村の石井惣次郎と三里村の桑原芳一、優良農事実行組合として牛津町の練ヶ里など4団体を表彰	4・1,5〈2〉
4	4	佐賀米穀取引所は株主総会を開き、仲買人に売買奨励金を交付すること、役員の新補欠選挙、相談役の推薦制などを協議。理事長に鶴田小太郎を選任	4・5〈2〉
4	5	佐賀郡は農区技手会を郡役所で開く。協議事項は、晩稲の塩水選日割、部落農談会の開設、桑苗申込など7件	4・6〈2〉
4	○	佐賀郡東与賀村は米麦作の根本的な改良を図るため、6日～18日に村内各区で農談会を開く予定	4・5〈2,3〉
4	6	県は苗代薄播を奨励、苗代1坪の播種量を3合以内とする(県告諭) 県農務課長は米の生産目標を150万石とするため薄播の励行を呼びかける	4・7〈2〉
4	○	県水産試験場技手に前愛媛県新居郡水産技手姉帯定介を任命、有明海出張所勤務を命じる。月俸35円	4・6〈2〉
4	○	不況のため東松浦郡唐津港の石炭搬出が不振。3月末の貯炭高は12万3000トン	4・6〈2〉
4	○	県農会は養蚕教師会を8日から2日間、県農会事務所で開く予定。蚕種共同購入や生繭共同販売の促進など、5件を協議	4・6〈2〉
4	7	佐賀商工会代表者古賀製次郎は、佐賀駅構内に県産品の陳列場所が設置できるよう、請願書を九州鉄道管理局に提出。5月に認可を受け、陳列内規を制定	4・8,5・6,20,6・15〈2〉
4	9	川上軌道(株)は、佐賀郡川上の淀姫神社北側に一般公衆のための娯楽施設、秀流館を竣成し、披露宴を開く	4・11〈3〉
4	9	小城郡北多久村に北多久金融(株)を設立(公告)	5・6〈3〉
4	12	杵島郡武雄温泉場は高等浴場と楼門の増築が竣工し、開場式を祝う。2年初春に辰野金吾に設計を依頼、同年11月着工。杵島炭坑主高取伊好や連隊区司令官竹下宣行ら来賓多数	4・8,13,14〈2,3〉

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
4	13	県は勸業主任会を県会議事堂で開く、14日まで。出席者は郡科長、市町村勸業主任、農業技手、農区技手、農事試験場員と農務課員。4年度は農区を従来の39区から63区に増設し、病虫害予防と駆除、一般農事の指導徹底を図る。米麦品種の改良統一方法など諮問事項10件、自給肥料の一層の普及方法など協議事項5件	4・10,14,15〈2〉
4	○	福岡県遠賀郡の宮川高良らが申請中の神埼郡脊振村、三瀬村での金銀銅鉱の増区願、佐世保市の城島虎之助らが申請中の東松浦郡切子村、入野村での石炭鉱区の試掘願が認可される	4・14〈2,3〉
4	15	肥前貯蓄銀行は佐賀市片田江の岩松茶店内で水ヶ江代理店を開業(記事と広告)業務は貯蓄預金と諸預り金、頭取古賀善兵衛	4・14～16〈1,3〉
4	15	神埼郡蚕業期成会は神埼郡神埼町の大井屋で会議を開く。大日本蚕糸会佐賀支部品評会への参加や品評会協賛の組織化などを協議	4・17〈2〉
4	15	3年に六石懸賞に合格した佐賀郡本庄村鹿子地区は、4年も懸賞を目指して農区技手や同村助役指揮の下に、共同苗代の種まきを実施	4・20〈2〉
4	○	県は、東松浦郡唐津町で5月に開催予定の関西九州連合水産集談会の会順、運営担当者を発表。水産集談会委員に東松浦郡長西井茂馬、唐津町長矢田進、浜崎漁業組合顧問常吉太郎ら7人を嘱託	4・15,17,22,28,29〈2,3〉
4	16	県農業技手に農商務省種牛所書記兼種牛所技手立花松男を任命。内務部農務課に畜産技手を設置するため。月俸51円、農科大学乙科卒	4・17〈2〉
4	16	杵島郡は勸業主任と技術員の協議会を開き、郡生産品評会の出品割当てや部落農事実行組合の活性化などを協議。実行組合活動方法12項目を協定	4・20〈2〉
4	16	佐賀米穀取引所は、仲買人が取引所に納める定期取引手数料を改訂。価格10円以上11円未満の手数料74銭、価格11円以上12円未満の手数料80銭など13段階	4・17〈2〉
4	○	佐賀商業会議所は、福岡県久留米市で開催の西部商業会議所連合会で、九州鉄道唐津線の分岐点を佐賀駅に変更することをその筋に要望する、など6項目を報告	4・16〈2〉
4	○	三養基郡基里村の日本中央養蜂会付属採蜜試験場は、70斤の採蜜試験を25日から実施の予定	4・17〈2〉
4	○	藤津郡塩田村の藤津製紙(株)の諸岡伊吉と長崎市今町の西野喜四郎は、海外輸出のため大判紙・小判紙・長ちり紙の生産にも力を注ぐ予定	4・17〈2〉
4	19	佐賀商業会議所は重役会を開き、佐賀停車場敷地の拡張や唐人町通りの道路拡幅をその筋に建議することなどを協議	4・21〈2〉
4	19	(資)金善商店を佐賀市白山町に設立(公告) 目的は有価証券・土地・建物売買の仲介、電話金融の仲介。資本金1500円を弥富元次が全額出資	4・22〈3〉
4	○	小城郡南多久村は、抜穂など2種品評会を同村尋常高等小学校で19日に開く予定	4・19〈2〉
4	○	「九州茶の前途」 静岡県製茶業組合会頭中村圓一郎 嬉野茶は形状は粗末だが香美佳良、製茶を小学校の課業に加え、唱歌の中で奨励するほどに熱心と評価	4・19〈2〉
4	20	西松浦郡産業組合協議会は総会で、大正天皇即位記念事業の実行計画の作成を各組合に指示。例として同郡西山代村の山本源三経営の西山代西部信用購買組合が実施している据置貯金を紹介	4・23〈2〉
4	○	県は病虫害予防助手に渡邊直次、山下忠次郎ら4人を任命、日給30銭	4・20〈2〉
4	21	県農事試験場で二化メイ虫1匹を確認。早稲栽培農家に警戒を促す	4・23〈2〉
4	○	農商務大臣は、藤津郡七浦村の山口廣人が多年畜牛の改良繁殖に尽力し、成績優秀であるとして金50円を下賜	4・21〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
4	22	佐世保市の(株)肥薩銀行は小城郡牛津町に支店を開設、5月1日登記(公告) 日曜祭日も営業	4・10,5・6,11〈2,3〉
4	○	佐賀郡本庄村は稲の被害が多い稲椿象(フウムシ)の全滅を期して、寺院や林野などに潜伏する成虫を捕獲中。20日までの捕獲焼却高は7石8斗に及ぶ	4・22〈2〉
4	○	大阪市の第8回全国米穀大会に出席していた佐賀米穀取引所支配人持永佐吉、同受渡米検査委員鶴池彦蔵、同仲買人秀島徳一郎ら5人が帰佐	4・23〈2〉
4	○	病虫害駆除予防助手に田中萬太郎を任命、日給30銭。県農事講習所技手高柳欽一は免職	4・23〈2〉
4	○	佐賀、武雄小林区が売却予定の立木の場所は、三養基郡麓村牛原地区、藤津郡七浦村音成矢筈地区など計8か所	4・24〈2〉
4	○	博多で開催の九州各市質屋業者連合会に出席予定の佐賀市同業組合員は、組合長吉村吉郎、副組合長小林房一ら9人	4・24〈2〉
4	○	杵島郡農業技手に松永範一を任命、月俸23円。県農業技手に古城壽三郎を任命、月俸40円	4・25〈2〉
4	30	佐賀商業会議所は定期総会を開く。議案は佐賀停車場敷地を拡張すること、同市唐人町の通路を拡張することなど4件	4・16,5・1,2〈2〉
4	30	佐賀セメント(株)の株主総会は取締役役に伊丹弥太郎、深川喜次郎、中野致明、大島貞七、伊丹誠一、田上源太郎を、監査役に大島小太郎、伊丹彦次郎、古賀善兵衛を再選(公告)	5・7〈3〉
4	○	県水産試験場は漁村改良の一助とするため、元年から実態調査を始める。まず東・西松浦両郡の報告書を刊行	4・30〈2〉
4	○	県水産試験場は鯉児の飼育希望者を募集、5月末まで。3年度に配布を受けた者に報告書の提出を督促	4・30〈2〉
4	○	「春の田舎より」 旭洋生 5回 苗代に厚播きし、水田への施肥を怠る農民を批判	4・30, 5・1,2,4,5〈2,3〉
4	○	この月、各地で蚕業講話会や講習会が開催される。佐賀郡金立村、川上村、三養基郡中原村、旭村、西松浦郡大川村、神埼郡仁比山村。蚕児の飼育方法や病害対策、生繭の販売方法などが課題とされる	4・14,18,21~23〈2〉

社 会

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
4	1	佐賀フィルム(株)が佐賀市水ヶ江町に活動写真館を竣工、開館式を行う。観覧料は特等20銭、1等15銭、2等10銭、小人は半額	3・29,4・2〈2,3〉
4	1	佐賀市唐人町の鏡圓寺は上棟式を実施	4・2〈2〉
4	1	佐賀市岸川町青年会は同市の蓮正寺で第2回学業奨励会を開く。通学生66人、優等皆勤者2人、優等者4人、皆勤者20人を表彰	4・3〈2〉
4	1	佐賀市呉服町の丸木屋呉服店は、月例の店員修養講演会を開く。講師は神埼郡神埼町の佐々木次圓	4・3〈2,3〉
4	1	九州逓信局は佐賀局の集配区域を変更。佐賀市内の5度集配地7区と4度集配地3区を、5度集配地4区、4度集配地3区、3度集配地3区に改編	4・11〈2〉
4	○	「鹿島衛生展覧会」 6回 山口花仙 鹿島中学校で2日~5日まで開催された県主催衛生展覧会の取材報告	4・2,5~9〈2〉
4	3	在郷軍人会東多久村分会は小城郡東多久村尋常高等小学校で春季総会を開く	4・3,6〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
4	○	佐賀市は清潔方法施行の検査日割と実施標準を発表。4月14日～29日まで実施予定	4・3〈2〉
4	4	佐賀日蓮宗純信教会と浄徳婦人会は、戦時報国賞状の伝達授与式と講演会を佐賀市の本行寺で開く。神代智明が青島攻撃の際の慰問袋募集功労者27人に賞状を授与	4・2,5〈2,3〉
4	4	佐賀郡西川副村の有志は同村尋常小学校校長荒木要次郎、訓導中原駿逸、郡農区技手鶴岡勇三の送別会を開く	4・6〈2〉
4	4	陸軍の飛行将校坂元守吉が帰省。8日は佐賀高等小学校で飛行機の由来や現状について講演	4・6,9,13〈2〉
4	6	医術開業試験を佐賀師範学校で8日まで実施。9日、10日は薬剤師試験を実施予定	4・6,7〈2〉
4	6	西村謙三、金武良夫らは、帰省中の法学博士副島義一の送別会を佐賀市の楊柳亭で開く	4・6,7,11〈2〉
4	6	小城郡南多久村の開業医芦原芳太郎は初老祝賀会を自宅で開く。技量が優れ、村民から敬慕される。各地の名士、村民など約1100人が集まる	4・14〈2,3〉
4	7	佐賀区裁判所は、3月の衆議院議員総選挙に関わる選挙法違反の罪で、三養基郡の加藤十四郎派運動員8人に罰金と追徴金を言渡す、運動員らは控訴。加藤本人は10日に証拠不十分のため無罪となるが検察側は控訴。22日、県会議長・杵島郡山口村村長田口文次、県会議員一ノ瀬傳三郎、北有明村長川崎辰一郎ら16人の選挙違反事件の公判が佐賀地方裁判所で始まる。5月4日佐賀地方裁判所は加藤の運動員に罰金刑などを言い渡す、加藤に関わる件は検察の控訴を棄却。田口、一ノ瀬、川崎らの違反に罰金刑、他13人には無罪の判決。6月14日、長崎控訴院は田口と一ノ瀬に無罪の判決を下す	4・8,9,11,21,23,25,26,5・5,6・17,23〈2,3〉
4	○	小城郡の松尾山住職神代智明は伽藍の整備に努め、大正天皇即位記念に杉苗5000本を植林。同寺は鎮西日蓮宗の本山、藩政期は将軍の祈願所で、天皇の勅願寺	4・7〈2〉
4	8	佐賀市の曹洞宗婦人会は釈尊降誕会を佐賀市公会堂で開く。会長高閑者道樹ら数十人の僧侶が読経。市長、歩兵第55連隊長、木山定生が講演	4・9〈2〉
4	○	三養基郡北茂安村の常德寺は、本願寺派本願寺明如上人13回忌参拝団の追加申込みを募集。中原駅を14日出発、22日帰着	4・8〈2〉
4	○	佐賀市柳町の専福寺が発起の本山参詣団は13日、佐賀駅発列車で京都、奈良へ向かう予定	4・8〈2,3〉
4	9	藤津郡軍人待遇会は、満期帰郷軍人に対する慰労金授与式と戦死病没軍人招魂祭を鹿島町招魂場で開く。明治7年から青島攻撃戦までの戦没者は171人	4・8,10,11〈2〉
4	○	佐賀軌道(株)は潮干狩の参加者を募集。14日～18日まで毎日出発、佐賀市水ヶ江から佐賀郡諸富まで往復する者に限る。参加費1人50銭	4・9〈3〉
4	10	佐賀市の松原神社は春季大祭を12日まで実施。能、狂言、人形芝居、猿犬芝居、活動写真などで賑わう。佐賀警察署の注意・説諭・制止を受けた事案は256件	4・10,11,13,14〈2,3〉
4	○	県は11日が明治皇太后没1周年祭のため、各学校は儀式を実施して徳を称える訓話を行ない、一般市民は喪章を付けた国旗を掲揚するよう指示。各官庁は遥拝式を行う予定	4・10,11〈2〉
4	11	小城郡牛津町の辻気次郎ら6人の発起で、故町会議員永淵袈裟次郎の追悼会を同町の禪林寺で開く	4・13〈2〉
4	11	杵島郡武雄郵便局長北島広吉が死去、15日に葬儀を武雄町の正法寺で行なう。武雄局に25年間勤務	4・13,16,19〈2,3〉
4	12	佐賀市は2日間、同市赤松町の旧師範学校前の鑿井地で、機械による地下水揚水を市民に披露、泉水が湧出	4・14〈2〉

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
4	13	石丸勝一や坂本規貞ら有志は佐賀市川原小路の招魂場で、第42回明治7年戦死者の招魂祭を開く。江藤冬雄、中川藤太郎ら遺族数十人が参加(記事と広告)	4・10,11,13,14 〈1,2,3〉
4	13	小城警察署は県北部方面撃剣大会を開く。17日は東部方面剣道大会を佐賀警察署で、18日は西部方面剣道大会を有田分署で開く	4・13,17,18,20〈2〉
4	15	東松浦郡軍人待遇会は、戦死病没軍人招魂祭を虹の松原招魂場で開く	4・8,15,16〈2,3〉
4	16	元大審院検事河西博文は、免囚保護事業の講演を佐賀郡役所で行なう。東松浦郡を除く各郡で20日まで実施の予定	4・7,17〈2〉
4	16	佐賀郡春日村青年会小川支部は、倶楽部の新築落成式を行なう	4・23〈2,3〉
4	○	高閑者道樹、鶴春気ら4人は、精神修養講演会を佐賀市公会堂で18日に開く予定。講師は曹洞宗大学教授忽滑谷快天	4・16,18〈2〉
4	18	愛国婦人会神埼郡東脊振村委員部と日本赤十字社同村支部は、同村尋常高等小学校で連合総会を開く	4・16,17,20,22〈2〉
4	18	三味線、琴、尺八などの奏楽家古賀鶴之都の門下生が石碑を建立し、菩提寺の佐賀市の西念寺で自祝宴を開く。新旧門弟や関係者ら250人が集まる	4・19〈2〉
4	18	小城郡東多久村の本覚寺は観音堂を新築し、観音像の開現式を行う	4・21〈2〉
4	21	佐賀孤児院は孤児院経営基金募集のため、佐賀市新馬場の新栄座で3日間、慈善演芸会を開く。入場料は特別券50銭、1等券20銭、2等券10銭。賛助者は伊丹弥太郎、佐賀新聞社など著名人多数	4・11,15,20~23 〈2,3〉
4	21	佐賀新聞社社長江副靖臣は病氣静養のため辞職、後任は法学博士副島義一。江副は18日から危篤状態、24日死去、享年65歳。6月20日に追悼会を佐賀市公会堂で開く(記事と広告)	4・21,22,24~29, 6・16,19,21〈1,2,3〉
4	21	小城郡牛津町の医師吉田益三が設立した産婆養成所は第1回卒業式を実施。卒業生総代森永カタ	4・23〈2〉
4	21	佐賀郡兵庫村で腸チフス患者3人発生	4・23〈2〉
4	○	佐賀市長瀬町の谷口鉄工所は、慰安の目的で26日に福岡勤業共進会の団体見物を計画。約500人の職工に弁当と汽車賃を支給	4・21〈2〉
4	○	小城郡牛津町の鎮西日日新聞は、福岡県久留米市の九州報知新聞と合併し九州報知と改題、発行所を佐賀市唐人町に移転。主幹兼主筆は森本緑哉	4・21〈2〉
4	23	杵島郡龍王村実業青年会深西青年支部は第1回父兄懇話会を開く。同青年会の基本金の充実方法や倶楽部建設の位置などを協議。区会議員、名望家、父兄会員ら約130人が集まる	4・29〈2〉
4	○	佐賀警察署管内の芸妓酌婦健康診断の結果は、芸妓52人のうち伝染性疾患患者8人、酌婦85人のうち同20人	4・23〈2〉
4	○	小城郡で軍人待遇会を組織し、25日に同郡小城町の天山閣で招魂祭を開く予定	4・23〈2〉
4	24	大日本武徳会佐賀支部は第17回武徳祭と春季演武大会を開く。25日まで、種目は剣道、柔道、柔槍術、銃剣術、薙刀術、弓道。県外からも参加者多数	4・15,20,24,25〈2〉
4	25	「九州の商王」と呼ばれた故田中丸善蔵の銅像が完成、小城郡牛津町の田中丸邸で盛大に除幕式が行われる。建設委員総代は大串藤吉、像の高さ9尺	4・19,26〈2〉
4	○	佐賀郡金立村の成富甲子太郎は山林と畑を歩兵第55連隊演習場に、藤津郡大浦村の西村為一は金を同村尋常高等小学校に、西松浦郡大川内村の川原伊三郎は自転車と同村役場に寄付して、賞状と木杯を下賜される	4・25〈2〉
4	○	「江副靖臣氏略伝」 11回 友人からの聞き取りによる経歴を紹介	4・25,26,28,29,30, 5・1,2,4,5,6,7〈1,2〉
4	26	杵島郡北方村の杵島炭坑第2坑で坑夫1人が炭車に轢かれ死亡	4・29〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
4	29	佐賀市多布施町の招魂社で青島攻撃戦での戦没者、台湾原住民制圧戦での戦没者の合祀式、30日に招魂祭を行う。市内8銀行と地所(株)は臨時休業。鉄道院は佐賀駅までの運賃を2割引	4・1,25,29,30,5・1 〈2,3〉
4	○	佐賀市水ヶ江町片田江通りの神代良太郎は、県立病院好生館薬剤部長を辞職して神代薬局を開設(記事と広告)	4・29,30,5・1～5 〈2,3〉
4	○	この月、各地で青年会の総会や集会を開く。佐賀郡東与賀村掘区、新北村、西川副村、川上村、三養基郡三川村、神埼郡西郷村、小城郡三里村	4・3,5,7,8,16, 21～23,25〈2〉
4	○	この月、青島攻撃戦の戦死者遺族37人に賜金が交付される	4・7,13,25〈2〉

教育・文化

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
4	1	佐賀市の改良座で薩摩・筑前琵琶の合同演奏会を開く。満場立錫の余地のないほどの盛会、2日まで	4・2〈3〉
4	1	文部省は神埼郡立神埼農産学校の設置を認可。これまでの同郡地主立農産学校が乙種に昇格し、郡立となる	3・7,4・9〈2,3〉
4	3	東京音楽学校の洋楽演奏会を佐賀市立観興小学校で開催。弦楽4部合奏「セレナーデ」、ピアノ独奏「歌劇タンホイザー」など11曲	4・3,5〈3〉
4	4	有田工業学校卒業生が組織する有工会は、同校教諭徳見知敬の永年勤続頌徳会を開く	4・2,8〈2〉
4	4	佐賀郡市神職会は例会を同市八幡小路の神職会場で開く。大正天皇の即位式記念事業などについて協議	4・5〈2〉
4	7	小城中学校教諭松崎寛本は鹿児島県志布志中学校へ転任	4・9〈2〉
4	○	「教育界漫言」 5回 博章生 佐賀県教育不振を是正するためには、視学の改革が必要、教師の進退や転勤・免職には慎重であれ、教育者に安定の地位を与えよ、教育者は監督当局の氣息を窺うようなことをしてはいけない、などと論じる	4・9,10,13,14,16〈2〉
4	○	佐賀中学校教諭下村虎六郎や県師範学校教諭張二男松の昇給など、中等学校教員113人の異動辞令を発表	4・11,13〈2〉
4	13	神埼郡西郷村は、同村小学校から進学した中等学校生徒の成績向上を図るため小学校職員と保護者の懇談会を開く	5・3〈2〉
4	15	文部省の古社寺保存会委員松平頼平は、各社寺が宝物とする刀剣を18日まで調査。佐賀市の与賀神社所有の刀は康光作の傑物の可能性があるとして、再調査のため同保存会へ提出を命じる	4・16,17,29〈2〉
4	15	県教育会主催の4年度通俗講話会が、佐賀郡西与賀村から始まる。5年3月5日まで各郡で実施の予定	4・16,18,20,22, 5・2〈2,3〉
4	○	文部省は佐賀郡巨勢尋常高等小学校校歌を同校用唱歌として採用。歌詞山田秀作、作曲益山謙吾	4・16〈2〉
4	○	佐賀郡川副村高等小学校長福島健助は、養蚕実習を計画。蚕種を購入し、同校児童に飼育させる予定。同郡の与賀高等小学校でも蚕紙を購入し、女生徒へ蛾を配付して上簇の後、繭品評会を実施する予定	4・21,22〈2〉
4	○	佐賀市立日新尋常小学校訓導高木文太郎と、同勸興尋常小学校訓導原口種太郎の25年勤続祝賀会を、5月中旬に開く予定	4・23〈2〉
4	○	東松浦郡教育会は8日に同学年研究会、9日に春季総会を計画	4・24〈2〉
4	○	鹿島中学校は創立第19回記念運動会を30日に計画	4・28〈3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
4	29	佐賀市立循誘小学校は校舎新築3周年記念運動会を開く	4・28,30〈2,3〉

その他

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
4	○	県林業技師風間源吾に年俸1100円、県農業技手長崎武熊に月俸45円、県警察医鶴田與茂市に年俸1000円	4・1〈2〉
4	3	九州神職連合会が宮崎県宮崎町で開催される。県からは藤津郡の永田佐次郎ら11人が出席	4・3,8〈2〉
4	○	佐賀図書館の閲覧数(3月) 合計3413人、利用者の職業は学生、実業家の順	4・3〈2〉
4	○	海外渡航者数(3月) 合計男12人、女18人。アメリカ合衆国男5女8、ウラジオストク男4女5、スマトラ男1女2、マレー半島男1、女2、フィリピン男1、その他女1	4・3〈2〉
4	○	県出身の江島信一は東京美術学校金工選科を卒業。大坪正は東京外国語学校英語学科を、下村宏次郎は同校独語学科を卒業	4・3〈2〉
4	○	佐賀新聞は、3日が神武天皇祭日のため4日を臨時休刊とする(社告)	4・3〈2〉
4	4	佐賀市出身の諫早駅長牧園秀吉が死去、享年49歳。8日に同市の宗龍寺で葬儀	4・9〈2〉
4	5	佐賀の高野山参拝者630人を乗せた臨時列車が、奈良県宇智郡坂合部村で転覆、5人負傷	4・6〈3〉
4	○	県物産陳列館月報(3月) 入場者5505人、即売品売上高216円、2月比で2443人、115円55銭の増。新規陳列品に香蘭社陶磁器5点、深川製磁会社陶磁器5点、久富製磁所陶磁器1点。新規委託販売品に佐賀孤児院製造の柔道ズボンなど	4・5〈3〉
4	○	佐賀郡本庄村出身の名古屋高等工業学校生三好甲子郎は、学術優等・品行方正のため同校特待生に選抜される	4・6〈2〉
4	○	各郡市の地租付加税・戸数割付加税の徴収成績(3年度後期) 未徴収額の少ない順に杵島郡、三養基郡、神埼郡。佐賀市が最多	4・8〈2〉
4	○	3月末の日本赤十字社佐賀支部の正社員は1万7362人、特別社員227人。愛国婦人会佐賀支部の通常会員は9323人、特別会員1002人	4・8〈2〉
4	○	県出身の花田栄太郎は、東京高等師範学校本科数学・物理学部を卒業	4・9〈2〉
4	○	肥前米移出検査数(3月) 玄米4万8268俵、白米3万6620俵。船舶積1万2266俵、汽車積6万7259俵、車馬積5347俵	4・10〈2〉
4	○	肥前麦移出検査数(3月) 総数8780俵、主要仕向地は兵庫5714俵、大阪472俵、北九州大里2022俵、久留米245俵、佐世保327俵	4・10〈2〉
4	○	福岡専売支局の樟脳及び樟脳油収納高(3月) 佐賀県は樟脳7725斤、樟脳油1万2528斤	4・11〈2〉
4	○	佐賀新聞は、明治皇太后没1周年祭と松原神社祭典のため11日を休業し、12日を臨時休刊とする(社告)	4・11〈2〉
4	12	県出身の近衛師団第4連隊長武藤信義は海軍軍令部参謀を、海軍少将小笠原長生は宮内省御用掛を命じられる(叙任・辞令)	4・18〈2〉
4	13	県出身の青島攻撃戦や台湾原住民制圧戦での戦死没者108人が、靖国神社に合祀される	4・15,18,22〈1,2〉
4	13	米価 佐賀郡新米 3.4斗入 4円 諸富出来値 米本屋	4・16〈3〉
4	13	第10回佐賀・長崎両県連合清酒品評会褒賞授与式が長崎税務署で開催。優等賞は三養基郡の岡村国助の「日の本」など2銘柄	3・16,4・8,9,13,15〈2,3〉

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
4	14	小城郡出身の特許局長崎川才四郎が来佐、岸本県内務部長を訪問	4・15〈2〉
4	○	佐賀市長瀬町の谷口鉄工場は、高さ2尺の日蓮銅像が完成したため、依頼主の長崎市の長照寺へ15日に輸送の予定	4・15〈2〉
4	○	佐賀郡の人口(3年12月末) 総計10万6231人、うち農業専業5万549人、副業1万1181人、商業専業1万3759人、副業4654人、工業専業6305人、副業2246人、漁業専業5111人、副業2003人、雑業専業8230人、副業2273人	4・17〈2〉
4	○	東北理科大学で学んでいる県出身の黒田チカは5年に卒業し、学士号が許可される予定。博士会長は、男子同様に将来は博士号が授与されるべきと語る	4・18〈1〉
4	○	県出身の長崎医学専門学校薬学科卒奥川春吉を薬剤師名簿に登録	4・18〈2〉
4	○	森林原野の火入許可面積(3年) 計1万3251町1反、最多は東松浦郡の8429町2反。目的は害虫駆除9641町、植林地造成1553町、防火線94町など	4・19〈2〉
4	○	大阪で開催の全国米穀大会に、県からの出品者は6人。九州各県の中では最少	4・20〈2〉
4	○	嘉村彦四郎ら有志は、国益増進のために物質的経済的研究を行う国益研究会を設立する予定。本部を東京、支部を佐賀市など各地に置く	4・22〈2〉
4	○	(株)佐賀魚市場第30回事業報告(広告)	4・23〈3〉
4	○	県内業者製造の金肥額(3年) 総額14万5211円、2年に比し3万1738円増加。うち主要な肥料は鱈粕、菜種油粕	4・24〈2〉
4	○	熊本大林区署管内国有林面積(4年) 総面積1万520町、1万2097カ所。佐賀県3738町、451カ所	4・24〈2〉
4	○	佐賀新聞は、社主江副靖臣の葬儀のため26日を休業し、27日を臨時休刊とする(社告)	4・26〈2〉
4	○	県内主要炭鉱の生産高(3月) 芳谷炭坑9410万6517斤、相知炭鉱5544万9290斤、杵島炭坑5540万6020斤、岩屋炭坑3030万5180斤など	4・28〈2〉

国内・国際

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
4	1	九州沖縄8県勸業共進会が福岡市で始まる。5月10日まで。出品者4786人、出品点数1万1742点。佐賀県からの出品者は73人126点で第6位	3・26,30,4・2,6,10,14,16,21~24,5・3〈2,3〉
4	1	九州新聞記者大会が福岡市の勸業共進会場で開催される。予約電話料を現行の半減にすることや、記者に全国共通の鉄道乗車券を交付することなどを協議。佐賀県からの出席者は西肥日報峯英太郎、佐賀毎日新聞松瀬清、佐賀日々新聞堀十二絃、佐賀新聞家永盛種	4・2〈2〉
4	1	日中交渉が進捗。日本政府が要求を一括提案し、回答を要求	4・3〈2〉
4	○	「日本に憲政なし」 凡骨生 総選挙の結果は政友会の暴政が同志会の暴政に代わっただけである。事大主義の官僚的国民には憲政の意味が分かっていない。2個師団増設は軍事力重視主義を意味し、商工業の衰退をもたらすだけでなく、列強の猜疑心を招き、ドイツの二の舞を演じることになる	4・1〈1〉
4	○	大木遠吉は、大隈内閣の増師案提出の時期や対中国外交に反対を唱える	4・1〈1〉
4	○	「拙劣無能の対支外交」 凡骨生 日本の対中国交渉は17回にも及ぶが、高圧的な態度は中国官民の反感を招き、排日思想の広がり招いている。日本政府は中国の怨恨を買い、欧米列強の疑惑を惹き起こしつつある	4・2〈1〉
4	○	5月召集の臨時議会に、陸軍は20カ年計画で2個師団増設費を、海軍は戦艦3隻の建造費を含む充実費を提出する予定	4・3〈1〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
4	○	郵船会社は門司～釜山、門司～上海間定期航路の長崎寄港を廃止し、直行させる計画	4・5〈2〉
4	6	大隈重信後援会は当初の目的を達成したとして、東京早稲田の大隈邸で解散式	4・8〈1〉
4	○	佐賀新聞は、その筋の話として、3年8月から4年1月までの欧州大戦の各国の戦費は、イギリス24億円、フランス32億5000万円、ロシア42億5千万円、ドイツ42億5000万円、オーストリア30億円など、合計171億5000万円と報道	4・6〈1〉
4	○	3月の衆議院選挙で当選した議員の職業は農業84人、弁護士52人、会社員49人、無職85人など、合計382人	4・7〈1〉
4	8	公立小学校教員に疾病治療料を支給(文部省令) 正教員が児童の衛生上特に考慮を必要とされる病気にかかり休職を命じられた場合、治療料を支給するなど準則5条を公布	4・9,13〈1,3〉
4	○	佐賀新聞は、3月実施の衆議院議員選挙の政党別当選者数を、内務省の調査によれば、同志会148人、政友会106人、中正会35人、国民党27人、大隈後援会29人、無所属36人と報道	4・8〈1〉
4	○	文部省の第4回南洋派遣隊一行6人が某地を出発。隊員は東京帝国大学や東京高等師範学校の地理・海洋浮遊生物・森林植物・熱帯農業経済、考古学などの教授	4・9〈1〉
4	10	福岡県久留米市で第10回西部商業会議所連合会が開催。12日まで。佐賀からの出席者は佐賀商業会議所会頭中野致明、同常議員太田米三郎、吉村吉郎、阿部八百八	4・7,10,13～15〈2,3〉
4	12	大札使の第1回会議を宮中で開く。首相の大隈重信が大典行事の円滑な遂行を訓示	4・14〈1〉
4	12	山口県厚狭郡宇部村の東見初炭坑で海水の浸水事故、坑夫235人が水死	4・15〈3〉
4	13	関西新聞記者大会が広島市公会堂で開催される。15日まで、言論の自由の尊重などを決議	4・15,17〈2〉
4	○	東洋拓殖(株)は第6回朝鮮農業移住民を募集(広告) 募集戸数1500戸	4・13〈4〉
4	15	門司市大里町の(株)大里製粉の本館と付属倉庫が火災。貯蔵小麦1800トンが焼失、死傷者2人、損害総額約100万円。同社は神戸の鈴木家の経営で、東洋第一と称される	4・17〈3〉
4	○	海軍は、大型駆逐艦4隻、中型駆逐艦4隻、潜航水雷艇2隻の建造全てを海軍工廠で建造することに内定。海運界の好景気で官立や私立造船所が繁忙のため	4・15〈1〉
4	17	九州弁護士大会を博多商業会議所で開催。佐賀から5人参加	4・19〈2〉
4	18	九州の軌道会社10社は同業会を福岡市で開き、会則を決議。佐賀からは佐賀、祐徳の2社が出席	4・21〈1〉
4	19	大隈重信は東京早稲田の自邸で大規模な園遊会を開催。皇族、元老、各大臣、各国大使など各界の名士約3000人を招待	4・20〈2〉
4	20	九州医会は第23回地方会例会を九州医科大で開く予定。耳鼻科・口腔科などの医師10人が講演	4・20〈2〉
4	26	日置公使は中国に対し、英国の利権と競合する地方の鉄道権益を含む24カ条を提出。21カ条を拡大したもの(ニューヨーク電報)	4・29〈2〉
4	30	全国水産試験所長会議は、漁村の副業奨励策について協議	5・2〈1〉
4	30	東京控訴院はシーメンス事件に関連した三井物産重役岩原謙三、元造船技官松尾鶴太郎ら5人に懲役、罰金などの判決。松尾は、裁判が確定したため失官、位記の返上を命じられる	5・2,26〈3〉
4	30	九州工業校長会議を長崎三菱工業学校で開催。議長は有田工業学校校長黒田政憲	5・3〈2〉

政 治

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
5	5	河川監督巡査費国庫補給金が削除されたため、県参事会は同費目を削除	5・6〈2〉
5	6	県議員補欠選挙の結果、小城郡は石川三郎、三養基郡は木下十四三が当選、いずれも立憲政友会公認	4・1,5・1,2,5,8〈2〉
5	7	佐賀郡久保田村消防組は同村思斎尋常小学校運動場で消防点検を実施。18日は本庄村でも実施	5・9,20〈2〉
5	○	佐賀郡中川副尋常小学校訓導江頭秀夫ら同郡内の4年度6週間現役兵10人は6月20日、同郡川上村の実相院の徴兵署で身体検査を受ける予定	5・9〈2〉
5	11	佐賀市は消防点検を実施。北堀端、県庁通に見物客数千人が集まる	5・9,10,12〈3〉
5	14	4年度佐賀連隊区管内の徴兵検査が始まる。日程は14日杵島郡福治村の超光寺から、6月29日佐賀市の公会堂で実施まで	3・1,5・13,15〈2〉
5	19	東松浦郡県議員補欠選挙の結果、進藤復四郎が当選、次点は長谷川敬一郎	5・20〈2〉
5	○	佐賀区裁判所兼同地方裁判所検事合志淵蔵を唐津区裁判所検事に、唐津区裁判所検事矢追秀麿を函館区裁判所兼同地方裁判所検事に、小倉区裁判所武松久吉を佐賀区裁判所兼同地方裁判所検事に任命	5・19〈2〉
5	20	佐賀郡嘉瀬村の村議員補欠選挙は原田貞六と森永傳吉が当選	5・20,22〈2〉
5	20	佐賀市参事会は、市会で可決した家屋建築制限規定の設置と、赤松、松原、水ヶ江各町の名称変更について協議。名称変更は市当局の調査の結果、費用や利便性の点で影響が多いということで6月には立ち消え	5・21,6・9〈2〉
5	○	佐賀郡からの4年度海軍志願兵採用者は竹下善吾ら25人。6月1日佐世保海兵団に入団予定	5・20,21〈2〉
5	22	内務省嘱託国府種徳が来佐、第4回地方事業講習会で地方自治に関して講演。23日は県教育会で、26日は県師範学校で講演予定	5・23,25,26〈2〉
5	○	知新会は佐賀中学校で30日、海軍兵学校受験者のために模擬試験を実施予定	5・23〈2〉
5	○	佐賀連隊区の27人を含む4年度満州独立守備第6大隊の補充要員74人は、6月23日に小倉から出発予定	5・24〈2〉
5	26	杵島郡若木村村長に鳥谷寅七を認可	6・3〈2〉
5	27	神埼郡千歳村助役に原口邦次郎、小城郡小城町助役に池上三郎、杵島郡北有明村助役に江口三策、藤津郡久間村助役に田中寅一を認可	5・29〈2〉
5	29	陸軍大将閑院宮が歩兵第55連隊を検閲のため来佐。佐賀中学校、県師範学校、物産陳列場などを視察。30日～6月1日まで同連隊、佐賀衛戍病院、佐賀憲兵分隊などを検閲。市民、児童生徒が沿道で歓迎、特産品の献納が相次ぐ	5・11,22,27～ 6・3〈1,2〉
5	30	青島守備の残留部隊の歩兵第55連隊第2大隊600人が佐賀駅に帰還	5・22,23,26,28,31, 6・4〈2,3〉

経 済

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
5	1	県内の貯金業者22社は、杵島郡武雄町の小桜屋で業務に関する協議会を開く	5・6〈2〉
5	1	佐賀建築(資)が佐賀市与賀町に設立(公告) 代表社員は坂本経國、江口一郎	5・7,15〈3〉
5	○	佐賀郡本庄村農会は3年度苗代・水稻品評会の賞与授与式を1日、同村尋常小学校で開く予定	5・1〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
5	○	県農業試験場は堆積肥料舎の建設を奨励。建坪4坪以上で間口2間など4つの要件を満たせば、奨励金を下付	5・1〈2〉
5	○	佐賀米穀取引所の4月の売買高は54万3700石で、3月比で15万5700石の減少。1万石以上を売買した仲買人は5万1500石の中島源太郎ら24人	5・1〈3〉
5	○	佐賀市松原町の多久鉱業(株)が申請していた小城郡東多久村、三里村の石炭鉱区約66万坪の試掘願が許可される	5・2〈2〉
5	3	藤津郡西嬉野の肥前電気軌道(株)は、第3回株式払込を履行しなかった多数の株主を失権とする(公告)	5・3〈3〉
5	○	三養基郡鳥栖町の片倉製糸所は工女300人繰りに拡張。神埼郡は4年秋に県繭品評会を開催する予定	5・3〈2〉
5	○	神埼郡横武村の土井戸農事実行組合は、27日に郡書記や農区技手らを招いて農事談話会を開く予定	5・4〈2,3〉
5	7	小城郡牛津町字練里区の有志は第1回堆肥品評会を開く。1等は江原利三、乗富勘三、明石袈裟吉	5・9〈2〉
5	8	西松浦郡陶磁器品評会有田協賛会は、第19回陶磁器品評会を同郡有田町の有田物産陳列館で開催。14日表彰授与式。委員長深川栄左衛門、出品人惣代庄村健吉。同業者は約400人。同協賛会は即売部を設ける	5・7,9,16〈2〉
5	9	佐賀商工会は佐賀市神野の御茶屋で設立1周年記念を兼ねた春季総会を開く。会長に古賀製次郎、副会長に福田慶四郎を選出。電気軌道の早期敷設を促すなど4件を決議	5・5,8,10〈2〉
5	9	肥前米麦輸出組合は組合会を開く。出席者18人。一ノ瀬傳三郎は組合長を辞任、三養基郡の古森栄一、杵島郡の樋口権平ら各郡の評議員が再任	5・8,11〈2〉
5	9	藤津郡の肥前電気軌道(株)は、株主が払込をしなかったため権利を喪失した株式1万7328株の競売を予告(公告)	5・9〈3〉
5	10	佐賀郡本庄村は寺小路区で農談会を開く。同村は各区で開催	5・12〈2〉
5	○	東松浦郡名古屋村の名古屋郵便局は11日から電信事務を開始予定	5・10〈2〉
5	○	県産業技手に鳥越新一を任命、内務部商工課兼農務課、米穀検査監督員を命じる。月俸30円	5・11〈2〉
5	○	県外に移出する米麦に肥前米麦輸出同業組合の検査を義務付ける(県告示) 同組合員でない者は同組合の定款条項により検査を受けなければならない	5・12〈2〉
5	13	佐賀市唐人町の内国通運(株)佐賀取引店が商業登記(公告) 商号使用者は同地在住の北原清次	5・15〈3〉
5	○	県令の規定により設立された養蚕組合数は、佐賀郡6、神埼郡18、三養基郡6、小城郡21、東松浦郡4、杵島郡7、西松浦郡2、藤津郡1、合計65	5・13〈2〉
5	14	佐賀米穀取引所は仲買人集会を開き、従来の仲買人部長6人を5人に変更。再任の秀島徳一郎、服部慶太郎、菖蒲正夫、新任の北島徳市、鴨打亀一郎を選出	5・17〈2〉
5	14	陶磁器を南洋方面に輸出する目的で、調査のため渡航していた藤津郡の堤清一と緒方久吉は、同郡の塩田公園で報告会。堤は、中国、南洋には愛知県瀬戸、石川県金沢の業者が進出していて、佐賀県の製品を売り出すためには努力が必要と語る	5・18,21,23〈2〉
5	15	第18回関西九州府県連合水産集談会が東松浦郡の唐津公会堂で開会、18日まで。唐津町民は山車を引きまわして歓迎	2・20,5・12,14,16~20,22〈2〉
5	15	佐賀郡本庄村の田中源地は、3年度の五石懸賞田に合格し、郡表彰を受けたため同村青年倶楽部で披露の宴を開く	5・17〈2〉
5	○	県内の苗代薄播は一般に普及しつつある。稲増収となるため喜ばしいマ	5・15〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
5	○	小城郡は病虫害駆除予防奨励規定を発表。害虫駆除組合の設立を奨励、メイ虫卵醗採取の優良な小学校に奨励金を交付するなど全5条	5・15〈2〉
5	○	4年度第1期共同購入肥料の受渡駅は15日鳥栖と田代、16日中原と佐賀、17日神埼、20日北方、武雄、21日三間坂、有田、22日蔵宿、夫婦石、23日伊万里の予定	5・15,18〈2,3〉
5	○	(株)福岡貯蓄銀行佐賀特別代理店は、業務拡張のため佐賀市水ヶ江町会所小路から同市八幡小路へ移転(記事と広告)	5・16,17〈2,3〉
5	○	大阪で4月に開催の全国俵米品評会に出品された肥前米は好評。銘柄は七浦米券倉庫、芦原米券倉庫、肥前米組合参考品など	5・17〈2〉
5	18	佐賀郡鍋島村の角目青年会は農業技手による農事講話会を開く。52人が参加。小城郡砥川村でも農談会を開き、月1回開催することを決める	5・22〈2〉
5	19	佐賀郡本庄村鹿の子地区下分の戸主や青年会員は、晩稲共同苗代約1500坪に1坪3合の割合で播種。播種量が中稲苗代より少なく、視察者が絶えない	5・21〈2〉
5	19	宮内醬油(資)は登記事項を変更、目的を醤油・味噌・食料品の製造販売のほか左官材料・日用品の売買とし、西山栄吉を代表社員とする(公告)	5・21〈3〉
5	19	杵島郡橘村は婦人農談会を村内2区に分けて実施。19日は同村の東漸寺で、20日は同村の興隆寺で、いずれも200~300人が集まる。農業技手が農村婦人の心得、田植の心得などを平易に講義	5・24〈2〉
5	21	佐賀郡役所は農業技手会を開き、苗代薄播などを協議	5・22〈2〉
5	○	佐賀郡本庄村の豊営業者徳永佐一郎は機械による豊床締め機械を発明し、専売特許を取得し発売。人力締めと比較して平易で堅牢との評判	5・21〈2〉
5	○	県は基本財産の造成のため、地区所有林野を町村有に統一することを奨励。3年までに18町村が860町歩を統一。各郡村ごとに面積を掲載	5・23〈2〉
5	24	佐賀瓦斯(株)は、石灰ガス製造の副産物から生じる硫酸アンモニアの精製に成功し、知事から製造営業の認可を受ける。近日中に販売予定	5・28〈2〉
5	25	三養基郡上峰村中村地区は共有の米券倉庫を新築し、落成式を行なう。	5・27〈2〉
5	25	肥前米麦輸出同業組合は、移出用の玄・白米審査見本米の検査を修了して入札を実施。落札価格は玄米は1升12銭2厘、白米は14銭5厘、糯米白米は16銭2厘	5・27〈2〉
5	25	西肥日報(株)の株主総会は監査役石井忠男を再選(公告)	5・29〈3〉
5	26	古賀丈一を県農業技手に任命、月俸30円	5・26〈2〉
5	26	西松浦郡の蔵宿駅長に同駅助役江崎士太郎、夫婦駅長に同駅助役大和田常夫が任命される	5・30〈2〉
5	26	東与賀村實久農事研究会は同村青年会倶楽部で会合を開く、28日は同村田中青年会が稲苗移植や肥料配合に関して懇談	5・30〈2〉
5	27	メイ虫、ウンカの駆除のため害虫駆除予防法を各郡に施行(県令) 期間は6月5日~7月10日まで、方法は採卵と注油による	5・28〈2〉
5	27	佐賀郡東与賀村の助役、農業技手、議員、区長、青年会幹事ら30人は、川副村の稲作や県農事試験場、農学校を視察	5・30〈2,3〉
5	27	(株)肥前銀行が佐賀郡中川副村早津江に設立される(公告) 資本金50万円、取締役頭取は弥富寛一、9月2日登記、9月30日開業	9・4,30〈1,3〉
5	○	肥前米麦輸出組合事務所は5月審査米の成績を公表。優等満点は藤津郡鹿島、七浦、塩田、三養基郡基山、佐賀郡犬井道	5・27〈2〉
5	○	東松浦郡厳木町の池田善太郎の福岡県での石炭試掘願、同郡唐津町の田代政平ら2人の小城郡での同試掘願、西松浦郡有田町の山口栄蔵の宮崎県での同試掘願が認可される	5・27〈2〉

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
5	○	(株)県農工銀行は、第1回農工債権額面5000円の元金償還抽選を6月1日に行なう予定(広告)	5・28～30〈3〉
5	○	県農会は米麦共同販売規定を定める。各郡1カ所または数カ所に米麦共同販売所を設置するなど全29条	5・29,31〈2〉
5	30	佐賀郡東与賀村下飯盛青年会は講話会を開く。演題は鶴岡農区技手による害虫発生期とその駆除法、肥料の成分と施肥など	6・2〈2〉
5	30	藤津製紙(株)は長崎市今町に支店を設置(公告)	6・2〈3〉
5	31	岸本県内務部長は佐賀郡南部の苗代や米倉倉庫などを視察	6・2〈2〉
5	31	藤津郡西嬉野の肥前電気軌道(株)は第8回定時株主総会を開き、資本金を120万円から50万円に減少する定款変更を仮決議。工事進行中の嬉野～塩田間約6マイルは8月下旬運転開通の予定(記事と広告)	6・4〈2,3〉
5	○	この月、石橋知事は県内の養蚕施設や共同苗代を相次いで視察。6日神埼郡仁比山村志波屋、城原の各養蚕組合の共同飼育蚕室、佐賀郡久保泉村川久保養蚕組合、同郡金立村の井手亀一、春日村の古賀惣三の共同飼育所、18日小城郡南多久村蚕糸場、多久町共同蚕室、東多久村の共同蚕室、25日三養基郡麓村、旭村、北茂安村の養蚕状況と共同苗代	5・5,7,20,27〈2〉

社 会

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
5	1	佐賀郡久保田村は、同村役場と隔離病舎の新築落成式を行なう	4・23,5・2〈2〉
5	1	愛国婦人会佐賀支部は、有り合わせの材料で家庭料理を作る講習会を4日まで開く。講師は京都割烹講習会の勝美新太郎。佐賀高等女学校や成美高等女学校でも開く予定	5・5〈2〉
5	2	佐賀市の改良座で全九州の浮かれ節大会を開く。読み手は東三光ら7、8人	5・3,4〈3〉
5	2	佐賀市材木町の邦楽弾奏家中村雪之都の門弟らは、中村の顕彰碑を同市元町の称念寺に建立、除幕式を開く	5・4〈2〉
5	○	佐賀市与賀町の日本基督教会は、日曜講演を2日に開く予定。バイブルクラスの拡充を図り、学生の入会は無料とする	5・2〈2〉
5	3	召集により福岡県の久留米病院勤務を命じられていた佐賀市の上村病院院長上村春庵は、任務を終了し帰佐	5・3,4〈2,3〉
5	4	鹿島中学校教諭野崎伝四、佐賀商船学校教諭井上俊治を明治神宮造営局参与及参事に任命	5・4〈2〉
5	4	国学院大学幹事に転任する元佐賀中学校教諭清水平一郎の送別会を、佐賀市の楊柳亭で開く	5・4～6〈2〉
5	4	佐賀署は、佐賀郡の雇人周旋業者2人が不当に周旋料を受領したとして、同区裁判所に告訴	5・5〈3〉
5	4	産婆試験を県会議事堂で7日まで実施。128人受験、学説と実地試験合格者36人、実地試験合格13人、学説試験合格45人	5・5,6,11〈2,3〉
5	5	藤津郡多良村の糸岐報徳会は、同村の誓願寺で第3回春季大会を開く。会員約200人	5・7〈2〉
5	5	神埼郡西郷村青年会の尾崎東分支部は、児童学芸会兼父母会を同青年集会所で開く。参加者約100人	5・8〈2〉

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
5	7	帝国麦酒(株)「サクラビール」特約販売店の佐賀駅前横尾雄一商店は、売行き好評のため、発売2周年を記念して、佐賀郡川上村の清連亭別荘で宴会を開く。各小売店主や新聞記者など50人を招待	5・6,9〈2〉
5	7	佐賀市の改良座で、奇術師の2代目松旭斎天一が襲名披露の興行。10日まで	5・6～9〈3〉
5	7	佐賀警察署は、佐賀市の飲料水線である松原川で鉄瓶を洗ったり、洗顔したりした住民に料料50銭を科す。13日も自宅裏を流れる飲料水で洗顔した住民に罰金	5・15,20〈3〉
5	○	佐賀市の新栄座で開催された佐賀孤児院慈善演芸会の純益は306円39銭	5・7〈2〉
5	8	曹洞宗佐賀婦人会は佐賀市公会堂で例会を開く。講演は同会常任講師の「仏陀の慈悲」など	5・7,9〈2,3〉
5	9	佐賀郡巨勢村は巨勢神社境内に戦役記念碑を建設し、落成式と招魂祭を行なう。ニワカや女相撲などで賑わう	5・7,11〈2〉
5	9	佐賀郡松梅村の在郷軍人分会は同村小学校で総会を開く。来会者約150人	5・11〈2〉
5	○	佐賀市水ヶ江の福音ルーテル教会は9日、日曜講演を実施予定。内容はリッパードの英語による聖書講義など	5・9〈2〉
5	11	佐賀郡の古湯観測所で、10日午前10時より24時間の雨量が177ミリに達する。黄海にある754ミリの低気圧が急速に移動したため。豪雨のため神埼郡では小学生が下校途中、誤って濠に落ち溺死	5・11～13〈2,3〉
5	11	佐賀郡東与賀村の各地区の青年会は村青年会として統一し、東与賀尋常小学校で発会式。会員約450人、会頭は大坪村長	5・13〈2〉
5	○	佐賀市元町の称念寺は、九州巡回中の長野県の善光寺分身如来の開帳供養を11日～15日まで行う予定	5・11〈2〉
5	○	青島攻撃で戦死した神埼郡脊振村の故陸軍歩兵上等兵の遺族に520円を下賜	5・12〈2〉
5	○	佐賀郡内の3年度中の結婚者数は1293組。最も多いのは25～30歳男と20～25歳女の266組、次は20～25歳男女の121組	5・12〈3〉
5	○	西松浦郡有田の桜井良哉が主催する高野山参拝団約200人は13日出発、20日帰佐予定	5・13〈2〉
5	○	佐賀市の大勝館は、青島攻撃戦の際、膠州湾で沈没した軍艦高千穂の艦長ら乗組員の葬儀の様子を14日から映写予定	5・14,17,19〈3〉
5	15	佐賀日宗純信教会浄徳婦人会は、佐賀市高木町の観照院で講演会を開く。出席者約400人	5・15,16〈2〉
5	16	県神職会幹事で與賀神社社司故川浪實充の追悼会を、佐賀市の武徳会で開く	5・14,17〈2〉
5	16	県立病院好生館の医師平野養次が佐賀郡中川副村で開業、披露宴を開く	5・15,18〈2,3〉
5	16	クラブ化粧品総本店中山太陽堂の特約店で小城郡牛津町の土橋商店は、総本店の後援による運動会を佐賀郡川上で開く。同化粧品販売店主ら約100人が参加	5・18〈3〉
5	16	県青年薬剤師会は研究会を西松浦郡伊万里町の富士見館で開く	5・19〈2〉
5	16	佐賀郡西与賀村元相応区婦人会は第4回例会を開く。農業技手や小学校訓導が講話、会員はじめ村会議員、区長、有識者ら約90人が出席	5・19〈2〉
5	16	三養基郡旭村の有志は、村会議員や郡会議員などの公職を歴任した古賀泰造と中川原豊作の追悼会を同村の浄福寺で開く	5・28〈2〉
5	○	佐賀警察署は市内各工場職工のトラホーム検診を実施。受診者654人、うち患者は89人	5・16〈3〉
5	○	小城郡牛津町の医学士腹巻勝見経営の成蹊病院は、新しく婦人科を開設。内科の呼吸疾患を処置する熱気圧迫や座浴療法などの設備を完備	5・17〈2〉

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
5	○	中原～三河内間の各駅員50人は、精神講話会を佐賀駅倶楽部で20日と21日開く予定。講師は佐賀市精町の善定寺住職木山定生ら。31日は鳥栖～大牟田間、中原～早岐間の一般駅員約200人が、鉄道院鳥栖集会所で、欧米を視察してきた松村介石の講演会を開く予定	5・17,19,20,31〈2〉
5	20	佐賀市元町の称念寺は法然上人の降誕祝賀会を開く	5・19,21〈2,3〉
5	20	佐賀地明会は佐賀市の瓦斯会社で例会を開く。講師は日蓮宗鹿児島開教師浅野常瑞	5・23〈2〉
5	21	佐賀市の水飴製造業者は、雇用人に多量の汚水を多布施川支流の飲料水線に放流させ、汚染した罪で科料19円に処される。多額の科料は近年稀れ▽	5・22〈3〉
5	○	佐賀市の正蓮寺は、北アメリカで布教に努めてきた佐藤巖英の講演会を22～24日まで開く予定	5・21〈2〉
5	22	講談師伊藤痴遊は、佐賀市の新栄座で新講談「江藤新平の半面」などを3日間の予定で公演。伊藤は政治家としても知られる	5・22～24〈3〉
5	22	明治43年8月に検挙された牟田万次郎ら17人に係る佐賀米穀取引所の気配事件は、広島控訴院で全員無罪の言い渡し	5・23,6・2,6,7,9〈3〉
5	○	佐賀市の喜楽座で第2回薩摩・筑前琵琶の合同演奏会を23日に開く予定。入場無料	5・22〈3〉
5	23	川上軌道(株)は、佐賀郡春日村尼寺～同郡川上村川上間の第1期軌道敷設と環境整備の工事が竣工し、開通式を川上村の秀流館で行なう	5・15,24〈2,3〉
5	23	佐賀市の観世流謡曲の同好家有志は新生会を組織し、同市伊勢屋町の「初の家」で発会式を開く。県内各地から多数出席。以降毎月、例会を開く予定	5・21,24〈2〉
5	23	小城郡神職会は神徳講演会を同郡牛津高等学校で開く。講師は西川三一、円城寺憲之ら5人	5・25〈2,3〉
5	○	県衛生課は、佐賀市内各巡査派出所に技術官を派遣して配達途中の牛乳を検査。不良品数件を発見	5・23〈2〉
5	24	石橋知事夫人、岸本内務部長夫人、二木警察部長夫人は、小城郡の農事講習所、実科高等女学校、同郡正徳町の天神堂養蚕練習所の共同飼育所を参観	5・26〈2〉
5	25	佐賀郡松梅村の郷社天満神社は、同村の篤志家石井為之助、石井鹿太郎、上野俊夫らが発起して、本殿と拝殿を修復。例祭を兼ねて奉告祭と遷宮祭を行なう	5・28〈2〉
5	26	佐賀市白山の浄瑠璃師匠豊澤富七は、引退祝素人浄瑠璃大会を同市の新栄座で3日間開演	5・23,26,27〈3〉
5	26	佐賀市の水ヶ江町十間端で腸チフス患者が発生	5・27 〈3〉
5	27	佐賀郡長や佐賀郵便局長らは、儉約思想を涵養し貯蓄を推進するために、天本梅可の講演会を兵庫尋常高等学校で開く。参加者600人	5・27,29〈2,3〉
5	27	杵島郡福治尋常高等学校は海軍記念日の祝賀行事と学芸会を開く。在郷軍人会佐賀市分区会役員と有志者も、海軍記念日祝賀を兼ねて親睦会を同市松原町の花月亭で開く	5・29〈2〉
5	28	佐賀郡久保田村の鶴丸保一は佐賀市水ヶ江町に産科婦人科病院を開業、同市の楊柳亭で披露宴を開く。実業家の古賀善兵衛は親戚	5・23,29〈2〉
5	28	杵島郡須古村の水堂は出水法事を行なう。8月25日まで。27日～29日まで青島攻撃戦殉難者の追悼法要も営む	5・26,27〈3〉
5	29	佐賀郡は貯蓄奨励講演会を本庄村の浄正院で開く。来会者は村長、役場吏員、小學校生徒ら約600人。31日は嘉瀬尋常高等学校でも開く	6・2〈2,3〉
5	○	県恒産会は幹事会を開く。各郡に支部を置くこと、保護場を建設し、保護主任を置いて手当を支給することなど5件を決議	5・29〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
5	30	佐賀市内の琴、三味線、尺八の各師匠と楽器類販売業者は、市公会堂で素人音曲大会を開く。出演者200人で大盛況	5・8,16,29,31〈2,3〉
5	31	九州各県で講演中の松村介石は、鳥栖駅集会所で一般駅員約200人に対して精神講話を行なう。6月6日は教育会主催の講演会を佐賀市公会堂で予定	5・29,6・1〈2〉
5	○	この月、用水堀や川での子供の溺死が杵島郡、佐賀郡、神埼郡などで相次ぐ	
5	○	この月、各地の青年会は総会や例会、夜学会を開く。佐賀郡兵庫村、本庄村中島区、春日村、小関村、東与賀村立野、川上村東山田、嘉瀬村有重、神埼郡城田村、杵島郡六角村	5・4,9,11,15,21,28,30〈2,3〉

教育・文化

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
5	1	日本図書館協会は第10回全国図書館大会を熊本県農会議場で開催。3日佐賀市公会堂で、4日東松浦郡唐津町の公会堂で開催。同協会総裁徳川頼倫は呼子や多久聖廟などの名所を見学、住民の歓迎を受ける	4・6,24,5・2～6〈2〉
5	1	小城中学校は創立16周年記念運動会を実施。永年勤続の教諭と使丁を表彰、郡内から約5000人が集まる	4・26,5・2〈2〉
5	1	佐賀郡兵庫尋常高等小学校は春季運動会を同校の新築校庭で開く。併せて児童の出席が優良だとして郡から授与された表彰の披露式を行なう	4・30,5・2,4〈2,3〉
5	1	神埼郡西郷高等小学校は校旗を制定し、校旗制定式と記念運動会を日の隈山麓で開く。参観者2000人以上	5・3,8〈2〉
5	1	小学校教員無試験検定で、35人に尋常小学校本科正教員、小学校農業専科正教員、小学校准教員、尋常小学校准教員の免許状を授与	5・21〈2〉
5	2	県内在住の佐賀中学校第15回以降の卒業生は、同窓会を佐賀郡川上村の清連亭別荘で開く。来賓の内田清一は同校生徒の風紀退廃を憤慨するあいさつを行なう。会員約100人が参加	4・28,30,5・3〈2,3〉
5	2	佐賀郡嘉瀬尋常高等小学校卒業の女子は同窓会を同校で開く。会員約280人が出席	5・3〈2〉
5	4	岸本県内務部長は、危害防止設備がない場合は理科の実験をしないよう各小学校に達達。3年に長野県内の小学校で火薬爆発実験中に負傷者が出たため	5・5〈2〉
5	○	藤津郡多良尋常高等小学校訓導松本熊一郎は、広島高等師範学校教育科へ選抜入学	5・5〈2〉
5	6	佐賀県師範学校校則を一部改正。公費学生に対する支給額や卒業後の服務などを追加	5・8,15〈2〉
5	6	県教育会は通俗講演会を佐賀郡久保田村思齊尋常高等小学校で開く。7日は同郡高木瀬村尋常小学校、8日は同郡久保泉村和泉尋常小学校、14日は三養基郡北茂安村の大法寺、21日は佐賀郡嘉瀬新村で実施	5・8,11,19,24〈2,3〉
5	7	佐賀市教育会は総集会を佐賀市高等小学校で開く。成績不良者取扱い法、予習の最も適切な方法などについて意見交換	5・4,8〈2〉
5	○	東松浦郡視学御厨勝一を藤津郡久間尋常高等小学校訓導兼校長に任命など10人の小学校校長が異動	5・7〈2〉
5	○	この頃、各学校は修学旅行を実施。有田工業学校は佐世保や福岡、佐賀郡久保田村思齊尋常高等小学校と小城郡三日月村尋常高等小学校は福岡、佐賀高等女学校は佐賀郡の金立山など	5・7～9〈2〉
5	9	県神職会は神職講習会を小城郡桜丘小学校で開く。郡会議員、各町村長、学校職員、氏子総代ら約350人が聴講	5・4,11〈2〉

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
5	9	佐賀郡嘉瀬尋常高等小学校同窓会男子部は第2回総集会を開く。約500人が集まる	5・11〈2,3〉
5	○	県視学中野才次と早田辰次は、小学校教員恩給審査委員と教育検査委員会常務委員に任命される	5・9〈2〉
5	○	県視学早田辰次、佐賀郡視学野田鹿雄、小城郡視学山口助二は、文部省で開催の第20回視学講習会を修了	5・9,10〈2〉
5	10	佐賀郡与賀高等小学校は、同校女子生徒、母親、姉対象の養蚕講習会を開く	5・8,12〈2〉
5	11	文部省古社寺保存会委員新納忠介は、国宝修理計画のため杵島郡武雄町の広福護国禅寺、藤津郡野古見村の蓮巖院など7寺院を調査。新指定物件として藤津郡塩田村馬場下常在寺の木造薬師如来立像など15寺137体を調査。17日まで	5・4,12,22〈2〉
5	11	小城郡南多久尋常高等小学校長松尾千代次は三養基郡視学へ転出。後任は西松浦郡視学伊東浩	5・15〈2〉
5	13	杵島郡六角村の六角尋常高等小学校は、同村伊ヶ代、今泉両区児童の勸学会と父兄懇談会を同村の正隆寺で開く。15日は網代区、17日は中郷区の予定	5・15〈2〉
5	14	佐賀市教育会は「日独戦役」記念品展覧会を同市公会堂で開く。砲弾の破片、戦死者の携行品、銃剣、ドイツ国旗などを展示。20日までの参観者は1万6475人。約120円の剰余金は市教育基本金に編入する	5・13,14~18,20,6・2〈2,3〉
5	○	県師範学校附属小学校は、夏季休業中の練習帖を作成して北村書店から発行予定。郷土に関連のある資料に重きを置く。従来は東京で編集されたものを使用	5・14〈2〉
5	15	小城郡牛津小学校女子同窓会を開く。会員130人が集まる	5・17〈2〉
5	15	三養基郡三川尋常高等小学校は、学校と家庭の連絡を保持する目的で父兄会を開く。授業参観、理科の実験、各教室での懇談を行なう	5・17〈2,3〉
5	15	佐賀郡兵庫支部教育会は定例講習会の修了証書授与式を行なう。16日は春日支部教育会、17日は与賀支部教育会が総集会を開く	5・18,19〈2,3〉
5	15	神埼郡西郷村姉川下分区は児童学芸会と父兄会を、同区の荒木医院で開く。児童の演技、訓導の理科実験などを行なう。19日は同村利田地区が開く	5・21,24〈2,3〉
5	19	佐賀中学校は全校生徒700人が参加するマラソン競争を実施。コースは水ヶ江～佐賀郡諸富～蓮池公園～江上街道を経て戻る約18km、最高タイムは1時間7分20秒	5・20〈2〉
5	○	小早川元信を佐賀農学校教諭に、神埼郡農業技手山口善六を佐賀農学校助教諭心得に、元福岡県立福岡高等女学校教諭寺岡静男を唐津中学校教諭に任命	5・19〈2〉
5	21	龍谷中学校は創立記念日の記念式と陸上運動会を実施	5・19,22〈2〉
5	23	県師範学校卒業生で組織する有朋会は、第29回総会と物故者の追悼会を佐賀市の願正寺で開く	5・19,25〈2〉
5	23	県教育会は春季総集会を佐賀市の公会堂で開催。出席者は石橋知事や陸海軍大佐、各郡長のほか会員約800人。九州帝国大学工科大学教授西川虎吉が「我が国の化学工業」と題して講演	5・21,22,24〈2〉
5	23	藤津郡多良尋常高等小学校は教育談話会を、同村の中山、大川内、山根の各区合同で開く。児童保護者ら約200人が集まる	5・30〈2〉
5	○	佐賀市所轄の小学校、龍谷中学校、栄城学校など9校は、4月にトラホーム検診を実施。生徒総数6143人のうち患者は963人	5・23〈2〉
5	26	佐賀郡は学事主任会を開き、貧困児童の就学や出席奨励に関する方法などを協議	5・27〈2〉
5	27	杵島郡福治尋常高等小学校は海軍記念日祝賀会と学芸会を開く	5・29〈2〉
5	28	武雄実科高等女学校は学芸会を開く。運針競争、帽子早縫などを実施	5・31〈2〉

その他

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
5	○	海外渡航者数(4月) ウラジオストック男6人、女12人、カナダ女1人、北アメリカ女1人、フィリピン男1人、女1人、その他1人	5・1〈2,3〉
5	○	県出身の坂井次郎は医籍に、谷口溝一は薬剤師名簿に登録される	5・1〈2,3〉
5	○	内閣総理大臣秘書官兼内務大臣秘書官大隈常信は依願免官となる	5・2〈2〉
5	○	佐賀セメント(株)第32回決算報告(広告) 1万4876円の損失	5・2〈3〉
5	○	「三百年様記」花仙 3回 旧佐賀藩士で諏訪神社を興した敬神家青木賢清、医者の向井元升、松丘宗順、向井元端、松井元成、京都に出て僧となった松崎東谷らが忘れられているとして、その功績を紹介	5・3,7,8〈2,3〉
5	○	宮内省から石橋知事宛てにムツゴロウの注文。鐘ヶ江県水産技手が4日に持参する予定	5・4〈2〉
5	6	大隈重信の乗った自動車が東京早稲田の私邸に帰宅途中、人を避けようとして横転、大隈は頭部に微傷	5・8〈3〉
5	○	西松浦郡内の公有林野造林面積は、元年からの県の奨励の結果、7カ村で123町歩増加。曲川村33町9反、南波多村23町2反、東山代村22町8反など村ごとに掲載	5・7〈2〉
5	9	長崎医学専門学校研瑤会は県支部を設置。佐賀市の楊柳亭で発会式を行う	5・8〈2〉
5	○	県出身の藤川義謙は医術開業試験に合格	5・9〈2〉
5	○	佐賀図書館の閲覧者数(4月) 来館閲覧3050人、館外貸出405人、新聞閲覧昼2079人、同夜822人	5・10〈2〉
5	○	県物産陳列館の入場者数(4月) 合計6243人、販売額合計597点203円81銭。新規陳列品は神埼郡尾崎焼火鉢、杵島郡の竹細工、藤津郡嬉野の陶器源六焼きなど	5・10〈2〉
5	11	石橋知事、二木警察部長は閑院宮を出迎えのため久留米へ赴く。帰途、大川軌道で若津へ、同地の大川運輸会社、諸富の佐賀セメントを視察し帰庁	5・12〈2〉
5	11	佐賀郡小関村出身の静岡県警務課長鳥谷英男は同県警視に昇任	5・13〈2〉
5	11	旧佐賀藩士中村喜一郎が死去、享年66歳。ウィーン万博伝習生、ドイツで染色を学び工部省、大蔵省を経て、東京八王子染色学校長などを歴任	5・15〈2〉
5	11	熊本大林区署は同管内小林区署長諮問会議を17日まで開催。県からの参加者は武雄署長宮岡秀一と佐賀署長栗飯原幸雄	5・12,16,19〈2〉
5	○	県出身の海軍機関学校受験者の状況(4月下旬～5月5日) 受験者24人、体格合格15人、最終学術合格7人。うち佐賀中学校3人、小城中学校3人、鹿島中学校1人	5・11〈2〉
5	13	遣米艦出雲が佐世保港に帰還。艦長は県出身の森山慶三郎	5・15〈2〉
5	○	肥前米移出検査数(4月) 玄米2万7911俵、白米4万3496俵。船舶積6641俵、汽車積6万493俵、車馬積4249俵	5・13〈2〉
5	○	九州沖縄各県の郵便物取扱数(3年度) 佐賀県は通常郵便引受1782万2370通、配達1960万4115通、小包郵便引受18万4518個、配達24万9320個	5・13〈2〉
5	○	県出身の北海道長官西久保弘道は、佐賀市の招魂社基本金として20円を寄贈	5・13〈2〉
5	○	東松浦郡の3年度の醤油醸造業者は13人、査定高合計は6080石7斗。うち3258石は(資)宮島商店が占める	5・14〈2〉
5	○	県出身の台湾総督府事務官石井為吉は、民生部殖産局付属大南庄庶苗養成所長兼后里庄庶苗養成所長に任命される	5・14〈2〉
5	○	佐賀日日新聞記者西江靖が退職	5・14,22〈2〉
5	○	県出身の古川房一は医籍に、光石省二は歯科医籍に登録される	5・15〈3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
5	16	肥前協会その他各団体が発起して、鍋島直大70歳、夫人栄子61歳の祝賀会を東京上野の精養軒で開く。各界の名士約700人が出席。23日は大隈首相、波多野宮内相ら県出身者300人が東京芝の紅葉館で開く	5・10,18,25〈2,3〉
5	○	県出身の遣米艦隊司令官・少将森山慶三郎は軍令部に転勤	5・16〈2〉
5	17	米価 佐賀郡新米 3.4斗入り 3円95銭 諸富出来値 米本屋	5・21〈3〉
5	○	旧佐倉藩主堀田伯の養嗣子の鍋島直言は、農事視察のため5月下旬に来県予定。直言は旧蓮池藩主鍋島直柔の次男	5・17〈2〉
5	18	佐世保区裁判所の予審判事や刑事は、佐世保市の嬉野電鉄会社社長で同市議員松浦森ら3人の自宅を捜査	5・20〈2〉
5	19	県出身の井上米雄ら4人は海軍経理学校を卒業	5・21,29〈2〉
5	20	杵島郡西川登村の 渋川玄耳 は、弁護士豊増龍次郎を訴訟代理人として東京女学館教師渋川イトを相手取り離婚訴訟。長崎控訴院で公判	5・22〈3〉
5	○	松田正久銅像の建設寄付金は、三井・岩崎両家の各1000円を筆頭に合計2万4000円に達する。原型作成者は武石弘三郎、建設場所は司法大臣官邸構内、10月に除幕式を予定	5・21〈2〉
5	○	県出身の歩兵第1連隊付陸軍1等軍医江口六郎は佐倉衛戍病院に転勤	5・21〈2〉
5	○	佐賀図書館巡回文庫の閲覧人員と貸出図書数(5月) 杵島郡の福富文庫250人・346冊、藤津郡古枝文庫102人・186冊、神埼郡蓮池文庫204人・203冊、佐賀郡嘉瀬図書館486人・499冊	5・21〈2〉
5	○	九州沖縄各県の売薬印紙貼付高(3年度) 総計15万6808円、佐賀県は7万4099円で最多	5・21〈2〉
5	○	県出身の野副道彦は医師法により医籍に登録される	5・22〈2,3〉
5	○	日本赤十字社の社員数(5月) 県内の特別社員226人、正社員1万7364人。各郡ごとに人数を掲載	5・23〈2〉
5	24	県出身の大阪控訴院検事長小林芳郎は、県物産陳列場などを視察	5・25〈2〉
5	○	九州沖縄8県農工銀行の現況(3年下半期) 佐賀農工銀行の純益は4万2271円、純益の資本金に対する比率は8分	5・24,25〈2〉
5	25	県出身の樋口敬七郎ら22人は陸軍士官学校を卒業	6・2〈2〉
5	25	県出身の大石平次と横尾道春の2人は海軍機関学校を卒業	6・2〈2〉
5	○	県出身の歩兵第47連隊付原田次郎は、25日の陸軍士官学校の卒業証書授与式で、優等生10人の一人として恩賜の銀時計を受ける予定	5・25〈2〉
5	27	小城郡北多久村出身の川副廣が帰郷。19歳で渡米し洋画彫刻を研究、明治44年ボストン博物館付属美術学校を卒業、ニューヨーク国民美術協会などに出演、アート&クラフトからは特別の褒賞を受ける	5・30〈2〉
5	○	歩兵第53連隊付歩兵中佐真崎甚三郎は久留米俘虜収容所長に任命される	5・27〈2〉
5	○	旅順在住の佐賀県人会は、帰還する歩兵第30連隊付少佐西岡近一の送別会を6月1日に開く予定	5・27〈2〉
5	28	県出身の鍋島茂磨ら8人を含む陸軍中央幼年学校本科卒業者275人は、士官候補生として各隊に配属される	6・2〈2〉
5	29	大日本婦人衛生会は総会を東京永田町の鍋島邸で開く。会長は鍋島直大夫人	6・1〈3〉
5	29	県出身の納富嘉太郎を陸軍2等軍医正に任命(叙任および辞令)	6・2〈2〉
5	○	台湾原住民制圧戦に従事した県出身の警察官9人に金50～60円を下付	5・30〈2〉

国内・国際

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
5	1	明治天皇、昭憲皇太后を祭神とする明治神宮神殿を東京府豊多摩郡代々幡村代々木に創立し、社格を官幣大社に列する(内務省告示)	5・2〈2〉
5	1	第10回全国連合教育大会を帝国教育会で開く。教科書は地方の状況に適應するため数種を編纂すること、少年義勇団を組織すること、小学校教員の向上發展を図ることなどを決議	5・2,4,5〈1〉
5	○	各帝国大学は大正天皇即位記念事業として理化学研究所の設立を提唱。17日は古在由直ら5博士も農商務相に陳情	5・1,21〈1〉
5	○	内務省神社局は明治神宮宝物殿の設計、意匠を総額1万円の懸賞で民間から募集する予定	5・3,14〈1,2〉
5	4	落合奉天駐割総領事は、中国の奉天城内と居留地に在住する日本人に対し、時局が非常に險悪になっているため満鉄付属地に立退く準備をするよう通知	5・5〈2〉
5	7	大日本農会は全国農業技術者大会を東京で開催。農作物改良品種を普及する適当な方法、米価低落が農家經濟に及ぼした影響など4件を協議	4・8,5・11〈1,2〉
5	7	海軍志願兵徵募区域を定め12月1日から施行(海軍省令) 九州、四国の各県は佐世保鎮守府の管轄となる	5・10〈2〉
5	7	イギリス汽船ルシタニア号は、ドイツ潜航艇の攻撃を受けアイルランド沖で沈没。乗客の大半はアメリカ人、死者約1500人。13日アメリカ大統領ウィルソンはドイツ政府に抗議(ニューヨーク電報)	5・10,17〈2,3〉
5	8	熊本県の九州日日新聞社は発刊1万号記念の祝賀式を開く	5・9〈2〉
5	13	日本基督教婦人矯風会の矢島楯子ら幹事は、公娼全廃運動を進めるために協議会を開く。4年秋に実施予定の大正天皇即位祝賀行事で、各地の公開の宴席に芸妓を侍らさないよう当局に指導を要請	5・17〈1〉
5	14	中国の重慶で排日運動激化(重慶電報)	5・17〈2〉
5	○	大正天皇即位記念事業で各地方公共団体が実施した事案は、竹林造成、植樹、1日1厘貯金、秀才教育、忠魂碑建設、郷土歴史室設置、図書館建設など多種	5・14〈1〉
5	○	中国は、奉天省の牛心台など10カ所の鉱山の試掘、採掘を日本に許可	5・14〈2〉
5	15	立憲政友会は臨時大会を開き、政府の対中国交渉や選挙干渉を批判。総裁原敬は相談役に高橋是清らを指名	5・16,18〈1,2〉
5	15	立憲同志会は大会を開き、大隈内閣の政策は同志会の主張と一致するとした宣言を出す	5・18〈1〉
5	○	女子師範学校の入学資格を高等小学校3年卒業程度から2年卒業程度とし、年齢を15歳以上から14歳以上とする。5年度から実施	5・15〈2〉
5	16	立憲国民党大会は政府の対中国交渉を、帝国の威信を傷つけたとして批判	5・18〈1〉
5	17	東京小石川区の博文館印刷所の工場9棟1021坪が放火により焼失	5・18〈3〉
5	17	第36帝国議会召集、20日開院	5・18,19,21〈2〉
5	○	衆議院の党派別議員数は同志会150、政友会106、中正会36、国民党27、無所属団57、純無所属5。貴族院は皇族12、研究会106、茶話会61、無所属62、土曜会31、交友倶楽部34、甲寅倶楽部13、准無所属54	5・17,21〈1〉
5	19	対中国外交を糾弾して治安警察法違反に問われた大野伴睦に、禁錮1カ月半の判決	5・21〈2〉
5	19	教育調査特別委員会は中学校の学制に関する改革案を決議。第1種中学は修業年限・入学程度は現行どおり、第2種は本科4年、付属科4年とし、付属科の入学程度は尋常小学校4年程度の修了者とするなど7項目	5・22〈1〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
5	○	全国の盲啞学齡児童は男女計9646人、うち就学者917人。盲啞学校は官立2、公立4、私立51、計57校	5・19〈1〉
5	20	政府は欧州、北米、南米、豪州の各航路に対する航路補助法案を衆議院に提出	5・22〈2〉
5	20	閑院宮は福岡県久留米の偕行社を訪問。熊本県出身剣客の後備歩兵少尉大麻勇による試合や子弟教育法を見学、青島攻撃に参加した将兵から実戦談を聞く	5・22〈2〉
5	○	上海東亜同文書院は、3年度に農工科を新設し、農工科私費生を募集中	5・20〈2〉
5	21	帝国蚕糸会社の解散を閣議決定	5・19,23〈1,2〉
5	21	田山花袋は九州地方を巡遊のため、夫人同伴で門司に到着	5・22〈2〉
5	○	東軍オリンピック大会は極東選手権競技を終了。日本は得点数で第3位、1位は中国。オープン競技はテニス、自転車追抜き、遊泳など(上海電報)	5・22〈3〉
5	24	イタリアがオーストリアに宣戦布告(ニューヨーク電報)	5・22,24,25〈2〉
5	25	東京商業会議所は委員会を開き、日中合弁の特殊銀行を資本金5000万円で設立するよう政府に陳情することを決議	5・29〈1〉
5	26	久留米第18師団長陸軍中将斎藤力三郎が盲腸炎のため死去、享年55歳。後任は陸軍省軍務局長柴勝三郎	5・27,6・4〈2〉
5	○	煙草専売局九州支場は、製造上生ずる粉末を利用して駆虫用粉末煙草を試作し、発売予定。果樹、蔬菜の防虫と駆除に効果	5・26〈2〉
5	○	言論「日支交渉の効果」 5回 法学博士副島義一 政府の対中国交渉には問題点が多いと批判	5・27～31〈1〉
5	28	教育調査会学制案特別委員会は、高等学校は現在の大学予科を廃し、高等普通教育を授ける、など9項目の高等学校案を決定	5・31〈1〉
5	○	中国の青島に6月1日から防備隊を置く予定	5・29〈1〉
5	○	ガス、製鉄、炭坑会社の設備投資を促すため、政府は補給利子制度を適用することを決定。ガス副産物の染料を増産するための奨励法を制定	5・31〈1〉

政 治

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
6	○	佐賀区裁判所兼佐賀地方裁判所検事合志淵蔵は唐津区裁判所検事に転任	6・2〈2〉
6	4	佐賀市会は大正天皇即位記念共進会に3000円の寄付を可決、市水道公債条例の改正を協議	6・2,4,5,9〈2〉
6	5	佐賀郡は村長会を同郡役所で開き、大正天皇即位記念事業と害虫駆除に関して協議	6・5,6〈2〉
6	5	西松浦郡大川内村助役山本雄平が認可される	6・8〈2〉
6	○	長野県属古川庄五郎を佐賀県属に任命、佐賀県林業技手二田原嘉彦は新潟県へ出向	6・5〈2〉
6	7	郡市長会議を県庁で開く、8日まで。大正天皇即位祝賀など訓示事項39件、トラホーム予防など指示事項18件、郡蚕業技術員設置など諮問事項3件、感化院生収容についてなど協議事項2件	5・28,6・8～19〈2〉
6	○	海軍兵学校を4年度に志願する県出身者は82人。うち出身中学は、佐賀中学校29、小城中学校15校、鹿島中学校8、唐津中学校6、龍谷中学校2、東京その他22人	6・7〈2〉
6	8	臨時県参事会は大正天皇即位記念共進会費2万9951円の支出を決定	6・9,10〈2,3〉
6	○	佐賀郡沿岸各村の村長会を、8日に佐賀市松原町の郡農会事務所で開く予定。3年の高波で被害を受けた堤塘の復旧工事の村請負いについて協議	6・8〈2〉
6	○	4年度独立守備第6大隊補充要員の佐賀郡南川副村の山本萬作ら5人は、23日に中国大陸に渡る予定	6・8〈2〉
6	9	長崎控訴院検事長小山松吉は佐賀地方裁判所を事務視察。10日警察署長会議で訓示、14日唐津区裁判所を視察予定	6・9,10,12,13〈2〉
6	11	長崎県大村の特命検閲混成旅団の演習に参加していた歩兵第55連隊は、佐賀に帰営	6・12〈2〉
6	○	久留米の第18師団野砲兵第24連隊第1大隊は、14日～16日に神埼郡、佐賀市、小城郡、三養基郡まで夏季行軍の予定	6・11〈2〉
6	13	歩兵第55連隊は軍旗拝受第10回記念祝典を同連隊で開く	6・4,6,14〈2〉
6	13	佐賀郡の徴兵検査を同郡役所で開始、20日～23日は川上村の実相院で行なう。合格者は歩兵386人、騎兵12人、砲兵98人、工兵18人、電信隊兵6人、輜重兵7人、輜重兵輪卒223人、水兵12人、機関兵14人	6・15,16,20,22,30〈2〉
6	15	東松浦郡鏡村助役成瀬周治が認可される	6・17〈2〉
6	19	佐賀市会を開く。市の水道事業に関する公債の募集、事業費歳入歳出案などを可決。市長は公債について県から3万円、鍋島家から3万円以外に応募の見込み無しと説明	6・17,20〈2〉
6	21	県参事会は、荒廃地復旧事業費の追加、県社神饌幣帛供進使制服調製費、教育展覧会開設費補助などを付議	6・22〈2〉
6	○	佐賀連隊区管内における4年度簡閲点呼は、佐賀市、佐賀郡、小城郡、杵島郡を甲区、藤津郡と長崎県南高来・北高来郡を乙区とし、9月1日に実施予定	6・22〈2〉
6	23	倉重第18師団参謀は歩兵第46連隊と歩兵第55連隊の4年第2期検閲視察のため、藤津郡大野原と佐賀郡金立村へ出張	6・25〈2〉
6	24	歩兵第55連隊は将校約10人の予備役召集を実施	6・30〈2〉
6	26	佐賀郡松梅村長福川大右衛門が辞職	7・2〈3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
6	27	第24旅団長堀内均は、徴兵事務検閲のため歩兵第55連隊に到着、28日は佐賀郡金立村に赴く予定	6・28〈2〉
6	○	福岡連隊区は8月5日から20日まで、東・西松浦郡で簡閲点呼を行なう予定、4382人が対象	6・30〈2〉

経 済

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
6	1	佐賀郡本庄村農会は、苗代のメイ虫卵塊の第1回買上げを実施、卵5塊につき1銭。小學校生徒らの採取分は3万3589塊、村農会支出金額は67円17銭6厘	6・2〈2〉
6	○	佐賀市蓮池町の川浪商店は佐賀・長崎監獄製品と西洋タンス一式を販売(広告)	6・1,3,7,9,13,16,18,20,22,24,28,30 〈3,4〉
6	3	石橋知事、県農務課長、県農会長らは、佐賀郡神野村、嘉瀬村、久保田村、川上村の苗代状況、杵島郡北方村の養蚕家田崎兼好の桑葉冷蔵装置などを視察。田崎は各種品評会で褒賞を受けた県下有数の養蚕家。14日は小城郡、17日は東松浦郡相知村、24日は藤津郡、27日は神埼郡と三養基郡の苗代田を視察	6・5,6,18,20,24,27,7・4,7〈2〉
6	4	米麦共同販売に関する講習会が杵島郡山口村で開かれる。有志者、当業者約100人が出席。7日は同郡朝日、橘、橋下、北方の4村連合会が、講習会を同郡北方村役場で開く。県農会長は、肥前米の評価が全国市場で下落しているの、農業家は米麦共同販売取扱規程の趣旨を理解して努力するよう要請	6・6,8,9〈2,3〉
6	○	岸本県内務部長は4日、船山県農務課長、川崎県農会長、田崎農会技手らと西松浦郡有田町、曲川村、大山村などの苗代視察を行う予定	6・4〈2,3〉
6	5	佐賀郡本庄村は第1回メイ虫卵塊検査を実施、11万5000塊を捕獲	6・11〈2〉
6	5	無限責任本分信用購買販売組合を三養基郡南茂安村に設立(公告) 理事は大石富市ら3人	7・24〈3〉
6	○	県は県林業技手二田原嘉彦に新潟県への出向を命じる	6・5〈2〉
6	○	杵島郡は各村で集合苗代を実施し、改良に努める。武雄町小楠、朝日村南上瀧、北方村掛橋、北方村近分、北方村高野地区は最も良好	6・5〈2〉
6	6	神埼郡蚕業成期会は生繭市場を同郡神埼町に開設。出店は福岡県の柳川製糸場、長野県の片倉組など5商店	6・10,11,17〈2〉
6	○	「佐賀蚕業感想」 2回 山舟 蚕児の飼育に使用する蔭(まぶし)の種類について述べる	6・7,8〈2〉
6	○	県水産試験場は付設の淡水養魚池で鯉卵を孵化し鯉児を養成中。近く第1回の鯉児配布を行なう予定。配布希望者は23人	6・8〈2〉
6	○	元佐賀工業学校教諭古賀儀一は植物性染料を発見し、特許を出願。絹、羊毛を容易に小豆色に染色することが可能の由	6・8〈2〉
6	○	北原農商務省技手らは春季アゲマキ被害調査のため来県し、佐賀郡南川副村、藤津郡八本木村など稚貝発生地の被害状況を視察	6・9〈2〉
6	○	岸本県内務部長は、メイ虫防除を徹底するよう各郡市長宛てに通達	6・9〈2〉
6	○	県農会は、4年度第1期共同購買各種肥料を県肥料検査所で分析	6・9〈2〉
6	○	「芥子栽培と阿片」 6回 森永佐賀市書記談 農家副業としてケシの栽培法を紹介	6・9,10,12~15〈2,3〉
6	10	県地方種繭審査会は春期会議を開く。県立原蚕種製造所などの10種の種繭を合格とする	6・13〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
6	10	(株)肥薩銀行牛津支店は、3年12月21日の株主総会決議により目的を普通銀行及貯蓄銀行業の営業に変更し登記(公告)	6・15〈3〉
6	○	4年度夏季の蚕種製造者による蚕室蚕具の消毒施行は、6月10日から20日まで	6・10〈2〉
6	○	県技師黒田政憲は杵島藤津両郡内の陶業地を視察。杵島郡西川登村の弓野人形と含珠焼、藤津郡西嬉野の源六焼、吉田山、塩田村の塩田製陶会社、八本木村の皿山祇園山、古枝村久保山、吉田村の西山東山、杵島郡橋村の状況を報告	6・10～12〈2〉
6	○	佐賀郡鍋島村の森田養蚕伝習所、同郡金立村の西千布養蚕組合、東松浦郡玉島村の谷口養蚕伝習所は、生繭の第1回特約共同販売を実施。8日～9日は杵島郡西川登村の4養蚕組合が三養基郡鳥栖町の片倉組製糸場に共同販売を行なう	6・12,13〈2〉
6	○	農商務省は農会法に基づいて、県農会に4年度補助金1233円を交付	6・13〈2〉
6	○	小城郡牛津の農家は、久保田駅で玄米約500俵を共同販売するため、13日に販売前検査を実施予定。県農会吏員や肥前米輸出組合書記らが出張	6・13〈2,3〉
6	14	肥前電気軌道(株)は、5月31日の株主総会の決議により取締役高取伊好が会社代表となることを定め、登記(公告)	6・16〈3〉
6	15	県は米穀検査員協議会を県庁で開く。検査員25人が出席。岸本県内務部長は、県産米は増収の傾向であるが、九州各県に比べ1石につき1円の廉価で取引されているので、検査を厳格にするよう訓示	6・4,15,16〈2〉
6	15	西松浦郡有田村に梶原(資)を設立(公告) 代表社員梶原謙一郎、目的は磁器製造と販売	6・24〈3〉
6	○	西松浦郡有田町の深川製磁(株)は高品質の硬質磁器製造に成功。 色合いは純白で堅牢、冷熱急変に堪え、酸類の腐食に強く、日常食器として衛生的。日用品会を組織して、大量生産により廉価発売を行なう予定	6・16〈2,3〉
6	○	朝鮮海漁業組合は、第3番潮にあたる5月26日頃～6月4日までの出漁を終了。漁獲物が多く、漁況は良好。10日からは第4番潮で出漁、羅老島付近での漁業は不漁。龍岩浦方面は県からの出漁開始以来、最高の豊漁を予測	6・17,30〈2〉
6	18	藤津製紙(株)は取締役横溝又一と監査役小柳平三郎の辞任を登記(広告)	6・20〈3〉
6	19	県農会は第1回米穀共同販売を杵島郡の山口出張所で行う。米商人約40人が参加。杵島郡北方村の杉原丈太郎と藤津郡鹿島町の中尾初三郎が、北方米倉庫米550俵、芦原同160俵など1081俵を落札、長崎や東京に輸送	6・18,21,24〈2〉
6	20	肥前電気軌道(株)は、臨時株主総会で資本金120万円・2万4000株を50万円・1万株に減資することを決議(公告)	6・28〈3〉
6	○	「県耕地整理概況」 6回 各郡別事業成績一覧、整理前後の地目別対照表、整理前後の収穫対照表などを掲載	6・20,21,24,25,29,7・1〈2,3〉
6	21	古賀鉱業(資)は清算の結了を登記(公告)	6・23〈3〉
6	22	佐賀商工会の幹事会は、佐賀駅内陳列棚の陳列品申込みの区枠割りなどを協議。県内の重要物産をほとんど網羅した陳列を7月1日から開始の予定	6・23,24〈2〉
6	○	(株)肥薩銀行牛津支店は貯蓄銀行業務を開始(広告) 支店長副島武熊	6・22,23〈3〉
6	○	各郡でメイ虫の発生が著しい。特に佐賀、小城、神埼、三養基の各郡では例年の3～6倍の卵塊を採取。天候不順のためか	6・23～25,27〈2〉
6	24	大正天皇即位記念県共進会の協賛会は協議会を佐賀市の楊柳亭で開き、県と各郡市の共同事業として佐賀市で開催することを申し合わせる。会期は11月5日～24日まで。細則を4回にわたり掲載	6・23,25～28〈2〉
6	○	神埼郡農会は桑園品評会の審査員派遣を県庁に申請	6・24〈2〉
6	○	蚕業取締吏員に田代禮造と高柳欽一を任命、田代は月俸30円。高柳は月俸27円。県農事講習所技手・県蚕業製造所技手に吉武慶太を任命、月俸30円	6・24〈2〉

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
6	25	農商務省は、耕地整理及土地改良奨励費金規則に基づき、佐賀県に4年度の補助金8233円を決定	6・27〈2〉
6	26	県農会は通常総会を開く。3年度の会務報告、決算報告、米穀共同販売条例の一部改正などを協議	6・27〈2〉
6	26	第18回関西九州府県連合水産集談会実行委員の県委員愛野文次郎は、唐津大会で決議された事項の陳情のため上京	6・27〈2〉
6	26	米穀取締規則を公布(県令) 10月1日から従来の1俵の容量を3斗4升入から4斗入とする。米穀検査実施府県のほとんどが4斗入のために取引計算と精米作業に不利、不便となっていることが主な理由。全6条、内容を掲載	6・29,30,7・3〈2〉
6	○	東松浦郡西唐津港に集散する唐津炭の炭坑業者は、景気低迷のために、7月1日から採炭の2割減産を実施する予定。福岡県筑豊の各炭坑は3年5月から採炭制限を実施中	6・26〈2〉
6	27	県度量衡組合は総会を佐賀郡川上村の楊柳亭別荘で開く。日本度量衡協会県支部の設立を協議し、発会式を行なう	6・19,24,29〈2〉
6	27	肥前米麦輸出組合は評議会と組合会を開き、組長に前組長一ノ瀬傳三郎を選出	6・28〈2,3〉
6	28	(株)神埼実業銀行は業務拡張のため三養基郡鳥栖町に支店を開設、鳥栖町の松月庵で開業披露宴を開く。7月1日から開業予定(記事と広告)	6・27,28,30,7・1,2〈2,3〉
6	28	神埼郡産業組合協議会は春季大会を同郡役所で開く。3年度決算、大正天皇即位記念事業として組合員が記念貯金を行なうことなどを協議	6・30〈2〉
6	28	県水産講習所技師妹尾秀實はカキ養殖改良のため、実地調査に着手。福地県水産試験場長が、県産カキは輸出缶詰用として欠点があるとして、県水産講習所に調査を依頼していたもの	6・30〈2〉
6	28	東松浦郡久里村の養蚕伝習所は修了証書授与式を行なう。伝習生は19人、養蚕教師丸尾繁太	7・4〈2〉
6	29	三養基郡田代村の今町売薬(資)は解散を登記(公告)	7・1〈3〉
6	○	県農会は米麦共同販売取扱規定の一部を改正。入札は3等米1俵の価格を記入、入札者は1俵に付き入札価格20分の1以上の割合で保証金を納入するなど	6・29〈2〉
6	○	佐賀市の谷口鉄工場主谷口亮一が谷口清八を襲名(広告)	6・29〈3〉
6	○	佐賀フィルム(株)第1回営業報告(広告) 純利益289円58銭	6・30〈3〉

社 会

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
6	○	杵島郡武雄町の副島虎之助は、大日本武徳会佐賀支部の発展に貢献したとして、賞状と3等有功賞を授与される	6・1〈2〉
6	2	剣道教士納富教雄は、皇宮警察で6日開催の全国演武選抜大会に出席するため上京	6・3〈2〉
6	○	免囚保護県恒産会は各郡に支部を置くため、支部準則を定める。支部長は郡長に、副支部長は警察署長に囑託するなど全7条。同会基本金への寄付相次ぐ	6・3,6〈2〉
6	○	佐賀商工会員有志は、秋に開催予定の県共進会に向けて水族館の設計書を作成中	6・4〈2〉
6	○	12日出発予定の青島視察団は、申込者が定員に満たず中止。青島が日本の支配地となり、歩兵第55連隊の残留部隊が帰還して一般市民の青島熱が薄れたことも一因▽	5・2,5,22,25,6・5,8,10〈2〉

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
6	5	内田清一や金武良夫ら有志は、青島攻撃に出征した県出身者の3等軍医正納富嘉太郎、2等軍医上村春庵ら8人の帰還歓迎会を佐賀市公会堂で開く(記事と広告)	6・2,4,6〈2,3〉
6	6	佐賀市八戸町青年会は同町の龍雲寺で総会を開く。会員約60人が出席	6・8〈2〉
6	7	武雄温泉の泉質を検査した九州帝国大学医科大学薬剤師早船延三と栗原武晃は、ラジウム含有量が全国の温泉中第4位と発表	5・28,6・9,13〈2,3〉
6	8	曹洞宗佐賀婦人会は市公会堂で例会を開く。医学博士大黒安三郎が結核予防について講演	6・7,9〈2〉
6	○	佐賀市新馬場の玉突交友倶楽部は19日から3日間、玉突競技大会を開く予定	6・8〈2,3〉
6	9	天本梅可は大正天皇即位祝賀講演を神埼郡三田川尋常高等小学校で行なう。10日は同郡蓮池村の小学校、11日は千歳尋常高等小学校でも実施、各会とも聴衆500人以上が出席	6・9,13〈2〉
6	10	神埼郡軍人待遇会は、青島攻撃戦で戦死した故陸軍歩兵曹長森崎栄一ら13人の招魂祭を、同郡神埼町の曙座で行う	6・2,11〈2〉
6	10	佐賀市水道顧問で神戸市役所技師長佐野藤次郎は、水道視察のため来佐	6・11〈2〉
6	11	佐賀市は水道委員会を開き、第2水源地の開削について協議。12日まで	6・12,13〈2〉
6	○	藤津郡八本木村の醸造家の岩永新七は清酒「降魔」を、光武伊吉は「金波」を閑院宮へ献上し、宮から賞詞を受ける	6・11〈2〉
6	○	佐賀測候所技手に宮島小六を任命、月俸43円	6・11〈2〉
6	12	鹿島中学校出身の県内在住開業医師会は小城郡小城町のみよし野亭で会合を開く	6・15〈2〉
6	14	元鹿島藩主鍋島直彬が死去、享年73歳。 21日に藤津郡鹿島町の普明寺で葬儀。明治天皇侍従、沖縄県令を歴任、貴族院議員(記事と広告)	6・11,15~18,20,22~24〈1,2,3〉
6	○	小城郡出身の法学士永淵常吉は佐賀市八幡小路で弁護士事務所を開設	6・14,16〈2〉
6	15	神埼郡産婆協会は講演会を同郡役所で開く。出席の産婆は14人	6・17〈2〉
6	16	谷口鉄工場主谷口清八が死去、享年50歳。20日佐賀市長瀬町の泰教寺で葬儀(記事と広告)	6・17,18,21〈1,2〉
6	16	小城郡産婆会を小城町の天山閣で開く。会長は郡長、副会長は警察署長とするなどの組織の変更を行なう	6・18〈2〉
6	16	二位景暢は武雄郵便局長を命じられる	6・20〈2〉
6	○	九州通信局は電話通話事務開始局として久保田局、電信事務開始局として三間坂局と旭局を決定、開設には240円~3300円の寄付が条件	6・17〈2〉
6	○	佐賀市の観世流謡曲の新生会は、月例素謡会を20日に同市白山町の高寺で開く予定	6・17〈2,3〉
6	19	知事主催の青島守備隊帰還歓迎会が佐賀市の楊柳亭で開かれる。招待の将校は陸軍2等軍医正納富嘉太郎、陸軍歩兵少佐押川公實、2等軍医上村春庵ら22人	6・15,19,20〈2〉
6	19	佐賀市の諸隈秋山ら約20人は、同市新馬場の荒木屋で尺八研究会を開く。今後毎月1回の例会を開く予定	6・21〈3〉
6	○	佐賀郡鍋島村は、4年徴兵検査受検の壮丁に対し、第2回トラホーム検診を19日に実施予定	6・19〈2〉
6	20	西松浦郡伊万里町に(株)大正座が設立(公告) 演劇、諸興行用として建物、道具を貸し出す。取締役は黒木清ら5人、7月3日登記	7・6〈2〉
6	20	佐賀市の大勝館は、松井須摩子演じるカチューシャ劇「復活」を上映、27日まで	6・20,21,22,25,26〈3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
6	○	クラブ白粉などを販売する中山太陽堂は、佐賀市の改良座で「クラブデー」と称する顧客優待の新派一座観劇会を、6月21日から開く予定(広告)	6・20,21〈4〉
6	21	西村謙三、小野専介ら23人は旧佐賀藩校弘道館の記念碑建設発起人会を市公会堂で開く。委員長に狩野雄一郎を推薦	6・12,23〈2〉
6	21	杵島郡産婆会設置に関する打合せ会を同郡役所で開く。会長に郡長、副会長に武雄警察署長、六角分署長を囑託	6・23〈2〉
6	○	恩賜財団済生会は4年度各府県配当救療費として、佐賀県に2313円の支給を決定	6・21〈2〉
6	○	19～21日にかけて県内全域に豪雨。嘉瀬川が増水、佐賀郡鍋島村の板橋が流失し通行は途絶。東松浦郡でも橋が流されるなどの被害	6・21～23〈3〉
6	22	免囚保護県恒産会は鳥栖支部組織協議会を三養基郡役所で開き、支部規則などを決議。支部長は郡長、副支部長は警察署長に委嘱	6・24〈2〉
6	23	諸富警察分署は佐賀郡中川副村の衛生談話会を同村東古賀区から開始。26日まで	6・24,25〈2〉
6	○	神埼郡在住の中国人反物行商を殴打し、懲役1年に処せられた佐賀郡の男は、50円を支払うことで示談となる	6・23〈3〉
6	○	篤志看護婦人会佐賀支部会員と愛国婦人会佐賀支部職員は、赤十字社佐賀支部で25日に地久節奉祝会を行う予定 ※地久節…皇后の誕生日	6・24〈2〉
6	25	三養基郡三川村は衛生会を三川尋常高等小学校で開く。杵島郡住吉村も30日、衛生会を開く予定	6・27〈2,3〉
6	○	県出身の前造船総監松尾鶴太郎は、軍艦建造請負の際の収賄事件に関する処分 で勲等功級を褫奪される	6・25〈3〉
6	○	大阪府出身の男は、孤児13人を大阪府天王寺村孤児院の孤児と詐称して、佐賀市一円で、筆墨、石鹸、化粧品などを販売させる。佐賀署は不法な利益を詐取したとして取り調べ	6・25〈3〉
6	28	佐賀市内の20代の学生7人が同市の料理屋で3円余を無銭飲食し、佐賀署に引致される	7・1〈3〉
6	○	杵島郡龍王村の小川国子、小城郡小城町の今泉繁子ら県出身の看護婦17人と長崎病院の看護婦3人は、ロシア政府の救護団派遣要請で欧州に向け近く出発の予定	6・28〈2〉
6	○	東松浦郡の巖木炭坑の元坑主澤山熊次郎は部下の坑内主が事故死したことを悼み、遺族に扶助料600円を支給し、同郡北波多村の常安寺に石碑を建設	6・28〈3〉
6	29	小城郡芦刈村東住ノ江の南里堀堤防が高潮で破損、2町余に浸水被害	7・1〈2〉
6	30	旧士族鍋島克一ら529人が政府に訴えていた家禄不足額請求訴訟は、行政裁判所で原告側勝訴の判決。出訴漏れの者や明治7年除族者約150人は、7月25日に佐賀市の宗龍寺に集まり、内閣への請願書提出を決議(記事と広告)	7・1,23～30, 8・2,3,6〈2,3〉
6	○	この月、川、用水堀での子供の溺死相次ぐ	
6	○	この月、県内各地で野犬を撲殺	6・3,6,11,12,15,25, 27,7・2〈3〉
6	○	この月、県内各地で赤痢、腸チフスなどの伝染病が発生	

教育・文化

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
6	1	三養基郡三川尋常高等小学校は開校記念日を祝う	6・3〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
6	1	三養基郡基里尋常高等小学校は第9回学芸会を開く。保護者約500人の参観で盛会	6・5〈2〉
6	○	宮内省で6日に開催される全国武道家大演武会に、佐賀県からは剣道教士納富教雄が出演予定	6・1〈2〉
6	2	永野幹福岡県内務部長と渡部忠壽同警察部長は佐賀図書館を視察、運営方法を調査し書庫などを参観	6・3〈2〉
6	3	佐賀婦人会付属幼稚園は、創立10周年記念式を同市の中ノ小路幼稚園で開く。豊増一女らが挨拶	5・31,6・4〈2,3〉
6	3	佐賀商船学校の生徒全員は練習船案山子丸と海軍式ボートに分乗し、有明海で2日間の遠航演習を実施	6・8〈3〉
6	○	元武雄町外6カ村学校組合立武雄高等女学校長太田久武は、職務勉勵の理由で慰労金200円を授与される	6・3〈2〉
6	○	熊本第五高等学校生徒監岡村喜一郎は県内中学校を事務視察のため来佐、4日に佐賀中学校を視察予定	6・4〈2〉
6	5	佐賀郡川副支部教育会は総会を川副高等小学校で開く	6・8〈2〉
6	○	県は元佐賀農学校教諭佐伯卯吉郎ら4人に給与金を支給	6・5〈2〉
6	○	佐賀市教育会は8月1日から5日間、夏期講習会を開設予定。講師は福岡県の石川成章	6・5〈2,3〉
6	○	県内の小学生男女26人は、雑誌『日本少年』『少女の友』を発行する東京実業之日本社から優等小学生として表彰される。同社の学事奨励事業の一環	6・5〈3〉
6	6	佐賀市内の有志や保護者らは、市内の学校に28年在職した勸興小学校前訓導古賀格夫の謝恩会を開く。参加子弟は約300人	5・8,27,6・5,7〈2〉
6	6	杵島郡教育会は春季総集会を武雄尋常高等小学校で開き、大正天皇即位記念図書館の設置を討議。武雄町に図書館の設立を決める。神埼郡教育会も神埼尋常高等小学校で開く。藤津郡教育会は13日に鹿島尋常高等小学校で開く予定	6・3,6,7,10,13〈2〉
6	6	佐賀高等小学校女子同窓会が同校で開かれる。同窓生は約500人	6・5,7〈2〉
6	6	県教育会は、欧米各国を視察し九州各県を巡講中の松村介石の講演会を、佐賀市公会堂で開く。7日は佐賀高等女学校や師範学校女子部で「女子道徳」の講演を行う	6・5,7,8〈2〉
6	○	佐賀市の秀正会は、薩摩・筑前合同琵琶会を同市呉服町の光明寺で6日に開く予定	6・6〈2〉
6	7	県は、小学校教員実業科講習会を佐賀農学校で開く。17日に講習生30人に講習証明書を授与。科目は農政・農業経済、農具・作物など6科目、実験実習を中心に計68時間実施	6・5,22〈2,3〉
6	8	神埼郡西郷村姉川上分支部は、同村の往生寺で児童学芸会と保護者会を開く	6・19〈2〉
6	9	県内各神職会は、支会長会と幹事会を佐賀市八幡小路の神職会事務所で開く。神徳講演会を開く際は区長、学校職員などにも出席を勧誘すること、大正天皇即位の祝賀行事を行うことなど協議事項8件	6・6,11〈2〉
6	15	県は無試験検定により40人に小学校教員免許状を授与	6・25〈2〉
6	○	唐津中学校教諭中野轍太郎に退隠料年額165円を支給	6・15〈2〉
6	○	西松浦郡内小学校長会は、視察報告会を26日に同郡曲川尋常小学校で開会する予定	6・20〈2〉
6	○	「我県教育家に望む」 桂花生 先哲の業績を教育資料、郷土史誌として作成し、児童の教育に活用して欲しい	6・21〈3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
6	○	郡立鹿島高等女学校は、25日に第7回学芸会を開く予定	6・23〈2〉
6	○	寄書 「小学校農業教授に就いて」 4回 神埼郡立農産学校吉永重一	6・23,25,27,28〈2〉
6	○	佐賀市花房小路のルーテル教会と幼稚園は、子供の日会を24日に開く予定	6・24〈2,3〉
6	25	私立成美高等女学校理事の長谷川良之、青木助次郎、石丸忠英は再任(公告)	6・30〈3〉
6	○	三養基郡内小学校長会を26日に同郡役所で開く予定。協議題は国民道徳に関する件、学校衛生に関する件、トラホーム予防に関する件など8件	6・25〈2〉
6	○	佐賀市循誘尋常高等小学校長野中彦太郎は杵島郡錦江尋常高等小学校長に、錦江尋常高等小学校長大谷直一は同郡南有明尋常高等小学校長に任命など、校長5人に辞令	6・25,27〈2〉
6	○	今澤日比谷図書館長は、関西や九州の図書館を視察して、九州の図書館は手続きが簡単で新しい方式を採用し、関西より勝れていると述べる。特に佐賀図書館については、青年に本人が希望する図書を無料で館外に帯出させていると評価	6・26〈2〉
6	○	佐賀市花房小路のルーテル教会は27日に英語演説会を開く予定。内容はリッパード令嬢の英語唱歌、佐賀商業学校の福島嘉平、佐賀中学校の下村虎六郎、リッパードらの演説	6・26〈2,3〉
6	○	佐賀図書館は一般閲覧者の利便を図るため、7月1日から、午前8時から午後9時までの開館を予定	6・27〈2,3〉
6	30	小城郡内の小学校訓導が懲戒免職となり、師範学校在学中の学費など246円の償還を命じられる	7・2〈2,3〉
6	30	来佐中の俳画家・箏曲家鈴木鼓村は、作品展と独奏会を佐賀市元町の称念寺で開く	7・2〈2,3〉

その他

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
6	1	佐賀郡鍋島村出身の谷口文次は、簡便な国旗竿取付け器具を発明し特許を取得	7・1〈2〉
6	○	内務省調査による佐賀県の医師配置数(3年末) 人口1万に対し医師の割合は10.63人で全国2位。全国平均は7.91人	6・1〈1〉
6	2	九州貸座敷同業者大会を福岡市の遊郭翠糸女学校で開く。娼妓の年齢を18歳から16歳に繰り下げる運動を進めることを可決。佐賀からは唐津の守次升三郎、今宿の松本兵次郎ら8人が出席	6・4〈3〉
6	○	県出身の畑瀬フミら4人は、東京帝国大学医科大学付属医院で5月に実施された看護法講習生入学試験に合格	6・2〈2〉
6	○	佐賀図書館の閲覧人数(5月) 計4109人、うち館外貸出565人、閲覧書籍数は8512冊。昼間の新聞閲覧者は2279人、夜間は942人。	6・3〈2〉
6	○	「芸者の芸者観 佐賀一老妓の怪気焰」 5回 佐賀の芸者は修行が足りず、本当の芸者はいないと語る	6・3,5,7,10,11〈3〉
6	4	東京牛込区早稲田の相良大八の子供2人がペストで死亡。相良は大隈重信の甥	6・7〈3〉
6	○	宮中顧問官鍋島直大の70歳古希祝いに、閑院宮妃ら皇族が祝歌を下賜	6・4〈3〉
6	○	福岡支局管内の煙草元売捌人と小売人数(6月) 元売捌人の総数は38人、佐賀7人。小売人の総数は1万6004人、佐賀2356人	6・5〈2〉
6	○	密航誘拐の親玉として知られ、逃亡中の県出身の原田三郎が、マレー半島に現れる	6・5〈3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
6	○	県出身の岩永幾太郎ら3人は医籍に登録される	6・6〈2〉
6	○	県物産陳列館の近況(5月) 総来館者は6383人。出品は肥前米麦輸出同業組合の玄米と白米、佐賀染色矯正組合の染物、佐賀市元町の中村洋服店の新案詰襟服、玉川製麺所の麺類など	6・6〈2,3〉
6	○	「東京より」 15回 番外記者 国際情勢、中央政界の動きを中心に評論	6・6,11,12,14,16,17,19,20~22,28,29,7・2,8,17〈1,2,3〉
6	○	福岡為替貯金支局管内の郵便貯金状況(5月) 預金者総数171万7600人、預金額2074万5500円で4月に比べ680人増加、3万4000円減少。佐賀県は14万6666人、113万8031円	6・7〈2〉
6	○	肥前米移出検査総数(5月) 玄米4万4976俵、白米4万1041俵。主な仕向地は関門、長崎など、主な輸送方法は汽車積7万2814俵など	6・8〈2〉
6	○	佐賀市内の芸妓、酌婦、娼妓数(5月末) 芸妓42、酌婦52、最多は楊柳亭の芸妓18、酌婦6。娼妓404、うち有病者58	6・9,11〈2,3〉
6	○	県内営業者が保証票を添付した肥料の購買状況(3年) 主要な人造肥料は過燐酸石灰10万2404円、調合肥料45万6495円、2年に比べ米価下落の影響で4万8680円の減少	6・10〈2〉
6	○	松島炭鉱(株)第5期決算公告(広告) 取締役会長古賀春一、当期利益金12万3392円	6・10,11〈3〉
6	○	県農会以外の肥料共同購買状況(3年) 佐賀郡170組、杵島郡152組、東松浦郡144組など。郡別に詳細を掲載	6・11〈2〉
6	○	佐賀警察署管内牛乳搾取場の搾乳高(5月) 市部は与賀町の今泉搾取場など5カ所、郡部は神野村の久米搾取場など18カ所、合計45石5斗9升7合5勺。各搾取場別に掲載	6・11〈3〉
6	12	小城郡多久村の衆議院議員西英太郎は、賃貸契約した汽船亜細亜丸の所有者岩城卯吉から、賃貸料未払いの理由で神戸地方裁判所に訴えられる	6・15〈3〉
6	○	福岡専売支局管内の煙草販売高(5月) 総計58万5918円で前年同期より1万842円増加。佐賀支局は6万9593円で1万2322円の減	6・12〈2〉
6	○	愛国婦人会佐賀県支部の会員数(5月末) 特別会員1006、通常会員9341、計1万347人	6・12〈2〉
6	○	佐賀図書館巡回文庫の閲覧人数と貸出冊数(5月) 福富文庫324人・358冊、古枝文庫85人・181冊、蓮池文庫819人・819冊、嘉瀬通俗図書館744人・775冊、西多久青年団図書館63人・63冊	6・12〈2〉
6	13	米価 佐賀郡新米 3.4斗入 3円70銭 諸富出来値 米本屋	6・14〈3〉
6	○	福岡専売支局の樟脳収納高と価格(5月) 佐賀県の樟脳8765斤・価格1万2451円、樟脳油1万8168斤・価格5177円	6・13〈2,3〉
6	○	「日本一の女集」 日本一の女交際家は鍋島侯夫人、日本一の新しい女は平塚雷鳥など、賢母から女地主まで25人を選び掲載	6・14〈3〉
6	○	佐賀警察署管内の営業統計(4月~5月) 工場26、質入件数1万8269件・金額43万1254円、雇人の口入営業者96人、宿泊人員1万4659人、今宿遊郭の営業者16人・娼妓数153人、遊芸人59人、劇場3・観客数4万7264人、活動写真の入場者1万4429人	6・14〈3〉
6	15	(株)佐賀米穀取引所第41回営業公告(広告) 利益金8627円	6・17〈3〉
6	○	県出身の曹洞宗大学教授山上曹源師は、サンフランシスコで8月に開催される万国仏教大会に大日本仏教青年会代表として出席するため7月5日、横浜港から出発予定	6・16〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
6	○	県出身の牟田喜久雄、宮崎幸武、岸川覚男は、4年度海軍機関学校生徒として採用される	6・16〈2〉
6	○	佐賀郡内の牛馬頭数(6月) 馬3918、牛554。うち馬は乗馬102、農馬3298、駄馬230、種馬8、牛は農牛462、競馬280、輓牛26、乳牛66	6・18〈2〉
6	○	佐賀郡内各小学校児童の出席率(5月) 第1位は尋常科では兵庫尋常高等小学校98.70%、高等科では鍋島尋常高等小学校99.42%	6・19〈2〉
6	○	西松浦郡の4年秋季造林予定面積は214町9反。私有造林が盛んな村は波多津、曲川、有田、東山代、黒川など。南波多、大山、二里の造林は全て私有林。杵島郡、東松浦郡でも造林を実施	6・19,22,27〈2〉
6	22	杵島郡東川登村出身の前朝日新聞社会部長渋谷柳次郎(渋谷玄耳)が、妻に対して行った離婚請求の訴訟事件は、長崎控訴院で渋谷敗訴の判決。渋谷は著書『世界見物』などで知られる	6・24〈3〉
6	25	佐賀瓦斯(株)第6回決算報告(記事と広告) 当期利益金4864円	6・26〈2,3〉
6	25	故松田正久の妻は、旧久留米藩主有馬頼萬の3男定之助を養嗣子に迎える	6・28〈2〉
6	○	県内田畑の反当地価額(4年) 田の最高額は東松浦郡久里村109円75銭、最低は藤津郡能古見村1円82銭。畑の最高額は佐賀郡北川副村85円65銭、最低は東松浦郡入野村。実際の売買価格は3〜4倍以上と予測される	6・25〈2〉
6	○	福岡鉱務署管内の主要炭山出炭額(5月) 佐賀県内は芳谷炭坑、相知炭鉱、岩屋、杵島炭坑、杵島2坑、久原炭坑の6カ所で、2億2312万9272斤	6・27〈2〉
6	○	各郡春蚕伝習所数と伝習生人数(4年) 小城郡9カ所・216人、三養基郡8カ所・285人、佐賀郡7カ所・262人など、県全体で53カ所・1279人	6・27〈2〉
6	○	九州電燈鉄道(株)第38回営業報告(広告) 純利益44万1791円	6・28〜30〈3,4〉
6	○	県内の肥料消費額(3年) 普通肥料140万3814円、人造肥料45万5096円、自給肥料165万9436円。市郡別に肥料種別、数量、価格を掲載	6・30〈2〉

国内・国際

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
6	1	九州通信局管内1・2等郵便局長会議を熊本で開く。3日まで	6・3,4〈2,3〉
6	○	文部省管轄の各専門学校は学年開始を4月に改正。5年からの実施に向けて入学試験日を3月下旬から4月下旬に変更	6・1〈2〉
6	○	専売局は大典記念の巻煙草「八千代」を価格10銭で8月から発売する予定	6・1〈3〉
6	2	飛行船の第2回夜間飛行が行われる。埼玉県のと沢飛行場から離陸し、東京上空を2周旋回	6・4〈2〉
6	3	内閣弾劾帝国有志大会は、内閣の対中国外交は日中両国の親善を阻害し、列国の誤解を惹起して帝国の威信を失墜させたとの決議を行う	6・4〈2〉
6	○	立憲政友会と立憲国民党は対中国外交の失敗を糾弾する決議案を衆議院に提出。原敬、犬養毅は内閣弾劾に意気込む	6・4〈2〉
6	5	3月総選挙で内相大浦兼武が候補者から1万円を受け取ったとする収賄事件について、立憲政友会、立憲国民党、純無所属団は、合同で弾劾決議案を提出。7日、特別審査委員会で否決される	6・6〜8,9,10〈1,2,3〉
6	○	鉄道院は、門司、博多、佐賀、長崎、別府、熊本、鹿児島各駅から台湾の台北など6駅行きの旅客に発売していた船車連絡切符に、同地の桃園など6駅を追加。10日から実施予定	6・5〈1〉

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
6	8	外務省は日本と中国が締結した条約を発表。山東省に関する条約4条、南満州鉄道及び東部内蒙古に関する条約を掲載	6・11〈3〉
6	○	言論 「所謂責任支出に就いて」 6回 法学博士副島義一 政府が帝国議会の審議を経ずに予算を執行する責任支出は、憲法上不法の行為であるとして政府を批判	6・8～13〈1〉
6	10	第36議会は閉院式を行なう	6・11〈2〉
6	13	警視庁は北里研究所に対し、ジフテリアやコレラ、腸チフス、赤痢など11種の新血清販売を認可	6・15〈1〉
6	○	欧州大戦の損害総数を陸軍当局が計算、死傷者数などを含む総数はドイツ側約600万人、連合国側約800万人	6・13〈1〉
6	○	「自我と代議政」 北山 3回 民本政治、憲法の役割など政治原理について論じる	6・14～16〈2〉
6	15	帝国蚕糸会社は横浜銀行集会所で総会を開き、解散を承認	6・17〈2〉
6	○	司法省は行政整理で廃止した区裁判所120カ所のうち95カ所の復活を内定。佐賀管内は武雄と伊万里の2カ所	6・17〈2〉
6	○	台湾総督府は治政満20年記念の祝賀式を17日に実施予定。記念日に全島各学校で唄わせる唱歌を掲載	6・17〈3〉
6	○	朝鮮に新設する第19、第20の両師団の4年度の規模は歩兵約20個中隊、騎兵3個中隊、砲兵2個中隊、工兵2個中隊。要すべき兵員は東京、東海、北陸、中国、四国、畿内地方から募集予定	6・19〈1〉
6	○	小学校のトラホーム患者は全国で4万3047人に達し、児童100人に対して16人を超える。文部省文書課長は、各小学校に専門医を配置することが理想と述べる	6・19〈2〉
6	○	長崎駅と最寄りの各駅は、大正天皇即位記念の富士登山団体旅行を企画し、参加者を募集中。日程は8月1日～13日、同駅発着で参加費1人17円90銭	6・20〈2〉
6	○	5年度から実行される海軍補充計画の内容は、4年計画で約1億9千万円。超弩級戦艦4隻、偵察巡洋艦2隻、駆逐艦24隻、潜航艇8隻、ほかに飛行機母艦1隻	6・23〈1〉
6	24	政友会は政務調査会組織を発表。官業整理、海軍拡張と国防問題など。川原茂輔ら9人を部長に指名	6・25〈2〉
6	○	陸軍当局は、壮丁の体質が年々低下し、4年度は最悪と評価。徴兵忌避の傾向が増加し、忌避行為の中で最多は近視眼を装う者、極端な例は身体を毀傷する者もいる	6・24〈2〉
6	25	大隈首相は山縣有朋、大山巖、松方正義、井上馨の元老と会談。元老は、対中国外交失敗の善後策、満蒙獲得利権の開発、官業の整理問題などについて注文	7・1〈2〉
6	27	日本婦人科学会福岡地方部会は第8回例会を九州帝国医科大学で開く。佐賀県からの出席者は腹巻勝見	6・30〈2〉
6	28	帝国学士院は、梅毒病原純粋培養研究の医学博士野口英世ら3人に、恩賜金1000円とメダル授与を決定	6・29〈1〉
6	30	袁総統は日本貨幣排貨禁止の命令を出す	7・2〈1〉
6	30	交詢社は野党領袖招待会を開く。政友会の原敬、国民党の犬養毅が演説	7・2〈2〉
6	30	看護婦規則を公布(内務省令) 看護婦資格の認定方法などについて規定、10月1日から施行	7・3,14〈2〉

政 治

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
7	1	県は郡市長会議を県会議事堂で開く。県共進会への対応、4斗俵の実施について協議	7・2,3〈2〉
7	1	県は県庁庶務細則を改正。庶務課を地方課に、高等係を高等警察課に改組	7・3〈2〉
7	1	大正天皇即位記念共進会協賛会は県庁で、規則、分掌規程、予算などを協議。予算総額は約7000円、事務所を佐賀商業会議所に置く。6日、会長に知事石橋和、事務長に県内務部長岸本康通を決定	7・3,4,10〈2〉
7	5	内務省は佐賀市水道補助金として1万円を認可	7・6〈2〉
7	6	佐賀郡は村長会を同郡役所で開く。大礼奉祝、神社崇敬、産米改良、実業教育など訓示事項7件、県土木工事の村請負の件など注意事項4件	7・7〈2〉
7	8	佐賀地裁検事に宮崎地裁検事中山文次郎が任命される。同地裁判事青木勝太郎は函館に転任	7・9,11,15,18〈2〉
7	12	佐賀市会が開会。水道公債条例中改正、特別会計水道事業費予算更生の件など4件を原案通り可決。下今宿町区長に吉田九億を推薦	7・13〈2〉
7	13	杵島、藤津、小城、佐賀4郡の高潮被害地の村長会は、第2回大会を開く。復旧のための村請工事が遅延しているが、過怠金を免除するなど格別の配慮を求める請願書、諸富港～芦刈村～住之江港～多良・大浦に至る南部線県道の開設を求める請願書を県に提出することを決議	7・12,14〈2〉
7	13	国は原蚕種製造所費地方種繭審査会費補助費として県に625円を、土木補助費として9398円を交付	7・15〈2〉
7	14	岸本内務部長は、南部線県道の開設は県の財政状況を見ると軽々に決めることはできないと述べる	7・15〈2〉
7	○	杵島郡武雄町、朝日村など8町村は大正天皇即位祝賀記念事業として、小学校改築、運動場拡張、「御真影」奉安室建設、記念植樹などを計画中	7・14〈2〉
7	15	佐賀郡内の村長や書記は、福岡県久留米や長崎県佐世保の部隊に所属する郡内出身の下士卒を17日まで慰問。24日は歩兵第55連隊を慰問	7・14,19～22,24,26,27,28〈2,3〉
7	15	内務省は県への災害土木費国庫補助金6万9368円を認可	7・17〈2〉
7	○	東京の㈱紅葉屋銀行は、佐賀市水道公債24万円を引き受ける	7・16〈2〉
7	○	県は4年度耕地整理事業費6万8000円、産業組合資金1万4000円を割当てられる	7・17〈2〉
7	○	佐賀連隊区は4年度簡閲点呼を管内2区に分けて9月1日から実施予定。甲区は佐賀市、佐賀郡、小城郡、杵島郡の6970人、乙区は藤津郡、長崎県南・北高来郡の7140人。久留米連隊区も三養基郡と神埼郡で実施予定、日割を掲載	7・18,19,22〈2〉
7	20	佐賀市長、市参事会員、佐賀商業会議所重役、弁護士会員、市内4新聞社の記者らは、長崎控訴院の佐賀への移転を求める協議会を市公会堂で開く。福岡、熊本両県に対抗して代表者を陳情のため上京させることを決議	7・20～22〈1,2〉
7	20	県参事会は、佐賀郡西川副村地先の海面埋立地編入の件や唐津警察署内の土地を佐賀監獄に無償使用させる件を可決	7・21〈2〉
7	○	佐賀郡は同郡会議員選挙を9月30日に実施予定、定員は24人	7・21〈2〉
7	22	第18師団長柴勝三郎は管内巡視のため佐賀駅着、23日まで滞在	7・16,23,24〈2〉
7	○	佐賀郡久保田村助役原田武吉が認可される	7・23〈2〉
7	26	佐賀地裁兼区裁判所判事に沖津政知を任命、前判事中島十蔵は柳川区裁判所判事に転任	7・27,29〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
7	27	佐賀市会が開会。東魚町～呉服町本通り、松原町中ノ小路～多布施町～佐賀郡境の道路改修、鉄道線路踏切～多布施町に接続する西部道路の新設を決議	7・21,27,28〈2〉
7	27	県は屠場法施行細則を改正。9月1日施行	7・29〈2〉

経 済

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
7	1	(株)神埼実業銀行は三養基郡鳥栖町に鳥栖支店を開設(公告)	7・1～3,8〈3〉
7	1	池永(名)が西松浦郡伊万里町に設立(公告) 畳表、花筵などの販売と貸金業・倉庫業を営む。代表社員は池永栄助	7・4〈3〉
7	1	橋本(資)が神埼郡三田川村に設立(公告) 貸金業を営む。代表社員は橋本栄治	7・14〈3〉
7	1	共栄貯金(資)は本店を、佐賀市松原町から杵島郡北方村志久に移転(公告)	8・3〈3〉
7	○	佐賀米穀取引所の仲買人売買高(6月) 総額52万8700石。1万石以上の取引業者は秀島徳一郎3万5950石、中島源太郎4万3750石、東島平八3万5000石、弥富辰市3万3700石、菖蒲正夫3万100石、瓜生新七2万6600石など18人	7・1〈2,3〉
7	3	産業組合中央会佐賀支会主事江口秀一郎は辞任、後任に古賀格夫を任命	7・4〈2〉
7	○	杵島郡農会長に熊野御堂宗次郎が就任	7・3〈2〉
7	○	佐賀郡松梅村三反田郵便局長に福川大右衛門を任命	7・3〈2〉
7	○	県立農事講習所は12日、第7回別科講習生の修了証書授与式を行う予定	7・4〈2〉
7	○	東松浦郡農会の4年度事業は、技術員の嘱託、諸品評会や農業改良事績共進会の実施、楮苗の養成、農事視察、共同購入・販売、品種統一のための粳種子購入など	7・4〈2〉
7	○	11月開催の県物産共進会の都市別出品割当が決まる。77品目毎の一覧表を掲載	7・4,5〈2〉
7	5	県参事会は、貯蔵穀類害虫駆除奨励金200円の国庫補助金を二硫化燐蒸費補助金に当てる件を決議	7・6〈2〉
7	○	杵島郡農会の4年度事業は、農事試作場の経営、抜穂・苗代・水稻の稲3品評会の開催、共進会の開催、堆肥舎建設、養蚕業の奨励、農事視察員の派遣など	7・5〈2〉
7	7	神埼郡脊振村は同村広瀧の小学校で竹林講習会を開く。手入保護、病虫害駆除などを協議	7・9〈2〉
7	○	神埼郡農会の4年度事業は、メイ虫卵・フウ虫採取奨励、桑苗栽培、桑園・藁細工・苗代・水稻品評会の開催、養蚕伝習所の設置、蚕糸研究会事業の奨励、共同購買取扱など	7・7〈2〉
7	○	唐津炭の在荷が増加。6月末の貯炭合計は3万6900トン、6月15日に比べ6400トン増加	7・7〈2〉
7	○	西松浦郡農会の4年度事業は、郡農業技手に郡農会技手を嘱託、肥料・農事講習会や各種品評会の開催、米麦種子の購入、稲麦作試験田の設置、深耕の奨励など	7・8〈2〉
7	○	県は13日～31日まで佐賀郡、三養基郡、小城郡、杵島郡、佐賀市でメイ虫駆除予防を施行予定	7・8〈2〉
7	9	佐賀米穀取引所支配人持永佐吉は第13回米穀取引所連合大会に出席のため大阪へ出発	7・10〈2〉
7	○	県は藤津郡、西松浦郡を除く各郡に技手を出張させ、貯米の害虫駆除を実施する予定。10日～18日まで	7・9〈2〉
7	10	(株)県農工銀行は重役会を開き、株式配当年8分、当期純利益7万3473円と決議	7・11〈2〉

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
7	○	佐賀市岸川町の玉川製麺所は素麺の品質を改良し生産を増大。多布施町の竹下製菓本店は杏、バナナ、パイナップルなど貯蔵に耐える果実蜜を製造販売	7・10〈3〉
7	○	小城郡農会の4年度事業は、共同塩水選の完全実行、共同苗代・水稻品評会の実施、競犁会・深耕競励会の開催、優良農事實行組合・産業組合の表彰、精農家庭の表彰、小作米・桑園品評会や各種講習会の開催、養蚕伝習所の設置、進農会の組織化など	7・10～12〈2〉
7	○	「農家の悪現象」 全国的には大地主の土地兼併が進んでいるが、米価が高騰した元年と2年を比較すると、佐賀県では大農、中農が減少し、小農が増加している。米価が低迷すると小農は再び土地を手放すのではないか	7・11〈2〉
7	12	小城郡小城町の農事講習所は、第7回別科講習生の修業証書授与式を行なう。修業生は11人	7・13〈2〉
7	○	帝国興信社佐賀支社は『佐賀実業雑誌』を発行する予定で購読会員を募集、専任記者は田中岳城	7・12〈2〉
7	○	三養基郡農会の4年度事業は、農事改良奨励、共同苗代設置奨励、深耕競励会の奨励、塩水選の実行、病虫害の駆除、養蚕伝習所9カ所の設置、桑園品評会の実施、屑物整理講習会、畜産業改良など	7・12,13〈2〉
7	○	肥前木蠟同業組合は、サンフランシスコ博覧会での出品物審査の結果、金牌を授与される	7・13〈2〉
7	14	米共同販売組合による牛津、久保田の両倉庫米2500俵の入札は、予定額に達せず、近く再入札を実施する予定	7・13,16〈2〉
7	14	佐賀郡久保泉村は竹林講話会を開く、県庁から係員出張	7・16〈2〉
7	14	県共進会協賛会は発起人会を佐賀商業会議所で開き、伊丹彌太郎や鶴田小太郎ら36人の常議員を選出	7・15〈2〉
7	15	県農会は、第2回共同販売米の共同入札を杵島郡北方村の組合事務所で行なう。北方米は佐世保市の田中丸商店などが、山口米は杵島郡山口村の森又一らが落札。19日も約2200俵を入札	7・5,19,22,23〈2,3〉
7	○	九州電燈(株)の東松浦郡浜崎村～同郡玉島村間軽便鉄道免許状が失効。指定の期限内に着工しなかったため	7・15〈1〉
7	○	肥前木蠟同業組合は3年から巡視員を1人増員し、3人で製造場を検査。品質が向上し好成績を上げている	7・15,16〈2〉
7	○	「南部線県道新設について」 2回 山田兼介 産業の発達と農村振興のため、佐賀郡、小城郡、杵島郡、藤津郡の有明海沿岸を横断する県道南部線の早期建設を求める	7・15,16〈2〉
7	○	藤津郡能古見村の篤志家森田熊次郎は、同村浅浦地区で2年7月に檜崎式木炭製造講習会が開催されたのを契機に、普及に尽力。村内で20窯が稼働中	7・16〈2〉
7	17	農商務省は佐賀地方森林会議員に木下義行を任命	7・23〈2〉
7	18	肥前米麦輸出同業組合は総会を開き、1俵の容量を3斗4升から4斗に改定することを決議。米は4年新米から、麦は10月1日から実施予定	7・17,19,20〈2〉
7	18	杵島郡橘村の大納米券倉庫は、穀虫駆除のため二硫化炭素で倉庫内を燻蒸、結果は良好	7・23〈2〉
7	○	佐賀郡久保田村農会は、農事實行組合長と区長会を19日に開き、米麦共同販売などについて協議予定	7・18〈2〉
7	19	東松浦郡巖木村は蚕業講話会を同村の広川分教場で、20日は本立寺で開く。山間部の住民約90人が熱心に聴講	7・22〈2〉
7	○	「肥前米麦輸出組合成績」 4回 組合員数541人、検査状況、取引相場、経費などを紹介	7・19,20,24,26〈2〉

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
7	○	「佐賀電車問題」 北山 佐賀市に電車を開設することは県や市の財政上の理由と採算上の問題で困難である	7・20〈1〉
7	○	肥前漁業(株)は25日、定期総会を東松浦郡西唐津の博多屋支店で開き、定款の営業項目に「船舶賃貸借、曳舟、運送」の追加などを協議する予定	7・20〈2〉
7	21	佐賀水産試験場技手鐘ヶ江東作は依願免職	7・21〈2〉
7	22	藤津郡能古見村は竹林講話会を浅浦分教場で開く。浅浦地区は甚八笠製造で知られるが、材料の竹が濫伐により欠乏しているため実施	7・24〈2〉
7	○	三養基郡、小城郡、東松浦郡、杵島郡、藤津郡は25日～8月20日までメイ虫駆除を励行予定	7・23〈2〉
7	○	小城郡農会は、第6回共同苗代品評会褒賞授与式を26日に郡会議事堂で実施予定	7・23〈2〉
7	○	共栄貯金銀行佐賀支店主任に森義勝、鹿児島代理店主任に前杵島郡長甲斐田毅が就任	7・23〈2〉
7	24	県酒造組合は連合会総会を佐賀郡川上村の楊柳亭別館で開く。会長に岩永新七を選任、県物産共進会への清酒出品について協議	7・21,27〈2〉
7	26	佐賀駅長に行橋駅長上野福太郎を任命、佐賀駅長徳永大吉は行橋駅長に転任	7・27,9・3〈2〉
7	○	杵島郡橋村片白区は苗代と本田で計9回、メイ虫の卵5万1245個を駆除。日曜日は区内の児童にも採取させ、上位10人に賞金を授与	7・26〈2〉
7	○	佐賀市の古賀製次郎が申請していた長崎県下県郡での金・銀・亜鉛鉱試掘願と小城郡南・東多久村での石炭試掘願、西松浦郡曲川村の空閑昌太郎ら3人が申請していた長崎県東彼杵郡での金鉱試掘願は、いずれも認可される	7・26,30〈2〉
7	○	小城郡北多久村の南里喜左衛門ら2人が申請していた同村での石炭試掘願、東松浦郡満島村の栗原源太郎が申請していた小城郡北多久村での石炭試掘願、西松浦郡有田村の松村藤十が申請していた同大山村での石炭試掘願は、いずれも認可される	7・28〈2〉
7	29	杵島郡朝日村の無限責任川上区信用購買販売組合は設立を登記(公告) 理事は樺島義美ら7人	8・1〈3〉
7	31	佐賀駅前の佐運本店は、九州電燈鉄道(株)佐賀支社の変圧器2台を福岡市の同鉄道福岡本社まで自動車運送。福岡市までの自動車運送は初めての試み	8・1〈2〉
7	31	西松浦郡の松浦共済(株)は、商号を大正共済(株)と改称(公告)	8・15〈3〉

社 会

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
7	1	県警察本部は各地で不法売春を取締まり。料理店、旅人宿、曖昧屋を一斉に搜索し、多数を検挙	7・3,4,6,12,16〈3〉
7	○	三養基郡旭郵便局は、電信事務取扱を6日から開始する予定	7・1〈2〉
7	○	「青年会記事」 5回 北山々人 県内青年会の歴史、会員数、活動状況などを紹介、会員数の最多は杵島郡6767人、次いで藤津郡5435人	7・1,3,6,9,10〈2〉
7	2	佐賀区裁判所は、骨牌を使用して賭博をした佐賀市の男4人に懲役7月を判決	7・3〈3〉
7	○	佐賀市第14区恒産会担当の光照寺、本行寺、賀昌院の住職は、共同で担当区域を個別訪問、恒産会基金の寄付を募る	7・2〈2〉
7	3	佐賀郡の料理屋の芸妓と酌婦ら4人は、申し合わせて逃走。15日には佐賀市今宿町の娼妓が逃走	7・6,16〈3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
7	○	谷口鉄工場は、故清八の追善として使用人全員に各自の賃金5日分の金銭を配る	7・4〈3〉
7	5	東松浦郡相知村の相知炭坑で24歳の坑夫が送炭車と衝突し死亡	7・7〈3〉
7	○	佐賀市の薬湯屋営業の女は、排水管の近くから浴水を取水しているとして、湯屋営業規則違反で告発される	7・5〈2,3〉
7	7	小野定一ら有志は、元佐賀毎日新聞記者松瀬清の送別会を佐賀市の楊柳亭で開く	7・5〈2〉
7	8	曹洞宗佐賀婦人会は市公会堂で大会を開く。西崎龍谷中学校長、杵島炭坑布教師杉岡清らが信仰談を話す	7・7,10〈2,3〉
7	○	杵島郡武雄町の善念寺住職立花憲信と佐賀市与賀町の善定寺住職木山定生は、11月に宮島、伊勢山田、奈良、大阪を巡遊する大正天皇即位記念拝観団を計画、団員を募集中。10日間の日程、費用15円	7・8〈2〉
7	9	鶴田県衛生課長は腸チフスが発生した佐賀市今宿遊郭を視察	7・9〈2〉
7	9	藤津郡嬉野警察分署は野犬の撲殺を14日まで行う	7・23〈3〉
7	10	大日本蚕糸会佐賀支部は、大正天皇即位祝として羽二重を作成して献上することを決める。会員605人が春繭を集め東京本部に送る	7・11〈2〉
7	○	愛国婦人会は、業務拡張や青島攻撃の際に後援した功労者に有功賞や感謝状を贈る。佐賀郡の永淵浅子、豊増一女、江副綱子ら60人	7・10〈2〉
7	11	佐賀警察署は、不法売春に場所を提供したとして佐賀郡の飲食店の男に勾留9日を科す	7・12,16〈3〉
7	12	佐賀市は市内各衛生組長と区長約300人を集め、流行している疫病の対策を協議	7・13〈2〉
7	12	佐賀市の八幡神社は楠公祭を開く。市内の学校生徒が教師引率の下に参拝	7・13〈2〉
7	12	県警察部は炭坑稼人、「土方」稼人らに対し、銃刀爆発物携帯の一斉捜査を実施。相知炭坑57点、杵島炭坑68点など県内全域で合計305点を押収	7・15〈3〉
7	○	佐賀市新馬場の榊新栄座は、これまでの年貸しを日貸に変更し、一般の興行や集会などに貸し出す(記事と広告) 営業成績が不振のため	7・12～15〈2,3〉
7	○	「諸税と負担力」 県民1人当たりの税金は、明治37年の5円63銭9厘から大正2年は8円4銭へと年々激増しているのに、日雇稼ぎの賃金は微増に過ぎない。3年、4年は米価が暴落し、農村の疲弊は年々増し、都会では労働者過剰で生活難、就職難となっている。当局は実情を見てほしい	7・12,15〈2〉
7	13	三養基郡三里村曾根崎支部青年会は、6月の豪雨で破壊された橋2カ所や基里小学校運動場の一部を修理	7・16〈2〉
7	○	東松浦郡相知村の三菱相知炭坑で、岩崎組坑夫1人が落盤のため即死	7・15〈3〉
7	17	尺八の琴古流は三曲合奏会研究会を佐賀市新馬場の永淵方で開く。古賀鶴之都ら13人が演奏	7・19〈2〉
7	○	佐賀郡の春日、三反田、高木、川上の各郵便局は、同郡川上村に公衆電話を設置することを共同で熊本管理局に要請。同管理局は1600円を負担すれば直ちに設置可能と回答	7・17〈2〉
7	○	佐賀警察署は管内の料理屋33軒の芸妓、酌婦204人に健康診断を実施。有病者87人、最多は淋病	7・17〈3〉
7	18	日宗純信教会と浄徳婦人会は例会を佐賀市高木町の観照院で開く	7・19〈2〉
7	○	僧侶神代智明が発起の地明会は、設立1周年記念会を21日、佐賀郡川上村の楊柳亭別邸で開く予定	7・19〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
7	20	佐賀警察署は管内21ヵ所の搾乳場で牛乳検査を行う。うち6ヵ所は不適	7・21,22,26〈2,3〉
7	20	三養基郡基里村は青年大会を同村小学校で開く。久留米連隊区司令官らが講話	7・25〈2〉
7	20	小城郡芦刈村の有志が出願していた、同村の無格社海童神社と同巖島神社を村社沖神社へ合祀する願が許可される	9・8〈2,3〉
7	○	九州電燈鉄道唐津営業所は、東松浦郡唐津虹の松原の海浜院東端に、大規模な遊園を建設する予定。5色の電燈105個を灯し、唐津湾を模した泉の中に噴水を設置する計画	7・20〈2〉
7	○	「御大典記念事業」 5回 各郡や町村の大正天皇即位記念事業を掲載。統計事務の改良、記念文庫の設置、植林・植樹、納税組合の設立、公園の整備、小学校の改築、道路の改修など	7・20～22,25,26〈2〉
7	○	佐賀市水道部は第1回給水申込者を募集。申込手数料1円を免除するなどの優遇措置を示す	7・22〈2〉
7	23	剣道家小野専介、弓術家江口善次は武徳会から武術精錬証を授与され、披露宴を佐賀市の楊柳亭で開く	7・24,25〈2〉
7	23	佐賀郡与賀地区出身の中等学校生が組織する与賀郷友会は、夏季尚武会を与賀高等小学校で開く。8月23日まで撃剣と柔道を行なう	8・24〈2〉
7	24	曹洞宗佐賀婦人会は役員会を市公会堂で開く。会員の勧誘、相談役の推薦などを協議	7・26〈2〉
7	25	県獣医組合佐賀郡市区部会は佐賀市新馬場の笹屋で開き、町村獣医を設置することなど7件を協議。組合長に石動善治を選出	7・26〈2〉
7	25	佐賀市の気温は華氏98度1分を記録、佐賀測候所創立以来25年目で最高気温。5日以来、杵島郡白石村、南・北有明村、福富村、小城郡芦刈村、佐賀郡川副村は干ばつによる被害が顕著 ※華氏98度1分は摂氏36.7度	7・28,29〈2〉
7	26	藤津郡塩田村の村長、小学校校長らは婦人会を組織し、第1回事業として礼法講習会を開く。約100人が出席、30日に終了式を予定	7・30〈2〉
7	○	牛津駅は唐津遊覧団を募集。8月5日に特別臨時列車を運行の予定、定員350人、往復料金48銭	7・26〈2〉
7	27	藤津郡糸岐警察分署は、同所管内の消防演習を多良小学校で実施。220人が参加	7・30〈3〉
7	28	佐賀郡の男が水争いにより、隣接する水田所有者の男を鉈(ナタ)で殺害	7・29〈3〉
7	○	佐賀市本庄村の高伝寺は古礼典の大布薩式を29日に行う予定	7・28〈2〉
7	30	佐賀郡松梅村名尾青年会は発会式を開く。小林区署の植林を請負い、利益は基本金として積立てる	8・19〈2〉
7	○	この月、県内各地で腸チフス、疫痢、赤痢など伝染病の発生相次ぐ	
7	○	この月、県内各地で衛生談話会を開く	7・1,4,6～11,13～18,21,22,24,27～29〈2,3〉

教育・文化

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
7	○	佐賀郡巨勢尋常高等小学校は、綴り方研究会を3日に実施予定	7・2〈2〉
7	3	佐賀市日新小学校訓導高木文太郎と観興小学校訓導原口種太郎の頌徳謝恩会を市公会堂で開く	7・4〈2〉

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
7	4	佐賀郡兵庫支部教育会は視察会と総集会を兵庫尋常小学校で開く	7・2,6〈2〉
7	4	佐賀宝生流謡曲素謡会は佐賀市高木町の願正寺で月例会を開く	7・6〈3〉
7	5	県教育会は大正天皇即位記念教育品展覧会の役員会を開き、施行方針、役員、出品物などを協議	7・6〈2〉
7	6	佐賀郡兵庫尋常高等小学校訓導西村イノと同川上尋常高等小学校訓導下村タミは広島、福岡両県へ学事視察に出発。視察内容は女兒実業科目の施設、裁縫科教授、作法教授、女兒養護に関する事項など	7・7〈2〉
7	○	県師範学校教諭藪内芳太郎と唐津中学校教諭心得大田直巳は、12日から東京高等師範学校で開催の第1回体操科講習会に出席予定	7・9,8・9〈2〉
7	15	第2回佐賀美術展覧会が県会議事堂で始まる。洋画家岡田三郎助、日本画家高取雅成らの作品を展示、19日まで	6・30,7・15,20〈2〉
7	15	曹洞宗管長石川素童は、藤津郡八本木村の泰智寺住職光山覚城を同宗議会議員に認可	7・16〈2〉
7	18	県西部の各警察署員は、剣道練習大会を六角警察署で開く。審判は納富教雄ら。24日は唐津警察署が県北部警察官武道大会を唐津演武場で開く	7・28,30〈2〉
7	○	文部省は通俗教育奨励費として県に750円を交付	7・20〈2〉
7	○	歯科医学士石井清一は歯の疾病と栄養、学業成績、保護者の職業などとの関係を統計的に調べるため、佐賀市勤興小学校の全児童の歯を検査	7・20〈2〉
7	21	小城中学校々友会の黄城会は、演説会や柔道・剣道の試合を同校で行なう	7・18,25〈2〉
7	21	三養基郡上峰村の尋常高等小学校は、蚕業講習会を開く。夏期休暇中に高等科生徒180人に秋蚕を飼育させ、勤労の重要性を理解させるため	7・3,25〈2,3〉
7	22	県神職会は、大正天皇即位記念講演会を西松浦郡伊万里町の郡会堂宏済閣で開く	7・24〈2〉
7	22	佐賀郡女教員会を師範学校女子部で開く。郡内外の女教員ら約140人が参加。女教員の大会は県内で嚆矢▽	7・22,23〈2〉
7	23	成美高等女学校は第13回同窓会を開く。余興や模擬店で賑わう。会員130人が出席	7・24〈2〉
7	○	佐賀市長瀬町の谷口清八は1000円を同市教育基本財産に寄付	7・24〈2〉
7	25	佐賀市川原小路の中島裁縫所は第11回修了証書授与式を行う。優等生3人、皆勤賞1人に賞品を授与	7・27〈2〉
7	○	県神職会は4年度講演会講師を国幣中社田島神社禰宜八島直、県社千栗八幡神社社掌・八女中学校教諭岡泰雄、皇典講究分所試験委員毛利龍一に囑託	7・25〈2〉
7	26	佐賀中学校の栄城会は夏季大会を佐賀郡川上村の淀姫神社で開く。職員・生徒約600人のほか海軍兵学校生、陸軍士官学校生ら約30人が参加	7・23,27〈2〉
7	30	佐賀農学校出身の藤津郡在住者は、同校同窓会の国本会藤津郡支会の発会式を、西嬉野村の笹屋旅館で開く。会長宮崎清一	7・28,8・1〈2〉
7	30	佐賀郡北川副尋常高等小学校は、学校と村民の交流を深める社会教育の一環として、村内8地区で講演会兼学芸会を始める。毎回参加者が多く盛会	8・7〈2〉
7	31	佐賀郡兵庫尋常小学校は第4回女子同窓会を同校で開く。女子の修養、村衛生会の決議事項など講演多数、会員実践事項を協定	8・3〈2〉
7	○	8月にかけて、教員対象の夏期講習会が、杵島郡を除く各都市や佐賀中学校、県師範学校で開かれる	7・9,15,16,19,23,25,28,29,8・1~3,5,9,21〈2,3〉

その他

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
7	1	佐賀郡西与賀村出身の警視庁警視中村邦一は高知県理事官に任命される	7・3,13〈1〉
7	○	各郡市の戸数と人口(6月現在) 県合計10万9365戸・69万1256人。佐賀市5618戸・3万6094人。東松浦郡1万9403戸・11万8598人、など各郡別に掲載	7・1〈2〉
7	○	佐賀、東・西松浦、杵島、小城郡などで実施した4年春蚕の共同販売高は1533貫868匁、6011円。1貫目当たり3円92銭で、3年に比べ1円78銭安	7・1〈2〉
7	○	県内からの海外渡航許可者(6月) 北アメリカ4、フィリピン1、インドシナ1、ニコラエスク2、ウラジオストック15、東インド諸島4	7・1〈2〉
7	2	大隈信常は文部省副参政官に任命される。総理大臣秘書官を兼任	7・3〈2〉
7	○	福岡県三潞郡大川町の深川造船所は、事務員と常務員の大規模な人員整理を実施	7・2〈2〉
7	○	九州各県の営業税額(4年) 佐賀16万1721円、長崎26万9242円、福岡64万1578円、熊本22万5722円	7・3〈2〉
7	○	県出身の陸軍2等軍医島内三郎は久留米衛戍病院、同俘虜収容所勤務を命じられる	7・3〈2〉
7	○	熊本高等工業学校を卒業した県出身の12人の進路は、佐世保海軍工廠造機部1、大蔵省専売局1、製鉄所1、炭坑・鉱業所6、未定3など	7・3〈2〉
7	○	佐賀図書館の利用状況(6月) 閲覧人員3480人。閲覧図書数888冊、7月1日から夜間の開館を始める	7・3,4〈2・3〉
7	4	第18師団幹部演習が大分県で始まる。10日間の予定、佐賀連隊区からは歩兵第55連隊長長堀均、司令官竹下宣行が参加	7・5〈2〉
7	4	佐賀市松原町の石田真六が死去。安政3年1月7日生、電信寮電信学校、工科大学卒業。長崎市技師として港湾改良工事に尽力	7・6～8〈2,3〉
7	○	九州各県の郵便貯金総額(6月現在) 佐賀119万2589円、福岡887万512円、熊本395万4907円など	7・5〈2〉
7	7	副島種臣の嗣子、副島道正は大礼使嘱託に任命される	7・11〈2〉
7	○	東・西松浦水産組合の水産製品検査成績(6月) 鰯6150斤、干アワビ202斤、干イワシ180斗	7・8〈2〉
7	○	県出身の山下徹一は医籍に、前谷文男は薬剤師名簿に登録される	7・10〈2〉
7	○	県出身の田中耕太郎、多久安信、高木八尺ら30人は東京帝国大学を卒業	7・10,14〈2〉
7	○	肥前米移出月報(6月) 玄米2万5269俵、白米3万7192俵、船舶積4868俵、汽車積5万5116俵、主な仕向地は関門、長崎、佐世保	7・12〈2〉
7	○	佐賀郡の5月10日～6月30日の第1期メイ虫採卵高は444万4758塊。各村別に掲載。13日から第2期採卵を実施	7・14〈2〉
7	16	米価 佐賀郡新米 3.4斗入 3円65銭 諸富出来値 米本屋	7・17〈3〉
7	○	福岡専売支局佐賀出張所管内の樟脳収納高と煙草小売人(6月) 樟脳7079斤・価格4023円、樟脳油1万6926斤・4824円、煙草小売人2167人	7・16〈2〉
7	○	愛国婦人会佐賀支部の郡別会員数(6月) 最多は東松浦郡の特別会員166人・通常会員1523人、県全体で特別会員1007人・通常会員9332人	7・16〈2,3〉
7	○	九州各県の桑園反別・収繭高(3年度) 佐賀1099.5町、1万1594石、最高は熊本の7165町、6万7155石	7・17〈2〉
7	○	佐賀警察署管内伝染病患者数(1月以来) 腸チフス81、疫痢4、ジフテリア3、パラチフス3	7・17〈3〉
7	18	上京中の県出身の臨時南洋防備隊司令官松村達雄は、帰任のため東京を出発	7・17〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
7	○	県出身の野砲兵第6連隊中隊長・砲兵大尉城島栄興は、陸軍野戦砲兵射撃学校を優等生で卒業、銀時計を下賜される	7・18〈2〉
7	○	佐賀郡神野村出身の鶴野邦八は、ビルマの大富豪エーケー・ジャマールの銅山事業に招聘され、21日に長崎を出発しランゲーンに赴く予定	7・18〈2〉
7	○	全国の自動車数は908台、うち最多は東京の530台。佐賀は5台	7・18〈3〉
7	○	佐賀新聞社は、県内の政治、経済、教育の実情を知り、各界の人士から意見を聞くために「行脚通信」を企画。杵島郡は蒲原露外、佐賀郡は野田北山が担当し連載	7・18～29〈1,2,3〉
7	○	県内の郵便貯金額(3年末) 総額114万2024円。94局を郡市町村別に掲載	7・19〈2〉
7	○	唐津港の貿易額(1月～6月) 輸出総額119万1714円、主なものは石炭115万2708円、材木1153円など。輸入総額111円、主なものは米8円など	7・19〈2〉
7	20	故子爵鍋島直彬の家督相続人鍋島直縄は、襲爵を認可される	7・21〈2〉
7	21	野砲兵第24連隊は、県出身の砲兵2等卒上野吾八ら6人に蹄鉄術卒業証書を付与	7・30〈2〉
7	○	第五高等学校水泳部は東松浦郡唐津の西の浜の金波楼に合宿所を設け、連日水泳訓練中	7・22〈2〉
7	23	松田正久銅像の起工工事が司法省の敷地内で始まる。制作は彫刻家武石弘三郎	7・24,9・23,10・20〈2〉
7	○	佐賀郡内各小学校児童の出席率(6月) 高等科1位は高木瀬尋常高等小学校の99.41%、尋常科は兵庫尋常高等小学校の98.84%	7・23〈2〉
7	○	「如是我観」 青年の自殺者が多い。信仰、学制の改革等が必要▽	7・25〈1〉
7	○	県内小炭坑の生産額(3年) 年産3万トン以下を全て掲載。小城郡は立山炭坑など15坑、東松浦郡は巖木炭坑など19坑、西松浦郡は山代炭坑など13坑、合計47坑	7・26〈2〉
7	○	重要炭山生産額(6月) 芳谷炭坑7129万5336斤、相知炭鉱3965万6215斤、杵島炭坑1029万8850斤、杵島第二坑4385万2250斤、岩屋炭坑2195万5560斤、久原炭坑648万734斤	7・28〈2〉
7	○	佐賀新聞は、明治天皇3年祭のため30日を休業し、31日を臨時休刊とする(社告)	7・30〈2〉
7	31	全国をスケッチ旅行中の中国新聞社社友常光雪山は、佐賀新聞社を訪問	8・1〈2〉
7	○	この月、多くの銀行、企業が決算報告を行なう(広告) (株)佐賀貯蓄銀行第38期、(株)鹿島銀行第40期、(株)古賀銀行第34期、(株)佐賀百六銀行第35期、(株)肥前貯蓄銀行第12期、(名)兄弟銀行第15期、大串銀行第29期、(資)小城銀行第34期、(株)唐津銀行第59期、(株)栄銀行第66期、(株)伊万里銀行第67期、(株)杵島銀行第8期、洪益(株)第54期、(株)有明銀行第33期、(株)西海商業銀行第35期、(株)小城共済銀行第14期、(株)武雄銀行改第44期、(株)神埼実業銀行第8期、(株)塩田銀行第11期、浜貯蓄(株)第1期、(株)県農工銀行第35期、川上軌道(株)第6回、地所(株)第44期	7・15～27,30〈3〉

国内・国際

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
7	1	山縣有朋は、対中国外交の失敗、内相大浦兼武の汚職問題などについて元老会議の顛末を天皇に報告。2日は大隈首相を訪ねて元老の意見を報告	7・2,3〈2〉
7	○	大隈内閣は辞任し、次期首相には山縣有朋、松方正義、徳川家達可、と衆議院某有力者語る	7・2〈1〉
7	○	「如是我観」 野兎 内相大浦兼武が第35議会時、増師問題で板倉代議士に贈賄したという2万円事件は不起訴となる。司法権力からの圧力か▽	7・3〈1〉
7	5	帝国学士院は梅毒病原研究の野口英世など3件に、賞品と賞牌を授与	7・7〈1〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
7	5	中央畜産会は創立総会を開く。畜産業の中央団体で会頭は樺山資紀	7・8〈1〉
7	○	日本一の高山発見、台北北部のシルピヤ山で1万3030尺	7・5〈3〉
7	○	朝鮮に新設する2個師団司令部、旅団、連隊及工兵大隊の配置決まる。第19師団は龍山、第20師団は羅南	7・6〈2〉
7	9	台湾南部で原住民の集団が日本人巡査とその家族など5人を殺害。総督府は犯人を捜索中	7・20〈3〉
7	○	元老は外相加藤高明の外交方針は認めず、更迭のほかに途なしと判断	7・9〈1〉
7	○	政府は農政上の参考とするため、地主と小作人の間に生じる紛争の状況と原因、小作人の保護と農事奨励のため地主個人がとっている対策などの調査を、各府県に依頼	7・9〈2〉
7	10	東京市の尋常小学校訓導が児童に体罰を加えた事件の訴訟で、東京区裁判所は訓導に罰金20円を判決	7・13〈3〉
7	○	トルコ海軍はダータネルス海峡で連合軍と戦争を始めるが、撃退される	7・10〈2〉
7	11	英艦は東アフリカのルツイリ河でドイツ巡洋艦を撃破	7・15〈2〉
7	15	群馬県の高崎連隊で、行軍中、日射病で倒れる者が続出。11人が生命危篤	7・17〈2〉
7	16	宮崎県の霧島が爆発との電報。後に誤報と判明、内務省は鹿児島県当局の責任も含めて調査を開始	7・18,23〈2〉
7	19	文部省の諮問機関である教育調査会は、高等学校を廃して大学を4年以上とする案を可決	7・23,24〈1〉
7	○	国立感化院の設立を内務省地方局が審議。第37議会に提出の予定	7・19〈1〉
7	21	鈴木海軍次官は無所属団政務調査会で、戦艦8隻、巡洋艦4隻で1艦隊を組む拡張案を説明	7・24〈1〉
7	21	南洋諸島の現住民観光団22人を乗せた南海丸は、トラック島を出帆。28日横須賀着	7・30〈2〉
7	○	東洋拓殖(株)は朝鮮への農業移住民を募集(記事と広告) 第1種1500戸、第2種60戸	7・24,27〈2,3〉
7	○	ドイツとロシアの戦争が激化	7・25,26〈2〉
7	○	米国オレゴン、アイダホ両州議会は禁酒法を可決。1916年1月から施行	7・26〈2〉
7	○	米国シカゴ市の湖で2500人乗客船イースランド号が転覆、681人の遺体を確認	7・26〈2〉
7	27	東京商業会議所は日中親善晩餐会を上野精養軒で行う。首相、大臣、実業家ら30人が招待される	7・29〈2〉
7	29	内務大臣大浦兼武が辞職	7・30〈2〉
7	30	大隈重信内閣は辞表を提出	8・1〈1〉
7	30	ドイツ軍はワルシャワを占領。ロシア軍は市街に火を放ち撤退	8・1,3,7〈1,2〉
7	31	畜産組合法を公布(勅令) 8月1日施行	8・4〈2〉

政 治

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
8	2	杵島郡西川登村助役に一ノ瀬虎三を認可	8・3〈2〉
8	2	佐賀郡内の小学校校長や郡視学は、7月から歩兵第55連隊に入隊している陸軍6週間現役兵の教育状況を視察	8・7〈2〉
8	4	神埼郡町村長会は、大正天皇即位祝賀事業として記念館の設立、農事改良実行組合の設立などを協議	8・6〈2〉
8	○	佐賀警察署は佐賀郡川上村川上に巡査部長派出所を設置(県告示)	8・4〈2〉
8	○	第18師団は佐賀郡の4年度馬匹検査を24日～27日まで実施予定。受験馬は5才以上17才以下の、体尺4尺4寸以上の牡及び去勢馬	8・4,7,24〈2〉
8	6	佐賀郡久保泉村は村会議員の補欠選挙を行い、1級に大塚莊太郎、土井儀八が当選	8・9〈2〉
8	○	第18師団管内の4年度憲兵志願者48人は、久留米の憲兵隊本部で15日から教育を開始予定。歩兵第55連隊からは13人が入隊	8・8〈2〉
8	9	福岡県弁護士会長・同市会議長岩永左八は長崎控訴院移転問題のため来佐。10日は佐賀商業会議所、佐賀市長らと意見交換	8・9,11〈2〉
8	12	佐賀郡は村長会を郡役所で開き、自治資料展覧会の開催や明治神宮境内への献木推進の件などを協議	8・13〈2〉
8	○	第18師団管内歩兵第55連隊の4年度1年志願兵は62人、うち4人が終末試験に合格。第2次勤務演習召集人員は11人	8・15,9・3,22〈2〉
8	16	佐賀監獄は看守選抜試験を行う。受験者55人、合格者11人、採用予定人員は7～8人	8・8,17〈2〉
8	16	小城郡砥川村上砥川地区、杵島郡武雄町は消防点検を実施。17日は西松浦郡伊万里、23日は杵島郡福治村でも実施	8・18,20,28〈2〉
8	19	三養基郡田代村長に原吉憲を、同村助役に毛利鷹之助を認可	8・21〈2〉
8	20	県参事会は、小学校教員疾病治療料1650円、同身体検査費80円の更正予算新設を決議	8・21〈2〉
8	21	歩兵第55連隊第2大隊は、演習のため福岡県久留米の高良台に到着	8・21〈2〉
8	○	県内の4年度海軍の簡閲点呼は、各郡ごとに10月3日～13日まで人員を限定して実施予定	8・21〈2〉
8	24	佐賀郡久保田村長石川又八が辞任、28日三養基郡麓村長日吉源三郎が辞任	9・2〈2,3〉
8	○	佐賀郡小関村は大正天皇即位記念事業として、1町2反歩の造林を行う。同村尋常小学校に週1時間の林業科目を特設するため、村会を開く予定	8・25〈2〉
8	31	県は、西松浦郡松浦村長松永七蔵の就任、佐賀郡巨瀬村長執行義綏の辞職を認可	9・8〈2〉

経 済

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
8	1	佐賀市内の銀行9行は預金金利を下げる(広告) 1年定期・年6分、6カ月定期・年5割5分、当座預金日歩1銭2厘、小口当座預金日歩1銭3厘に改定	8・1～4〈3〉
8	2	東松浦郡切木村は林業講話会を同村小学校で開く、500人が参加。同郡玉島村は3日から5日間、鏡村は14日に竹林講話会を開く	8・6,8,17〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
8	3	県農会は米穀改良の推進のため知事に建議を行なう。肥前米麦同業組合は、主に商人保護を目的としているため検査も正確でなく、肥前米の評価は低い。県産米の評価を高めるためには、同組合に生産者・地主全てを所属させ、産米改良に努めるべきであると主張	8・7〈2〉
8	○	神埼郡は試験田を設け、品種・施肥その他の試験を実施予定。管理者は西郷村土井戸青年会など15団体	8・3〈2〉
8	○	佐賀市岸川町の玉川製麺所がサンフランシスコ博覧会に出品した製麺は、銀牌を受賞。声価が高まり注文が相次ぐ	8・3,11〈2,3〉
8	○	佐賀セメント(株)など3社は、1樽につき30銭値上げ(広告)	8・4,7〈3〉
8	○	三養基郡農会は、桑園品評会第1期審査を5日～14日まで実施予定	8・4,9・28〈2〉
8	5	佐賀市呉服太物組合は月例会を佐賀郡川上村の秀流館で開く。会員は16日の盂蘭盆は休業する、新聞広告を出すときは市内4新聞に限るなどを決議	8・6,7〈2〉
8	○	杵島郡で干天による被害が広がる。作付面積2337町1反のうち、収穫皆無見込田は221町3反	8・5〈2〉
8	○	西松浦郡大山村の井上幸蔵が申請中の大分県でのアンチモン鉱試掘願、小城郡北多久村の熊崎民助が申請中の同村などでの石炭鉱試掘願はいずれも認可される	8・5,7〈2〉
8	○	県水産試験場技手に岸野豊を任命、月俸25円	8・6〈2〉
8	7	杵島郡西川登村は7月19日から実施してきた屑藁整理講習会を終了、同村西川登尋常高等小学校で修了証書授与式を開く。講習生57人	8・13〈2,3〉
8	7	神埼郡西郷村は度量衡講習会を同村西郷尋常高等小学校で開く。県技手が商人の心得、商業道徳の変遷について講話、800人が集まる	8・13〈2,3〉
8	○	陶器貿易の視察員青木甚一郎は3月～4月にボンベイを視察。インドとの貿易が非常に有望と報告	8・8〈2〉
8	○	佐賀市呉服町の窓の梅商店は、大阪市の帝国鉱泉(株)が大正天皇即位記念として製造する飲料「コロナ」の特約販売を始める	8・9〈3〉
8	10	県農会は郡農会長会を県農会事務所で開く。知事が米の俵袋や容量改正について訓示。講話会、俵装伝習会、地主懇談会などの実施を決議	8・8,12〈2〉
8	○	県内の3年陶磁器製造高は、内地向・輸出向合計129万1021円で、2年に比べ43万1745円の減。欧州戦乱の影響による国内の不景気のため。藤津郡吉田村の約20戸の製造業者は全て生産を中止	8・11〈2〉
8	○	知事は藤津郡七浦村母ヶ浦耕地整理組合の設立を認可	8・12〈3〉
8	13	牟田(株)取締役の牟田萬次郎と桑原進道は辞任、後任は藤津郡鹿島町の牟田耕蔵と東京府の遠藤伊三次(公告)	8・20〈3〉
8	○	旧盆前であるが、佐賀市内の不況が続く。米価下落のため農民の購買力は減少し、贈答用商品から雑貨まで売行き不振	8・13〈2〉
8	○	昨今移出された肥前米の出来値は1俵に付き、杵島郡米4円10銭、田代米4円、佐賀郡米3円90銭、小城郡米3円95銭の見当	8・13〈2〉
8	14	県はメイ虫駆除予防を佐賀郡、神埼郡、三養基郡、小城郡、杵島郡、佐賀市で行なう(県訓令) 18日から9月10日まで	8・17,18〈2〉
8	○	農商務省は、害虫駆除予防を期するため、農事試験場九州支場長大塚由成を佐賀、福岡、長崎に派遣予定	8・14〈2〉
8	15	佐賀郡本庄町の大地主伊丹彌太郎は小作人に対し、4斗俵の伝習を行なう	8・18〈2〉
8	○	東松浦郡西唐津港の積出炭は徐々に増加。10日～12日の行先は江尻、室蘭、マニラ、シンガポール	8・16〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
8	18	佐賀郡久保泉村は農事研究会を同役場で開く、篤農家53人が出席	8・21〈2〉
8	18	杵島郡龍王村深浦区の漁業者は、総集会を総代中村伝吉宅で開く。稚貝養殖場の区域などを協議	8・22〈2〉
8	19	県農会は第3回米穀共同販売の入札を山口駅前米共同販売事務所で行なう。北方駅で300俵、山口駅で1018俵を売り渡す	8・19,22〈2〉
8	○	藤津郡農会は俵装伝習会を25日、鹿児島高等女学校で開く予定。各町村1人の出席を割り当て、町村で地区民に伝達させる計画	8・19〈2〉
8	○	有志の寄付金で2年に設立された佐賀郡西川副村西南里地区の米券倉庫は、県農会技手の検査の結果、虫食いや変質などの被害皆無が証明される	8・19,29〈2〉
8	○	西松浦郡農会主催第5回山林樹苗品評会の審査長に、県林業技師風間源吾が任命される	8・20〈2〉
8	○	佐賀米穀取引所第1期4月～6月までの約定金額は1118万6228円で税額は5592円	8・20〈2,3〉
8	21	(株)神埼実業銀行、(株)八坂銀行、(株)松田銀行、(株)佐賀百六銀行鳥栖出張所、(株)十七銀行田代派出所は利息を改定。1年定期年6分、半年定期5分5厘、当座預金日歩1銭、小口当座預金日歩1銭2厘(広告)	8・20,21〈3〉
8	○	小城郡、東松浦郡は秋繭伝習所を設置、養蚕教師は小城郡三日月村の古川助太郎、東松浦郡七山村の岡岩次郎ら12人	8・21〈2〉
8	23	帝国農会は講演会を佐賀市公会堂で開く。鹿児島高等農林学校長玉利虎造が「国家と農業」などの演題で講演、県内から約1300人が集まる	8・15,18,19,22～24〈1,2〉
8	25	神埼郡脊振村の修学院で第1回畜産講話会を開く。同村では馬講を設立し、優良牡馬を購入して繁殖に腐心している	8・28〈2〉
8	25	武富(資)が杵島郡佐留志村に設立される(公告) 貸金物品販売業	9・4〈3〉
8	○	東多久駅駅長に福岡県竹下駅長高島茂が任命される。前駅長浅川小一郎は同県雑餉隈駅長に転出	8・26〈2〉
8	○	農商務省の実業練習生としてイギリスに留学し、このほど帰国した西村文次は、西松浦郡有田町の深川家の援助を得て、同郡曲川村で陶磁器製造を始める由	8・26〈2〉
8	27	小城郡晴田村農会は第2回肥料講話会を同村小学校で開く。講話と実演を行う。28日まで	8・22,31〈2〉
8	27	小城郡南山村農会は分教場で蚕業講習会を開く。31日は皆勤の受講生29人に修業証書を授与	9・2〈2〉
8	○	唐津港の朝鮮貿易(1月～7月) 輸出5万425円、輸入2134円	8・27〈2〉
8	○	東松浦郡相知村の杉元重次による長崎県北松浦郡での石炭試掘願、下関市の黒田憲夫らによる西松浦郡黒川村、西山代村での石炭試掘願は認可される	8・27〈2〉
8	○	三養基郡の秋蚕飼育高は旭村が最も多く、麓村、北茂安村が続く。蚕種は埼玉、群馬、福岡県産が多い	8・28〈2〉
8	○	県はメイ虫駆除予防を三養基郡、小城郡、東・西松浦郡、杵島郡、藤津郡で行なう(県訓令) 9月1日から9月10日まで	8・28〈2〉
8	29	小城郡牛津町の米共同販売所は第3回米穀共同販売を行なう。出荷は同郡多久村納所米券倉庫の600俵、全て佐世保海軍共済会が落札	8・29,31〈2〉
8	○	石炭業界は供給過多のため筑豊地方の炭鉱は2割減産。杵島、唐津の炭坑も4割～2割の生産制限、伊万里地方では採炭中止の炭坑も出る	8・29〈2〉
8	○	(株)神埼実業銀行、(株)古賀銀行神埼支店は預金利息を9月1日から改定(広告) 1年定期・年6分、半年定期・年5分5厘、当座預金と小口当座預金・日歩1銭3厘(広告)	8・29,30〈3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
8	30	佐賀水産(株)は創立総会を市公会堂で開く。社長に福田慶四郎、取締役兼支配人に大島貞七を選出	8・31,9・4,15〈2,3〉
8	30	佐賀精米同業組合は肥前米麦輸出組合事務所で組合会を開く。組長に前田繁太郎、副組長に東島定一を選出。任期3年	8・31〈2〉
8	30	藤津郡吉田村は竹林講話会を同村小学校で開く	9・2〈2〉
8	31	古湯運輸(資)が小城郡南山村古湯に設立される(公告)	9・7〈3〉
8	○	佐賀市白山町の(株)肥前貯蓄銀行は佐賀郡西川副村に川副代理店を開設、9月1日から開業予定	8・31〈2〉
8	○	県農会はスズメ駆除を奨励するため、佐賀郡の4人、佐賀市の3人にスズメ捕獲許可証を交付、9月1日からの捕獲を認める	8・31〈2〉
8	○	「行脚余録」 産業組合の役割と信用、購買、販売の区別を説明	8・31〈2〉

社 会

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
8	1	故谷口清八の追悼会を佐賀市公会堂で開く(記事と広告) 発起人総代の佐賀市長野口能毅が追悼文を朗読	7・25,28,30, 8・2〈2,3〉
8	1	佐賀駅は第1回唐津遊覧団体旅行を実施、臨時列車を運行。400人が参加、料金50銭、休憩場所は中道屋、中住屋など有名旅館。大好評のため16日、第2回を実施、470人参加。小城駅からも19日に唐津遊覧の団体400人が出発の予定	7・25,26,28,29, 8・3,9,11,14~17 〈2,3〉
8	1	佐賀新聞社元記者で銀行員の板部精堂、本名板部武司が死去。33歳。19日追悼会を佐賀市水ヶ江町の宗龍寺で行う。文学士高田保馬らが追悼文を朗読	8・2,3,16,19,20,24, 30〈2,3〉
8	1	県獣医組合は代議員会を佐賀市の笹屋旅館で開く。各区部の規約を制定するなど4件を決議	8・3〈2〉
8	○	藤津郡の嬉野温泉会社(株)は、各旅館への配湯第1期工事を近日中に完了予定	8・1〈2〉
8	3	知新会幹事下村亮太郎は岡山県立児島商船学校長に任命され赴任、後任は佐賀市の海軍中佐野中経彦	8・3,4,7,28〈2〉
8	7	杵島郡福治村の自啄学舎は同郡六角村の吉野屋で集会を開く。舎長溝上確涯門弟の教育家、実業家ら50余人が集まる。幹事に坂井源太郎を選出	8・31〈2〉
8	8	曹洞宗佐賀婦人会が市公会堂で開催される。会長は高閑者道樹、布教師藤原賢然が講演	8・7,9〈2〉
8	8	低気圧接近のため県内に豪雨、西松浦郡で浸水被害。有田町と有田村で橋梁が破損	8・10〈2〉
8	9	神埼郡西郷村は農事講習会、衛生講話、父兄会を同村小学校で開く。村民約1000人以上が出席	8・13〈2〉
8	○	九州逓信局は、杵島郡武雄町、藤津郡鹿島町での特設電話、佐賀郡久保田村徳万宿での電話の工事を近く開始予定	8・9〈2〉
8	12	福田慶四郎、伊丹彦次郎ら4人は、佐賀郡川上村の県社川上神社に維持基本金500円を寄付し、奉告祭を行なう	8・14〈2〉
8	14	玄界灘を漁船で5日間漂流した佐賀市の13歳の男児が、山口県彦島村の沖合で無事救助される	8・16〈3〉
8	○	弘道館記念碑建設趣意書と実行方法覚書を、発起人西村謙三ら23人が発表	8・14〈2〉
8	○	小城駅は19日出発の唐津遊覧団の参加者を募集。定員400人	8・14〈3〉

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
8	○	「社会の暗黒裡」 北山 県内の2年の死産率は「私生児」23.5%、「公正児」4.9%。社会の裏面に恐るべき実態があるのではないか	8・15〈2〉
8	16	佐賀郡鍋島村岸川区の青年会は土囊倉庫を建築し、嘉瀬川の決壊に備えて縄と縄300俵を貯蔵	8・23〈2〉
8	17	佐賀市今宿の遊郭の21歳の抱え娼妓が逃走、1100円余の借金があるため同遊郭は追跡を始める。借金700円がある佐賀郡の22歳の娼妓も逃走、19日に佐世保で捕まる	8・19,21〈3〉
8	○	衣類整理講習会講師池田朔造は、講習会を20日から佐賀市元町の称念寺で開く予定。内容は汚点拔法、洗濯法、絞り法など	8・18〈2〉
8	19	牛津駅は大分県別府への遊覧団体旅行を実施。3泊4日、費用6円6銭	8・14,15,19,21〈3〉
8	19	長崎県諫早町長高橋正臣は水道視察のため佐賀市役所を訪問、水源地を見学	8・20〈2〉
8	○	大正天皇即位記念事業として、武雄実科女学校は裁縫材料を貸与する婦功会の設立、鹿島高等女学校は校庭に庭園「風致園」の造成、唐津高等女学校は植樹、記念塔の建設、校旗の作成をそれぞれ計画	8・19〈2〉
8	○	「行脚余録」 野田北山 青年会が設置されて地方青年の風教は改善されているが、地域によっては流行に駆られて設立されたものもあり、実を挙げていない団体もある	8・20〈3〉
8	21	藤津郡西嬉野村の丹生神社の祇園祭で、灯籠に誤って石油を注ぎ石油缶が爆発。近くにいた男児3人が火傷、うち1人死亡	8・24,9・9〈3〉
8	○	各地で壮丁のトラホーム検査を実施予定、24日小城郡芦刈村、26日～30日東松浦郡、27日藤津郡鹿島村	8・21,26,27〈2,3〉
8	○	明治神宮造営のための県内各地からの献木が内定。小城郡内各町村と小学校は黒松を1本ずつ、佐賀郡は黒松、三養基郡は松9本・樟1本、西松浦郡の各村と伊万里町在郷軍人会は松、藤津郡古枝村は杉・ヒノキ、同郡多良村と能古見村は松、杵島郡は松	8・21,22,31〈2〉
8	22	県学会倶楽部は例会を佐賀郡川上村の楊柳亭別荘で開く。出席者は検事、県理事官、弁護士、医師、農学士、実業家など	8・25〈2〉
8	○	佐賀警察署は、市内すべての飲食店の飲料水の衛生検査を行なう。128個の飲料水のうち最不良品21個、沈殿・汚濁品98個、良品9個	8・22〈3〉
8	23	永田佐次郎ら3人は藤津郡内の各村で皇室講演会を開く。9月3日までの予定	8・30〈2〉
8	24	佐賀警察署は25日にかけて、野犬14頭を撲殺	8・27〈3〉
8	○	佐賀市内の水道工事は、全長2万2560間のうち3分の2が終了。28日から第3区域の工事を始める予定	8・25〈2〉
8	26	元士族の復祿請願発起人会は、請願申込者多数のため8月末の締切を9月3日に延期(記事と広告)	8・10,12,18,20,23～25,27～29,9・5〈2,3〉
8	27	元藤津郡西嬉野村長に係る文書有価証券偽造行使と、商法違反及び詐欺罪で公判に付せられた事件の予審が終了。2年嬉野新温泉(株)を開設する際、業者と結託し、創立総会に虚偽の報告書を提出した疑い	8・28〈3〉
8	28	神埼郡の男ら4人による生命保険金983円詐取事件で佐賀地裁は、3人に有罪、1人に無罪の判決	8・29〈3〉
8	28	獣医組合は実習講話会を佐賀農学校で開く。内容は馬匹検査法、外科診断、解剖実習など	8・30〈2〉
8	28	佐賀郡久保田村の旧邑主村田隆道が死去、享年19歳(記事と広告)	8・30,9・2,3〈1,2〉

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
8	29	帝国在郷軍人会佐賀市部分会は、9月に簡閲点呼を受ける軍人を、同市循誘尋常高等小学校と日新尋常高等小学校に集め、予習を行なう。30日まで	8・29,31〈2〉
8	29	小城郡三里村の故村会議員宗萬吉の追悼会を同村の広照寺で開く	9・4〈2〉
8	30	杵島郡福治村の村長、役場職員らは、同村尋常高等小学校の前校長多久島嘉八が多年育英事業に尽力したとして、慰労会を開く	9・2〈2〉
8	30	小城郡三里村農会は臨時総会を同村尋常高等小学校で開き、大正天皇即位記念として金50円を基本財産に蓄積することを決める	9・6〈2,3〉
8	○	3年11月に焼失し、改築工事中の佐賀郡川上村の五社神社は、全て完成し、9月9日改築祝を行なう予定	8・31〈2〉
8	○	この月、各地で衛生談話会を開き、清潔法を実施。	8・1,3,7,10,11〈2,3〉
8	○	この月、各地の青年会は総会や集会を開く。杵島郡龍王村の実業青年会深浦東支部、佐賀郡松梅村名尾青年会、小城郡南山村青年会、西松浦郡大坪村青年会	8・12,20・9,2〈2,3〉

教育・文化

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
8	1	佐賀郡春日小学校は女子の卒業生に対し、毎日3時間、修身、国語、珠算、養蚕大意の補習授業を行う。5日終了式	8・7〈2〉
8	○	伊東祐穀、伊丹彦次郎、狩野雄一ら7人は、佐賀美術協会の背景幕購入のため目標額200円の募金を始める	8・2〈2〉
8	5	佐賀中学校の生徒は京都で開催の青年演武会に出場。種目は剣道の部3人と柔道の部3人	8・13〈2〉
8	○	岡山県の書家中原玄道は九州漫遊の途中、佐賀市に立ち寄る。29日に同市の願正寺で文雅会を行う予定	8・5,27〈2〉
8	7	唐津柔道会は演武場で大会を開く。審判は東京講道館の達人ら数人	8・8〈2〉
8	○	藤津郡東嬉野尋常高等小学校は校内に懐旧室を設けて、母校を訪問する卒業生に開放	8・7〈2〉
8	8	学生大会を鹿島中学校で開く。学生や来賓約750人が集まる。東京帝国大学法科の江口順一ら学生や東京郷友会代表の糸山貞規ら多数が演説、余興に撃剣、柔道、テニスなどの試合を行なう(記事と広告)	7・13,14,23,8・1,4,5,6,9,10〈1,2〉
8	9	農学校卒業生で組織する国本会は西松浦郡支会を設立。規則を定める	8・22〈2〉
8	○	県教育会は秋に大正天皇即位記念教育展覧会を開くため、郷土資料を集収中。委員は西村謙三と鶴晴気	8・9,9・16〈2〉
8	10	唐津警察署剣道教師池田貞一は、学生や警察官、一般有志を相手に武道講習会を東松浦郡の唐津演武場で開く。17日まで	8・7,20〈2〉
8	11	県神職会神埼支会は、7日から開催の講習会を終了、証書授与式を開く。講師は西郷村の田上神社社掌徳久秀治、蓮池村の出雲神社社掌北島八郎	7・25,8・14〈2,3〉
8	○	無試験検定と試験検定で16人に小学校教員免許状が授与される	8・12〈2〉
8	15	神埼郡三瀬村出身の東京美術協会審査員光安夢堂は、県庁に知事を訪問。大正天皇即位記念の全国肖像画展覧会を、4年秋に佐賀市で開催したいと伝える	8・16〈2〉
8	○	三養基郡上峰小学校は、夏季休業中を利用して風穴蚕種自籠の一蛾育を行う。20日に繭品評会を行う	8・15,22〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
8	○	神埼郡脊振村の村社鹿路神社社掌兼同村の村社後鳥羽神社社掌徳久秀治は、佐賀市与賀町の郷社与賀神社社司兼佐賀郡本庄村の郷社本庄神社社司に補せられる	8・19〈2〉
8	○	「行脚余録」 野田北山 山間部の就学及び成績は不良	8・19〈3〉
8	20	京都大学講師高田保馬が帰省のため、佐賀中学の友人らが佐賀市の楊柳亭で招待会を開く	8・21〈2〉
8	20	三養基郡中原尋常高等小学校は同窓会の発会式を開く。勅語奉読の後、講話、筑紫琵琶の余興などを行なう。約200人が出席	8・23〈2〉
8	21	小城郡神職会は神徳講演会を同郡の多久高等学校で開く。聴講者は県郡村会議員、各町村長、学校職員など約500人	8・15, 21, 27〈2〉
8	22	高等商業学校程度と普通商業学校程度の生徒が組織する県尚商会は、第12回大会を東松浦郡唐津の虹の松原娯楽場で開く〈記事と広告〉	8・19～21, 24〈1, 2〉
8	○	文部省は、4年度以降の専門学校入学者検定試験の期日と場所を定例化。佐賀県は2月佐賀中学校、6月佐賀高等女学校	8・22〈2〉
8	24	藤津郡塩田の天満神社は新築落成式を行う。費用約2000円	8・27〈3〉
8	25	佐賀振武会は撃剣試合を佐賀警察署で開く。審判は池田俊雄と納富教雄	8・27〈2〉
8	○	唐津中学校教諭に石川秀房を任命、俸給42円	8・27〈2〉
8	28	武雄武陵会は大日本武徳会佐賀支部武雄支所で剣道大会を開く。審判は教師鈴木虎彦	9・7〈2〉
8	○	この月、各地で学校の同窓会を開く。龍谷中学校、武雄高等女学校、藤津郡東嬉野尋常高等小学校、嬉野尋常高等小学校男子、杵島郡錦江尋常高等小学校女子、住吉尋常高等小学校、小城郡砥川村女子、岩松尋常小学校、佐賀郡与賀高等小学校女子、神埼郡千歳尋常高等小学校、早稲田大学校友会、佐賀中学校	8・2, 3, 7, 12, 15, 19, 20～22〈2, 3〉
8	○	この月、県神職会は各郡市で神職講習会を開く。科目は祭式、神社法令、土佐日記など	8・2, 3, 7, 14, 17, 20, 25〈2, 3〉

その他

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
8	○	県内からの海外渡航の許可人数(7月) ウラジオストック11人、ニューカレドニア3人、北アメリカ2人、ハワイ2人、シンガポール2人など9カ国、計25人	8・1〈2〉
8	○	佐賀米穀取引所仲買人の取引高(7月) 合計34万1200石で7月に比べ18万7500石の減少	8・1〈3〉
8	○	佐賀軌道(株)第24期営業報告(広告) 純利益3388円	8・1〈3〉
8	○	九州各港からの石炭の輸出高(1～6月) 合計約136万6000トン・約897万8000円、欧州戦乱の影響で3年同期に比べ約46万2000トン・約211万円の減少。唐津港4年17万8205トン、3年19万9335トン、住之江港4年3万1727トン、3年2万9797トン	8・2〈2〉
8	○	県出身の82人が海軍兵学校試験を受験。体格検査、学術試験を通過した者は、佐賀中学校出身5人、小城中学校3人、鹿島中学校2人、その他3人	8・3〈2〉
8	○	県物産館の営業状況(7月) 入場者2741人、即売高132円62銭。新出品物は佐賀市の野中商店の椿油、光岡愛吉が新案登録した衛生枕など	8・4〈2〉
8	○	佐賀図書館の閲覧人員(7月) 合計4789人。主な利用者は学生2020人、実業家868人、官公吏軍人370人、無職業875人など	8・5〈2〉
8	○	佐賀警察署管内の伝染病患者数(7月30日～8月4日) 総計154人。うち腸チフス136人、疫痢、パラチフス各6人、赤痢、ジフテリア各3人	8・5〈3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
8	○	日本婦人ベルギー同情会佐賀支会への寄付金は207円93銭。同支会長は知事夫人石橋滋子。欧州戦乱で被害を受けている同国国民を救済するため組織される	8・7〈2〉
8	○	愛国婦人会佐賀支部会員数(7月末) 1万332人、最多は東松浦郡の1685人	8・7〈2〉
8	○	県出身の海軍少将松村達雄は第1艦隊司令官に、森山慶三郎は第3艦隊司令官に任命される	8・8〈2〉
8	○	肥前米の移出状況(7月) 玄米3万2294、白米4万497、合計7万2791俵。新穀以来の輸出累計71万9565俵、主な移出先は長崎、門司、佐世保	8・8〈2〉
8	○	肥前麦の移出状況(7月) 3万2266俵、主な仕向地は兵庫、北九州の大里、久留米の各製粉会社	8・8〈2〉
8	9	県選出代議士長谷川敬一郎が汚職の疑いで高松監獄に収監される。9月22日、他の代議士18人とともに高松地裁の公判に移される	8・11,9・23〈2〉
8	○	「如是我観」 野兎 新大臣には、佐賀の三人男である海軍中将村上格一、駐露大使本野一郎、陸軍中将宇都宮太郎がふさわしい	8・9〈1〉
8	10	九州の「癩療養所」は予算会議を熊本市で開く。県からは鶴田県衛生課長が出席、総予算額3万8911円、うち県の負担額は3455円	8・12,13〈2〉
8	○	県内の畳表・莫莖と莞莖製造戸数(3年) 畳表・莫莖製造の戸数1387戸、職工1562人、製造価格約5万9000円、畳表の主要産地は三養基郡田代地方。輸出用莞莖製造の戸数188戸、職工273人、価格8755円、主要産地は杵島郡須古村と佐賀郡川副地方	8・10〈2〉
8	11	田原小三郎を奈良連隊区司令官に、松田元武を大阪陸軍幼年学校長に任命など、県出身の陸軍武官多数が異動	8・12～14,20〈2〉
8	○	県内の油類製造高(3年) 菜種油13万8743円、胡麻油9355円、荳油1740円、椿油1万482円	8・11〈2〉
8	12	警視総監に佐賀郡鍋島村出身の西久保弘道が任命される	8・13〈2〉
8	○	佐賀市内の井戸数(8月) 突井戸・堀井戸847個、うち飲料に適するもの208、煮沸すれば適229、不適410	8・14〈2〉
8	15	米価 佐賀郡新米 3.4斗入 3円90銭 諸富出来値 米本屋	8・16〈3〉
8	○	県内学校の生徒在籍数(8月) 佐賀中学校792人、鹿島中学校488人、佐賀師範校本科一部320人、二部80人、講習40人、佐賀高等女学校本科381人、補習19人、佐賀商船学校150人、佐賀商業学校394人、伊万里商業学校132人など27校を掲載	8・15〈2,3〉
8	○	内務省調査による県内の青年団体数は173	8・16〈2〉
8	○	祐徳軌道(株)第23回営業報告(広告) 純利益2万7783円、配当年6%	8・16〈3〉
8	○	佐賀郡内の村税徴収成績(4年度前期) 調定金額6018円39銭・1万1820人、納期内徴収金額4767円62銭・9299人、未徴収金1250円77銭・2521人	8・18〈2〉
8	19	佐賀市出身の前台湾新竹庁長家永泰吉郎が死去、享年49歳	8・25〈2〉
8	○	各郡の在籍児童数と出席率(5月) 総数男4万7990人・女4万5207人、全月欠席男250人・女402人、出席率男94.8%・女91.1%	8・19〈2〉
8	○	小説「鉄骨美人」 渡邊黙禪 171回	8・19～5・2・16〈1〉
8	○	各県の清酒・焼酎査定額(3年10月～4年6月) 佐賀県は7万6233石・1544石	8・20,21〈2〉
8	○	神埼郡の緑肥作付反別(4年) レンゲ270町5反、そら豆・エンドウ豆131町5反、春刈大豆238町5反、春蒔レンゲ5町7反	8・21〈2〉
8	○	神埼郡の桑園面積は133町1反、茶園面積は26町6反	8・21〈2〉
8	○	県出身の大川内政次郎は医籍に登録される	8・21〈2〉

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
8	22	大日本農会は全国の農事功労者52人を表彰、県からの受賞者は志波六郎助	8・23〈2〉
8	○	佐賀市内の高齢者は80歳以上320人、うち100歳以上は28人。佐賀郡は80歳以上337人、100歳以上はなし	8・22,9・2〈3〉
8	○	唐津線沿線の各炭坑の貯炭高(10日現在) 芳谷2万1300トン、相知1万5200トン、岸岳3300トン、岩屋100トン。計3万9900トンで7月比2200トンの減少	8・23〈2,3〉
8	○	県内の水産養殖場(3年) 総数795ヵ所・収穫高17万5179円。うち主なものは鯉180ヵ所・4831円、カキ117ヵ所・12万2825円、アゲマキ22ヵ所・4697円、味六貝25ヵ所・3468円	8・24〈2〉
8	○	6月末の県内銀行の預金総額は1583万199円、貸出総額は1732万5154円	8・25〈2〉
8	○	県内重要炭坑生産高(7月) 芳谷5012万2397斤、相知2787万4846斤、岩屋2531万1580斤、杵島961万3420斤、杵島第二坑3728万5640斤、久原1047万3624斤	8・25〈2〉
8	29	佐賀市与賀町出身の山口地方裁判所検事正高島宣明が死去	9・2,3〈2〉
8	○	「唐津便り」 海水浴客や遊覧団で賑わう東松浦郡唐津の発展を評価しつつ、風紀の乱れや公衆衛生などについて問題点を述べる	8・31〈2〉
8	○	佐賀新聞は、31日が天長節のため休業し、9月1日を臨時休刊とする(社告)	8・31〈2〉

国内・国際

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
8	1	大浦兼武は隠居願を提出。5日隠居願が許可される	8・4,7〈1,2〉
8	○	「如是我観」 野兎 大隈内閣は辞職して当然▽	8・1〈1〉
8	2	大隈首相は正副参政官会議で内閣辞任の顛末を説明。内閣及び国家に対する責と憲政の本義に則って総辞職を奉呈したと述べる	8・4〈2〉
8	3	元老会議の結果を受けて、山県有朋、大山巖は、内閣の総辞職を好まず、と大隈首相に留任を勧告	8・5〈2〉
8	○	論説 「連帯の責に任ぜよ」 霧外 大隈内閣は大浦兼武に連座して責任をとるべき	8・4〈1〉
8	5	閣議で首相留任に決まる。加藤外相、若槻蔵相、八代海相は辞意。6日大隈は山県に閣議の内容を報告し、元老は留任を受入れ	8・7〈2〉
8	○	「如是我観」 野兎 大浦兼武は追訴されるべきである	8・5〈1〉
8	○	7月下旬の貿易輸出は2345万円、輸入は1177万円、差引き輸出超1168万円。1月からの累計は3015万円の輸出超。大蔵省調べによる	8・5〈1〉
8	6	日置公使と中国総税務司は青島税関再開協定書に調印。ドイツと清国が調印した青島海関設立に関する協定の中の、「ドイツ」の文字を「日本」に置き換える	8・10,19〈1,2〉
8	○	海軍航空隊編成準備のため山内大佐を欧州に派遣、7日横浜を出帆予定	8・6〈1〉
8	○	「起て県民諸君」 飯田三郎 大隈内閣は辞職すべし	8・6,7〈1〉
8	10	大隈重信は内閣を改造。 親任式が行なわれる。大蔵大臣武富時敏、海軍大臣加藤友三郎、文部大臣高田早苗など、外務大臣は首相が兼任	8・9,11,12〈1,2〉
8	10	荷車取締規則を改正。15歳未満の者は牛馬車の使役を禁止するなど	8・12〈2〉
8	○	論説 「憲政史の逆転」 北山 大隈重信は、在野の時は政党内閣を高唱し超然内閣を罵倒していたのに、一旦内閣を組織すると矛盾した行動をとっている。佐賀県民の思想に変調をきたすのではないか	8・10〈1〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
8	○	4年4月からの米輸出額は累計714万9000円で、3年同期に比べ3倍に増加。外国米の輸入は6分の1に減少。アメリカと南洋方面に国内米の販路を拡張したことで、米価下落により安価な国内米の使用が有利と判断されたため、と大蔵省は説明	8・10〈2〉
8	11	政友会は議員総会を開き、大隈内閣の留任は非立憲の極みとする非難決議案を可決	8・12〈2〉
8	12	陸軍は将校の外国語の向上を図るため外国語奨励規則を定める〈陸達〉	8・14,17,29〈2〉
8	○	陸軍省は、青島攻撃に参加した久留米の第18師団を中心に給養史、衛生史、軍馬衛生史を編纂予定	8・14〈2〉
8	○	「如是我觀」 野兎 次期の外務大臣は誰か。加藤のあと石井菊次郎はその器ではない。本野か▽	8・16〈1〉
8	○	東京、大阪、久留米などの俘虜収容所の捕虜に対する雇用希望者は、言語風俗の相違のため皆無の有様	8・17〈2〉
8	21	政友会、国民両党は、東京築地の精養軒に集まり、内閣弾劾宣言書を決議	8・24〈1〉
8	○	「如是我觀」 野兎 大浦兼武の不起訴が決定したが、一大不祥事である	8・21〈1〉
8	○	全国の伝染病による死者数(6月、内務省調査) チフス431人、ジフテリア265人、赤痢182人など、合計921人	8・21〈2〉
8	23	ロシア政府の武器援助の要請に、本野大使は援助すると回答。日英露仏4カ国協約成立か▽	8・28〈1〉
8	25	貴族院議員故鍋島直彬の補欠選挙で細川立興が当選	8・31〈2〉
8	27	関釜連絡船対馬丸は無線電信を設置し、28日から通信を開始	8・29〈2〉
8	○	ドイツの兵力 西部戦線180万人、東部戦線140万人、開戦当初は800万人(7月末、ロイター)	8・28〈1〉
8	○	ロシア政府からの兵器需要に対処するため東京砲兵工廠は、職工募集を開始	8・29〈1〉
8	○	フランスの飛行機隊32機は4隊に分かれて、ドイツの軍需品製造工場に爆弾を投下	8・29〈2〉
8	○	歴代内閣の平均年齢が60歳を超えたのは大隈内閣が初	8・30〈1〉

政 治

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
9	1	佐賀郡役所第二科長川副俊夫は辞任、第一科長真崎頼次郎が第二科長を兼任	9・2,17,24〈2〉
9	3	県道南部線沿いの各村長は、県道新設請願書を佐賀市役所経由で知事に提出。請願書を掲載	9・4〈2〉
9	○	佐賀郡鍋島尋常高等小学校訓導池田種三は同郡書記に任命される	9・4〈2〉
9	7	歩兵第55連隊大隊長横尾精義は依願退職、後任は第6師団参謀羽藤辰一	9・8,9,19〈2〉
9	11	佐賀市は区長会を開き、区長報酬、共進会出品勧誘、徴兵事務などを協議	9・12〈2〉
9	○	県は大正天皇即位記念造林の状況を農商務省に報告。東松浦郡七山村、佐賀郡大託間村、三養基郡基山村、杵島郡中通村	9・12〈2〉
9	13	佐賀市会が開会。佐賀郡神野村の住民が、市公会堂敷地の一部に共進会の無料接待所を設置し、終了後は西洋料理屋を営みたいとして、10年間の土地賃借を出願した議案を審議	9・14,16〈2〉
9	14	歩兵第55連隊は大野原検閲射撃の帰途、杵島郡武雄町に宿泊	9・15〈2〉
9	○	石橋知事は奉幣使として国幣中社田島神社へ、森県属は幣帛供進使として県社千栗八幡神社へ参向	9・14〈2〉
9	15	佐賀郡は村長会を郡役所で開く。注意事項は郡会議員選挙の件など6件、協議事項は大正天皇即位記念事業と明治神宮献木の件	9・16〈2〉
9	17	小城郡牛津町は町会を開き、3年度決算報告、大正天皇即位記念として通俗図書館の設置、明治神宮への献木、善行表彰者規程の設置などを決議	9・22〈2〉
9	18	三養基郡上峰村役場は新築落成式を行う	9・18,21〈2〉
9	○	神埼郡の町村長ら14人は、出身軍人の慰問のため23日に久留米の歩兵第48連隊を訪問予定	9・19〈2〉
9	24	佐賀連隊区は杵島郡龍王・錦江・南有明3カ村の簡閲点呼を、錦江尋常高等小学校で実施	9・26〈2〉
9	24	藤津郡西嬉野村は消防点検を同村不動尋常小学校で実施。550人が集まる	9・29〈2,3〉
9	○	佐賀連隊区司令官竹下宣行は管内の模範在郷軍人30人を表彰	9・28〈2〉
9	30	郡会議員選挙を実施。佐賀郡24、神埼15、三養基14、小城15、東松浦23、西松浦16、杵島23、藤津15、計145人が選出される	10・1,2〈2〉
9	○	この月、多数の村長、助役の異動が認可される。8月27日杵島郡錦江村助役久原梅太郎が辞任、8月30日小城郡砥川村長白木甚作が辞任、9月3日藤津郡塩田村助役西野三太夫を認可、9日東松浦郡鬼塚村助役峯源治郎を認可、11日杵島郡錦江村助役木須貞七を認可、14日藤津郡鹿島町助役副島寅次郎を認可	9・15〈2〉

経 済

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
9	1	(株)古賀銀行牛津支店は預金利息を9月1日から改定(広告) 1年定期・年6分、半年定期・5分5厘、当座預金・日歩1銭2厘、小口当座預金・日歩1銭3厘	8・30,31,9・2〈3〉
9	1	小城郡農会は同郡牛津町で改良俵装伝習の指導者講習会を行う。2日～3日は受講生が全農業者に指導を行なう	9・6〈2〉
9	○	「行脚余録」 野田北山 都市付近の農家は比較的生活程度は高いが、都市から隔たっている農家は極めて低い	9・2〈2〉

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
9	3	佐賀郡は農業技手会を郡役所で開き、県技手が明治神宮への献木について訓示	9・4〈3〉
9	4	県は、秋季種蒔審査会を県会議事堂で開く。東松浦郡唐津町の勝見種三ら7人が合格	9・8〈2〉
9	○	佐賀郡金立村は7日、小関村は9日に竹林講話会を開く予定。15日は神埼郡仁比山村が竹林講話会を開く	9・5,18〈2〉
9	7	県は種付牡馬検査日割を発表(県告示) 三養基郡、小城郡を11月12日、東松浦郡を11月13日に実施予定	9・9,14〈2〉
9	○	神埼郡脊振村鳥羽院地区で銅鉱石らしきものが発見される。発見者は84万坪の試掘許可を申請	9・7〈2〉
9	○	「県下の米作」 2回 佐賀郡、小城郡、東松浦郡の予想収穫高を各町村別に記載。反当平均収量の最高は佐賀郡西川副村の3石1斗	9・7,8〈2〉
9	○	県農会は、肥料の第3期共同販売を10月5日から始める予定。第1期販売の際、人造肥料製造会社連合会が反抗的な値上げを実施したため第2期販売を中止していたが、農家の窮状を打破するために大日本人造肥料会社と交渉して実施にこぎつける	9・7,8〈2〉
9	○	県農会は第4回米共同販売の入札を、14日に小城郡の牛津事務所で、19日に杵島郡の北方事務所で行なう予定	9・7,14,19〈2〉
9	8	信用貯金(株)は本店を西松浦郡有田町に移転(公告)	9・11〈3〉
9	○	藤津郡久間村農会は肥料講話会を8日と9日、久間尋常小学校で実施予定、同郡多良村農会も11日と12日に予定	9・8〈2〉
9	○	杵島郡住吉村の村長、農会長、地主らは、米穀取締規則を遵守し、地主小作関係を円満にして産米改良に取り組むことを協議。地主は小作米に奨励金を交付する、など5項目を実行することを協定	9・9〈2〉
9	10	三養基郡旭村は屑蒔整理講習会を同村江島養蚕組合共同飼育室で開く。40人が参加、23日修得証書授与式を開く予定	9・19〈2〉
9	○	肥前米麦輸出同業組合は、10月1日から実施する移出米用の包装俵と吠の見本を各検査所へ配付	9・10〈2,3〉
9	○	肥前米麦輸出同業組合は検査員に杵島郡中通村の山口良平と同郡山口村の森惣三郎を任命。15日に検査員総会を開き改訂容量包装の実地講習などを実施する予定	9・10〈2〉
9	○	東松浦郡七山村は、明治42年から村長小形菊太郎の指導で5年間に181町歩を植林	9・10,12〈2〉
9	12	神埼郡三田川村は農事研究会の発会式を三田川尋常高等小学校で行う。村内の農事熱心な40人が中堅となることを目的とする	9・15〈2〉
9	12	肥前電気軌道(株)は、減資により資本総額を50万円とする(公告)	9・15〈3〉
9	13	東松浦郡玉島村の田中村長は同村青年会で、椎茸栽培を奨励する講義を行う	9・18〈2,3〉
9	○	「3年度害虫予防成績」 二化メイ虫、三化メイ虫、フウ虫が4月下旬から。特に佐賀、小城、神埼、三養基、杵島郡で発生、稲作の4厘～8厘が被害にあう。町村内各地区に駆除予防員、郡に駆除予防監督員を配置し、病虫害駆除励行組合は常務員を設置。耕作者のほか学校生徒も卵塊を採取	9・13〈2〉
9	○	県は古川源助、丸尾繁太ら5人に蚕種病検査吏員を命じる。日給80銭	9・14〈2〉
9	15	厚生舎は事業拡張のため佐賀市赤松町に移転(広告) 経営者は大島貞七	9・15,16〈3〉
9	16	佐賀郡兵庫村農事研究会員ら120人は、農学校試験田、県農事試験場、西川副村西南里の米倉倉庫や青年会場などを視察	9・19〈2〉

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
9	16	杵島郡焼米郵便局を北方局と改称。西松浦郡南波多村に南波多無集配郵便局を新設し、21日から事務を開始予定	9・20〈2〉
9	○	佐賀駅は乗客の利便のため、乗車券の発売時間を改善。出札掛の交代時間を除き、始発の30分前から終列車の時間までとする	9・16〈2〉
9	○	佐賀郡農業技手戸上信次は稲作改良の書籍『六石実収日本一の稲作法』を出版。定価80銭、東京日本橋の興文社発行	9・16〈2〉
9	○	農商務省は佐賀水産試験場に、カキの被害状況調査の経費補助として200円を交付することを決定	9・17〈2〉
9	18	唐津線の相知駅～山本駅間に中相知連絡所駅が開業。駅長は元神埼駅長元村惣一郎	9・17,20〈2〉
9	○	「地主对小作人」 2回 県が調査した地主の小作人対策を、各郡ごとに掲載	9・19,24〈2〉
9	20	小城郡牛津町農会は総会を同町の寿泉寺で開く。古賀銀行牛津支店隣地に米券倉庫を設立することを協議	9・22〈2〉
9	○	佐賀市の古賀製次郎による小城郡南多久村などでの石炭鉱区試掘願、東松浦郡唐津町の山内喜兵衛による大分県玖珠郡での金・銀試掘願、福岡県鞍手郡の貝島(株)による東松浦郡相知での石炭鉱区の試掘願はいずれも許可される	9・21〈2,3〉
9	22	肥前米麦輸出組合は、神埼郡城田村で米商人会を開き、容量や俵装の改訂を順守すること、産米改良を奨励することなどを申し合せる。23日は杵島郡六角村、26日は小城郡牛津町で会議を開く	9・23,26,29〈2〉
9	22	佐賀精米組合は組合員会を開き、第1区から10区までの議員20人を改選	9・24〈2〉
9	22	西松浦郡伊万里町に日吉屋商店(資)が設立される(公告) 呉服反物・雑貨販売を営業、代表社員は同町の坂本房吉	9・24〈3〉
9	○	新米の出荷時期を迎えて、某米麦輸出検査員が注意を促す。県内全域で乾燥が不十分で、赤米の混入は三養基郡・神埼郡、杵島郡の武雄と山口が、粳と稗の混入は藤津郡・杵島郡、三養基郡の山間部が、塵と砕け米の混入は佐賀郡・神埼郡・小城郡が多い	9・22〈2〉
9	○	県はメイ虫の駆除と予防のため、稲株切断、被害藁焼棄、稲株打返を督励。早・中稲は12月15日まで、晩稲は5年1月10日まで	9・22〈2〉
9	23	第23回小城郡清酒品評会が小城公園の天山閣で開会。村山良輝の「花菱」、永淵嘉一の「恩澤」が優等賞を受賞	9・21,26〈2〉
9	○	藤津郡大浦漁業組合は、同村沖合に人工漁礁の築設を計画	9・23〈2〉
9	○	佐賀市白山町の蒲原時計店は約20人の徒弟を養成中で、精巧な美術装飾品を製造	9・23〈2〉
9	25	佐賀市松原町の岸川洋服店は事業拡張のため合名会社に改組(記事と公告、広告) 代表社員岸川松太郎、東京から職人3人を招聘	10・3,4,8〈2,3〉
9	○	朝鮮で10月開催の第8回九州各県朝鮮海水産研究会に、県から有明海漁業組合理事森永政憲ら3人が出席予定	9・26〈2〉
9	27	藤津郡は農談会を各村で開始。県農業技手、農区駐在技手が産米・麦改良、米穀の容量俵装の改訂、米券倉庫の必要性、米麦共同販売などについて講話。多良村、古枝村、七浦村は米券倉庫の新設や増築を計画。西松浦郡農会も各村で県農業技手らによる農談会を開始。内容は牛馬の飼養管理、産米改良、米券倉庫の設置など	10・7,9〈2〉
9	28	神埼・三養基郡各村養蜂組合は、発会式を三養基郡上峰村の円成寺で開く。会員35人、蜂群192本、4年春産蜜高は6240斤	9・30〈2〉
9	29	産業貯金(資)は産業無盡(資)と社名変更、事業目的を会員相互の資金融通とする(公告)	10・2〈3〉

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
9	29	肥筑酒造組合連合会は福岡県三潞郡若津で会合を開き、清酒1樽4斗に付き1円の値上げを決める。10月19日から実施(記事と広告)	10・2,3,5,7〈2,3〉
9	30	(株)肥前銀行が佐賀郡中川副村早津江津で開業(記事と広告) 取締役頭取彌富寛一	9・30,10・1~9〈1〉

社 会

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
9	1	野口市長や大黒県立病院好生館長ら有志は、ロシアで開業し帰省していた医師中溝健一の送別会を、佐賀市の楊柳亭で開く	9・2,4〈2〉
9	1	大正天皇即位記念の共進会協賛会は各部担当者を発表。接待部長石丸勝一、会計部長福田慶四郎、設備部長伊丹彦次郎、勧誘部長嘉村彦四郎、余興部長大島貞七、庶務部長木下猪之助	9・2~4〈2〉
9	1	帝国在郷軍人会佐賀市3区会は簡閲点呼終了後、同市高木町の正雲寺で夏季大会を開く	9・3〈2〉
9	2	徳永佐賀警察署長は、ラムネその他飲料水の不良品を販売した市内の業者35人に説諭。4日も18人に説諭の予定	9・3〈2〉
9	2	佐賀市今宿の遊郭の抱娼妓2人が無頼漢に誘拐される。5日久留米で発見されるが犯人は娼妓を連れて逃走、12日福岡市で2人は保護される	9・8,14〈3〉
9	○	東松浦郡名古屋村馬渡島の16戸は大正記念団体を組織し、東洋拓殖(株)の斡旋による朝鮮への移住を出願	9・2〈2〉
9	4	佐賀区裁判所は、佐賀郡の男女20人に、採捕禁止期間中に刺堀 (ササ) を使用して海茸(うみたけ)を採取した、として罰金10円を科す	9・5,8,9〈3〉
9	4	佐賀市柳町の呉服店主森永作平は、子供の17回忌に佐賀孤児院40余人を招待し、大齋会を行う	9・6〈2〉
9	○	藤津郡嬉野村は5日~8日まで衛生談話会を開く予定	9・4〈2〉
9	5	旧佐賀藩元卒族は家禄請願委員会を佐賀市通小路の福本亭で開く。家禄不足額下付請願の成功を目的とするなど全23条の復禄請願規約書を可決。佐賀市の宗龍寺に事務所を置いて同意者を募集、25日第2回委員会を開く	9・6,15,17,23,26~28,10・30〈2,3〉
9	○	元毎日新聞社記者清山こと松瀬清は、雑誌『新時代』を佐賀市赤松町の佐賀時報社から創刊、第1号を15日発行予定、月2回発行の計画	9・5〈2〉
9	○	佐賀郡大詫間村は、大正天皇即位記念として村有堤塘に柿1000本を植付け、更に楠苗1000本の植樹を計画中	9・5〈2〉
9	○	売薬法の実施に伴い県の専属売薬検査官に亀川秀一が任命される	9・5〈2〉
9	○	久保田駅は、11月に同駅から出発予定の日光遊覧団の参加者を募集中、期間18日間、費用25円30銭	9・5,10・19〈2,3〉
9	7	9日にかけて北部九州に暴風雨、杵島郡北有明村の漁船1隻が有明海で行方不明	9・10〈3〉
9	8	曹洞宗佐賀婦人会は例会を佐賀市公会堂で開く。旧会長高閑者道樹は辞任、新会長に石橋滋子が就任	9・6,10〈2,3〉
9	10	佐賀市片田江の神代薬店にピストルらしきものを所持した強盗が押入り、130円余を強奪	9・11〈3〉
9	11	神職会佐賀支会は大正天皇即位記念講演会を佐賀市の与賀神社で開く。佐賀郡久保田村の香椎神社社司江原又造らが講話。16日は本庄小学校で開く。10月4日まで佐賀郡内各神社で実施予定	9・11,13,18〈2,3〉

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
9	11	東京の北里研究所で開催の結核治療講習会に出席していた、小城郡牛津町の牛津成蹊病院腹巻医学士は、治療液の配付を得て帰院。一般外来の治療に用いる予定。14日は佐賀市の前山医院の医師前山安太郎も帰郷し、同液注射療法で診療予定	9・13,15,16〈2〉
9	○	藤津郡八本木村浜郵便局長山口藤市は依願免官、後任は三等郵便局長岩永常太郎	9・11〈2〉
9	12	日宗純信教会と浄徳婦人会は、佐賀市高木町の観照院で講演会を開く。講師は勝妙寺住職神代智明	9・13〈2〉
9	12	神職会は神徳講演会を東松浦郡鬼塚尋常高等小学校で開く。講師は同会の県巡回講師毛利龍一	9・14〈2,3〉
9	○	佐賀郡諸富港で筑(ざる)市を20日から3日間開く予定。九州屈指の規模を誇る大市場として知られる	9・12,16〈2〉
9	13	地明会は講演会を佐賀図書館で開く、会員約30人が出席。講師は八谷大鱗、渡邊鉄肝、神代智明	9・15〈2〉
9	○	佐賀市松原町の清漣亭は11月開催の共進会を当て込み、5人の芸妓を高松市から雇入れる	9・14〈3〉
9	18	神埼郡三瀬村第12区の青年正義会員25人は、佐賀郡川久保村の模範森林などの視察を行う。同会は大正元年8月の創立	9・19〈2〉
9	○	小城郡小城町の有志は、佐賀孤児院基金募集の目的で慈善演芸会を18日、同町の桜座で開く予定	9・18〈3〉
9	○	佐賀警察署は健康診断の結果を受けて、芸妓・酌婦の有病者54人に営業停止を命じる	9・18〈3〉
9	19	九州電燈鉄道(株)佐賀支社は、第1回社員運動会を佐賀郡川上村の河川敷で行う。佐賀、神埼、小城、牛津、徳万、諸富の社員や雇人の鍛錬と慰安を目的とする	9・18,21〈2,3〉
9	19	佐賀郡川上村青年会各支部選出の26人は、福岡県柳川の立花家農事試験場を視察	9・24〈2〉
9	○	18日付け西肥日報が、佐賀郡本庄村長三好勝一が十分審議せずに同村助役推薦を決定したと報道したことに対し、同村長は時間をかけて審議したと反論。佐賀新聞は同村長の反論文を掲載	9・19〈2〉
9	○	銀行家古賀善兵衛は佐賀郡川上村に別荘を新築落成	9・19,20〈2,3〉
9	20	小城郡牛津町の有志者は観世流謡曲家吉田奈良雄を招き、謡曲会を開く	9・22〈2〉
9	20	小城郡牛津町医会は、同町の政友倶楽部で腹巻医学士による結核治療法の講演会を行なう	9・22〈2〉
9	20	佐賀郡教育会と神職会佐賀郡支会は、合同で講演会を同郡川上尋常高等小学校で開く。聴衆約600人	9・23〈2〉
9	20	佐賀郡東与賀村青年会幹部は各支部会を視察し、青年団に関する訓令などを講話。10月4日まで実施	10・10〈2〉
9	21	杵島郡西川登村庭木地区青年会は、俵装伝習会を同地区の倶楽部で開く。二重俵を7時間かけて完成させる	9・24〈2〉
9	21	杵島郡武内村青年会西梅野支部は、佐賀郡の篤農家永淵清次郎による農事講話会を開く	9・27〈2〉
9	○	「理化学試験所設置の議」 3回 薬剤師森善三 佐賀市立理化学試験所設置の機運が高まっている。時代の要求であり、実現を切望する	9・21,22,24〈2〉
9	○	八谷大輪や渡邊鉄肝ら佐賀市内の有力者約60人は、仏教的な精神修養を目的として佐賀道話を組織、会則を定める	9・22,10・17〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
9	23	佐賀警察署は人力車営業者約50人に、共進会会期中の言動に注意するよう訓示。客に不快の念を持たれぬよう半股引を着用することなど9項目	9・24〈3〉
9	○	県立病院好生館薬剤部長に同薬剤員森善三を任命	9・23〈2〉
9	24	佐賀市元町の称念寺は善光寺如来の開帳を行ない、参詣客で混雑	9・26〈2〉
9	24	佐賀郡北川副村青年会は第1回講演会を同村青年会場で開く。海軍少佐、小学校長、同村長が講話。夜学会に加えて週1回開く予定	9・28〈2〉
9	25	佐賀能楽会は観月謡曲会を佐賀市松原通りの松蔭館で開く	9・27〈2〉
9	25	佐賀郡市獣医組合は、臨時会を佐賀市新馬場の笹屋旅館で開き、内規作成などを協議。新会長に御厨末吉を選出	9・28〈2〉
9	26	神職会神埼支会は、三田川村の田手神社を皮切りに、10月2日まで郡内の各神社で講演会を開く	9・20,29〈2〉
9	26	佐賀市の新栄座は株主総会を佐賀市の県物産陳列場で開き、内田清一ら3人を顧問に推薦する、などを決議	9・27〈2〉
9	26	藤津郡多良村瀬戸婦人会は第14回婦人会を開く。同村の圓満寺住職や訓導らが顧問を務める	9・28〈2〉
9	27	佐賀警察署は28日まで管内の牛乳検査を実施。佐賀市5、佐賀郡17カ所のうち不適2カ所で、不適は検査ごとに減少	10・1〈3〉
9	○	知事は青年団指導に関し訓令を發布(県訓令) 当事者は地域の実情に合わせて最適な指導を行い、健全な発達を期すべきと強調	9・28〈2〉
9	○	この月から、11月開催の大正天皇即位記念佐賀共進会の官民挙げての準備が進む	9・3,4,8~12,14~19,21~24,26~30 〈2,3〉
9	○	この月、各地で青年会の秋季総会が開かれる。神埼郡神埼町青年会、佐賀郡大託間村青年会、南川副村青年会、西松浦郡大川内村の智徳青年会	9・17,22,24,26〈2,3〉

教育・文化

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
9	1	鹿島中学校長杉浦五郎と小城中学校長高山虎太が辞任。杉浦の後任は前鹿児島県立第2中学校長前波仲尾、高山の後任は千葉県立千葉高等女学校長黒河内興三郎	9・3,11,12, 10・2〈2,3〉
9	4	教育新聞社は市公会堂で教育講演会を開く。佐賀連隊区司令官竹下宣行、歩兵第55連隊長長堀均ら数人が講演	9・3,5,11〈2〉
9	4	杵島郡龍王村大谷区の父兄会と児童学芸会が同区の樋口寅太郎宅で開かれる。講話や課題を与えての作文試験、生徒による唱歌、詩吟などで盛会	9・7〈2〉
9	○	中等学校への受験競争が激化しているため、県当局は小学校の予習教育に対して順守事項を示す。尋常科6年以上に実施する、7月~9月は予習を禁止するなど6項目	9・5〈2〉
9	○	神埼郡神埼町の神陽学館は生徒が増え、校舎狭隘のため増築を計画。町内の有志は建築費の一部を補助するため、5、6日慈善演 説会を開く予定	9・5〈2〉
9	6	佐賀市は小学校長会を市役所で開き、大正天皇即位記念の教育品展覧会事業について協議。13日は私立学校長、幼稚園長らも交えて協議。同日は佐賀郡も小学校長会も開く。15日は記念事業について協議	9・7,13~15,17〈2〉
9	○	佐賀市花房小路の私立佐賀幼稚園は園児10人を追加募集。アメリカ人のエカールドや広島女学校卒の小川ためをら4人の保育士を採用し、定員60人とする	9・8〈2〉

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
9	10	小学校教員無試験検定により19人に教員免許状が授与される。7月に実施の中等教員検定予備試験に5人合格	9・11,13,14,18〈2〉
9	10	県は各郡視学・市学事主任書記の学事打合せ会を開く。協議事項は中等学校入学準備の予習に関する件、小学校教員監督に関する件など10件	9・14〈2〉
9	○	藤津郡は小学校長会を14日に開く予定。議題は部下教員の監督指導に関する件、国民道徳の涵養に関する件など17件	9・10〈2〉
9	○	伊万里商業学校校医中田太郎を免じ、後任に前川文平を嘱託。鹿島高等女学校教諭に平原よねを任命	9・10〈2〉
9	○	在朝鮮の佐賀農学校卒業生と関係者24人は、同地で「始政」5年記念朝鮮物産共進会が開催されるのを契機に、10月中旬に国本会朝鮮支部を設立することを計画	9・13〈2〉
9	14	県は教育資金貸付規則の一部改正を公布。教育基金である国庫配当金4700円の用途を、従来の校舎整備だけでなく、小学校教員への奨励金や疾病治療費の支給に充てる	9・15,16〈2〉
9	○	神埼郡は小学校長会を17日に開く予定。教員監督に関する件など11件を協議	9・15〈2〉
9	16	県北部地域の警察官の剣道大会が東松浦郡の相知警察署で行われる	9・19〈2〉
9	○	言論「教員優遇施設」北山 県が教員疾病治療費を新設することや、功績顕著な優秀教員に奨励金を交付することに賛意を表す	9・16〈1〉
9	○	東松浦郡は小学校長会を開き、教員の監督指導に関する件や中等学校入学準備の予習に関する件など9件を協議	9・16〈2〉
9	○	県師範学校は、大正天皇即位記念として神埼郡西郷村の同校射的場と植栽地の一部に松樹3000本を植樹する計画	9・16〈2〉
9	○	鹿島中学校教諭金子金蔵は石川県に出向を命じられる	9・16〈2〉
9	○	杵島郡は小学校長会を開き、教員の監督指導に関する件や青年会の指導改善に関する件など18件を協議	9・17〈2〉
9	19	佐賀郡西川副村尋常小学校は女子同窓会を開く。会員約300人が出席	9・22〈2〉
9	○	杵島郡福富村の紀伊松三郎は、同村福富尋常高等小学校に「御聖影」奉安室の建設費として200円を寄付	9・20〈2〉
9	25	県教育会は通俗講話会を小城郡南山村内野小学校で開く。聴衆約700人。27日は同郡北山村で開く、聴衆約1400人	9・11,28,10・1〈2〉
9	25	藤津郡多良村の大野地区と中尾地区は教育講話会を中尾分教場で開く。児童の学芸会、訓導の講話に約100人が集まる	9・28〈2〉
9	26	小城白声会は県短歌会を小城公園内の美吉野山荘で開く	9・21,29,10・1〈2,3〉
9	26	佐賀郡関屋尋常小学校は第1回同窓会を開く	10・1〈2〉
9	○	言論「学校記念事業」北山 県内の学校が計画している植樹や郷土誌の編纂は大いに意義がある。学校新築については農家経済が困憊の折、考えものである	9・28〈1〉
9	30	佐賀郡教育会は会報第2号を発行。構成は論説、研究発表、視察報道、参考資料、郡内彙報、本会記事、郡会通信	10・2〈2〉
9	30	小学校教員無試験検定により10人に教員免許状が授与される	10・9〈2〉
9	○	佐賀郡、藤津郡、西松浦郡、神埼郡、小城郡、東松浦郡内各小学校の大正天皇即位記念事業を学校別に掲載。青年会の設立、学校園の設置、児童奨学会の新設、通学道路開設、校旗制定、図書館の設置、運動会の実施、貧困児童の保護など	9・13～15,23,24,26,27,30,10・1～5,16〈2,3〉

その他

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
9	○	県内からの海外渡航者(8月) 沿海州3人、北米2人、シベリア2人、ニューカレドニア2人、スマトラ2人など計14人	9・2〈2〉
9	○	故松田正久の家督相続人松田正之は男爵を襲爵	9・2,11〈2〉
9	○	九州沖縄各県の酒税徴収額(4年度第1期) 調定額325万3455円、納期内収入322万794円。佐賀県の調定額37万2748円、納入額36万3868円。地方経済が不振なため納入成績が悪化	9・3〈2〉
9	○	佐賀図書館閲覧人員(8月) 学生2120人、無業805人、実業家765人、官公吏・軍人346人、少年425人、婦人196人、教育家194人、計4851人。新聞閲覧4442人	9・4〈2,3〉
9	○	県出身の黒田豊作、古川完雄、志波叙逸、横町佐蔵、松本廣治、東次八、鈴山斐雄、和田圭城、藤瀬清太郎は医籍に登録される	9・5,13,18,27〈2〉
9	○	娼妓の健康診断受検結果(8月) 娼妓数409人、有病者は安住20人、諸富7人、満島13人、佐志0人、呼子4人、伊万里5人、武雄5人	9・5〈2,3〉
9	○	県出身の日本力行会員松尾末広は世界無銭旅行を思い立ち、2月に日本を出発、朝鮮、満州、北京を経て8月19日上海着。香港、シンガポール、マレー半島を経て南洋へ向かう予定	9・6〈3〉
9	○	肥前米の移出状況(8月) 輸出検査総数玄米3万1273俵、白米4万164俵。船舶積5314俵、汽車積6万107俵、車馬積4761俵。主な仕向地は長崎2万90俵、関門1万8170俵、佐世保1万5146俵など	9・7〈2〉
9	○	肥前麦の移出状況(8月) 輸出検査総数は小麦2万7874俵、裸麦・大麦175俵。主な仕向地は兵庫・大阪1万664俵、大里2054俵、久留米1万4214俵など	9・7〈2〉
9	○	県物産館の営業状況(8月) 入場者2408人、委託販売高118円24銭。主な販売品は嬉野茶、西山代茶、江見傘など	9・7〈2〉
9	8	佐賀図書館長伊東祐毅ら九州沖縄各県の図書館長は、日本図書館協会九州支部を熊本に設置するため仮規則を制定し、各県の有志に会員加入のための勧誘文を出す	9・10,11〈2〉
9	○	唐津線沿線の各炭坑貯炭高(8月末) 相知1万2600トン、芳谷2万1500トン、岸獄2100トン、岩屋200トン、合計3万6400トン。8月中旬に比べ3500トンの減少	9・8〈2〉
9	○	九州各県の産業組合数(3年度) 佐賀県は134町村に166組合、九州全体では1582町村に1134組合	9・9〈2〉
9	○	佐賀警察署管内の伝染病現患者数(9月7日現在) 腸チフス62人、パラチフス4人、疫痢1人、疑似赤痢4人、合計71人	9・9〈3〉
9	○	愛国婦人会佐賀支部会員(8月) 総数1万333人、最多は東松浦郡の1689人	9・10〈2〉
9	○	日本赤十字社佐賀支部社員数(8月) 総数1万7531人、最多は佐賀市の3210人	9・10〈2〉
9	13	米価 佐賀郡新米 3.4斗入 3円65銭 諸富出来値 米本屋	9・14〈3〉
9	○	メイ虫の卵塊採取数(3年度) 二化性は52万6600、三化性57万7215	9・13〈2〉
9	○	福岡専売支局管内の煙草売捌高(8月) 佐賀6万6205円で前年同月に比べ2563円の減	9・13〈2〉
9	○	全国の市長俸給のうち佐賀は1500円で、九州内では最低。1位は大阪の1万2000円、次は東京の1万円	9・13〈2〉
9	○	九州通信局は管内特定3等郵便局長会議を13日と14日に開く予定。県内の特定局は唐津と伊万里の2局	9・13〈2〉
9	○	福岡専売支局管内の樟脳収納高(8月) 佐賀県は5465斤・代金3110円。脳油は1万4111斤・4021円	9・14〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
9	○	佐賀郡内の建物棟数 住屋2階以上5025戸、平屋1万1078戸、計1万6103戸。うち瓦葺き1394戸、藁葺き1万4701戸、板葺き3戸、トタン葺き5戸	9・14〈2〉
9	15	県出身の歩兵中尉百武兼文ら5人は、陸軍戸山学校に体操科学生として入校	9・23〈2〉
9	○	東松浦郡唐津町に帰省中の台湾基隆要塞司令官杉山正則は、16日に帰任予定	9・16〈2〉
9	○	佐賀市出身の古賀安俊は医術開業試験委員に任命される	9・17〈2〉
9	○	長崎税関管轄各港の輸出入高(1月～8月) 唐津港輸出160万9989円・輸入1万7255円、住ノ江港輸出28万807円・輸入なし、三池港輸出402万1753円・輸入36万3523円、長崎港輸出287万6093円・輸入547万8099円、口ノ津港輸出18万1594円・輸入9万28円など	9・17,23〈2,3〉
9	18	久留米の歩兵第56連隊は、野営演習のため26日まで藤津郡大野原へ行軍	9・19〈2〉
9	○	県内各駅の収入高(3年度) 10万円以上は佐賀駅26万5214円、相知駅19万7634円、北方駅12万2008円、武雄駅10万3726円	9・19〈2〉
9	○	唐津線沿線各炭坑の貯炭が減少 岩屋500、相知1万2600、芳谷2万1800、岸獄1000、計3万5900トンで8月末比500トンの減	9・22〈2〉
9	○	佐賀新聞は、春季皇霊祭のため24日は休業し、25日を臨時休刊とする(社告)	9・24〈2〉
9	○	県出身の海軍中佐松村菊男は笠置艦長心得に任命される	9・27〈2〉
9	○	「朝鮮から満州へ」 破笠生 35回 朝鮮京城で23日に開催の「始政」5年記念朝鮮物産共進会と全国新聞記者大会に出席した佐賀新聞記者の旅行記。14回から「満鮮旅行」と改題	9・27～30,10・1～6, 8～17,19～25,27～30,11～3,4,9,13, 15,17,20〈2,3〉
9	28	西松浦郡出身の大日本精糖株式会社社長藤山雷太は、経済状況視察のため下関から朝鮮、中国に向け出発。11月中旬帰国の予定	9・27,29,30〈2〉
9	29	福岡・佐賀・長崎・熊本各県連合の第3回水産研究会が福岡市で開会。県からは佐賀水産試験場技手姉帯貞助ら2人が出席	9・29,10・1,2〈2〉
9	○	福岡監獄内の幼年監獄が完成し、唐津幼年監獄は収容の幼年囚を全員移送。福岡幼年監獄は、10月1日から九州内各監獄の幼年囚全員を収監予定	9・29〈1〉
9	30	佐賀セメント(株)第33回決算報告(広告)	11・2〈3〉

国内・国際

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
9	1	元勲井上馨が死去、享年81歳	9・2～4,8〈2,3〉
9	○	三井、三菱、第一、第十五、第百、正金、興銀、安田、第三の9銀行は、各自の利益を確保するため貸付最低利率を協定	9・3〈1〉
9	○	トルコ、ブルガリア間に協約が成立	9・3〈2〉
9	○	海軍は八四艦隊を完成させるために、新建造艦は3500トンの小型で、速力を主とし、偵察艦の機能をもたせる方針	9・4〈1〉
9	5	野口英世が15年ぶりにアメリカから帰国	9・7〈2〉
9	○	ドイツは、ロシアがポーランドに築いていた最後の要塞を占領(ドイツ公報)	9・6〈2〉
9	7	習志野俘虜収容所を開設、東京俘虜収容所を閉鎖(陸軍省告示)	9・8〈2〉
9	○	豊作予想のために米価が大暴落。農民の苦痛は言語に絶するものがある	9・7,23〈1〉
9	○	造船業界は、海軍の軍備増強と船舶需要が激増しているため、材料の供給が追い付かない状況	9・8〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
9	○	言論 「米価調節問題」 北山 産業組合の米券倉庫設置構想は不十分、農商務省調査機関に期待する	9・11〈1〉
9	○	言論 「軍紀の廃頹」 北山 時代思潮の影響を受けて軍人の不祥事が相次いでいる	9・12〈1〉
9	○	農商務省は畜産資金取扱順序を定め、4年度は畜産組合や同連合会に、計5万円を貸付けることを決める	9・12〈2〉
9	○	農商務省調査では全国の米券倉庫数735、うち補助金を交付している県や農会は佐賀、熊本など8県。産業組合数は1万1160	9・12,14〈1,2〉
9	13	天皇は、乃木家を再興するため、毛利家の毛利元智に乃木家を相続させ、伯爵の爵位を授与。相続の経緯について法律学者や言論人の中から問題視する声上がる。佐賀新聞は「言論」で、神格化された乃木家の相続は、社会道徳を攪乱し、光輝あるある名家を傷つけるものだと批判	9・14～16,18,20,21,23,26,29,10・5〈1,2,3〉
9	13	防務会議は大蔵省案を了解。戦艦1隻と偵察巡洋艦2隻の建造を5年から着手。15日、大隈首相は天皇に伏奏	9・15,16〈2〉
9	○	農商務省は蚕糸同業組合中央会の設立を認可。11日東京蚕糸組合連合会長森田退蔵は、創立総会の開催について同省と協議	9・13〈1〉
9	15	内務省と文部省は、地方青年団体の健全な発達を求めるとして、実地指導に関する訓令を出す。設置区域は原則として市町村、指導者は小学校長、町村長など名望家とするなどの標準を示す	9・16〈1〉
9	○	言論 「青年団と国民性」 北山 文部省と内務省は、ドイツの軍国主義を模倣して軍国的精神の涵養のため青年団を指導しようとしているが、ドイツの国力は、軍国主義によるものではなく、科学、工業、経済の力によるものである。青年団の活動は、科学的知識の涵養と工業的知識の開発のため、地方風教の改善と自治の精神に止めるべきである	9・17〈1〉
9	○	農科大学の鈴木梅太郎はサルバルサン製造に成功	9・17〈2〉
9	○	ドイツとフランスはアルザス地方で激戦	9・19,23〈2〉
9	○	ハワイでの日本人は、労働者として多大な貢献をしている	9・20〈2〉
9	21	台湾の反乱民首領の余世芳ら8人に、台南法院は死刑を宣告、23日執行。他の228人にも死刑の判決	10・1〈2〉
9	23	文部省は、11月10日の大正天皇即位式当日の学校での式典要項を訓令	9・26〈1〉
9	25	司法大臣尾崎行雄は、大浦元内相不起訴の理由を公表。丸亀市での議員候補者白川友一からの1万円収賄容疑は、証拠不十分とする	9・27,28〈1〉
9	25	大蔵省は鉄道債券3000万円の発行を決める。全国主要14銀行がシンジケートを作り、年利率5分、100円に付き96円50銭で引き受ける	9・27,28〈2〉
9	28	全国府県会議員選挙の結果は、党派別では政友会477人、国民党71人、同志会447人、中正会35人、無所属217人	9・29〈2〉
9	30	福原文部次官は、大正天皇即位祝賀式を実施する際の万歳を唱える方法を各学校に通達	10・2〈1〉
9	30	文部大臣高田早苗は、新大学令案、学位令案などの学制改革案を各大学に諮問。各分科大学などで審議が始まる	9・7,21,10・5～8,10,15,20,22,23〈1,2〉

政 治

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
10	2	通常県会を30日まで開く。各県道の整備、3年高潮により破損した堤塘の復旧工事の進捗状況、佐賀駅から佐賀郡諸富に至る道路新設の早期実現、高等女学校の授業料に月2円と1円の差を設けている理由、小学校の予習教育を禁止した理由、県立病院好生館と私立病院や開業医との役割の相違、などが議論となる。愛野文次郎や菊池龍太郎ら4人の同志会派議員は26日、米麦輸出組合の移出米検査は情実に流れ不十分だとして、県外移出米検査を県営とすべきとの建議案を提出。政友会派議員の一ノ瀬傳三郎や木下十四三は、情実に流れているとの見方は事実無根、官営では商機を逸すると反論。建議案賛成、反対で激論。県側は、3年県会で、満場一致で検査の監督員4人設置が承認され、4月の施行から半年しか過ぎていないので、しばらく経過を見るという修正案を示し、建議案と修正案が通過	10・3,4,5~17,21~24,26~27,29~31 〈2〉 〈佐賀県議会史〉
10	〇	歩兵第55連隊は佐賀郡金立村で2日、名誉射撃を行う予定	10・2〈2〉
10	5	海軍は佐賀郡役所で簡閲点呼と軍事講話を実施	10・5,6〈2,3〉
10	〇	9月実施の郡会議員選挙の選挙違反件数は、西松浦郡2件、東松浦郡1件、佐賀郡1件。内容は代理投票、買収、饗応	10・5〈2〉
10	〇	「大礼と一般注意」 2回 県高等警察課長は大正天皇即位祝賀の際の、天皇肖像、菊の紋章の取り扱いなどに留意するよう注意	10・5,7〈2〉
10	7	久留米憲兵隊長那須太三郎は佐賀憲兵分隊を巡閲	10・8〈2〉
10	7	久留米山砲兵第3大隊は行軍の途中、小城に1泊、佐賀市を経て帰営	10・8〈2〉
10	〇	久留米連隊区司令官佐野方芳太郎は三養基郡と神埼郡で軍事講話を行う予定。9日三養基郡田代村、10日中原村、11日神埼郡神埼町、12日蓮池町	10・7〈2〉
10	〇	佐世保重砲兵大隊で勤務演習の佐賀郡出身者9人は、学術、勤務に熱心に励んだとして表彰される	10・8〈2〉
10	9	唐津税関支署は4年度に新築する建物の入札を実施。東松浦郡満島村の山口榮次郎が落札、14日から着工予定。	9・30,10・11〈2〉
10	〇	佐賀警察署は佐賀市内における人力車賃金を改正。佐賀停車場から唐人町・寺町・新町まで8銭、白山町・米屋町まで10銭、道祖元町まで20銭、佐賀郡諸富渡場まで35銭など。郡部は1人挽き1里に付き13銭、夜間や雨雪は2割増しなど	10・9,11・5〈3,4〉
10	〇	佐賀連隊区司令官竹下宣行は、在郷将校団の実地の戦術指導のため13日~18日まで小城、武雄方面へ出張予定	10・10〈2〉
10	14	川原茂輔が帰県。10月末まで滞在予定	10・14,16〈2〉
10	15	佐賀郡は村長会を佐賀郡役所で開き、高齢者調査、神職欠員補充など5件を協議	10・15,16〈2〉
10	15	熊本税務監督局は、元年から3ヵ年連続で各種国税を完納したとして、佐賀郡本庄村に表彰状を授与	10・16〈2〉
10	〇	大正天皇即位式典のため、各県は応援の警察官を京都に派遣予定。県からは警部1人、警部補1人、巡査部長3人、巡査30人	10・15,23,28〈2〉
10	16	小城郡は臨時郡会を開き、議長に晴田村の土山文九郎を選出。18日佐賀郡、三養基郡が郡会を開く。佐賀郡議長は石川又八、三養基郡議長は佐久間十造を選出。27日杵島郡は臨時郡会を開き、金丸要八を議長に選出	10・17,19,28〈2〉
10	18	元警保局長古賀廉造は、大連から上京する途中佐賀に立ち寄り、3日間滞在	10・19~22〈2〉
10	〇	鳥栖税務署長に岩川税務署長武内純蔵が任命される	10・19〈2〉
10	22	佐賀郡北川副村の在郷軍人会は、会則に基づき4年入営兵の壮丁予習教育を実施。31日に修業証書授与式、予習生は8人	10・30〈2〉

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
10	25	県巡査教習所は第107回卒業式を実施。卒業生15人	10・26〈2〉
10	26	久留米第18師団は秋季機動演習を開始。佐賀連隊所属は小城郡牛津～西松浦郡有田間に対抗戦、29日は三養基郡方面に宿営。11月5日まで	10・13,27,31,11・6 〈2,3〉
10	28	内務省は4年度災害土木費補助として佐賀県に4万4477円を支出	10・29〈2〉
10	○	「同志派県政を攪乱す 県民夫れ膺懲の旗を翻せ」北山 3回 立憲同志会派の議員は、肥前米麦輸出同業組合が行っている移出米検査は、監督員と農民が情実に流れて機能していないと主張して、5年度から県の事業とする案を県会に提出。佐賀新聞は、同志会派の主張には確固とした根拠がなく、官僚的な発想であると反発	10・28～30〈1〉
10	29	県巡査教習所は佐賀市の武徳会館東側に新築し、落成式を行なう	10・26,30〈2〉
10	○	旧佐賀藩家禄訴訟事件で、請願委員安住藤太らは家禄の公債証券利子の不足額の調査などを行い、大蔵省に陳情。大蔵省側も迅速に審査を行うことを表明	10・30〈2〉
10	○	この月、多くの村長、助役が認可となる。佐賀郡久保田村長石川又八、巨勢村長執行義綏、中川副村長江頭卯一、本庄村助役笠原保一郎、小城郡岩松村長永橋康雄、晴田村長土山文九郎、三日月村助役廣田利男、砥川村長白木甚作、三養基郡麓村長日吉源三郎、西松浦郡有田村長池田大九郎、助役池田太八、基山村長飛松安之助、杵島郡龍王村長岩永雄次郎、西松浦郡大坪村長前田虎之助、東松浦郡切子村助役田代穂吉	10・1,6,9,10,15～ 17,19,21,27,29 〈2,3〉

経 済

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
10	1	西松浦郡農会は第2回桑園品評会の打合わせを行なう。11日から選抜審査の予定	10・3〈2〉
10	○	佐賀米穀取引所仲買人の売買石高(9月) 100万1100石で8月に比べ12万8400石の増加。2万石以上取扱の仲買人は秀島徳一郎・8万6550石ら21人	10・1〈3〉
10	○	福地県朝鮮海出漁組合長は、4年春季朝鮮海出漁中の遭難者へ救済金を下付	10・2〈2〉
10	○	佐賀精米同業組合は巡視員を増員し、不正米販売の取締りや組合員に対する指導の徹底を図る	10・2,15〈2〉
10	3	大分県大野郡立農学校生徒約50人、鹿児島県肝属郡東串良村農会32人、福岡県早良郡農会幹事らが農事視察のため来佐。農学校、農事試験場、佐賀郡高木瀬村の永淵清次郎の稲作などを視察	10・5,6〈2〉
10	3	三養基郡三川村で俵装伝習会が開かれる。村内各区選抜の16人が受講、4日まで	10・8〈2〉
10	4	5年4月に開催の台湾産業共進会への出品勧誘のため、県出身の台湾総督鉄道部事務官原吉太郎が来佐。6日に商業会議所で佐賀市内の主な生産者と協議	10・5,8〈2〉
10	4	杵島郡武雄町は生産米品評会を同町の宝来館で開く。出品総数304点	10・6〈2〉
10	○	「各地出品物一覧」 14回 大正天皇即位記念共進会に各郡市から出品予定の生産品について、由来、現況、生産者、特徴などを詳細に記載。参考品の部は協賛県の出品物を紹介	10・4,6～11,13～17, 20,23〈2,3〉
10	6	西松浦郡農会は、第4回畜産品評会を同郡二里村の九州家畜市場で開く。馬89頭、牛38頭が出場、7日褒賞授与式	10・3,9〈2〉
10	○	朝鮮で6日から開催の大日本全国水産大会に、佐賀郡から山田兼介、小城郡から森永政憲、東松浦郡から常吉太郎、杵島郡から川崎辰一郎が出席予定	10・6〈2〉
10	○	佐賀駅前の横尾商店は、8日と9日に森永のミルクキャラメルを10銭購入すると、活動写真を無料で見られるサービスを実施予定	10・8〈2,3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
10	10	佐賀市長瀬町の谷口鉄工場は、野口市長、竹内工業学校長ら来賓30余人を招いて永年勤続の工場員表彰式を市公会堂で開く。10年以上勤務の事務員5人、職工45人、15年以上勤務の人夫頭1人が対象	10・11〈3〉
10	○	九州鉄道の佐賀川上川第1水路発電工事は予定通り進捗、発電機が未着のため完成期は未定。長崎市への送電線はほぼ完了し、長崎電燈瓦斯会社と三菱造船所との契約も締結。すべての竣工予定は12月	10・10,19〈2,3〉
10	11	佐賀米穀取引所第5部長服部慶太郎が廃業、同部長後任選挙で仲買人杉松熊六が当選	10・12〈2〉
10	11	杵島郡福治村は農談会を同村小学校で開き、俵装の実地講習を行なう	10・15〈2,3〉
10	○	有田工業学校卒業の江上明三郎と元同校勤務の金重恭夫は、仏領安南の製陶技師として渡航予定	10・11〈2〉
10	○	佐賀郡長は、郡内各村にメイ虫駆除と予防のための稲切断、藁焼却、稲株打返の実施日割を、12月～大正5年2月5日の期間で設定	10・11〈2〉
10	○	佐賀郡農区技手11人は、静岡・香川・大分・宮崎・鹿児島 of 各県へ勸業視察を命じられる	10・12〈2〉
10	14	(名)武雄材木商店が杵島郡武雄町に設立(公告) 目的は材木、建築用品の販売。出資者は藤津郡塩田村の小笠原又二ら5人	10・20〈3〉
10	○	佐賀郡兵庫村の予備3等主計武藤松次は、商工業視察のための英・仏・伊旅行を許可される	10・14〈2〉
10	15	西南区実業大会監督前田正名は、熊本市で23～25日に開催の同大会に実業者の参加を督励するため、佐賀県庁を訪問	10・16〈2〉
10	○	小城郡牛津町の田中丸善蔵が経営する南洋貿易(株)は、日本が占領した南洋諸島との航路を11月から開始予定。海軍省は年50万円を同社に補助、使用船は御吉野丸・4200トン、平順丸・1691トン、江陽丸1422トン	10・17〈3〉
10	19	県農会は第5回米共同販売の入札を杵島郡北方事務所で行なう。14日は小城郡牛津事務所予定。受渡場所は久保田、牛津、山口、北方の4駅	10・6,19,23〈2〉
10	20	神埼郡西郷村尾崎区は生産米品評会を開く。出品者60人	10・22〈2〉
10	○	肥前電気軌道(株)の第1期工事の藤津郡塩田～嬉野間はほぼ完了、11月中には開通予定。初代社長岩谷松平が退任し、高取伊好が就任してから経営の基礎が固まる	10・20〈2〉
10	21	栄城貯金(資)は無尽栄城貯金(資)に名称を変更(公告)	10・23〈3〉
10	○	東松浦郡唐津町の山内喜兵衛による長崎県西彼杵郡内での石炭鉦掘願が認可される	10・23〈2〉
10	24	小城郡小城町の県立原蚕種製造所は蚕種製造者の協議会を開き、蚕種の抽選による配付、講演会、意見交換を行なう。県内の製造者は約30人	10・24,26〈2〉
10	24	杵島郡橋下村の芦原米券倉庫は、3年度産入庫米に対する褒賞授与式を行なう。入庫米1等12、2等176、3等1053、4等226、総数1467俵、入庫者101人。受賞者14人	10・24,26〈2〉
10	24	日本郵船会社の新潟丸は台湾から神戸に向けて航行中、伊万里港に入港。試験的に使用するため伊万里炭2300トンを搭載して、27日出港	10・28〈2〉
10	○	嬉野警察署は同郡東嬉野村で乳用畜牛の結核検査を、11月4日～5日に実施予定	10・24〈2〉
10	○	佐賀市役所はケン栽培を奨励するため、種子を大量購入し、希望者へ有料で配付予定	10・24〈2〉
10	○	佐賀市思案橋の角屋呉服店は、開店1周年記念の大売出しを25日から1週間行なう予定(広告)	10・24〈3〉

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
10	25	有明水産(資)が小城郡芦刈村に設立(公告) 代表社員小柳義一、橋間孫一、目的は魚介類の養殖・製造・販売と水産物の委託販売	10・30〈3〉
10	○	肥前米麦輸出同業組合は三養基・神埼両郡内検査員会を25日、三養基郡中原駅で開く予定。併せて中原米商人会も開く予定	10・25〈2〉
10	27	県農会は共同購入の肥料受渡を完了。19日から県内の主要駅で実施、船渡分は28日に大川港から各船場へ発送	10・17,19,30〈2〉
10	27	杵島郡大町村漁業組合は総会決議により解散(公告)	12・9〈3〉
10	28	藤津郡産業組合協議会が開会。郡内産業組合の普及発達を図る方法など5件を協議	11・2〈2〉
10	○	佐賀郡小関村助役吉田八郎、東松浦郡玉島村青年会員小川素夫は、和歌山市で開催の林野講習会を修了	10・28〈2〉
10	○	東京の(株)昌栄貯蓄銀行が佐賀市に支店を設立。専務取締役以下店員を募集。(広告)	10・29~30〈3〉
10	31	佐賀市の新栄座は株主総会を開く	11・2〈2〉
10	○	この月、各地で地主会が開かれる。二重俵の励行や小作米品評会の開催などの協議事項を申合せる。杵島郡地主会、東松浦郡地主会、杵島郡福治村地主懇談会、神埼郡地主会、三養基郡地主会	10・3,6,10,15,17,19,23〈2,3〉
10	○	この月、各検査所で区域内の米商人は会合を開き、産米改良について協議。小城郡小城、藤津郡鹿島・浜、嬉野、佐賀郡諸富、早江津・犬井道、神埼郡神埼、三養基郡基山・田代・鳥栖・中原、西松浦郡伊万里、大山村・曲川村・有田村・有田町の1町3村	10・6,8,13,24,28〈2〉

社 会

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
10	1	佐賀郡久保田村久保田宿青年会は発会式を行なう。会長は中野一雄	10・4〈2〉
10	1	中野致明、野口能毅は明治神宮奉賛会評議員を嘱託される	10・5,8〈2〉
10	○	小城郡官公吏教員互助会が組織される。会員死亡時に弔慰金、病気や事故により休職・退職する時に慰藉金を贈る	10・1〈2〉
10	○	佐賀郡、杵島郡は秋季清潔法を6日~11月26日まで実施予定	10・1,2〈2,3〉
10	2	佐賀市の予備陸軍歩兵大尉中村栄太郎が死去、42歳。日露戦争に従軍、功績拔群の理由で金鷄勲章を受ける。30日に追悼会	10・3,4,6,12,28,31〈2,3〉
10	2	福岡県久留米俘虜収容所に収容中のドイツ人俘虜4人が脱走、3日に三養基郡北茂安村の山中で3人が発見され、1人は不明	10・5〈3〉
10	2	東松浦郡玉島村青年自彊会員210人は、土砂崩れ被害を受けた隣村の福岡県糸島郡福吉村の復旧工事に尽力	10・20〈2〉
10	3	佐賀市の副島質店の倉に賊が侵入、200円相当の質物を窃取し逃走。17日、杵島郡の寺院に日本刀を持った覆面強盗が押入り、現金350円を奪って逃走。21日、佐賀郡で刃物を持った覆面男が押入り現金を強奪。いずれも佐賀警察署は犯人を捜索中	10・4,19,22,27〈3〉
10	○	小城郡小城町の旧小城藩士西正豊は、家禄不足額の下付に感謝して、3年9月に小城郡岩松村の天継寺で、4年8月は西松浦郡楠久津の賢海寺で、奉告法会を行なう。両寺とも西の祖先が創設したもの	10・3〈2〉
10	○	佐賀市の迎病院の医員や神埼郡仁比山村医師の大城榮次郎は、北里研究所で古賀液注射療法を習得し帰佐。結核病患者などに治療を実施	10・3,5,8,19〈2〉

発生日 月 日		内 容	掲載月日〈面〉
10	○	九州通信局は各地の電話増設寄付金を値下げ。伊万里局は従来の75円を65円とする	10・4〈2〉
10	○	佐賀市内では人力車夫の、無届営業や車体規格違反、法外な車賃請求など、違法行為が多く発生	10・4,6〈3〉
10	5	佐賀市在住の薬剤師会は同市松原町の藤屋旅館で会合を開く。県薬業組合を組織することや市立理化学研究所設立を請願することなどを協議	10・8〈2〉
10	5	藤津郡塩田村大草野区の青年団員は、同区小学校基本財産である共有地の松杉の枝刈手入れを実施	10・17〈2〉
10	○	2年7月に開業した佐賀市新馬場の石井清一が経営する歯科医院は、診療台を3台に増やす。懇切な診療や近隣開業医の応援で、人員や設備が不足するほどに盛況	10・5〈2〉
10	6	小城郡牛津駅主催の観光団200人は長崎を観光、7日帰着	9・23,10・8〈2,3〉
10	6	佐賀郡神職会と同教育会は合同の神徳通俗講話会を同郡巨勢尋常高等小学校で開く。8日は金立村尋常小学校、9日は神野尋常高等小学校、10日は北川副尋常小学校、31日は鍋島村小学校で開く	10・2,6,9,11・4〈2〉
10	○	県庁は、各学校・団体の大正天皇即位記念造林植樹の状況を、農商務省に報告	10・6,12,20,22,28〈2〉
10	8	曹洞宗佐賀婦人会が佐賀市公会堂で開かれる。会長は知事婦人石橋滋子、会員約250人	10・8,10,17〈2,3〉
10	8	佐賀警察署長は市内の宿屋営業者に対して、共進会会期中の旅客待遇方法、衛生設備、清潔法などを注意	10・10,11,13〈2〉
10	8	藤津郡能古見村の小麦採種組合員松尾寅彦は、秋の大嘗祭庭積机代物として買い上げられる小麦を収穫し、祐徳神社で祓式を行なう。小麦採種組合は2年11月設立、組合員12人が採種用に栽培 ※庭積机代物(にわつみのつくえしろもの)…全国各地から供えられる特産物	10・12〈2〉
10	9	藤津郡の元西嬉野村長で嬉野新温泉(株)取締役役に係る文書・有価証券偽造行使、詐欺商法違反、横領事件は、佐賀地裁で証拠不十分で無罪の判決	10・3,10〈3〉
10	10	佐賀市の松原神社は秋祭で賑わう。境内の能楽堂で能狂言、堀端埋立地で吉川活動写真、同市高木瀬の練兵場では競馬など	10・7,8,10~13〈3〉
10	10	藤津郡五町田村美野区青年団員は、県農事試験場、農学校の試作地を見学。佐賀まで歩き、沿道の農作状況も視察	10・17〈2,3〉
10	11	佐賀警察署は佐賀城鯨の門の銅板を窃取した男を逮捕	10・13〈2〉
10	13	神埼郡仁比山村で素人浄瑠璃会を開く。佐賀、神埼、武雄、福岡県久留米から出演者が多数集まる	10・14〈2〉
10	13	佐賀恒産会常務幹事林泰道は免囚保護講習に参加のため上京	10・17〈2〉
10	14	杵島郡は合同招魂祭を武雄町で開く。剣道大会を行い約70組が参加。15日は藤津郡も同郡五町田村招魂場で招魂祭を実施予定	10・6,8,20〈2〉
10	15	佐賀警察署は狩猟を解禁。狩猟免状の下付数は合計70。違反も発生	10・14,16,28〈3〉
10	○	佐賀警察署と諸富分署は15日、管内の人力車85両を検査予定	10・15〈2,3〉
10	16	「易界の名士・三島東州」の広告を新聞に掲載し、佐賀市の称念寺で周易判断をしていた東京市の男に、佐賀警察署は、誇大広告で世人を惑わせたとして科料3円の処分	10・9,16,17〈2,3〉
10	○	佐賀郡久保泉村の勝宿神社は20日と21日、350年祭を開く予定。神代勝利を祀る神社で、旧家臣は目下準備中	10・16〈3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
10	17	帝国在郷軍人会福治村分会員約80人は、大正天皇即位記念として杵島山の常葉樹数十本を、同村の八坂神社境内忠魂碑の周囲に植樹	10・19〈2〉
10	19	神埼郡蓮池村の宗眼寺住職正覺慈観は、東京で開催の曹洞宗議会へ出席のため上京	10・23〈2〉
10	○	佐賀郡久保泉村に仮小屋が設けられ、19日から7日間歌舞伎芝居の興行を予定。木戸銭大人5銭、小人3銭、芸題は佐倉宗五郎、忠臣蔵など	10・19〈3〉
10	20	佐賀郡高木瀬村の横助作ら7人は、旧白石団家禄給与の不足請求願を発起し、同意者からの連絡を求める(広告)	10・20～24〈3〉
10	20	佐賀警察署は管内の牛乳検査を実施。23ヵ所中不適1ヵ所で好成績	10・22〈2〉
10	○	小城町の桜座は24日から、大阪若手歌舞伎片岡久蔵一座の少女劇を興行予定	10・20,24〈2,3〉
10	○	佐賀警察署は、自転車が無鑑札・無灯火・並行運転を行った者、獣肉の名称無表示や清潔な麻・綿布で覆わなかった獣肉販売業者に罰金処分を実施	10・20,24,27〈3〉
10	21	県立病院好生館長の大黒安三郎は盲腸炎のため死去。23日、佐賀市の宗龍寺で葬儀(記事と公告) 享年46歳	10・16,22～24 〈1,2,3〉
10	○	県は各郡市長や中学校長に対し、大正天皇即位祝賀準備のためと称して地域の住民や父兄に寄付を強制しないよう注意	10・21,26〈2,3〉
10	22	佐賀郡鍋島村増田青年会は、11月に大正天皇即位記念の第1回収穫稲優良者賞品授与式を開くため、会員が栽培している稲田の坪入審査を実施	10・24〈2〉
10	23	佐賀市の招魂社は官祭招魂祭を行なう。遺族約30人や成美女学校生徒らが参拝	10・21,25〈2,3〉
10	23	佐賀市の諸隈秋山ら尺八の明暗流派は、第5回研究会を同市松原の松蔭館で開く	10・25〈2〉
10	○	佐賀市内在住の女子大学出身者は、九州漫遊中の日本女子大学教授赤堀キク子を招いて、15日から月末にかけて5日間、純日本料理講習会を開く計画	10・24〈2〉
10	○	青島攻撃に出兵した佐賀市在住者は青島会を組織し、青島攻略1周年の祝賀会を11月7日に開く予定	10・24,11・2〈2〉
10	25	大嘗祭新穀献上時の、県の有志総代となっている西松浦郡大山村の浦郷孫平は、準備が完了したことを県に報告	10・26〈2〉
10	27	赤十字社篤志看護婦人会県支部は、セルビア救済の義捐金募集のため慈善演芸会を佐賀市の改良座で開く	10・25,29,11・18 〈2,3〉
10	○	京都での大正天皇即位記念演武大会に出演するため、剣道の納富教雄、小野専介、柔道の内田清一、弓道の江口善次は11月3日に出発予定	10・31〈3〉
10	○	この月、佐賀物産共進会の準備が進む。佐賀市内各町で装飾や余興を工夫。共進会協賛会が中心となって大名行列や旗行列を企画。新聞は「共進会彙報」として各種の取り組みを紹介	10・1,3～17,19～28, 30,11・3〈2,3〉
10	○	この月、団体や個人から明治神宮への献木願が相次ぐ	10・1,10,15,29,30 〈2,3〉
10	○	この月、多くの青年会・青年団が秋季総会を開く。佐賀市八戸町青年会、佐賀郡小関村青年会、杵島郡六角村青年会、福治村青年会、同村福吉区青年会、龍王村実業青年団、南有明村青年会、藤津郡久間村青年団・在郷軍人分会、五町田村福富区、同村下童区青年団。佐賀郡西川副村青年会は図書館の開館式も併せて開く	10・4,6,7,9,15,17, 23,26,11・2〈2,3〉
10	○	この月、多くの神社や寺院で大正天皇即位記念の講演会や法要が営まれる。杵島郡北有明村の海蔵寺、大町村の八幡神社、神埼郡城田村の高志神社、神埼郡蓮池村の八幡神社、同村の八坂神社、千歳村の冠者神社、三瀬村の清流寺、神埼町の櫛田神社、佐賀郡鍋島村の各寺院、東与賀村の悟眞寺、浄土宗佐賀教区	10・5,8,15,21,23, 25～28,11・2,3〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
10	○	この月、県内に腸チフス、疫痢患者が多数発生	
10	○	この月、警察は遊廓、酌婦営業に関する違法行為を摘発。酌婦、娼妓の無届外泊・外出、営業停止命令違反。飲食店主や楼主による無届雇用、監禁など	

教育・文化

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
10	1	福岡県立中学校伝習館教諭吉岡長三は佐賀中学校教諭に転任	10・4〈2〉
10	1	県教育会は通俗講話会を神埼郡三瀬村で開く。2日は脊振村、4日は神埼町、13日は三養基郡麓村。いずれも1000人前後の聴衆が集まる	10・5,8,15〈2,3〉
10	○	三養基郡基山村尋常高等小学校は、大正天皇即位記念のために1町6反8畝11歩の造林計画を立て、大正3～5年の継続事業で実施中	10・1〈2〉
10	2	観世流謡曲会の新生会は会員増加のため、活動場所を佐賀市白山町の高寺から同市米屋町へ移転	10・4〈2〉
10	3	杵島郡龍王村牛間田区は秋季父兄会を開く、生徒の読書、速算、書き方、運針競技、運動会などを実施。11～14日は藤津郡五町田小学校、20日は杵島郡福治尋常高等小学校が学芸会と父兄会を開く。28日は佐賀市循誘小学校で父兄会の予定	10・8,17,23,27〈2〉
10	○	佐賀日日新聞記者西江霊弦は、同新聞に連載した「伝説の佐賀」「肥前史談」から抜粋した内容冊子を、佐賀市水ヶ江町の木下晴雲堂から出版	10・5,11・20〈2,3〉
10	○	社司・社掌試験を県庁で実施、佐賀郡の江副一男、小城郡の花園喬ら6人が合格	10・9〈2〉
10	10	佐賀農学校の国本会は秋季大会を同校で開く。講演会や運動会を実施	10・8,11〈2,3〉
10	10	小城郡教育会が牛津小学校で開会。特志研究会員補助金を支給する件を可決	10・14〈2〉
10	○	文部省は専門学校入学検定試験の実施時期を改定。従来、随時実施のため煩雑になっていたものを改め、各中学校・高等女学校が独自に設定可能となる。佐賀中学校は2月に決定	10・11〈2〉
10	13	佐賀高等女学校は学年別に下関市や佐世保まで修学旅行。15日は藤津郡の五町田尋常小学校が佐世保などへ旅行。18日からは佐賀商船学校が汽船案山子丸で鹿児島県阿久根や熊本県牛深、長崎県島原を廻る予定	10・12,14,17〈2〉
10	13	藤津郡塩田尋常高等小学校は、大正天皇即位記念運動会を開く。郡書記、村長など来賓200余人、一般参観者は3000余人	10・15〈2〉
10	○	県内小学校第12回連合研究会が県師範学校附属小学校で開催予定。各都市の教員代表が研究報告を行う	10・13〈2〉
10	○	小城郡牛津町の相撲愛好家は、東京大相撲の太刀山、鳳、大錦一行を招き、31日から2日間、同町の西宮社東側で相撲興行をする予定	10・14,24,28,30〈2,3〉
10	○	東松浦郡視学瀬戸欽作は、文部省で開催の視学講習会を修了	10・16〈2〉
10	17	県師範学校は創立30年記念祝賀会を同校で開く。教諭張二男松、武道教師納富教雄ら6人を永年勤続で表彰。16日に記念運動会と記念通俗講話会を開く	9・15,10・3,6,9,10,12,14,16,17,19〈2,3〉
10	○	藤津郡立鹿島高等女学校は、23日に開校記念運動会を開く予定	10・19〈2〉
10	○	佐賀高等女学校教諭心得に川上祥二が任命される。月俸30円	10・19〈2〉
10	○	佐賀市花房小路の幼稚園は20日、母の会を開く予定。講師は長崎活水女学校保健教授マグダネル	10・19〈2,3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
10	○	佐賀県関屋尋常小学校訓導兼校長吉村正一は学事視察のため、兵庫、岡山、京都へ出張を命じられる	10・22〈2〉
10	○	藤津郡五町田村の村社八天神社社掌田村勇一郎は同村郷社吉浦神社と同村村社味島神社社掌を兼務。藤津郡七浦村の染川治吉は同村村社戸口神社社掌に補せられる。神埼郡脊振村郷社脊振神社社司兼同郡三瀬村村社杉神社社掌春野市太郎は兼務を解かれる。小城郡小城町の鍋島元伊は同町の郷社岡山神社社司に補せられる。佐賀郡西川副村の田中兵嗣は同村の無格社天満社社掌に補せられる。佐賀郡高木瀬村の村社八幡神社社掌大島光次は同郡春日村の村社甘南比神社社掌を兼務。同郡鍋島村の村社蠣久神社社掌江副一男は同村の郷社新庄神社社司を兼務。杵島郡須古村郷社黒髪神社社司兼同郡中通村村社天満宮社掌黒髪齊は兼務を解かれる。同郡中通村の菅原易一郎は同村村社天満宮社掌に補せられる	10・22～24〈2〉
10	○	県下小学校の貯金状況は、児童数10万4107人のうち貯金者は3万1628人、貯金総額9万7円32銭。個人の最高預金額は1710円57銭、最低10銭	10・23〈2〉
10	24	県師範学校卒業生で組織する有朋会の、佐賀郡市在住約120人は、佐賀市の花月亭で会合	10・25〈2〉
10	25	大正天皇の「御聖影」が佐賀駅に到着。知事ら高等官は駅まで出迎え。県庁で到着の式典を行う。27日は各市郡長・県私立中等学校長などへ伝達し、市郡では市長・郡長が各村長・小学校長に伝達して各学校で受領の式典を行う	10・25～29〈2〉
10	○	佐賀高等女学校は、11月2日に創立15周年記念展覧会と運動会を開く予定(記事と広告)	10・26,27〈2,3〉
10	29	佐賀郡は小学校長会を同郡役所で開く。青年会を改善するため指導を行うことなどを訓示。敬神思想涵養の一方法として実習田から生じる新穀の一部を神社に献納することなど15件を協議	10・24,30〈2〉
10	○	佐賀市内の有志は、古書画古器物展覧会を佐賀市公会堂で11月22日～11月26日まで開く予定。西本願寺、鹿島鍋島家、蓮池鍋島家の他、県内の素封家所有の名品が並ぶ見込み	10・29,11・19〈2,3〉
10	31	藤津郡多良尋常高等小学校と杵島郡武内尋常高等小学校は、「天長節」の儀式と祝賀運動会を行なう。武内尋常高等小学校は、「御聖影」を受領する式典も併せて行なう	10・31,11・4〈2,3〉
10	31	佐賀工業学校は、第3回生徒製作品展覧会を同校で開く。スチームエンジン、軽気球、水上飛行機の模型などを展示	11・2〈3〉

その他

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
10	○	県からの海外渡航者(9月) ウラジオストック10、フィリピン3、チリ1、インドシナ1、シンガポール2、合計17人	10・1〈2〉
10	○	海軍中将村上格一は海軍技術本部長兼将官会議議員に任命される	10・3〈1〉
10	○	佐賀図書館の利用状況(9月) 開館日25日、閲覧人員4433人、貸出図書数9818冊、新聞閲覧人4007人	10・4〈2〉
10	○	県内の鉱区数(10月現在) 小城郡現採掘区16・休業区28、東松浦現採掘区21・休業区58、西松浦現採掘区16・休業区19、杵島郡現採掘区6・休業区22	10・5〈2〉
10	○	唐津港石炭輸出高(9月) 総額4万2890トン、27万7758円。輸出先はフィリピン、ウラジオストック、朝鮮、香港	10・6〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
10	○	福岡支局管内の九州・沖縄各県の郵便貯金(9月) 月末現在預入人員約172万2500人で8月比5001人増、月末残高約2227万3900円で前月比16万2933円増。佐賀県は預入人員14万7549人で908人増、残高119万9293円で3872円増	10・7〈2〉
10	○	農商務省は4年度海外実業練習生32人に辞令を交付。県出身は藤井忠二と松本欽一郎	10・7,13〈2,3〉
10	○	娼妓の健康診断結果(9月) 県内7遊廓405人を健康診断。有病者は53人	10・8〈3〉
10	○	佐賀警察署管内の牛乳搾取高(9月) 合計54石6斗4升8合、搾取場は22ヵ所	10・8〈3〉
10	○	愛国婦人会佐賀市部の会員数(9月) 特別会員1010人、通常会員9188人、計10178人	10・10〈2〉
10	○	県内小学校在学児童数(7月) 男4万7935人、女4万5068人、うち1ヵ月全て欠席した児童は男300人、女476人	10・10〈2〉
10	○	肥前米の輸出状況(9月) 検査総数は、古米の玄米・白米計6万3367俵、新米の玄米・白米計3154俵。輸送方法は汽車積5万4214俵、船舶積5577俵、車馬積5027俵。主な仕向地は長崎2万3193俵、関門1万2018俵、佐世保1万1828俵、福岡県内1万1284俵	10・11〈2〉
10	○	県出身の法学博士水町袈裟六は米価調節調査会委員に、農商務書記官副島千八は同会幹事に任命される	10・11〈2〉
10	○	赤十字社佐賀支部社員数(9月) 特別社員229人、正社員1万7320人	10・12〈2〉
10	○	肥前麦輸出高(9月) 検査総数は1万2698俵。主な仕向先は大里2826俵、久留米8568俵、福岡県内各地1232俵	10・15〈2〉
10	17	鍋島直大・栄子夫妻は東京永田町の鍋島邸で盛大な園遊会を行なう。栄子61歳、姉松平建子77歳の祝賀答礼として開く。大隈重信夫妻や肥前協会会員など570人が集まる	10・19〈2〉
10	○	佐賀新聞は、17日が神嘗祭日のため、18日を臨時休刊とする(社告)	10・17〈2〉
10	20	米価 佐賀郡新米3.4斗入 3円50銭 諸富出来値 米本屋	10・21〈3〉
10	○	大木遠吉は、負債を抱えて苦境に陥った伯爵宗重望や男爵千家尊福を救済するため、東京芝区の私邸を売却。大隈重信が大木の財産整理に尽力	10・23〈3〉
10	27	朝鮮釜山の佐賀県人会は、同地で秋季大会を開く。約50人が出席	10・31〈3〉
10	○	県内の高齢者は100歳以上4人、90歳代231人、80歳代3687人	10・27〈2〉
10	○	県出身の安藤袈裟一、高木八尺、高田豊吉は文官高等試験に合格	10・28〈2〉
10	29	大隈信常が一等外務参政官に任命される	10・30,31〈2〉
10	○	県出身の村岡清三郎は師範・中学・高等女学校教員検定試験習字科に合格	10・29〈2〉
10	○	県出身の西村貞一は薬剤師名簿に登録される	10・30〈2〉
10	○	佐賀新聞は、31日が天長節祝日のため休業し、11月1日を臨時休刊とする(社告)	10・31〈2〉
10	○	佐賀米穀取引所の売買高(10月) 95万5300石、2万石以上売買の仲買人は秀島徳一郎ら17人	10・31〈3〉

国内・国際

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
10	1	フランスはブルガリアと交戦状態に入る	10・26〈2〉
10	2	関東北医師大会は、政府が公布予定の民間血清の強制検定規則に対して反対することを決議。全国の医師、薬剤師も同調	10・7,8〈1,2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
10	○	鉄道院は、16日から小荷物、速達便扱いの大貨物の代金引替配達業務を始める予定	10・2〈2〉
10	3	旧乃木家の親族は、伯爵毛利元智が継承した新乃木家に、墓地、神霊その他一切の遺品を引き渡す。佐賀新聞は、元老山形有朋や寺内正毅らの長州閥が社会風教を乱していると批判。法学博士副島義一も、毛利は乃木家と戸籍上無関係なので法律上問題があると述べる	10・1,2,4,5,13 〈1,2,3〉
10	3	大正天皇即位記念京都博覧会が開会。5日は大阪博覧会、10日は熊本共進会が開会	10・4～6,9,12,22〈2〉
10	○	米国電信電話会社のワシントン～ハワイ間無線電信・電話試験が成功。同社は日本～アメリカ間の無線電話も計画中(ニューヨーク電報)	10・3,4,16〈1,2〉
10	○	12月から朝鮮に2個師団を増設するため、新兵の徴集は例年より約1割を増員。10日頃までに市郡の割当数を定め、11月に召集令状を発送する予定	10・4,9〈2,3〉
10	5	貯蓄銀行条例施行細則の改正を公布、無尽業法は11月1日から施行することを公布(大蔵省令)	10・6,9〈1,2〉
10	○	帝大出身弁護士団体の緑倶楽部、刑政研究会、日本弁護士協会、政友会・国民党担当の新聞記者団の十日会など各団体は、それぞれ乃木家継承問題や内相大浦兼武不起訴問題に関して集会を開き、内閣を批判	10・5,7,11,20,23,29 〈1,2〉
10	6	国民党東京支部は総会を開き、内閣弾劾を決議。内相大浦兼武の不起訴、乃木家再興は国法の威信を蹂躪し、風教を紊乱する重大事件と批判	10・8〈1〉
10	7	米価調節調査会官制を公布(勅令) 農商務大臣の諮問に応じ米価調節に関する事項の調査を行なうなど全6条	10・2,3,7,8,13,17～ 22,24,26～28,30 〈1,2〉
10	7	明治神宮敷地の地鎮祭が施行される	10・8〈2〉
10	○	南洋諸島のアンガウルの燐砒は、日本海軍直営で採掘することが内定	10・7,8,16〈1,2〉
10	9	ドイツ・オーストリア軍はセルビアのベオグラードを占領(ニューヨーク電報)	10・12〈1,2〉
10	○	ロシアはブルガリアとの国交を断絶、ブルガリアはセルビアに宣戦布告(ニューヨーク電報)	10・9〈2〉
10	○	大蔵省は無尽業の取締方針を各地方長官に通達。零細生産業者の被害を防止し、その健全な発展を促す	10・9,22〈1〉
10	10	日本社会政策学会大会が東京高等商業学校で開会。テーマは人口問題。高野岩三郎は、日本で女子の死亡率が高いのは、民間の工場労働者84万人のうち6割を占める女子労働者が、過労のために死亡しているからだと述べる	10・12〈1〉
10	10	函館の漁船がカムチャッカで魚類を受取り帰港中、暴風雨のため転覆、漁師86人が溺死	10・17〈2〉
10	○	政府は染料と薬品の製造を奨励。薬品会社に内国製薬会社と東洋製薬会社を指定し、15日から補助金を交付予定	10・11〈1〉
10	13	駐仏大使石井菊次郎が外務大臣に任命される。後任大使は幣原喜重郎	10・5,10,13～15, 26,28,30〈1,2〉
10	13	ドイツ軍のツェッペリン飛行船はロンドンに爆弾を投下、死者41人(ニューヨーク電報)	10・16,17〈1,2〉
10	○	米価安により肥料業界は不況。住友肥料、多木肥料、堺硫酸、日本肥料などの人肥製造会社間の競争が激しくなる	10・13,14,17〈1〉
10	○	ロシアは軍靴や火薬など軍用品を日本に大量に注文、イギリス政府は日本へ3インチ砲400門を注文。軍需品などの輸出超過により、10月初めの政府・日本銀行所有正貨は総額4億9000万円となり、2カ月間で7000万円増加	10・13,14,16,17〈1〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
10	○	ブルガリアとセルビアは互いに宣戦布告。イタリアはブルガリアに宣戦布告。ブルガリアがセルビアに侵攻。スペインは局外中立を表明	10・15～17,21,23,27,28,30〈1,2〉
10	○	帝国農会は、自作農の保護奨励に関する建議を政府に提出することを決定	10・17〈1〉
10	○	内務省は地方長官に訓令を発し、大正天皇即位記念事業に名を借りて、金品や労力を強要するなどの弊害を生じさせないように指示	10・17〈1〉
10	18	海軍大演習を、本州・四国・九州沿岸から東西洋上に至る区域で実施	10・16,19,27〈2,3〉
10	18	教育調査会総会は国語調査機関の設置を決議。国語国字国文を平易簡明にし、時勢に伴い発達する思想を自由に発表することを目的とする	10・21〈1〉
10	19	政府は、仏露英間で締結の講和条約宣言に加盟することを表明	11・2〈1〉
10	○	農商務省は農作物の品種統一を図るため、各町村農会に対して優良作物の採種田畑を設置することを奨励	10・19〈2〉
10	21	文部省は、大正天皇「御真影」を受領する式典を省内で行なう。同省は「御真影」を直轄学校64校、小学校・私立学校約8000校に下付	10・4,23〈1〉
10	○	イギリスの増派部隊はセルビアで戦闘に従事(サンフランシスコ電報)	10・22,29〈2〉
10	23	台湾の臨時法院が言渡した反乱民公判の累計は、死刑668、懲役391、無罪4	10・29〈3〉
10	24	陸軍特別大演習を青森県の弘前練兵場で実施	10・15,19～27 〈1,2,3〉
10	○	ドイツ軍はフランス東方で毒ガス弾を使用	10・25〈2〉
10	27	鉄道院の広軌調査委員会は広軌・狭軌の採用について、広軌採用が経済的に有利と結論づける	10・28,29〈1〉
10	28	大阪府立高等医学校を府立大阪医科大学と改称することを認可(文部省告示)	10・10,30〈1,2〉
10	29	中国の袁世凱が帝政への移行を宣言したことに対し、日本政府は、平穏な実現が可能か否かを問いただした上で、帝政延期を勧告したと発表	11・2〈1〉

政 治

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
11	2	藤津郡鹿島村村長愛野文次郎を認可	11・3〈2〉
11	○	県会は佐賀市東部線道路案、七山線案、早津江線案を審議可決、5年から着工予定。東部線道路の工区は同市蓮池町～上芦町、上芦町～佐賀駅、佐賀駅以北。明治40年以來の地元民の要望	11・2,3〈2〉
11	5	第18師団は秋季機動演習を終了し、佐賀郡久保田村徳万付近で閲兵式を行なう。同郡久保田村の思斉尋常高等小学校に沿道の各町村長、県郡の役人を招待し、慰労の宴を開く	11・4,6〈2〉
11	○	「産業発展の好機」 県内務部長岸本康通談 物産共進会開催の目的は、天皇即位祝賀だけでなく、県産業界の革新を促すためでもある	11・5〈2〉
11	○	「協賛会を援けよ」 佐賀市長野口能毅談 物産共進会開催のため、市が協賛会に1万2000円余を補助したことに異論が出ているが、協賛会が主催するのは自治の精神によるものである	11・5〈2〉
11	6	佐賀市会が開会し、大正天皇即位祝賀の「賀表」を上呈することを可決	11・7〈2〉
11	○	佐賀連隊区管内から4年に陸海軍の各隊に入営する現役兵の集合日と集合場所、宿舍割を掲載。近衛師団は12月7日門司市指定宿舍前、歩兵第55連隊は12月1日練兵場など	11・6,8,13〈2〉
11	10	大正天皇即位による県への養老賑恤金は9600円	11・11〈2〉
11	○	藤津郡は大正天皇即位記念として郡の紋章を制定	11・10〈2〉
11	○	県内務部長岸本康通らは14日、大嘗祭奉幣のため東松浦郡の国幣中社田島神社へ、県理事官らは藤津郡の祐徳稻荷神社など県社5社へ幣帛具進のため赴く予定	11・12〈2〉
11	15	佐賀郡巨勢村は12月1日に入営する壮丁の検査を実施	11・24〈2〉
11	20	県参事会は、物産共進会の会期が10日間延長され30日までと変更されたため、追加支出1500円の予算措置を審議し可決	11・21〈3〉
11	○	杵島郡山口村助役井上種助が認可される	11・20〈2〉

経 済

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
11	1	大川運輸(株)・深川汽船部と大阪商船(株)は、西廻り九州航路の共同運航を開始(広告) 航路は大阪～関門～博多～呼子～平戸～佐世保～長崎～三角～島原～若津	11・3～4〈3〉
11	2	西松浦郡の地主は懇談会を同郡役所で開く。産米改良の実を挙げることに、小作者に対し肥料・資金の融通を図り、または現品の貸与を為すことなど9件を協議	11・2,4〈2〉
11	○	佐賀市新馬場に鐘ヶ江商店が開業。水産物食料品の卸売業と小売業を営む。店主の鐘ヶ江東作は東京水産講習所卒	11・2〈2,3〉
11	○	朝鮮羅老島付近の海老漁は天候も穏やかで、10月7日から20日間で水揚げ額は漁業者1人当たり最高87円、最低20円の豊漁	11・3〈2〉
11	4	三養基郡三川村の農事熱心家30人は農事研究会を組織。農事改良を率先実行することを決議し、稲品種の統一、苗代改善、施肥の改良を計画	12・17〈3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
11	5	大正天皇即位記念佐賀物産共進会が開幕。農産部1364点、林産部125点、工産部3332点、美術品部191点、水産部519点、特許品部59点、参考品部514点が出品される。20日に物産共進会と園芸共進会の褒賞授与式を行なう、審査長は農商務省技師北村彌一郎。会期中、県会議事堂では自治民生資料展覧会、郷土資料展覧会、衛生展覧会を開く	11・5～9,11～30 〈1,2,3,5〉
11	○	佐賀市の蒲原時計店は大正天皇即位記念銀杯、メダル、18金指輪を製造販売	11・7〈2〉
11	10	西洋料理の精養軒が佐賀市公会堂内に開業(記事と広告)	11・12～14〈3〉
11	10	西海製剤(資)が三養基郡基山村宮浦に設立(公告) 目的は売薬製造販売業、代表社員は天本龍之介と藤田龍蔵	12・3〈3〉
11	15	佐賀郡久保田村の村田家は、小作米約7500俵を同家の御茶屋で入札販売。快萬蔵1020俵、小路蔵1029俵、御茶屋蔵1330俵、久富蔵2186俵、三丁樋蔵1934俵。平均価格1俵4円59銭5厘、1俵は4斗入	11・8,17〈2,3〉
11	19	県農会は評議員会と郡農会長協議会を開き、県実業団体連合会組織を発起することと県農政倶楽部組織を発起することを協定。県農政倶楽部の組織会は12月中旬に開く予定	11・20〈2〉
11	21	大日本蚕糸会佐賀支会は共進会場で発会式を開く。同会は明治43年7月1日設立、通常会員は1301人、最多は佐賀郡の285人	11・14,16,18～22 〈1,2,3〉
11	○	県漁業組合連合会は総会で監事を改選、山田兼介と古川禎治は再任、岩永雄次郎は新任	11・21〈3〉
11	○	物産共進会と園芸共進会の受賞者と出品物を掲載。物産共進会1等賞は米の佐賀郡西川副村西南里実業青年会、乾アゲマキの藤津郡八本木村の永石参三郎など9団体・20人。園芸共進会1等賞は柑橘の小城郡南多久村の藤崎時次郎、ブドウの佐賀郡春日村の梶原治太郎ら7人	11・21～23〈2,3〉
11	○	県物産共進会・園芸共進会出品功労者として表彰された、機械製造業の真崎照郷、農業の永淵清次郎ら24人全員の略歴を掲載	11・22〈1,3〉
11	23	片倉組鳥栖製糸所が竣工し落成式を行なう。工場坪数約1万坪、女工数約300人、電力10馬力	11・24〈2〉
11	23	藤津郡西嬉野村の肥前電気軌道(株)は、株主総会の決議で商号を肥前電気鉄道(株)と変更し登記。25日に支配人に門司市の長谷川公平を任命し登記(公告)	11・27〈3〉
11	25	藤津信用貯金(株)は株主総会で商号を藤津無尽信用貯金(株)と変更(公告) 27日登記	11・30〈3〉
11	○	4年春創立の肥筑軌道(株)は株式募集に着手。路線は三養基郡北茂安村～佐賀市、株式総数は4千数百株で1株50円	11・25〈2〉
11	26	公益金融(株)は商号を無尽公益(株)と改称(公告)	12・1〈3〉
11	○	大日本蚕糸会佐賀支会発会式と片倉組鳥栖製糸所落成式に出席した東京蚕糸学校長本多岩次郎は、挨拶などの中で、佐賀県の繭年産額は1万3000石だが、養蚕業は農閑時に従事できるので有望と述べる	11・26〈2〉
11	○	佐賀米穀取引所は、5年2月以降採用の新標準米は杵島神力中米建とすることを決定	11・28〈2〉
11	29	県内の薬業者約20人は、佐賀薬業同盟会を組織するため佐賀図書館で協議	12・2〈2,3〉
11	30	大正天皇即位記念佐賀物産共進会の閉会式を行う。12月1日夜は協賛会役員や市民が提灯行列で成功を祝う	12・1,2,4,20〈1,2,3〉
11	30	西肥貯金(株)は商号を西肥貯金無尽(株)と改称(公告)	12・2〈3〉
11	30	共栄貯金(資)は商号を無尽共栄貯金(資)と改称(公告)	12・2〈3〉
11	30	佐賀郡東川副村の山口清八と平山文吉が出願していた五石懸賞田は合格となる	12・3〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
11	30	五石懸賞会視察のため京都府農会から2人、島根県会から2人来佐。12月4日は岡山県児島郡の村長が来佐予定	12・3,6〈2,3〉

社 会

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
11	1	佐賀郡久保田郵便局は電話開通式を同村の寿昌寺で行なう	11・2,3〈2,3〉
11	1	県神職会は代議員会を佐賀市八幡小路の事務所で開き、県内から2000円の寄付を集めて事務所の改築を決議	11・3〈2〉
11	1	藤津郡多良村の在郷軍人会は大正天皇即位記念事業として、同村の正確な時間を周知するため、午前8時と午後4時に寺院で梵鐘を衝くことを始める	11・3,4〈2〉
11	1	佐賀郡兵庫村の曹洞宗6ヵ寺連合は、大正天皇即位記念として婦人会を組織	11・4〈2〉
11	1	佐賀市八戸町青年会は修養会を開く。今後毎月1日に実施予定	11・5〈2〉
11	○	佐賀郡鍋島村の谷口文次は国旗等取付器具を発明し、東京市に工場を設けて製造中。母校の鍋島尋常高等小学校児童全員に同器具を寄贈	11・2〈2〉
11	○	小城郡牛津町商工会は大正天皇即位を祝賀して牛津駅前に大衡門を建て、町内を装飾。合同大売出しや店員表彰を行なう	11・2〈3〉
11	3	県立病院好生館長に副館長臼井鐵治を任命 年俸3000円	11・5〈2〉
11	3	佐賀郡北川副村は全村統一の青年会を組織し、発会式を開く	11・5〈2〉
11	4	佐賀市の料理屋東島与一ら3人は芸妓券番設置届を佐賀警察署に提出、6日に認可、設置場所は同市上芦町。客の座敷に呼ばれる時は、芸妓は三絃、舞妓は扇子・手拭・花傘の類を携行すべしなど規約15条を紹介	11・7〈3〉
11	○	佐賀市の高齢者は、百歳以上1人、90歳代4人、80歳代94人、計99人。佐賀郡は90歳代10人、80歳代369人、計379人	11・4,5,10,11,13 〈2,3,7〉
11	6	県物産共進会会期中、佐賀市の松原神社南側堀端に動物、紙細工、猫地獄、地獄極楽生人形などの見世物が興行	11・7〈3〉
11	7	杵島郡武雄町の善念寺が募集した大正天皇即位祝賀行事拝観団は、京都を見学。24日出発予定の第2回目を募集中、往復日数10日間、参加費10円50銭	11・19〈3〉
11	9	佐賀市の大勝館と共進会場内の演舞館は、8日の天皇京都着の実況写真を上映、13日は即位式の写真を上映	11・9,10,12,13 〈2,3,7〉
11	9	佐賀郡兵庫村下村青年会は同村の長興寺で秋期大会を開く。創立6年目で会員約40人	11・12〈2〉
11	10	県内の官公署、学校、寺院などで一斉に、大正天皇即位祝賀式が行われる。佐賀市の勸興小学校には市民約2万人が集まり、市長の音頭で万歳を三唱	10・19,11・5,11,12, 17〈2,3,7〉
11	10	県は「養老賑恤式」を県師範学校で行なう。天皇から下賜の盃・酒肴料を佐賀市郡内80歳以上の高齢者に伝達授与。県全体の対象者は80歳代3632人、90歳代210人、100歳以上4人	10・26,11・4,11,12 〈2,3〉
11	○	田舎野空助は『佐賀見物記』改訂版を佐賀市白山町の牧川書店から発刊、140ページ、定価1部20銭	11・10〈2〉
11	12	三養基郡三川村は、大正天皇即位記念事業として農工産物、学校生徒の学芸品、書画骨董などの展覧会を同村三川尋常高等小学校で開く。17日まで	11・10,14〈2〉
11	○	県は神饌幣帛料を供進する神社を指定(県告示) 杵島郡龍王村の村社天満神社、藤津郡七浦村の村社戸口神社など6社	11・12〈2〉
11	○	佐賀市水ヶ江町の佐賀印刷(株)は共進会陳列品画報を編纂、発行予定	11・12〈3〉

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
11	○	佐賀競馬会は、大正天皇即位祝賀競馬会を16日と17日、歩兵第55連隊練兵場で開く予定。小城郡小城町の常設競馬場も19日と20日に開く予定	11・12,14〈2,3〉
11	13	県内の仏教各宗派は合同で、大正天皇即位記念講演会を佐賀市公会堂で開く。18日まで。連日4000人以上の聴衆が集まる	9・22,10・13,17,23,25,28,11・5,9,13~17,19〈2,3〉
11	14	この頃、県内の神社は ^(ママ) 大嘗祭を実施	11・10,14,17,19〈2,3〉
11	16	佐賀中学校と歩兵第55連隊を会場として饗饌の儀式が行われる。勲6等以上の位階保持者、曹長以上の軍籍者、小中学校長、済生会または赤十字社へ1000円以上の寄付者、地方名望家などの官民約1000人が出席	11・12,15~17〈2〉
11	17	佐賀郡東与賀村は同村尋常小学校で招魂祭を開く	11・19〈2〉
11	18	佐賀市内の各区長や同代理者ら約140人は、県物産共進会の開催を祝して、武士、足輕姿で市西部を大名行列。19日は東部を歩く	11・3,13,18~20〈2,3〉
11	18	佐賀市与賀町の日本キリスト教会は宗教講演会を開く。講師はアメリカのダッチリフォーム伝道協会幹事チェンバレンとパッセル女子大学教授ヒル、通訳はピーク	11・17,20〈2,3〉
11	19	佐賀郡川上村の川上淀姫神社は1350年祭を実施、社殿を大修繕	11・2,14,20〈2,3〉
11	20	県内の歯科医師は懇親会を佐賀市の福本亭で開く。県歯科医師会の設立に向けて会則案を協議。知事の認可を得た後、発会式を開く予定	10・25,11・22〈2,3〉
11	○	佐賀フィルム(株)は、事業家の工場や家庭などを撮影、広告に役立てることを企画し、希望者を募集中。完成した活動写真は、佐賀市の大勝館や九州各地の常設館で上映予定	11・21〈3〉
11	22	県物産共進会を祝賀する流鏑馬と打毬会が佐賀中学校で開かれる。競技に先立ち、乗馬姿の一行は佐賀市内を行列。28日には弓道の県大会が、同市の武徳会で開かれる	11・21,23,29〈3〉
11	23	杵島郡軍人待遇会は3年度満期除隊軍人130人に対し、慰労金贈与式を同郡武雄町の桜山公園で開く。26日は神埼郡軍人待遇会が同郡神埼町の曙座で、第28回帰郷軍人慰労金贈与式と新入営兵の送別式を実施する予定	11・17,21,25〈2,3〉
11	○	佐賀郡川上村の県社河上神社社司に萩原才一郎を任命	11・23〈3〉
11	24	在郷軍人会佐賀市分会第11区会は、入退営者の送迎会と総会を同市新馬場の花月亭で開く。26日は賀市分会が懇親会を開く	11・27,28〈2〉
11	○	佐賀市宗龍寺内の家禄請願委員会に、旧佐賀藩元卒族1200人以上、除族者約200人のうち170人が申し込む	11・24,27〈2〉
11	26	佐賀市の相撲愛好家は、佐賀・熊本・福岡・長崎4県合同の相撲大会を同市中ノ小路で開く。市内の4新聞社が優勝旗を寄贈、入場料1人20銭。28日まで	11・23~29〈2,3〉
11	26	西松浦郡伊万里町の写真師陶山俊夫は、尊皇奉仏主義精神修養念仏講演会を同郡黒川村で開く	12・2〈2〉
11	27	県物産共進会協賛会は仮装行列を実施。市長、市会議員、県官吏、実業家、医師ら知名士108人が共進会場や周辺道路を練り歩く	11・18,19,24~25,26,28〈3〉
11	27	神埼郡西郷村の牟田青年夜学会は新入営者の送別会を開く	11・29〈3〉
11	27	神埼郡境野村の郷社若宮神社は、同村の4年度入退営者29人のため奉告祭を開く	11・29〈3〉
11	28	佐賀郡北川副村は忠魂碑除幕式と招魂祭を同村小学校で開く	11・29〈3〉
11	○	佐賀市与賀町新地の日本基督教会は30日と12月1日に、特別伝道会を開く予定。講師は日本基督教会総務局巡回教師貴山幸次郎	11・29〈3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
11	30	佐賀市内の知名士の夫人達や主要料亭の芸妓らは仮装行列を行い、物産共進会の終了を祝う	11・30,12・1〈3〉
11	30	川上軌道(株)の客車が佐賀郡神野村でスピードの出しすぎのため脱線。通行人に接触し1人重体	12・1,4,12〈2,3〉
11	○	この月、明治神宮への献木出願が相次ぐ	11・3,7,10,14,29 〈2,3〉
11	○	この月、県内各地で大正天皇即位記念の祝賀式、記念運動会、記念講演会が開かれる。杵島郡小田村、藤津郡多良村、佐賀郡小関村、本庄村、久保田村、金立村、兵庫村、神埼郡西郷村、境野村、佐賀市、小城郡牛津町商工会	11・4,12,14,16,17, 19,20〈2,3〉
11	○	この月、各地の寺院で大正天皇即位記念の法要、布教会、講演会が営まれる。佐賀郡兵庫村の曹洞宗6ヵ寺、東川副村の真宗東川副組19ヵ寺、同村加與丁睦月会、小城郡の松尾山、小城多久地方臨済宗南禅寺派15ヵ寺、曹洞宗佐賀第一管内第一組17ヵ寺、佐賀市牛島町の長徳寺	11・4,5,7,10,12,25, 26〈2〉
11	○	この月、各地で大正天皇即位記念の造林、植樹が行われる	11・10,13,19,27,30 〈2〉

教育・文化

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
11	○	「教員懲戒頻出」 三養基郡の小学校訓導が不品行の理由で懲戒免職、西松浦郡の小学校長は部下の不品行に対して処置が緩慢との理由で、けん責処分となる	11・2〈2〉
11	5	佐賀郡久保田村の旧邑主村田家は、第18師団の機動演習終了祝宴の際に、同家が所有する豊臣秀吉の書状、龍造寺隆信の甲冑、百年前の天体測量鏡目、地球儀などを披露	11・7〈2〉
11	○	県師範学校男生徒は25日～27日まで神埼郡、佐賀郡、小城郡で発火演習の予定。佐賀中学校生徒も12月10日に、小城・多久方面で発火演習の予定	11・5,25〈2〉
11	7	佐賀中学校は創立40周年記念式典を開く。 式後、雨の中、運動会を実施。記念に設立された奨学基金に寄付が多く集まる	6・9,13,16,23,8・2, 10・9,17,11・6,8 〈2,3〉
11	○	東京文芸新聞社は、通俗教育巡回博覧会を佐賀市の武徳会で、7日から3日間開く予定	11・7〈2〉
11	○	杵島郡須古村の郷社妻山神社社司永代暉二は、同村の無格社厳島神社と無格社天満宮社掌を兼務、同郡中通村の村社天満宮社掌菅村易一郎は同郡住吉村の郷社黒髪神社社掌を兼務、佐賀市の村社伊勢神社社掌杉野良吉は同市の村社北面天満神社社掌を兼務、藤津郡東嬉野村の村社熊野神社社掌に木庭梢が補せられる	11・7〈2〉
11	○	文部省は、長年小学教育に従事し功労があったとして、西松浦郡有田尋常高等小学校長坂本萬次郎、東松浦郡北波多尋常高等小学校長田崎正勝、杵島郡朝日尋常高等小学校長釘町乙一郎、佐賀郡兵庫尋常高等小学校長久池井虎太、東松浦郡厳木尋常高等小学校長保利磯次郎を表彰	11・9,10,16〈2〉
11	○	佐賀図書館唐津分館は10日、開館式を開く予定。 場所は唐津町大名小路の元女学校寄宿舎跡	11・10〈2〉
11	○	佐賀郡与賀高等学校は、同校生徒が栽培・収穫した米を、大嘗祭用の神饌米として保管中	11・13〈2〉
11	14	小城郡遷喬高等学校同窓会を同郡小城町の天山閣で開く	11・16〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
11	16	県師範学校、佐賀中学校、佐賀商業学校、佐賀工業学校、佐賀商船学校、佐賀農学校、龍谷中学校の生徒は、大正天皇即位を祝賀し、佐賀市内を提灯行列。昼は市内各小学校の児童が旗行列。17日は杵島郡武雄町で、18日は杵島郡福治村で小学校生徒が旗行列	11・13,15,17,24 〈2,3〉
11	16	佐賀市与賀町の実科女学校は第1回同窓会を開く	11・17〈3〉
11	16	神埼郡千歳村は、大正天皇即位記念事業として小学校校舎1棟、15教室と廊下及び石門・石垣等を増築し、竣工祝賀会を行なう	11・24〈2〉
11	17	杵島郡六角村は、六角尋常高等小学校に70歳以上の高齢者67人を招待して、敬老会を開く	11・24〈2〉
11	○	東松浦郡厳木村の郷社天山神社社掌に宮原俊雄が補せられる	11・24〈2〉
11	○	佐賀市花房小路の私立佐賀幼稚園は26日、収穫感謝祭を行なう予定	11・26〈3〉
11	27	佐賀中学校は創立40年記念祝賀の提灯行列を行なう。生徒約800人が音楽隊を先頭に市内を行進	11・28〈2〉
11	○	龍谷中学校は柔道場を新築し、27日に落成式を兼ねて武道大会を開く予定	11・27〈2,3〉
11	28	佐賀郡教育会は総会を開く。会頭に佐賀郡長佐藤七太郎を再選。郡長は各村青年会の改革方法を郡教育会に諮問	11・26,29〈2〉
11	28	物産共進会出品画家との交流を兼ねた県書画大会が市公会堂で開かれ、横尾義勇ら14～15人が無料揮毫に応じる	11・27,29〈3〉
11	28	県囲碁大会が市公会堂で開かれる。県内外から50人が出場	11・29〈3〉
11	○	この月、各学校で運動会を実施。大正天皇即位記念、各校の周年行事として実施の学校が多い。唐津中学校、佐賀高等女学校創立15周年、有田工業学校創立15周年、県内中等学校連合、佐賀郡南川副尋常小学校、西川副尋常高等小学校、同郡神野尋常高等小学校、同郡兵庫尋常高等小学校、同郡嘉瀬尋常高等小学校25周年、佐賀郡春日支部連合、三養基郡田代尋常高等小学校、神埼郡蓮池村芙蓉尋常高等小学校、杵島郡福治尋常高等小学校	10・26,11・3,14～ 17,19,22,24,25 〈2,3〉

その他

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
11	2	県出身の第一艦隊参謀海軍少佐横尾敬義は連合艦隊参謀を兼務	11・5〈2〉
11	○	大正天皇即位礼の天皇乗用馬車の馭者の一人は、県出身の宮内省主馬寮技手多賀一に決定。多賀は元唐津藩士、脱藩して五稜郭に籠城の経歴	11・4〈3〉
11	○	佐賀図書館の利用状況(10月) 閲覧者3467人、閲読冊数7877冊、新聞閲覧者は昼2153人、夜1439人	11・7〈2〉
11	10	大隈重信に侯爵の授与が内定	11・12〈2〉
11	○	県出身の早稲田大学学長天野為之は教育功労者として、瑞宝章三等を授与される	11・10〈2〉
11	○	大正天皇即位に付き、県出身の伊東玄朴、村田若狭、天野為之、藤山雷太に叙位叙勲	11・12,14〈1,2〉
11	14	米価 佐賀郡新米3.4斗入 3円70銭 諸富出来値 米本屋	11・15〈3〉
11	14	佐賀郡北川副村出身の青島防備隊勤務海軍3等機関兵中島治作は、同地の海上で中国人職工22人を載せたジャンクが転覆した際、寒風について救助。軍は軍人の模範として表彰	12・12〈3〉
11	16	相良妙子は心臓病のため死去、享年86歳。相良は大隈重信の姉。12月14日佐賀市西田代町の本行寺に納骨	11・18,24,12・13,16 〈2,3〉

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
11	○	元佐賀市の日新小学校訓導大塚政俊は、2年から長崎県代用感化院教頭を務め、感化事業に尽力中	11・21〈3〉
11	○	県出身の山口小三郎と西岡健太郎は医籍に登録される	11・22〈3〉
11	23	下関、小倉、若松、八幡在住の佐賀県人会員約50人は、合同の懇親会を門司市で開く	11・26〈2〉
11	○	県出身の海軍少将松村龍雄は、特別観艦式艦隊編制中第5艦隊司令官を命じられる	11・24〈2〉
11	○	工場法に依る各種工場数と職工数(農商務省調査) 佐賀県は61ヵ所、5870人	11・26〈2〉
11	○	初婚者の平均年齢は、佐賀県の男は27.25歳、女は23.16歳	11・26〈3〉
11	○	福岡鉱務署管内重要炭山の生産高(10月) 芳谷5524万2751斤、相知3553万4839斤、岩屋2516万3040斤、杵島1246万8450斤、杵島第二3849万1550斤、久原648万3230斤	11・27〈2〉
11	28	米価 佐賀郡新米4斗入 4円50銭 諸富出来値 米本屋	11・29〈3〉
11	29	県出身の中川藤次郎が病死、享年59歳。(株)肥薩貯金社長、在郷軍人会佐世保市分会長	12・3〈2〉
11	30	陸軍大学校の4年度入学者60人のうち県出身者は3人	12・7〈2〉
11	○	肥前電気鉄道(株)第9回決算報告(広告)	11・30〈3〉

国内・国際

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
11	1	中国は、日英露が帝政実施の延期を勧告したことに対し、帝政への移行は民意を代表する機関と合意の上で実施していると回答。勧告を事実上拒絶	11・3,4〈1,2〉
11	3	教育調査会は大学令修正案を可決。大学は官公私立を認めること、公立及び私立の大学の設立と廃止は文部大臣の認可を受けること、など22条	11・8〈1〉
11	3	山下汽船(株)の靖国丸・7300トンは、地中海アルブラン島付近でドイツ潜航艇から撃沈される	11・8〈2〉
11	○	言論 「過れる我对支政策」 北山 他国の内政に干渉しないと言って中国への働きかけを怠った日本が、時局が進展した現在、威嚇的な警告活動をしている。中国全土の反感を招くのではないか	11・4〈1〉
11	○	内務省神宮調査会は、国幣大社に福岡県三井郡の高良大社と石川県羽咋郡の気多神社を決定	11・4〈1〉
11	○	言論 「帝政と処置」 野兒 袁世凱は民意を入れて中国の国体を帝政に変更すると主張しているが、革命党の孫文や黃興らは大同団結して袁世凱と対決している。日本政府の対応は非常に不安である	11・8〈1〉
11	10	逓信省は大正天皇即位記念郵便切手、記念絵葉書、記念貯金台紙を発行。100万円以上の利益を上げる	11・2,9,12,24〈2,3〉
11	10	専売局は大正天皇即位記念煙草「八千代」を10日から発売予定。20本入りで定価10銭	11・9,12・5〈2,4〉
11	10	大正天皇即位礼が京都御所紫宸殿で行なわれる。恩赦を実施、豊臣秀吉に正一位など歴史上の人物多数に贈位、各府県に養老賑恤金を下賜	11・11,12〈1,2〉
11	12	臨時南洋群島防備隊司令官は南洋占領諸島渡航者心得を定める。渡航する船舶は全て海軍省又は同防備隊司令部の許可を得た者に限る、滞在目的で上陸を希望する者は金50円以上を所持しておくこと、など4項目	11・14〈1〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
11	14	大正天皇は大嘗祭を京都の仙洞御所で行なう	11・16〈1,2〉
11	○	南洋占領諸島への定期航路が決まる。御用船江陽丸は16日に、御吉野丸は12月1日に横浜港を出帆し、トラック島に向かう予定	11・14〈1〉
11	○	軍政庁は、南洋諸島の8島に各1校の小学校を設置することを計画。8島はトラック、ボナベ、ヤップ、パラヲ、ヤールト、サイパン、アンガウル、クサイ。文部省は小学校教師10人を人選中	11・15〈1〉
11	○	農商務省は、4年の推定国内米消費高を5520余万石、5年消費高を5590余万石、4年実収高は5300万石と予測。年々増加する不足分は朝鮮、台湾、米国から輸入予定	11・15,17〈1〉
11	○	言論 「支那は此秋」 野兒 中国は帝政の延期を表明したが、中国の行動が東洋の平和に大きな影響を与えることは必至、日本は対中国外交をより積極的に進めるべきである	11・16〈1〉
11	○	文部省調査では、小学校教員の平均俸給額は、高等科本科正教員15円97銭3厘、専科正教員14円26銭4厘、准教員14円85銭5厘、代用教員11円52銭8厘、尋常科本科正教員21円92銭8厘、尋常科正教員17円70銭4厘、専科正教員12円70銭5厘、准教員11円47銭5厘、代用教員9円13銭5厘。小学校教員総数は全国で約15万9200人、この内代用教員は約2万9600人	11・17〈2〉
11	23	通信大臣は日本郵船会社に対し、私設無線電信の施設を許可。同社は汽船讃岐丸に設置予定で、日本の私設無線電信の嚆矢となる	11・24〈1〉
11	○	文部省調査では、小学校児童の就学率は3年度98.800%、過去5年間の平均は98.808で漸減の傾向。国民教育普及の観点から杞憂する者が多い▽	11・23〈1〉
11	○	内閣統計局の調査では、2年末の全国戸数は972万436戸、人口は5291万1800人、1戸平均の人数は5.44人	11・23〈1〉
11	○	2年の北海道移民の職業は農業3万3200人、漁業5318人、工業2700人、商業2880人、雑業9969人、不詳7080人	11・23〈1〉
11	○	農商務省は、農家副業の奨励のため、5年度予算に綿羊飼育奨励費2万円を計上	11・23〈1〉
11	○	言論 「時や政治季節也」 北山 第37議会の争点は、乃木家の継承問題、大浦事件、米価調節問題、中国帝政問題などで、衆議院、貴族院とも大隈内閣に対する批判の声は大きい	11・24〈1〉
11	26	全国生命保険会社41社は、簡易保険の官営について協議会を開き、民業圧迫であるとして反対を建議	12・1〈1〉
11	○	5年度の政府新規事業は大部分を削除。歳入減少のために海軍補充費、海軍航空隊設備費、電話新設費、恩給増加費、領事館設置費などに絞る。予算総額は5億5350万円	11・26〈1〉
11	○	米価下落で一般農民の疲弊が続き、3年の耕地整理面積4万6700町歩に比し、4年10月時点の同面積は2万7400町歩と著しく減少	11・27〈2〉
11	○	日本の海外貿易は、交戦国への軍需品輸出によって1億4000万円の出超。生糸市場は高騰しているが、米国の好況と日本の好調が大きな要因である	11・28〈1〉
11	29	第37帝国議会を召集	11・30〈2〉
11	29	大阪商船は横浜とタコマ、シアトル、ヴィクトリア間の航路を増設し、西海丸4971トンが神戸港から出航。12月20日までに7隻4万トンが出帆予定	12・4〈1〉
11	30	東京府千駄ヶ谷町で大火、171戸を全焼	12・1〈2〉
11	○	東京代々木の明治神宮の造営工事は、順調に進行。献木は許可済約1万本、地方長官まで出願中約4万本、受付は12月末まで	11・30〈2〉

政 治

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
12	1	東松浦郡値賀村長に黒岩金次郎を認可	12・2〈2〉
12	○	佐賀郡松梅村長に田中敬六を認可	12・4〈3〉
12	6	県参事会は、耕地整理及び土地改良事業費補助として、国庫補助1892円の受入れなどを審議	12・7〈2〉
12	6	鳥栖署は三養基郡基山村で消防点検、佐賀署は18日に佐賀郡嘉瀬村で、20日に同郡金立村で、唐津署は18日に東松浦郡久里村で消防点検	12・9,17,21〈2,3〉
12	7	杵島郡西川登村長に空閑又三郎を、藤津郡七浦村助役に土井多吉を認可	12・10〈2,3〉
12	○	杵島郡橋下村長に松浦巽を認可	12・8〈2〉
12	9	佐賀郡通常郡会を開会、5年度予算案を審議。予算は經常部1万3322円、臨時部2150円、計1万5472円	12・1,10,14,15〈2〉
12	○	歩兵第55連隊は新兵入隊式を9日に行う予定	12・9〈2〉
12	○	佐賀監獄看守長長山又四郎は北海道根室分監長に転任	12・12〈2,3〉
12	16	佐賀郡は村長会を同郡役所で開き、大正5年度予算、補習教育の普及発達に関する件などを協議	12・17〈2〉
12	22	杵島郡は町村会を郡役所で開く。青年団体に関する件など訓示事項7件、町村有給吏員退隠料条例設置に関する件など注意事項2件、県恒産会杵島支部規則全7条を制定	12・24〈2〉
12	○	県は3年12月1日から満1年間職務勉勵の巡査298人に賞与を支給。うち無処罰かつ欠勤休暇無しは21人	12・23〈2〉
12	24	佐賀市会が開会。元循誘小学校敷地跡の売却、理化学工業試験所の設置、吏員給与規定の改正などを審議。同試験所設置は延期となる	12・22,25〈2〉
12	26	県海軍同志会は冬季大会を佐賀中学校で開く。出席者は兵学校13人、機関学校7人、佐賀中学校30人、唐津中学校15人、小城中学校10人、鹿島中学校2人	12・23,27〈2〉
12	○	佐賀市の弁護士橋爪勇は弁護士会と学士会の推薦で同市会議員に立候補する予定。不偏不当を標榜	12・28〈2〉

経 済

発定期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
12	1	県農会は蚕業協議会を開く。船山県課長、玉木県技師、東松浦郡農会長藤原與吉ら15人が出席	12・3〈2〉
12	1	喜多商店(資)を西松浦郡伊万里町に設立(公告) 目的は酒類・材木・雑貨・小間物の販売、社員は同町の喜多栄吉ら5人	12・4〈3〉
12	1	佐賀軌道(株)は代表取締役役に真崎辰五郎を選任(公告)	12・12〈3〉
12	○	佐賀米穀取引所で2万石以上売買した仲買人は秀島徳一郎、彌富辰一ら12人	12・3〈2〉
12	○	東洋製氷(株)佐賀工場は11月下旬から機械運転を開始	12・5〈2〉
12	○	佐賀フィルム(株)は活動写真を出張映写(広告) 1回25円～35円	12・5,7〈3〉
12	○	4年度五石懸賞会への出品数は9点。玄米5石以上の収量は佐賀郡東川副村の山口喜代八ら6人	12・6〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
12	○	佐賀水産(株)は、佐賀物産共進会で好評の「八千代烏賊」を増産中、アゲマキは中国人と取引して好成績を収めている	12・6〈2〉
12	7	県農会評議員会と各郡農会長協議会を県農会事務所で開き、蚕業奨励策変更や農政倶楽部組織準備など4件を協議	12・8〈2〉
12	○	県はヤノネ貝殻虫とルピー蛾虫対策のため、県内の柑橘園に青酸ガス燻蒸器具を貸し出す予定。10月10日～5年2月11日まで	12・7〈2〉
12	○	(株)肥前貯蓄銀行は小城郡北多久町の共救社内に代理店を開設し、一般銀行業務を取り扱う	12・7〈2〉
12	8	有田勸業貯蓄(株)は株主総会の決議により、商号を有田勸業無尽(株)と改称(公告)	12・12〈3〉
12	○	県内の陶磁器業はフランスから注文を受けるなどして活況	12・8〈2〉
12	9	佐賀新聞は、佐賀郡東与賀村から懸賞田に応募の六石田には不正行為があったと指摘。10日には言論で「県下の大醜事」と批判、真偽に関して議論が起こる	12・9～11,16,18～20,23,24〈1,2,3〉
12	10	県農会は通常会を開き、5年度予算案1万8135円を可決。郡農会の負担金は耕地1反歩につき4厘3毛274、地租1円につき2厘6毛335、農家1戸につき2銭2厘	12・11〈3〉
12	10	肥前米麦輸出同業組合は、標準米査定会を同業組合事務所で開く。小粒は紅屋種、中粒は神力種の標準で等級を定める	12・12〈2〉
12	10	県農会は米麦共同販売規程を改正。全32条	12・17～19〈2〉
12	11	県は肥筑軌道(株)の敷設準備のため、三養基郡、神埼郡、佐賀郡、佐賀市の関係町村での立入測量と検査を許可	12・12〈2〉
12	○	杵島郡中通村三間坂郵便局は26日から電信事務と集配事務を始める予定	12・11〈2〉
12	12	佐賀瓦斯(株)の重役会は、4年下半期の利益金を1万384円とし、うち6092円を配当にあてると決議。配当率年5分	12・13〈2〉
12	13	(株)県農工銀行は第1回農工債券額面5000円を償還のため抽選会を行う(記事と広告)	12・12～14〈1,2〉
12	14	三養基郡三川村農会は苗代・七島田・水稲競作田・採種田・深耕品評会の授賞式を同村役場で開く	12・17〈3〉
12	15	佐賀市柳町の柳橋が完成、開通式を行う。9月15日着工、市内初のコンクリートアーチ式橋	12・16〈2〉
12	15	佐賀精米同業組合は、肥前米麦同業組合事務所で精米組合会を開く。組合員の負担金を5年度から変更する予定	12・16〈2〉
12	○	佐賀郡神野村は中稲の株切断終了検査を、15日～18日に実施する予定	12・15〈2〉
12	16	佐賀郡農会は各村1カ所の模範稲作に金5円を補助、県農政倶楽部の組織化など8件を決議。	12・17〈2〉
12	17	小城郡小城町の県立農事講習所は、第10回本科講習生の卒業証書授与式を行う。卒業生17人	12・10,18,20〈2〉
12	○	佐賀市は老幼婦女子の副業奨励のため、桑苗の無償配布を5年春に行う予定。植栽希望者を31日まで募集	12・17〈2〉
12	19	肥前電気鉄道(株)は藤津郡嬉野～塩田間7マイルの開通式を行う。明治44年2月起工、本社は西嬉野村。県内電車開通の嚆矢	12・13,15,20,21〈2,3〉
12	20	西肥(名)が西松浦郡有田村に設立(公告) 目的は磁器製造と販売	12・25〈2〉
12	○	佐賀郡久保田村の村田家は25日、4年度産蔵米の褒賞授与式を開く予定	12・23〈2〉
12	24	佐賀警察署は管内の牛乳検査を実施	12・25〈2〉
12	○	三養基郡麓村の立石養蚕組合は24日、玉木県技師による蚕業講話会を開く予定	12・24〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
12	25	九州電燈鉄道(株)は株主総会を開き、年1割2分の配当案を可決	12・28〈2〉
12	25	肥前共済(資)は本店を長崎県東彼杵郡早岐村から佐賀市松原町に移転(公告)組合員の拠出金で葬儀を安価に実施	5・1・1〈3〉
12	26	佐賀瓦斯(株)は第7回定期株主総会を開く。営業利益5791円、配当率年5分	12・27〈2〉
12	○	この月、各地で蔬菜などの品評会、苗代、拔穂、採種、俵米などの品評会を開く。神埼郡千歳村、小城郡岩松村、牛津町、東多久村、佐賀郡小関村関屋区、鍋島村増田区、東与賀村、嘉瀬村、北川副村、西川副村、三養基郡基里村、東松浦郡値賀村、杵島郡武内村、北有明村、藤津郡多良村など。小学校の運動会や展覧会、競犁会、敬老会、青年会の総会などを併せて行う場合もある	12・8,22~28〈2〉

社 会

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
12	○	佐賀市花房小路の佐賀幼稚園は、感謝祭に園児が捧げた果物、蔬菜類を佐賀孤児院に寄贈	12・1〈2〉
12	○	佐賀市の宗龍寺内の家禄請願事務所は、1日から同市松原町中ノ小路の堤長定方に移転	12・1〈2〉
12	2	19歳の少女を中国山東省の料理屋に酌婦として売渡した佐賀郡の男3人を、佐賀警察署は婦女誘拐罪で書類送検	12・3〈3〉
12	2	佐賀新聞社社長副島義一は母親の看護のため帰佐	12・8〈2〉
12	○	佐賀物産共進会の会期中、花柳界の応援のため来佐していた博多芸妓17人は、5日に引き揚げる予定	12・2〈3〉
12	○	県は青年団体設置標準を示す(県訓令) 青年団や処女会は市町村を区域として組織する、指導者は小学校長や市町村長など名望ある人物とする、など組織や事業内容を指示。同時に通俗教育や図書館など社会教育全般にわたり、標準を定める	12・2~4〈2〉
12	4	佐賀市の新栄座は、佐賀物産共進会の仮装行列や天皇即位礼実況の活動写真を5日まで興行	12・1~4,6〈2,3〉
12	4	故県立病院好生館長大黒安三郎の追悼会を佐賀市公会堂で開く(記事と広告)	12・1,2,5,14〈2,3〉
12	4	三養基郡基山村の因通寺元住職調放麟の記念碑が同寺に竣工、落成式を行う。5日は記念講演会を開く	12・7〈2〉
12	○	「青年団に就いて」 2回 政府が青年団の入団資格の上限を満20歳までとしたことに異論がある、25歳程度が妥当である。政府は兵役との関連で、青年団に現役軍人の予科的教練の性格を持たせようとしているのではないか	12・4,5〈1〉
12	5	佐賀郡川副青年会は佐賀桜会の趣旨に賛同し、桜会川副分会の発会式を川副高等小学校で開く。小野剣道教師が同会設立の由来と目的を述べる	12・7〈2〉
12	5	佐賀郡東与賀尋常小学校の女性教員は、大正天皇即位記念として処女会を結成、発会式を同校で開く。会員約200人	12・7〈2〉
12	○	佐賀市花房小路のルーテル教会と同市与賀町の日本キリスト教会は、日曜学校を開く。12日は米屋町の宣教所でも伝道予定	12・5,12,19〈2〉
12	6	内務省囑託相田良雄は感化救済事業視察のため来佐。佐賀孤児院と三養基郡基里村を視察	12・8〈2〉
12	6	佐賀郡久保田村の多額納税者堤勝次郎が死去。9日、同村の壽昌寺で葬儀(記事と広告) 古賀善兵衛、高取伊好らが会葬	12・8~11〈1,3〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
12	6	県は産婆試験を実施。出願者179人。学科及び実技合格者は24人、実技合格者23人、学科合格者22人	12・9,12〈2,3〉
12	7	佐賀警察署は、諸富国道で鞍を付けずに馬に乗ったとして、佐賀郡の男に30銭を科料。清潔な被布を着用せずに客を摘髪したとして、同郡の理髪業の男に30銭を科料	12・8〈3〉
12	○	伊万里停車場通りの陶山写真館は、大正天皇即位記念の撮影のため遠方にも出張する(広告)	12・7,9,11〈4〉
12	8	曹洞宗佐賀婦人会は、物故者の追悼会を兼ねた秋季大会を市公会堂で開く	12・3,9〈2〉
12	9	佐賀市紺屋町の無量寺は、5日間の大正天皇即位祝賀の説教法要を始める	12・10〈2〉
12	10	県は、神埼郡仁比山小学校、東松浦郡玉島青年会など18団体の大正天皇即位記念造林植樹事業の調査を終了し、農商務省に報告	12・3,4,11,16〈2〉
12	○	三養基郡軍人待遇会は、同郡戦死病没軍人招魂祭を、神式は同郡鳥栖町の日子神社で、仏式は妙覚寺で18日に行う予定	12・10〈2〉
12	11	県立病院好生館は医事集談会を再興、第1回例会を開く。各自の研究発表、一般医薬学の演説討論を行う	12・10,13〈2〉
12	11	西松浦郡選出の県会議員向茂三郎が死去、享年48歳	12・12〈2〉
12	12	県立病院好生館副館長に九州帝国大学医科大学在勤中の楠正信が着任。故大黒館長の後任として内科部長を兼任	12・2,11,13〈2〉
12	12	小城郡牛津町の成蹊病院は、開院披露宴を同町の八百屋で開く。院長は腹巻勝見、内科・外科・産婦人科・眼科を営む	12・10,13〈2〉
12	13	東松浦郡巖木村は、学校衛生功績者として表彰された巖木小学校校医保利磯次郎の祝賀会を同村役場で開く	12・16〈2〉
12	○	久保田駅が主催する日光観光団の100余人は13日、同駅に帰着予定	12・13〈3〉
12	14	佐賀蹄鉄工組合は臨時組合会を開き、裂蹄、変形蹄などについての講習を実施	12・16〈2,3〉
12	○	佐賀郡久保田村大立野の仮小屋で、浪曲の桃中軒如雲一座が16日から5日間、興行予定	12・16〈3〉
12	17	旧佐賀藩・神埼団・川久保団・諫早団・深堀団の復祿請願は、衆議院で受理される。請願委員は中野辰之助、村山長章、安住藤太ら	12・6,21〈2,3〉
12	17	神代智明の組織する日宗純信教会と日宗浄徳婦人会は、佐賀市高木町の観照院で講演会を開く	12・18〈2〉
12	19	小城郡西多久村板屋地区は、大正天皇即位記念事業の一環として、青年夜学所と公会堂を新築し、落成式を行う	12・23〈2〉
12	21	在郷軍人会佐賀市分会は役員会を佐賀市の養壽館で開く。観兵式で大正天皇が発した勅諭・令旨の伝達や下賜された菓子の分配方法、招魂社内への記念樹栽植などを協議	12・23〈2〉
12	26	佐賀郡鍋島村処女会は発会式を開く。会頭に大山同村尋常高等小学校長、副会頭に千綿同校主席女訓導を推薦	12・27〈2〉
12	○	この月、国の指導を受け、村内各地区ごとに組織されていた青年会や青年団は1村1団体へと統一が進む。 西松浦郡東山代村青年団、神埼郡西郷村青年義勇団、佐賀郡南川副村青年会、同郡久保泉村青年会	12・7,11,17,27〈2〉

教育・文化

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
12	1	佐賀郡兵庫部教育会は兵庫尋常小学校長久池井虎太の文部省表彰を祝し、佐賀市の千代田館で祝賀会を開く。4日は有志が同市の花月亭で開く	12・1,4,8〈2〉
12	3	佐賀郡西与賀村尋常小学校は校舎を増築し、落成式を行う。体操場も拡張	12・4〈2〉
12	4	佐賀郡小学校研究会は同郡高木瀬尋常小学校で、歴史科の教授研究会を開く	12・4,8〈2〉
12	○	佐賀郡久保田村の郷社香椎神社社掌に大坪猶吉を、杵島郡武雄町の郷社武雄神社社掌に武雄紀十郎を任命	12・4〈2〉
12	5	小城郡の小学校教員は集会を小城町の桜岡小学校で開き、訓導が研究発表を行う。西松浦郡の小学校教員は集会を伊万里町の宏済閣で開き、記念図書館設置の件などを協議	12・7〈2〉
12	○	郡立伊万里商業学校教諭に仁川公立商業学校教諭重松彌六を任命、唐津中学校教諭赤司華は依願退職	12・5〈2〉
12	6	県は、4年度第3回市町村立小学校実業科教員講習会を県会議事堂で開く。18日修了式、対象は小学校長、講習生58人	11・16,12・15,19〈2〉
12	○	神埼郡三田川村の東妙寺所有の釈迦如来と聖観音の2体は、国庫補助500余円を受けて修理することとなる	12・6〈3〉
12	10	県教育会佐賀市支部会は役員会を開き、野口市長の青年団体の組織及び指導に関する諮問事項を協議	12・10,12〈2〉
12	12	三養基郡教育会は秋季総集会を同郡鳥栖町の鳥栖小学校で開く。青年・処女団体の組織化や改善方法を具体的に調査することなどを討議	12・10,13〈2〉
12	○	神埼郡教育会は総集会を神埼小学校で開く。講演は下村佐賀中学校教諭による「教育家の人格修養」	12・13〈2〉
12	○	県は小学校女子本科正教員の学力補習を目的として、5年1月15日～30日まで講習会を開く予定	12・15〈2〉
12	19	県教育倶楽部は総集会を佐賀市公会堂で開く。会員約60人が会存続の可否を議論、結論は中野才次、張二男松ら15人の委員へ付託	12・20,23〈2〉
12	20	佐賀郡西川副村村長や村会議員ら約20人は同村小学校の校舎新築の参考にするため、同郡兵庫尋常高等小学校の新校舎を見学。西川副尋常小学校は高等科を5年度から併置する予定	12・23〈2〉
12	○	佐賀市の県社松原神社社掌早田亀太郎を、佐賀郡巨勢村の郷社巨勢神社社掌に任命。神埼郡城田村の百崎與三郎を、神埼郡神埼町の県社櫛田神社社掌と城田村郷社高志神社社掌に任命	12・21〈2〉
12	22	神埼郡東脊振村尋常高等小学校は卒業生を対象に、夜学を25日まで行う	12・26〈2〉
12	25	佐賀中学校第16回同窓生は佐賀市の楊柳亭で同窓会を開く	12・27〈2〉

その他

発生期日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
12	○	大正天皇即位記念県物産共進会の実績 出品者3250人、出品数5387点、入場者総数28万5044人、出品物の販売高1万5000円	12・2,4〈2〉
12	○	県内務部は『大正3年佐賀県要覧』を発行	12・3〈2〉
12	○	佐賀図書館の閲覧人員(11月) 学生712人、教育家その他94人、官公吏軍人189人など計2040人	12・5〈2〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
12	○	「南窓より」 抓み喰生 5回 市内各商店の陳列法や装飾法は拙く改善を要する。企業的精神に富んだ者がいない、など佐賀の問題点を指摘	12・5,8,11,17,19 〈3〉
12	○	県出身の逓信省通信局長田中次郎は逓信書記官、逓信管理練習所長の兼務を命じられる	12・6〈2〉
12	○	共進会で受賞した蚕業陳列品を掲載。蚕種10点、繭208点、生糸2点、桑苗4点	12・8〈2〉
12	○	県出身の麓岩雄は4年度判検事試験に合格	12・8〈2〉
12	○	肥前米移出高(11月) 検査総数は玄米7万6130俵、白米5万3342俵。主要仕向地は関門、長崎、兵庫・大阪など	12・9〈2〉
12	○	唐津線沿いの各炭坑貯炭高(11月末) 岩屋800トン、相知6400トン、芳谷1万6100トン、岸獄300トン	12・11〈2〉
12	12	米価 佐賀郡新米 4斗入 4円95銭 諸富出来値 米本屋	12・13〈3〉
12	12	大隈重信夫人同乗の自動車が、東京市四谷で6歳の女兒を轢き、死亡させる	12・14〈3〉
12	○	小城郡の神代辰次郎が経営する福岡県企救郡の神代炭坑は、10月の出水事故の処理を完了し、小倉鉄道の引込線を計画	12・12〈2〉
12	○	県内樟脳収納高(11月) 粗製樟脳9356斤・5323円、樟脳油1万8237斤・5197円	12・12〈2〉
12	14	県出身の海軍中將村上格一は第3艦隊司令長官に任命される	12・14〈2〉
12	15	県出身の海軍中將江口鱗六はアメリカ丸で門司港から台湾に向け出発	12・17〈2〉
12	16	県出身の陸軍歩兵大佐古川氏潔が死去、享年78歳。東京市在住、大隈重信の親友	12・19〈2〉
12	17	鳥栖運輸事務所は管内の駅員慰安会を長崎市で開く。駅員とその家族約1000人が出席	12・8,19〈2,3〉
12	○	日本赤十字社佐賀支部社員(11月) 特別社員242人、正社員1万7525人	12・17〈2〉
12	○	(株)佐賀米穀取引所第42回営業公告(広告)	12・18〈3〉
12	○	海軍機関学校合格者(4年度) 佐賀県からは32人受験、うち合格者3人	12・19〈2〉
12	20	前ベルギー全権大使鍋島桂次郎は、下関港から郷里の長崎県神代へ向け出発	12・22〈2〉
12	○	佐賀市赤松町出身の福池英男は海軍機関学校を首席で卒業	12・23〈2〉
12	25	熊本で開催の全国小学校教員講習会に県から20人が出席、杵島郡北方尋常高等小学校訓導坂井源太郎が研究発表	12・23,25〈1,2〉
12	○	県出身の中隈一郎、村岡又一ら4人は医籍に登録される	12・25〈2〉
12	○	県出身の陸軍第3等軍医中島藤次郎は善通寺衛戍病院長に、騎兵第6連隊長鍋島直明は皇族付武官に、皇族付武官福田義彌は騎兵第6連隊長に任命される	12・26〈2〉
12	○	肥前電気鉄道(株)の時刻表を掲載。始発は嬉野発午前4時40分、塩田発午前5時20分、終電は嬉野発午後10時20分、塩田発午後11時10分。双方より1日23回出発	12・28〈2〉

国内・国際

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
12	1	第37回帝国議会は開院式を行う	12・2〈2〉
12	1	大倉喜八郎、三井高保、穂積陳重ら9人に男爵の爵位が授与される。佐賀新聞は「言論」で、大倉は「暴富の行跡に御用商人として不正の行為ありし」と批判	12・2,13〈1,2〉
12	○	第37議会招集日の衆議院党派別人数は、政友会150、同志会150、交友倶楽部56、国民党27、中正会34、無所属9	12・1〈1〉

発生日		内 容	掲載月日〈面〉
月	日		
12	2	天皇は東京青山練兵場で大礼の観兵式を行う	12・3〈2〉
12	2	天皇家に男子誕生、澄宮崇仁と命名	12・3,4,9,10〈2,3〉
12	3	全国中学校長会議は、国体の尊厳を自覚させ、共同規律の習慣を養い、国家的精神を旺盛にさせること、体育を盛んにして身体を強健にさせること、など6項目を決議	12・5〈1〉
12	3	中国政府は第一次世界大戦に関し、中立を表明	12・6〈1〉
12	3	横浜の原富太郎は政府の米価調節買上米1万1000石を購入し、シアトル方面への輸出作業を始める。横浜からの米穀輸出の嚆矢	12・12〈1〉
12	○	言論「帝国議會開会」北山 外交政策や海軍拡張の是非は議會の大問題となるであろう。野党は病患の多い現内閣に対して、団結して当たるべきである	12・3〈1〉
12	4	サンフランシスコ博覧会が閉幕、期間中の入場者総計1800万人	12・7〈1〉
12	4	貴族院本会議で海軍大臣加藤友三郎は、八八艦隊方針を堅持するが、財政上の制約から要求額を計上できなかったと答弁	12・9〈1〉
12	○	政府は亡命してきたインド革命党員2人に退去命令を出す。これに対し国民党の犬養毅や政友会の元田肇、床次竹二郎は異議を唱える。佐賀新聞も言論「印度の志士」で政府を批判	12・4,5,6,9〈1,3〉
12	○	染料、グリセリン、アルミニウムなど製造工業を中心に景気回復の兆しが見える。民間の神戸製鋼所、川崎造船所は溶鉱炉増設の工事中	12・5,6〈1〉
12	7	米議会は排日移民法案を再提出	12・10〈1〉
12	○	袁世凱が帝政を施行しようとすることに對し、日本政府は強硬な共同通告を発するため、英仏露と交渉を開始	12・7〈1〉
12	○	言論「革命党蜂起す」北山 上海で袁世凱に不満を持つ革命党が蜂起したが、その責任は東洋平和を破壊している袁にある	12・8〈1〉
12	10	気球隊を廃止し、航空大隊を編成することを公布(軍令)	12・12〈1〉
12	10	北海道苫前郡三毛別で、11日にかけて大熊が住民7人を食い殺す	12・15,21〈3〉
12	11	中国立法院は君主立憲制を施行することを決め、袁總統を皇帝に推戴	12・14〈1〉
12	13	日本は將軍カランザの率いるメキシコ政府を承認	12・17〈2〉
12	○	言論「帝政と革命」上海での革命党の挙兵は失敗に終わったが、革命の機運は中国全土に満ちている。騒乱を根絶し、東洋平和を実現するために、日本は中国に對して、どのような政策を有しているのか、勇断を示すべきである	12・13〈1〉
12	○	中央報徳会は各地青年団を指導するために、青年部の新設を計画	12・14〈3〉
12	15	政友会と国民党は、東京の明治座で内閣弾劾演説会を開く。大隈内閣の外交政策を批判	12・17〈2〉
12	18	日本と中国は満蒙鉄道借款に調印	12・21〈1〉
12	21	地中海で、日本郵船の八坂丸がドイツ潜航艇の攻撃によって沈没	12・24~26〈1,2,3〉
12	21	農商務省は、職工扶助令に関する諮問を各地方長官や商業會議所など関連団体に発送	12・25〈2〉
12	25	福岡俘虜収容所の俘虜逃亡事件で、所長の他、第35旅団長、第24連隊長、憲兵分隊長らも責任を問われる	12・28〈3〉
12	○	トロール漁業取締規則の一部を改正(農商務省令) 農商務大臣はトロール漁業者に對し、停泊港を指定してトロール汽船の停泊を命じることができる	12・26〈2〉

あ と が き

1 佐賀近代史研究会の活動報告に代えて

『佐賀近代史年表 大正編 大正4年』の刊行が、佐賀大学地域学歴史文化センターの援助で可能となった。当時の佐賀新聞のコピーを丹念に読み、一つ一つ短文にまとめてパソコンに入力するという作業は、単純ではあるが忍耐のいる作業である。無報酬の作業であるが、会員を動かしているのは、近代佐賀の歴史を記録として、文字の形で残して行こうという情熱に他ならない。とはいえ、出版の見通しが無い中では、情熱を持続していくには限りがある。そのような意味で、佐賀大学地域学歴史文化研究センターと、関係の先生方に改めて感謝を申し上げたい。

執筆担当の会員から集まった1年分の原稿を、全体の調整を図りながら、整理・統合し、各分野の専門家である、古川長次郎、堤 啓次郎、尾形善次郎、飯塚一幸の各会員に監修をお願いした。大変お忙しい中にもかかわらず原稿の点検をしていただき、本当に有難い限りである。

平成27年4月に、研究会の支柱であった生馬寛信先生が逝去されました。年表の内容や編集方針にも大きな助言をいただいてきました。謹んでご冥福をお祈りします。

(文責：藤井)

2 平成27年度の活動内容

2月	21日	定例会	・坂井一実「九州における電気事業・第一次世界大戦が佐賀県内工業会社に与えた影響」 ・NPO 法人大川未来塾理事・本間雄治氏の講話「伊丹家の系譜」
3月	14日	定例会	DVD「バルトの楽園」を鑑賞
4月	18日	定例会	平成27年度活動方針の確認
5月	16日	定例会・ミニ講話	山本長次「企業家の渡米—武藤三治と森永太郎の事例—」 大久保利貞氏(北カリフォルニア佐賀県人会会長)をゲストに招く
6月	20日	定例会・ミニ講話	末岡暁美「佐賀藩英学の祖—小出千之助」
7月	18日	定例会	中島利哉「徳島県板東俘虜収容所を訪ねて」
9月	19日	定例会・ミニ講話	末岡暁美「パリでの野中元右衛門の慰霊祭報告」
10月	17日	定例会	坂井一実「大正5年6月時点での中国と欧州」
11月	21日	史跡見学会	佐賀の街歩き—大勝館、新栄座、改良座など大正期の新聞に出てくる建物(があった場所)をたどる
1月	23日	定例会	大正6年の編集に向けて、担当月の確認

3 会員からの一言

飯 塚 一 幸

今回の『佐賀近代史年表 大正編』の対象である大正4年は、第一次世界大戦中の第二次大隈重信内閣の時期に当たります。第二次大隈内閣と言え、二十一か条要求や排袁政策など強硬な中国政策で知られているのですが、野党の政友会総裁原敬がそうした中国政策を強く批判していたことも周知の事実です。監修作業を通じて、政友会系の『佐賀新聞』が総裁原敬と同様に大隈内閣の中国政策を鋭く攻撃する論説を掲載していて、大変興味をそそられました。

石 川 亮 太

無沙汰しております。『佐賀近代史年表 大正編 大正4年』の刊行、誠におめでとうございます。作業に当たられた皆さまのご尽力の賜物と存じます。

さて2015年には田中雄一先生、生馬寛信先生が亡くなられたとの寂しいお知らせにも接しました。特に生馬先生とは佐賀大学の同僚として色々とお教えに接する機会があり、退職から間もないご急逝は本当に残念でした。私が佐賀近代史研究会の皆さまにお目にかかったのは2010年頃で、刊行間近となった『年表』明治編下巻のデータを利用させていただき、明治期の「韓海出漁」や唐津朝鮮航路の開設について調べておりましたが、その際に生馬先生から繰り返し温かいご激励と適切なご助言をいただいたことを思い出します。改めてお二方のご冥福をお祈りいたします。

私が佐賀を離れてもう満4年となりましたが、その間に新しい会員の方も加われ、活発な研究会活動が続いていると伺っております。今後とも会のご発展を祈念いたしますと共に、活動のご成果を拝見するのを楽しみにしております。

尾 形 善次郎

「『佐賀近代史年表 大正編 大正4年』の刊行に寄せて」

平成27年7月、三重津海軍所跡が世界遺産に登録されたのを機に、久しぶりに跡地を訪れました。実は、「佐賀新聞」保存紙、明治35年担当の年表作成で、大変関心を寄せていたのが、「佐賀郡立海員養成学校」（明治39年4月佐賀県立商船学校と改称）に関する記事でした。では、当時の記事を追って、跡地に建つ同校顕彰碑にも触れていくことにします。

文部省から同校設置の認可を受けたのが明治35年3月7日で、校長兼事務取扱に佐賀郡長大田祥助が就任。同校顕彰碑には「この輝ける伝統の地に明治三十五年五月、地元の熱烈な支援を受け、佐賀郡立海員養成学校が誕生」と記されています。資金面では、同年4月、香川知事が同校に2000円補助を指示。佐賀鍋島家は同校に1000円を寄付、ま

た6月に毎年1600円の国庫補助が決定しています。

同年3月の生徒募集要項では、定員は航海科30人、機関科20人、年限は実習を除き3年、入学資格は14歳以上20歳以下。ところが、4月の入学試験の結果、合格者は航海科35人（応募者115人）、機関科24人（応募者74人）と記載。なお、大正4年8月の県内学校の生徒在籍数では佐賀商船学校150人でした。また、同年6月には生徒全員が練習船案山子丸と海軍式ボートに分乗し、有明海で2日間の遠洋航海を実施しています。

ところが、昭和8年3月閉校。顕彰碑には「～涙の卒業式を最後に、母校は永遠に姿を消した。開校から三十一箇年、卒業生は総数七百余名を数え、近代日本を背負う有為な人材を世に送り出した。～名誉ある母校を偲び、永久に佐賀商船学校健児の勲を顕彰するものである。昭和五十一年三月吉日」と記されています。ここに三重津海軍の心意気を引き継いだ佐賀商船学校健児達がいたことに思いを新たにしました。

鬼 嶋 淳

2015年4月、生馬寛信先生がお亡くなりになった。「これから大正時代の『佐賀新聞』を読むので」と近代史研究会に私を誘って下さったのは先生であった。佐賀に赴任してきて、地域の歴史に関心を持ちながらも調査等に踏み込めないでいるときに、大変心強かったことを覚えている。

また、短い期間であったが『北波多村史』の編さんで一緒にさせていただいた。印象に残っていることは、教育制度の変遷を、大変丁寧に史資料をつきあわせて調査されていたことであった。こうした研究スタイルは、今思えば、『佐賀新聞』の記事を丁寧に読み込み、年表を作成してきた近代史研究会のスタイルそのものであったと言えるかも知れない。

生馬研究室に保管されていた「大学紛争関係史料（佐大紛争関係史料）」を引き継いだ。仮目録を作成して、佐賀大学地域学歴史文化研究センター編『地域学創出のための医文理融合型研究2011年度報告書』に掲載したが、そのままになっている。早く正式な目録を作成して、「佐大紛争」を制度と運動の両側面から詳細に明らかにしていかなければならないと反省している。心よりご冥福をお祈りいたします。

坂 井 一 実

11月21日の近代史研究会例会は、大正期の新聞に時々掲載される佐賀市の大勝館（現佐賀市民会館前）、改良座（馬責馬場一ノ橋）、新栄座（松原町の松川屋北西）、ルーテル教会（花房小路）付近をゆっくり歩きました。天気もよく、少し距離があったが、私には良い会でした。古川長次郎先生から喜楽座（与賀町の与賀神社南）のことも教えて頂き、良い勉強になりました。なお、今回私が執筆担当したのは大正4年7月～9月、12月でした。

末岡 暁美

軽い気持ちではじめた幕末・明治の肥前の歴史に関する私のブログは、ほぼ毎日更新しながら10年を越えました。ブログを通じて多方面から連絡があり、思いもよらぬ出来事が度々あります。昨年は1867年のパリ万博で客死された佐賀藩士野中元右衛門の慰霊祭参列のため、パリのパールラシェーズ墓地にも行ってきました。フランスには他に佐賀出身の福島虎次郎、酒井雄三郎の明治期のお墓があることも教えていただきました。引き続き歴史散策を楽しみたいと思っています。

高岡 萌

私が近代史研究会に参加させていただくようになってから、すでに3年の月日が流れました。研究会に参加して以来、いまだに最年少のメンバーであり続けるフレッシュな私ですが、研究会のメンバーのみなさまの強烈なエネルギーに終始圧倒されっぱなしです。そうしたエネルギッシュなみなさまですが、研究会のたびに隅っこでゴソゴソしているような私を温かく迎えてくださるなど、研究会のみなさまの優しさも強く感じています。そんなみなさまの優しさに甘えつつ、これからも研究会に交じらせていただきたいと思います。

また、大阪という遠距離居住のため、どうしても研究会への参加が少なくなってしまうがちです。それにも関わらず、折に触れてお声がけをいただく研究会の皆さまのおかげで、佐賀が第二の故郷のように思われてならない今日この頃であります。改まった場ですので、ここで御礼申し上げたいと思います。

しかしながら、研究会の紹介や佐賀の研究で多分なご指導を賜っていた生馬寛信先生の訃報に接したことは大きな衝撃でした。生馬先生は、私が学部4回生で、卒業論文を書くべく佐賀での史料調査を始めたばかりの頃にお会いしたのが最初であったかと思います。右も左もわからないにも関わらず、単身佐賀に乗り込んできた若輩者であった私に、親切に接していただいたことが懐かしく思い出されます。そのお気遣いがなければ、現在の研究者の端くれとしての私は存在していなかったのではないのでしょうか。大学院博士後期となった今、もっと佐賀を扱う研究者として先生とお話しができていればと、それだけが心残りであり、残念でなりません。

心よりご冥福をお祈りさせていただきます。

堤 啓次郎

田中雄一先生と生馬寛信先生は、佐賀近代史研究会の活動の中核的な存在でした。近代史年表づくりの活動でも、明治編の作成時以来、常に中心にあって活動してこられました。お二人がお亡くなりになりましたこと、痛惜に堪えません。

角 田 研 三

「難解な国際関係」

私にとっての国際関係の知識や理解は、父の勤務の関係で、昭和14年に台湾で生まれ、昭和21年4月に引き揚げてきたことが始まりである。

昭和58年文部省海外教育事情視察で、ドイツ、イギリス、アメリカを各10日ずつ訪問し、急速に視野が広がった。その視察団員の中に、徳島在住の幼稚園の先生がおられた。帰国後の交流会が徳島で開かれた折りに、板東の俘虜収容所を訪問した。その時に、日本とドイツとの親密な関係に驚いた。大正3年の年表作成中に、第一次世界大戦の青島の交戦の記事を追うことになったが、合わせて深く考えさせられた。

現在、大正5年1月、2月の年表を作成中であるが、ロシア皇帝の代表の訪日に際し、皇室、政府、軍の出迎えの記事が紹介されていた。

太平洋戦争では、日独、日露の関係が全く逆の立場であったことなどを考える時、国際関係を理解することの難しさを痛感している。

中 島 利 哉

入会して3年目になります。十分な仕事ができずに恐縮しています。今年は田中雄一先生、生馬寛信先生と研究会の大黒柱を亡くし不安な1年となりました。田中先生は創立メンバー、まさに研究会の顔でした。生馬先生は佐賀教育史の泰斗であり、もっともつと教えを頂かねばならぬ存在でした。両先生のご冥福をお祈りいたします。

ところで、今年2つのフィールドワークをしました。一つは徳島県の板東収容所（第一次大戦時のドイツ人俘虜収容所）跡、もう一つは佐賀城下（劇場、教会、銀行など）です。新聞に出てくる場所を歩き、その空気を感じますと今まで以上にその時代に対する関心が高まる気がします。一つ一つの出来事を丁寧に採録していきたいと思います。

長 野 暉

「継続、代え難き宝」

佐賀近代史研究会が結成されてから30年近くになる。基本的なことは『佐賀新聞にみる佐賀近代史年表』をつくり続けてきたことである。新聞の記事を読みながら、一つ一つカードに記入する作業であり、まさしく根気のいることであった。記入された記事を6項目に分類し、それを見開き2頁をひと月分の事項にし、明治17年から明治30年を纏め、これに基づいて『佐賀新聞みるに佐賀近代史年表 上巻』を刊行した。この本は佐賀新聞文化賞特別賞を受けた。

刊行後も作業を続けて、明治31年から明治45年までを『佐賀新聞みるに佐賀近代史年表 下巻』として刊行した。下巻刊行後も作業を続け、大正元年から大正3年まで進め、年ごとに刊行している。研究会を毎月開催し、研究発表もしてきた。

作業を続けてこられた会員にも老齢化が進行し、数人はお亡くなりになった。亡くなられた方々の志を受け継ぎ、今もこつこつと作業を続けている。

このことに思いを馳せると、続けてきたという思いが、人生に価値を与え、生きてきて良かったといえる人生に繋げられる。継続、それは人生における宝。支えてくれた会員や周囲の方々に感謝、感謝です。

藤 井 鹿 男

平成26年末に田中雄一先生が亡くなられ、平成27年4月には生馬寛信先生が亡くなられた。両先生とも『佐賀近代史年表 大正編』の編集作業では、病を押して研究会をリードされ、原稿に目を通していただいていたので、その衝撃は大きい。年表の作成は、地域の記録を残すという地味で根気のいる作業であるが、為すべきことはきちんとやるという両先生の姿勢には、ただ頭が下がるのみである。会員の確保など課題は多いが、『大正編』の完成まで何とか努力を続けていきたいと決意を新たにしている。

古 川 長次郎

佐賀近代史研究会の牽引役であった田中雄一先生と生馬寛信先生が亡くなられ、残念である。田中先生とは、佐賀県立佐賀北高等学校の社会科教員として共に机を並べたこともあった。真面目で誠実な努力家、勉強家であった。日本史の教師として生徒からの信望も厚かった。

一方で、古文書の解読ができる有能な方であった。鍋島家文書の解読や各地の市町村史の執筆、編集に尽力された。

佐賀近代史研究会には昭和53年の第1回会合から参加され、会の取りまとめ役的存在であった。明治編の完成に尽力されただけでなく、大正編の作成にあたっても、病を押して、先頭に立って執筆や司会を続けられた。

ご冥福をお祈りするとともに、大正編の完成に向けて努力していくことをお誓いしたい。

山 本 長 次

佐賀県及び本研究会の関係では、本県出身で森永製菓の創業者である森永太郎(1865-1937)ほか、近現代の諸企業家について調査研究しております。

この年表作成は、郷土を愛する歴史家の方々と佐賀大学との間の地域連携であるとともに、歴史や文化を後世に伝える地域貢献です。地道な作業ですが、成果を公表する場を提供していくことは、地域に根ざした存在であることをうたう佐賀大学の使命と考えています。

佐賀近代史研究会 会員

飯塚 一幸	坂井 一実	藤井 鹿男
故生 馬寛信	末岡 暁美	古川 清
石川 亮太	高岡 萌	古川 長次郎
市丸 利幸	堤 啓次郎	山本 長次
尾形 善次郎	角田 研三	山口 裕子
鬼嶋 淳	中島 利哉	
木村 務	長野 暹	

佐賀近代史年表 大正編 大正4年1月～大正4年12月

平成28年3月22日発行

編集	佐賀近代史研究会 代表 山本 長次
発行	佐賀大学地域学歴史文化研究センター 〒840-8502 佐賀市本庄1 TEL0952-28-8378 (FAX 共) URL http://www.chiikigaku.saga-u.ac.jp/
印刷	大同印刷株式会社 〒849-0902 佐賀市久保泉町大字上和泉1848-20 TEL0952-71-8520

